

Syllabus

社会科学部 スポーツ社会学科

2019～2021 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	吉備国際大から世界へ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子、鈴木 英治				NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	社会科学部・心理学部・アニメーション文化学部			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この科目の主要なテーマは、グローバル化が深化する現代世界における国際性と地域文化である。到達目標は、学生が、本学の所在地である備中高梁という場所が地域文化圏「吉備の国」としてどのような文化的・歴史的特色があるのかを十分に理解し、さらに、世界の文化や社会の多様性を学ぶことによって国際人となるための基礎を修得できるようになることである。学生は、日本と世界とのつながりを把握し、備中高梁(吉備の国)の自然環境、歴史、精神風土についての基礎知識を学修しつつ、ローカルな日常生活とグローバルな国際社会との関係から、多文化共生の基本的な意義と課題について理解できるようになる。						
概要	(地) 吉備国際大学のメインキャンパスが立地する岡山県高梁市は、日本における政治や教育、福祉などの分野で先進的かつ指導的な活躍をした人材を多く輩出した地である。このような地域の歴史・文化・社会の特色について多角的に紹介するこの科目は、本学の地域志向教育の科目群の一つである。 さらに、この科目は、吉備国際大学の教育目標である地域に根ざしグローバルに活躍できる「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」教育への序論として位置づけられる、高梁を中心とする文化圏「吉備の国」の特色を学び、また国際人養成の基礎として世界の文化や社会の多様性を学ぶ。いわば、吉備国際大学学生としての知的基盤を培う科目である。						
評価方法	毎回の講義で作成・提出する小レポートをもとに、(1) 授業内容についての理解度(60%) および (2) 授業への参加の積極性・理解しようとする取り組みの姿勢(40%) から成績評価を行う。						
履修条件・注意事項	履修にあたっては毎回必ず小レポートを提出する必要がある。2行未満のレポートや名前のみを記載して提出されたレポートについては欠席扱いとする。授業中は積極的にノートを取り、自分なりの関心と問題意識をもって聴講すること。受講は、各回の授業テーマについて基礎知識・情報を確認する予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について自ら入手可能な資料等を用いて調べ理解を深めるよう復習を行うこと。 学内外の十数人の講師が分担するので、授業の進行状況によって講義スケジュールに変更が生じる可能性がある。変更がある場合にはその都度受講生に連絡する。 授業中の私語やスマホ・ケータイなど迷惑行為は一切認めない。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題が指示される。						
オフィスアワー	授業終了後教室にて。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
			1. 序・「国際」の意味とグローバル化 2. 東アジアの国際関係論	講義 講義	高橋睦子 高橋睦子・李分一
			3. (地) 順正学園と備中高梁	講義	高橋睦子・加計美也子
			4. (地) 本学の地(知)の拠点整備事業	講義	高橋睦子・河村顕治
			5. (地) アニメーションから見た高梁	講義	高橋睦子・井上博明
			6. (地) 高梁市 - ひと・まち・自然	講義	高橋睦子・近藤隆則
			7. (地) 備中松山城とともに	講義	高橋睦子
			8. 'My own place' アイルランド	講義	高橋睦子・J. Fawsitt
			9. 私のアフリカ体験	講義	高橋睦子・畝伊知朗
			10. インド	講義	高橋睦子・大下朋子
			11. ドイツ	講義	高橋睦子・大原秀行
			12. フィンランド	講義	高橋睦子
			13. EU(欧州連合)-地域共同体の形成と展開	講義	高橋睦子
			14. EUの挑戦	講義	高橋睦子
			15. まとめ・世界の中の日本 最終試験:「評価方法」を参照	講義	高橋睦子

教科書 1	『国際理解のために』 ※購入不要 著者:高橋 和夫 出版社:放送大学教育振興会 ISBN:978-4595314261
教科書 2	
参考書 1	『異文化理解入門』 ※購入不要 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342
参考書 2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL	
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。							
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。							
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。							
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。							
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠				
教科書 1	用しない(必要に応じてプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7							
参考書 2								

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。						
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	吉備国際大から世界へ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・AL
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。						
自己学習	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠		
教科書 1	使用しない(必要に応じてプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7						
参考書 2							

授業科目名	吉備国際大から世界へ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-KE-1-001
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。						
概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス						
評価方法	授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。						
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。						
自己学習	毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		
1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験			講義	井上	1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験		
					講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	
教科書 1	まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域学概論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	羽野 真哉				NO.	GE-KE-1-002	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	(地)地域に起こっている様々な課題解決に向けて取り組んでいる地域貢献活動を1年次生に紹介し、地域社会の諸問題に対して大学生として何が出来るかを考える力を育てる。 各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域の諸問題を発掘し、学生として出来ることを議論することで、地域社会に貢献しようとするところや姿勢を持つことを到達目標とする。						
概要	地域の諸問題については、高梁市の各部局より講師を招き高梁市の現状と今後の問題点を教授して貰うとともにグループ討議を行い、積極的に問題解決能力を養う。 また、地域貢献ボランティアの活動状況の映像を見て今後の地域社会への貢献について考える。						
評価方法	毎回の授業時にレポートの提出を求める。このレポートで50%、授業時における論議への参加態度で50%の、総合評価とする。						
履修条件・注意事項	資料等を配布するので、間違いないように受け取る。また外部からの講師による講義なので、特に遅刻をしないこと。地域社会への関心を向ける良い機会なので、熱心な受講態度を期待する。						
自己学習	以下の通り、毎回の授業につき予習と復習にそれぞれ2時間を用いて取り組むこと。予習として、毎時間まえもってテキストや資料等に目を通し、疑問点を整理しておくこと。復習として、毎時間終えた範囲を振り返り、自分のノートにその内容を整理しておくこと。						
オフィスワ-	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回 オリエンテーション、地域学概論で学ぶ内容 第2回 「高梁市の観光振興について」 第3回 「高梁市の農業振興について」 第4回 「高梁市の生涯学習について」 第5回 「高梁市の定住対策について」 第6回 「高梁市の環境政策について」 第7回 「高梁市の健康づくり政策について」 第8回 「高梁基礎教会堂(岡山県指定史跡)をめぐる歴史と人物」 第9回 「高梁市の防災対策について」 第10回 「高梁市政の課題と今後の方向性について」 第11回 「未来につながる図書館」としての活動 第12回 地域づくりの教科書～そもそも地域で何をつくるの～ 第13回 宇治地域住民総動のまちづくり 第14回 日本遺産 備中吹屋 第15回 DVD教材(内容:山田方谷) 第16回 レポート試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	羽野 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師		
教科書 1	講義中に資料配布						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	地域貢献ボランティア				履修期	2021年度 春学期～秋学期	
担当者	羽野 真哉					NO.	GE-KE-2-003
配当学科	経営社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「地域貢献ボランティア活動を通して地域社会に積極的に参加できる人材となる。」をテーマとする。 各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において、「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域のボランティア活動へ参加し、地域の人々と共にふれあい活動することで、地域社会に貢献しようとするところや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活におこりうる問題点を理解し、解決するために地域社会に積極的に参加できるようになることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>キャリア教育の一環として社会人基礎力を身に付けるために、地域貢献ボランティアをおこなう。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時の注意事項等について学んだのち、地域から要請を受けたボランティア活動を10コマ分(20時間以上)行なう。 ボランティア活動は、ボランティア活動予定表(5月～12月末まで)から活動時間合計が20時間以上になるよう選択し、活動をおこなう。 その後、ボランティア活動報告書(1,000字以上)を作成し、学科別にて発表を行う。 この科目は実務経験のある外部講師の方にボランティア指導をしていただき、学生の能力向上を図る。</p>						
評価方法	<p>ボランティア活動の内容および活動報告書、発表会内容等により、授業の到達目標についての達成度をトータルで評価する。なお、レポートはフィードバックするので復習しておくこと。 具体的には、ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%のウエイトにより評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>「吉備から世界へ」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学修により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が加盟する任意保険(学生教育研究災害傷害保険「学研災」)に加入すること。 ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受入れ事業者の指示に従い、事故に注意すること。 ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者に終了確認印を受領すること。</p>						
自己学習	<p>ボランティア活動に参加する前に、参加するボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。また、ボランティア終了後にはその都度活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。予習及び復習には各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	<p>9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。</p>						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. ボランティア活動の基礎的理解 2. ボランティア活動の注意点と活動計画作成 3. ボランティア活動 4. ボランティア活動 5. ボランティア活動 6. ボランティア活動 7. ボランティア活動 8. ボランティア活動		講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習	外部講師・羽野 羽野 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師	9. ボランティア活動 10. ボランティア活動 11. ボランティア活動 12. ボランティア活動 13. 活動報告 14. ボランティアフォーラム 15. ボランティアフォーラム 16. 試験(活動報告書)		実習 実習 実習 講義 講義 講義 試験	外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 羽野 羽野 羽野 羽野
教科書 1	資料を適宜配布						
教科書 2							
参考書 1	ボランティア論 著者:柴田謙治他 出版社:みらい ISBN:978-4-86015-206-2						
参考書 2							

授業科目名	キャリア開発 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	羽野 真哉、山口 英峰、高藤 順、天岡 寛、太田 真司、倉知 典弘、高原 皓全、竹内 研、孫 基然				NO.	GE-CG-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 大学卒業後を見通した大学生活を考える 到達目標: この講義を通じて以下のことができるようになる 1: 卒業後の社会人としての人生を考えるを通して、自分の生き方・あり方を考えられるようになる 2: 社会が求める人間像を学び、それと対照することで自分の現状及び可能性を考えられるようになる 3: 自分の生き方・在り方に基づいて、大学生活における目標を明確にし、言語化することができるようになる 4: 大学生活における目標に基づいて、卒業までの過ごし方を計画することができるようになる</p>						
概要	<p>社会が求める人間像を学びつつ、特に自己分析力を身につけ、キャリアデザインを考え実行出来るようになるための授業である。本講義は、大きく2つの過程に分かれている。一段階目(初回から第5回)の講義は、目標を立てることの重要性や目標を立てるための方法を学び、大学生活を豊かにするために必要な力を高めることを目標として行われる。2段階目は、一度立てた目標をより深い行動計画にいくために、実際にスポーツの現場で働いている外部の講師を招き、話を伺う段階である。ここでは、単に話を聞くだけではなく、学生がインタビュアーになるなど主体的に講師の話を聞き出す活動を展開していく。以上のような過程を通じて、より豊かな学生生活を送り、将来に向けた一歩を踏み出していきたいと考えている。 なお、本講義では実際のスポーツ施設・健康施設などに努めておられる実務経験者の方を講師として招き、現場の実際の活動や仕事に関わる適正などについての講義を聴くとともに、質疑応答を通じてその理解を深めることとする。</p>						
評価方法	各回講義の振り返り(2点×15=30点)最後に実施する基礎学力試験(20点)終講レポート(50点)で評価する。なおkiuidリルを終えていない学生は評価の対象としない。						
履修条件・注意事項	合同授業は指定した教室で行う。各学科で行う授業は各学科の指示に従うこと。本講義では、グループごとの討議や発表などの作業を行うので、準備などに時間を要することもあることを理解すること。						
自己学習	復習として、各回講義内容をまとめる課題を課す。提出方法などは初回講義で指示をするので必ず参加すること。						
オフィスアワー	火曜日2限 倉知研究室(9301)にて						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1: 授業ガイダンス 2: 大学生のキャリア開発 3: メンタル・ヘルス 4: 基礎学習講座1回目・大学生活の基礎 5: 性格・適正試験・行動計画を立てる 6: 新聞活用 新聞の読み方を学ぶ 7: 大学生としての生活 8: 社会福祉・医療機関における仕事の実際 9: スポーツに関わる職業～理想のスポーツ指導者とは!?～ 10: 大学院への進学 11: プロスポーツ選手・指導者に関わる職業 12: 基礎学習講座2回目・適正から自分の強みを見つける 13: 障がい者スポーツに関わる職業 14: 学校教員という仕事 15: 学習のまとめ 16: 基礎学力試験・レポート試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	倉知・羽野 外部講師・羽野 野 森信繁・羽野 外部講師・羽野 野 外部講師・羽野 野 倉知 外部講師・天岡 外部講師・高藤 外部講師・羽野 野 外部講師・高藤 外部講師・倉知 羽野 倉知・羽野			

教科書 1	各回講義において資料を配布する
教科書 2	
参考書 1	適宜紹介する
参考書 2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	羽野 真哉、山口 英峰、高藤 順、天岡 寛、太田 真司、倉知 典弘、高原 皓全、竹内 研、孫 基然					NO.	GE-CG-3-002
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	自己の職業適性を発見する力・業界職種等を分析する力を身につけ、自分に適した職業進路を具体的に選択する。また、就活実践のための具体的能力を訓練し発揮できるようにする。そのため、一般社会で身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての一般常識や教養、分別、協調性や能力を再確認し実質的なものにする。						
概要	就活や進学のためのノウハウを身につけ、それらが実行できるようになるための授業である。そのため各自に適した具体的な進路選択力と就活実践力などを身につける。講義は、外部講師等による就活に向けた実践講座等である。その中で企業や社会で求められる人材とは何かといった社会の要請を理解するとともに自己に関する認識を振り返りの活動などを通じて深め、将来のキャリアを深く考えることを目指す。						
評価方法	各回講義の振り返り(30点)及び終講レポート(70点)で評価を行う。成績評価の詳細は初回講義で通知するので、必ず出席すること。なお、評価結果は、総括的に掲示で行う。						
履修条件・注意事項	毎回、授業内容の復習をし、職業選択と就活の実践および自立に向けて深く考え、自己分析、業界分析等を実行し、就活の準備を段階的にしておくこと。						
自己学習	予習として各回講義の最後に次回講義のテーマについて提示するので、関連事項を学んでおくこと。講義のあとは、講義資料を改めて見直したうえで、講義の振り返り課題を実施し、講義内容の定着を図ること。						
オフィスワ-	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1:オリエンテーション 2:就職活動の動きを学ぶ 3:インターシップの必要性和エントリーシート攻略 4:自己分析・自己PR 5:乗り遅れるなWEB就活 6:進路調査票・就職サイト登録 7:業界研究・職業教育 8:マナー(身だしなみ) 9:労働関係法規 10:エントリーシート効力フォロー 11:SPI対策(筆記試験対策) 12:履歴書の書き方・応募書類の出し方 13:面接対策・GD/集団・個人 14:就職活動、いざインターシップ 15:学習のまとめ・終講レポート	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	倉知・羽野 CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC CSC					
教科書 1	各回講義で資料を用意する						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	羽野 真哉				NO.	GE-IT-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。						
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。						
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。						
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 事前の技能確認シート未受験者の履修は認めない。 高校までに習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。						
オフィスワ-	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認)	講義・演習	羽野					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器	講義	羽野					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標準化・コード)	講義	羽野					
第4回 OSとアプリケーション	講義	羽野					
第5回 ファイルシステム操作	講義・演習	羽野					
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作	演習	羽野					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題							
第8回 表計算ソフト操作	講義・演習	羽野					
第9回 表計算ソフト課題							
第10回 プレゼンテーションソフト操作	演習	羽野					
第11回 プレゼンテーションソフト課題	講義・演習	羽野					
第12回 ネットワークとインターネット	演習	羽野					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	講義・演習	羽野					
第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	講義	羽野					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	AL・演習	羽野					
第16回 単位認定試験	講義	羽野					
	講義	羽野					
	実技試験	羽野					
教科書 1	情報リテラシー 入門編 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-072-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	情報処理 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	天岡 寛					NO.	GE-IT-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。						
概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、企業における情報システム管理部門としての実務経験を持つ教員から、その経験を活かした、現場において実践的に役立つ授業として実施される。						
評価方法	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。						
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修は認められないこともある。 高校までに習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。						
オフィスワ-	岡山キャンパス131研究室:春 月曜日2時限目 秋 火曜日4時限目 高梁キャンパス254研究室:春 火曜日4時限目 秋 金曜日2時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認)	講義・演習	天岡					
第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器	講義	天岡					
第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標準化・コード)	講義	天岡					
第4回 OSとアプリケーション							
第5回 ファイルシステム操作	講義	天岡					
第6回 文書作成(ワープロソフト)操作	講義・演習	天岡					
第7回 文書作成(ワープロソフト)課題	演習	天岡					
第8回 表計算ソフト操作							
第9回 表計算ソフト課題	講義・演習	天岡					
第10回 プレゼンテーションソフト操作							
第11回 プレゼンテーションソフト課題	演習	天岡					
第12回 ネットワークとインターネット	講義・演習	天岡					
第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	演習	天岡					
第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	講義・演習	天岡					
第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	講義	天岡					
第16回 単位認定試験	AL・演習	天岡					
	講義	天岡					
	講義	天岡					
	実技試験	天岡					
教科書 1	情報リテラシー 入門編<改訂版>FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	片山 章郎					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	①社会人になった時、事務処理でEXCELの活用ができる技術を身に付ける。 ②統計学の基礎を学ぶ。 以上のことを到達目標とする。						
概要	EXCELの基本と、書式や関数の使い方を説明しながら、関数を利用した処理の演習をおこなう。また事務処理でよく利用される形式の集計や計算を想定した課題問題を使って、書式や関数の設定、並びに正しい結果になっているかの検証方法などを身に付ける。 なお、課題を通して学んだ知識が定着しているか、グループ討論を導入したアクティブ・ラーニング形式の授業も実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当。ビジネスの現場で必要とされる情報処理技術について講義、演習、アクティブ・ラーニングによって学生の理解を深める。						
評価方法	課題問題の解答の提出と説明(理解度を確認するため、解答の提出と同時に、解答を導き出した過程の説明も求める。)の20%と、筆記試験の80%で評価する。 なお、評価のために実施した課題問題の解答手順は授業でフィードバックするので、しっかり復習をすること。						
履修条件・注意事項	配布されたマニュアルに基づいて予習しておくこと。 課題問題の提出後は解答に到る手順説明を求めるので、復習をしっかりとしておくこと。						
自己学習	欠席すると、授業で実施する課題問題の解答を提出できない。欠席した場合は次週の授業までに解答を提出できるよう、担当教員に教わりに行ったり、自主学習をしたりすること。 予習と復習を必ず行うこと。予習に1時間、復習に3時間程度要する。パソコンを使って、予習・復習することが望ましい。						
オフィスワ-	研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 表計算の作成手順 2. 請求書の作成①(書式や数式) 3. 請求書の作成②(関数や表の編集等) 4. 書式や関数の理解度の確認 5. 売上表の作成(データ入力) 6. 売上表の分析(ピボットテーブルとグラフ) 7. 集計やグラフの理解度の確認 8. アルバイトの勤務表の作成(日付・時間関数とデータチェック) 9. アルバイトの勤務表の分析 10. 時間関数の理解度の確認 11. アンケートデータの入力(入力規則) 12. アンケートの集計 13. 集計結果の分析 14. 統計の基本の理解度の確認 15. 総復習 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義・AL 講義 筆記試験	片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山		
教科書 1	初回授業時に情報処理Ⅱ用EXCELマニュアル(作成配布資料)を配布						
教科書 2							
参考書 1	統計の授業前に統計学の基礎の資料を配布						
参考書 2							

授業科目名	情報処理Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大谷 卓史					NO.	GE-IT-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 2. 方が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 3. 情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じるか理解できるようになる。 <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的な事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。</p> <p>主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習: 次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習: 授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。</p>						
オフィスアワー	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨ 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理・法・慣習 4 倫理とは何だろうか(1) 基本的な用語と枠組み 5 コンピューティングの歴史 コンピュータの誕生からパソコンの登場まで 6 コンピューティングの歴史 インターネット出現からIoT時代まで 7 身近な情報セキュリティ 8 メールやメッセージングアプリのセキュリティ 9 著作権の基礎 10 レポート作成の倫理問題 11 「漫画サイトが見られない」 12 個人上保護法の基礎知識 13 ポイントカードと個人情報 14 情報時代のプライバシー 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者: 土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社: アイケイコーポレーション ISBN: 4874923240</p>						
参考書 2							

授業科目名	情報処理Ⅱ	履修期	2021年度 秋学期				
担当者	今村 俊介				NO.	GE-IT-1-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>学生は、表計算ソフトExcelの応用関数や多言語OSについて理解を深め、実務に役立つ知識と技能を修得することができる。また、多言語OSの世界に触れることで情報処理活用の多面性を理解することができる。Excelの応用的な実務機能を演習形式で体得し、実務力を身につけることができる。また、情報処理Iにより情報処理の基礎やオフィスアプリケーション操作を一通り理解した学生が、さらにコンピュータを活用した社会に適応する上で必要な概念と関連技術・用語について理解を深めることができる。</p> <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p>						
概要	<p>情報処理の実務的内容として、表計算ソフトExcelの応用課題作成を行う。また、Windowsと日本語OS(B-TRON)を比較考察し、コンピュータのハードウェア・ソフトウェアと望ましい情報システムの形態を実機学習を通して理解する。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>なお、この科目は、コンピュータ・インストラクターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、実社会において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>実習を重視して進めるので、遅刻は厳禁とする。</p> <p>原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とするが、9月入学生や編入生・再履修生等については個別に対応する。</p> <p>PC台数の制限があるため、このクラス希望者全員が受講可能とならないことがある。</p> <p>各回の授業に対して予習・復習を十分におこなうこと。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがある。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと(90分)。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと(90分)。</p> <p>予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。</p>						
オフィスワ-	14号館6階個人研究室にて、火曜日2眼に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1 オリエンテーション 2 表計算 関数:条件判断 3 表計算 関数:表の参照 4 表計算 条件付き書式 5 表計算 複合グラフ 6 表計算 ブック間集計 7 表計算 ピボットテーブル 8 表計算 小テスト 9 OSの多様性 10 TRONとは何か 11 イネーブルウェアと超漢字OS 12 日本語言語プログラムとは 13 日本語言語プログラム実践基礎 14 日本語言語プログラム実践応用 15 学習範囲プレテスト 16.単位認定試験	講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 講義 講義 演習 演習 演習 演習 試験	今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村 今村		
教科書 1	よくわかる Microsoft Excel 2019応用 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-381-6						
教科書 2	「超漢字OS」「日本語言語プログラム」についてはプリントを適宜配布する。						
参考書 1	授業内で適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	英語 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	嶋村 優枝					NO.	GE-LE-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本文中で用いられる語彙と文法を正しく理解し、使えるようにする。 各章の内容を正確に読み取り、理解する。 英語で書かれた文の内容について、意見を述べるができる。							
概要	教科書を通じて、新聞や雑誌、テレビで取り上げられる内容がどのように英語で表現されるのかに着目し、生きた英語を習得する。無料ダウンロードできる教科書の音声素材を利用して、音読とリスニング能力を高める。 授業では、 ①本文リスニング後、発表者による音読と内容の説明を聞く。 ②重要語句と文法を確認し、内容を正確に理解する。 ③グループで内容についての意見を言う。 ④グループごとにまとめて、意見を発表する。 ⑤内容確認のための課題に取り組む。 ⑥課題を提出する。 ⑦提出課題は、次回の授業で返却された後、説明を聞き、復習・訂正をする。							
評価方法	課題(40%)と定期試験(50%)に発表(10%)を合計して総合的に評価する。							
履修条件・注意事項	教科書を忘れた場合は、当日学習する部分をコピーして受講する。 辞書を持ってくる。							
自己学習	予習:本文を音読する。わからない単語や成句を辞書で調べる。本文の内容を理解する。 復習:重要構文を確認する。返却された課題をやり直す。							
オフィスアワー	金曜日3限の授業前後に、教室で質問や相談に対応します。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1 インTRODクシヨ 2 眠りの素晴らしさ 1 3 眠りの素晴らしさ 2 4 塩の良し悪し 1 5 塩の良し悪し 2 6 素晴らしき水 1 7 素晴らしき水 2 8 温泉～自然の奇跡 1 9 温泉～自然の奇跡 2 10 ブルーゾーンからの健康的教訓 11 不健康な習慣 1 12 不健康な習慣 2 13 シャルウイダンス? 1 14 シャルウイダンス? 2 15 前期のまとめ 16 定期試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村					
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	英語 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	赤羽 美鳥					NO.	GE-LE-1-001
配当学科	スポーツ社会学科				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>英語で意見が多少なりとも言えるようになることを到達目標とし、コミュニケーションができるような授業、指導をします。そのためには最低限の正しい英語が言えるよう、基本的文法のおさらいと単語力、一般教養的な知識が必要となります。それを行うことにより「学生は高校までの基本的な重要文法事項をおよそ復習でき、辞書で単語を引けば、特別に難しい内容を書いている文章や専門的知識のいる内容を除けば、おおよそその文の内容を把握できる」ようになります。</p> <p>この授業に必要な最低限の単語を覚え、自宅で繰り返し自分で発音することを根気よく続けければ、これらの表現を使って学生は現在の社会の傾向や自分たちの関心や意志を伝えることができますようになります。</p>						
概要	このテキストは、よりよい生活を送る上での健康に対する習慣をいろいろな角度から取り上げています。よく新聞や雑誌、テレビで取り上げられる内容がどのように英語では表現されるのかに着目し、これらの重要な表現、言い回しを暗記すれば、伝えられるよう工夫がなされていますから、生きた英語を習得してもらうには絶好の教科書です。基本的なやり方は授業中に指導します。教科書には家で聞き取りの勉強ができるように無料でダウンロードできる特典もついていますから十分に学習することができます。						
評価方法	授業の中で課す課題と授業態度(50%)と試験(50%)で総合的に評価します。フィードバックは課題や試験のあとで詳しい要点をまとめたものを配布することで行いたい。						
履修条件・注意事項	個人によって高校までの(特に文法の理解度)習得の差はあると思いますが、次の時間に何を講義するかを前の授業のときに言うておきますので、高校のときの参考書をもう一度ひもといてあらかじめ文法的予習をしておいてもらい、テキストの単語も辞書で引いて自分なりの訳を書いてくることを前提とします。授業のときにはできる限り辞書を携帯して下さい。またCDを使って一日に何度か習ったところを聴く習慣をつけてもらいたいと思っています。読む、聴くことを中心に総合的な力をつけていくので、積極的な姿勢で授業に臨んで下さい。						
自己学習	履修の段階でこれまでの中学、高校の実力の差があると思うので参考書で丹念に文法事項を確認しながら各自で訳をやってきてください。それが終わったら、さらに実力をつけたい人は教科書の最初のページに音声ファイルがダウンロード無料でできるとあり、やり方を書いていますので各自でダウンロードして聞き取りの練習を行って下さい。また履修事項にもありますが予習、復習をそれぞれ2時間程度は行って下さい。そうすればかなり英語ができるようになるはずですよ。						
オフィスアワー	金曜日の2,3時限に来ています。質問のある方は、授業の前後に遠慮なくどうぞ。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1 イントロダクション 2 眠りの素晴らしさ 1 3 眠りの素晴らしさ 2 4 塩の良し悪し 1 5 塩の良し悪し 2 6 素晴らしき水 1 7 素晴らしき水 2 8 温泉～自然の奇跡 1 9 温泉～自然の奇跡 2 10 ブルーゾーンからの健康的教訓 11 不健康な習慣 1 12 不健康な習慣 2 13 シャルウィダンス? 1 14 シャルウィダンス? 2 15 前期のまとめ 16 筆記試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽					
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	嶋村 優枝					NO.	GE-LE-1-002	
配当学科	スポーツ社会			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本文中で用いられる語彙と文法を正しく理解し、使えるようにする。 各章の内容を正確に読み取り、理解する。 英語で書かれた文の内容について、意見を述べるができる。							
概要	教科書を通じて、新聞や雑誌、テレビで取り上げられる内容がどのように英語で表現されるのかに着目し、生きた英語を習得する。教科書の無料ダウンロードできる音声素材を利用して、音読とリスニング能力を高める。 授業では、 ①本文リスニング後、発表者による音読と内容の説明を聞く。 ②重要語句と文法を確認し、内容を正確に理解する。 ③グループで内容についての意見を言う。 ④グループごとにまとめて、意見を発表する。 ⑤内容確認のための課題に取り組む。 ⑥課題を提出する。 ⑦提出課題は、次回の授業で返却された後、説明を聞き、復習・訂正をする。							
評価方法	課題(40%)と定期試験(50%)に発表(10%)を合計して総合的に評価する。							
履修条件・注意事項	教科書を忘れた場合は、当日学習する部分をコピーして受講する。 辞書を持ってくる。							
自己学習	予習:本文を音読する。わからない単語や成句を辞書で調べる。本文の内容を理解する。 復習:重要構文を確認する。返却された課題をやり直す。							
オフィスアワー	金曜日3限の授業前後に教室で質問や相談に対応します。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1 砂糖のお話 1 2 砂糖のお話 2 3 コンパニオン・アニマル 1 4 コンパニオン・アニマル 2 5 音楽と医療 1 6 音楽と医療 2 7 傾聴のすすめ 1 8 傾聴のすすめ 2 9 共食の時代 1 10 共食の時代 2 11 おひとり様かひとりぼっちか 12 自分を信じて 1 13 自分を信じて 2 14 著者からのメッセージ 15 後期のまとめ 16 定期試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村 嶋村
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	英語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤羽 美鳥					NO.	GE-LE-1-002
配当学科	スポーツ社会学科			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>英語で意見が多少なりとも言えるようになることを到達目標としているため最低限の正しい英語が言えるよう、基本的文法のおさらいと単語力、一般教養的な知識をつけることが学習のテーマです。</p> <p>それを行うことにより「学生は高校までの基本的な文法事項を復習でき、そのうえで辞書で単語を引けば、特別に難しい内容を書いている文章や専門的知識のいる内容以外なら、おおよその文の内容を把握できる」ようになります。</p> <p>英語の基本的な習得はもちろん、自分たちを見つめるきっかけをテキストの内容から自然と考えるようになるでしょう。</p> <p>この授業で必要な最低限の単語を覚え、繰り返し自分で発音することを続ければ、これらの表現を使って学生は現在の世の中の傾向や自分たちの考えを伝えることができるようになります。</p>						
概要	このテキストは、よりよい生活を送るため、あらゆる側面からの健康的習慣が取り上げています。よく耳にする内容からあまり知られていないものまで、どのように英語で表現されているのかに着目してください。みなさんが意思や考えを伝えられるよう工夫がなされていますから、生きた英語を習得してもらうには絶好の教科書です。基本的なやり方は授業中に指導します。教科書には家で聞き取りの勉強ができるように無料でダウンロードできる特典もついていますから十分に学習することができます。						
評価方法	授業の中で課す課題と授業態度(50%)と試験(50%)で総合的に評価します。フィードバックは試験のあとで主要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたい。						
履修条件・注意事項	個人によって高校までの(特に文法の理解度)習得の差はあると思いますが、次の時間に何を講義するかを前の授業のときに言っておきますので、高校のときの参考書をもう一度ひもといてあらかじめ文法的予習をしておいてもらい、テキストの単語も辞書で引いて自分なりの訳を書いてくることを前提とします。授業のときにはできる限り辞書を携帯して下さい。またCDを使って一日に何度か習ったところを聴く習慣をつけてもらいたいと思っています。読む、聴くことを中心に総合的な力をつけていくので、積極的な姿勢で授業に臨んで下さい。						
自己学習	履修の段階でこれまでの中学、高校の実力の差があると思うので参考書で丹念に文法事項を確認しながら各自で訳をやってきてください。それが終わったら、さらに実力をつけたい人は教科書の最初のページに音声ファイルがダウンロード無料でできるとあり、やり方を書いていますので各自でダウンロードして聞き取りの練習を行って下さい。						
オフィスアワー	金曜日の2,3時限に来ています。質問のある方は、授業の前後に遠慮なくどうぞ。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1 砂糖のお話 1 2 砂糖のお話 2 3 コンパニオン・アニマル 1 4 コンパニオン・アニマル 2 5 音楽と医療 1 6 音楽と医療 2 7 傾聴のすすめ 1 8 傾聴のすすめ 2 9 共食の時代 1 10 共食の時代 2 11 おひとり様かひとりぼっちか 12 自分を信じて 1 13 自分を信じて 2 14 著者からのメッセージ 15 後期のまとめ 16 筆記試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽 赤羽
教科書 1	Healthy Habits for a Better Life 著者:Joan McConnell Kiyoshi Yamauchi 出版社:Seibido(成美堂) ISBN:ISBN978-4-7919-7229-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-2-003
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>実践的な英語運用能力を養うことが目標です。映画を鑑賞しながらスクリプトを全訳していきます。名作と言われている映画を1年かけて勉強します。基本的に日本人に優しく作られた英語ではないので、早くて最初はわからない学生もいるかもしれませんが、しっかりと予習、復習すれば会話文ですから理解できるようになります。</p> <p>英語の実力は学生それぞれだと思いますから、ある程度は学生の能力に応じて理解できる分だけ理解できればよいと考えていますので、自分の実力より少しだけ高い内容が理解できるようになります。</p> <p>ただ短い、よく出てくる表現や言い回しはみなさん全員が身につくよう指導していきますので、予習、復習を万全にして授業に臨めば学生諸君は基本的な日常生活に使える表現の多くが言えるようになります。</p>						
概要	<p>みなさんをご存知のアメリカで制作された名作「タイタニック」です。日本人向けにしゃべっている英語ではないですが、場面から、あるいは文法から英語が把握できるところも結構あります。推測しながら、勘を働かせながら、理解することも大切です。根拠のない勘ではなく、ある程度根拠のある勘を働かせて聞いていく理解の仕方も学んでもらいます。</p>						
評価方法	<p>授業での発表や課題が70%、試験30%で総合的に判断します。フィードバックは試験のあと、重要な要点をまとめたものを配布することで行いたい。</p>						
履修条件・注意事項	<p>復習を中心に勉強を進めてもらいます。ストーリーが見えると非常に面白い授業になりますから、遅刻、欠席しないよう授業に臨んで下さい。特にスラング辞典等を用意する必要はありません。特別な表現はこちらで解説いたします。できるだけ短い表現はその都度覚えるようにしてください。</p>						
自己学習	<p>授業で習った文章をとにかく口に出して言うことに全力をあげてください。必ず授業で習った意味をちゃんと理解しながら。(これに2時間程度は毎週費やして下さい。また時間があればいつでも実践して下さい。ほんの少しの時間で結構です。)予習としては次の授業でやるプリントを丹念に辞書を引き、訳をとってもらおうこととします。一回の予習におよそ1時間半から2時間程度でできる分量です。</p>						
オフィスアワー	水曜日の3限に研究室(2号館6階)で対応します。授業と重なる人は相談して下さい。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 オリエンテーション 2 The woman in the picture 3 不沈船と呼ばれたタイタニック 4 Back to Titanic 5 ホープダイヤモンド 6 leaving port 7 不沈のモリーブラウン 8 Don't do it 9 沈没船から生還した船員 10 Do you love him? 11 船内の石炭運搬人と機関員 12 I can't see you 13 船名の由来 14 I'm flying! 15 船舶に女性代名詞を使う理由 16 単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見				
教科書 1	Learning English with Titanic 出版社:SEIBIDO ISBN:ISBN978-4-7919-6024-8						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	英語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	平見 勇雄					NO.	GE-LE-2-004
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>一年を通して実践的な英語運用能力を養うことが目標です。スクリプトを全訳していき、会話文を勉強しますが聴きやすいきれいな英語、そうではない英語と、少し英語のバリエーションにも気付いてもらえると思います。しかし何度も聴けば学生のみなさんは短い英文ですから理解できるようになります。</p> <p>前期にも書きましたが、英語の実力は学生それぞれ違うと思いますから、自分の能力に応じて理解できるだけ自分のものにしていて下さい。また自分の今の実力より少しだけ高い内容が理解できるよう指導します。</p> <p>ただ短い、よく出てくる表現や言い回しは全員が身につくようにして欲しいと思いますので、そのつもりで授業に臨んでもらいます。</p>						
概要	<p>1997年、アメリカで制作された名作の「タイタニック」で、前期の続きです。後期のストーリーはいろんなことを考えさせてくれる場面が続きます。おそらく多くの学生がストーリーに引き込まれ次がどうなっていくのが楽しみになって授業に臨むことができるでしょう。人間が持つ感情は何十年と経ち時代が変わっても変わらないことも知ってもらえると思います。英語の実力をつけることはもちろん、内容からいろいろなことが学べる教材です。</p> <p>前期同様、場面から、あるいは文法から内容、あるいは英語が把握できることも多々あります。推測しながら、勘を働かせ、理解することを前期同様に続けてもらいます。何度も言うようですが、根拠のない勘ではなく、ある程度根拠のある勘を働かせて聞いていく理解の仕方でも学んでもらいます。一本の映画のスクリプトを詳しく読み込み終えることで達成感を味わえるはずです。</p>						
評価方法	授業での発表70%、試験30%で総合的に判断します。フィードバックは試験のあとで要点を詳しく解説したプリントを配布することで行います。						
履修条件・注意事項	復習を中心に勉強を進めてもらいます。ストーリーが見えると非常に面白い授業になりますから、遅刻、欠席しないよう授業に臨んで下さい。特にスラング辞典等を用意する必要はありません。特別な表現はこちらで解説いたします。できるだけ短い表現はその都度覚えるようにしてください。						
自己学習	<p>復習としては授業で訳した短い会話文を何度も声を出して読んだり、友人とペアになる機会があれば役を決めておたがいで再現することをやってください。とにかく繰り返しが多ければ多いほど多くのものが頭に残っていくと思います。意味を考えながら発音する癖をつけて下さい。予習は単語を辞書で引き、場面をイメージしながら会話文を楽しむようにして意味を取って下さい(約2時間程度)。復習は配布したプリントを何度も声を出して自分のものにして下さい(これも2時間程度)。</p> <p>試験が終わったあとに試験の解説をします。なぜ間違ったのかをそこで確認できるようしっかりした態度で試験に臨んで下さい。</p>						
オフィスワ-	水曜日の3限に研究室(2号館6階)にて対応します。授業で来られない人はご相談下さい。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1 前期の復習 2 Iceberg right ahead 3 タイタニック号と衝突した氷山 4 An honest thief 5 沈没を予言した小説 6 Goodbye, Mother 7 沈没まで演奏し続けた楽団 8 Get in the boat 9 遺品にまつわる逸話 10 Two tragic bullets 11 マードック一等航海士の実像 12 Promise me 13 避難時に起きた恥ずべき行為 14 Rose's secret 15 日本人の生存者 16 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記	平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見		
教科書 1	Learn English with Titanic 著者: Teruhiko Kadoyama Simon Capper 出版社: SEIBIDO ISBN: ISBN978-4-7919-6024-8						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次				NO.	GE-LF-1-001	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」をテーマとし、大学で始めて第二外国語としてフランス語を学ぶ学生が、初歩的なコミュニケーション技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ。日常的によく使われるフランス語の例文を覚えて話せるようになることを目標とする。						
概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が説明され、できるだけ実用的な語彙が自然に覚えられるようになっていく。						
評価方法	「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した口頭試験の課題は、各授業で繰り返し練習することになるが、筆記試験としての単位認定試験まででそれらを書けるようにしておくことが求められる。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるように予習してくる。また、単位認定試験に向けてそれらを書けるように練習すること。耳と口と手で繰り返し練習することが求められるので要注意。						
自己学習	毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各2時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。その成果は、各週の口頭試験と最終週の単位認定試験(筆記)で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. アルファベットの発音・綴り字 2. 挨拶の表現 3. お元気ですか？ 4. 私は日本人です。 5. お願いします。 6. ありがとう。すみません。 7. 名前・歳を尋ねる 8. それは何ですか？ 9. ～が欲しいのですが。 10. ～が好きです。 11. ～はありますか？ 12. ～はできますか？ 13. ～するつもりです。 14. ～しなければなりません。 15. 場所・時を尋ねる 16. 単位認定試験		講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次				
教科書 1	ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵(著) 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語で会話を楽しむことができる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。						
概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう。						
評価方法	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、最終的には、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰを履修していること。						
自己学習	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 綴字の読み方復習 2. ホテルに泊まる 3. 部屋・浴室にあるもの 4. 街を歩く 5. 交通手段を使う 6. 衣服を買う 7. アクセサリーを買う 8. 料理・飲み物の語彙 9. レストランで注文する 10. 食品に関わる語彙 11. マルシェに行く 12. 体の部分・病院 13. 時刻の表現を覚える 14. 季節・天気 15. よく使う形容詞 16. 単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次		
教科書 1	ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-2-003
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「フランス語会話ができるようになる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。						
概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。						
評価方法	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。						
履修条件・注意事項	毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくるよう注意すること。						
自己学習	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。						
オフィスアワー	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. あいさつ 2. 発音 3. 性と数 4. 前置詞 5. 規則動詞 6. 形容詞 7. 否定 8. 命令 9. 疑問 10. 副詞 11. 疑問副詞 12. 疑問代名詞 13. 不規則動詞 14. 所有形容詞 15. 疑問形容詞 単位認定試験	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次					
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	フランス語Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	加藤 健次					NO.	GE-LF-2-004	
配当学科	全学共通				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	「フランス語で会話を楽しむことができる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。							
概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう。							
評価方法	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。							
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること。							
自己学習	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる。							
オフィスワ-	木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 動詞allerとvenirの活用 2. 近接未来と近接過去 3. 命令形、否定表現 4. 疑問代名詞 5. 疑問副詞 6. 指示代名詞 7. 関係代名詞 8. 過去分詞 9. 直説法複合過去 10. 補語人称代名詞の語順 11. 比較級と最上級 12. 非人称構文 13. 直説法半過去 14. 直説法大過去 15. まとめの問題 16. 単位認定試験			講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記	加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次	
教科書 1	新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:リサーチ出版 ISBN:978-4863924987							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	ドイツ語 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	<p>本学におけるドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)」5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な第一歩となっていることをまず理解する必要がある。「ドイツ語 I」の授業では、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得する。そのことによって「ドイツ語 I」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。</p>								
概要	<p>この講義は、ドイツ語の初学者を対象としている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回の授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、会話文や読本部分、それに練習問題については、学生の事前の準備・学習が前提となっている。</p>								
評価方法	<p>予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。</p>								
履修条件・注意事項	<p>語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。</p>								
自己学習	<p>ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。</p>								
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション、ドイツ語の発音 2. 動詞の規則変化 3. 名詞の性 4. 名詞の複数形 5. 動詞の不規則変化 6. 定冠詞・不定冠詞 7. 命令形 8. 前置詞 9. 人称代名詞 10. 並列接続詞 11. 話法の助動詞 12. 未来の助動詞 13. zu不定詞 14. 形容詞の用法 15. 形容詞の格変化 16. 単位認定試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水					
教科書 1	<p>プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0</p>								
教科書 2									
参考書 1	<p>文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:ISBN-10: 481635137X </p>								
参考書 2									

授業科目名	ドイツ語Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-1-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	ドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)Ⅴ級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な一歩となっている。「ドイツ語Ⅱ」では主に日常的な会話表現に触れながら、ドイツ語の基礎的な文法事項についての理解をさらに深めることにより、この授業の終了時には、学生は平易な日常会話レベルでの様々な表現がある程度読んだり、話せたり、聞き取ったりできるようになる。							
概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣やお祭り、社会問題などにも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。							
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているので、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。							
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。							
自己学習	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。							
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. 形容詞の比較変化 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 4. 動詞の3基本形 5. 過去形 6. 現在完了形 7. 従属接続詞 8. 副文 9. 再帰代名詞、再帰動詞 10. 分詞 11. 定関係代名詞 12. 不定関係代名詞 13. 動作受動 14. 状態受動 15. 接続法 16. 単位認定試験				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水
教科書 1	プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0							
教科書 2								
参考書 1	文法からマスター! はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X							
参考書 2								

授業科目名	ドイツ語Ⅲ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-003	
配当学科	全学共通				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。							
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。							
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。							
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるものである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。							
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。							
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1. オリエンテーション 2. 動詞の現在人称変化 3. 出会いと自己紹介 4. 名詞の性と格 5. 家族について尋ねる 6. 不規則動詞、命令形 7. 明日の予定を尋ねる 8. 定冠詞、不定冠詞 9. 買い物に行く 10. 複数形 11. 本を探す 12. 前置詞 13. 週末の予定を尋ねる 14. 形容詞の格変化 15. 趣味について尋ねる 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水						
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06420-7							
教科書 2								
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X							
参考書 2								

授業科目名	ドイツ語Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	清水 光二					NO.	GE-LG-2-004
配当学科	全学共通			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。						
概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。						
評価方法	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。						
自己学習	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 話法の助動詞 2. 昼食を食べに行く 3. 分離動詞、複文 4. 駅の窓口で尋ねる 5. zu不定詞 6. 休暇の計画を尋ねる 7. 動詞の3基本形 8. 旅の体験を語る 9. 過去形、現在完了形 10. ワイマールにて 11. 受動態 12. 意見を交換する 13. 関係代名詞 14. お別れ会 15. 接続法 16. 単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験	清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水		
教科書 1	パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-255-25428-9 C1084						
教科書 2							
参考書 1	文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-560-06420-7						
参考書 2							

授業科目名	中国語 I			履修期	2021年度 春学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-1-001	
配当学科	スポーツ社会			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(入門篇)する。中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を、読んだり聞き取ったりすることができるようになる。							
概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、発音の練習と並行して、初級文法、簡単な日常会話、応用のきく句型などを習得する。							
評価方法	テーマ「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を、読んだり聞き取ったりすることができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	単母音について	講義	孫基然					
第2回	複母音について	講義	孫基然					
第3回	子鼻母について	講義	孫基然					
第4回	鼻母音と音節について	講義	孫基然					
第5回	発音のまとめについて	講義	孫基然					
第6回	小テストについて	講義	孫基然					
第7回	判断文について	講義	孫基然					
第8回	人称代名詞、指示代名詞	講義	孫基然					
第9回	所在表現、所有表現	講義	孫基然					
第10回	連動文、助詞「了」	講義	孫基然					
第11回	存在の表現について	講義	孫基然					
第12回	前置詞「比」、結果補語	講義	孫基然					
第13回	方位詞、量詞について	講義	孫基然					
第14回	動詞の重ね方について	講義	孫基然					
第15回	願望助動詞について	講義	孫基然					
第16回	定期試験	筆記試験	孫基然					
教科書 1	シンプルチャイニーズ北京文法篇 著者:早稲田大学理工学術院中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45307-1							
教科書 2								
参考書 1	中国語初めの一步 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06925-7							
参考書 2								

授業科目名	中国語 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	路 玉昌					NO.	GE-LC-1-001	
配当学科	アニメ・スポ社				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能の習得(入門編)。中国語を約2年間学んだ学生が2年次秋期の3月に「中国語検定試験」準4級を受験できるレベルに到達するために段階的に到達目標を設定している。中国語 I では、初めて中国語を学ぶ学生諸君を対象に、聞く・話す・読む・書くといった、総合的な中国語力の基礎づくりを目標とする。まず発音を完全にマスターする。その後、発音の練習と並行して、初級文法、簡単な日常会話、応用のきく文型などを習得する。本講義のラーニングアウトカムズは「コミュニケーション・スキル」と「多文化・異文化理解」である。							
概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。							
評価方法	日頃のテスト、予習、復習、発言などの参加姿勢(30%)、単位認定試験の成績(70%)で評価する。詳しい評価方法は初回の授業時に説明する。なお、実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、次の学習に生かしておくこと。							
履修条件・注意事項	必ずテキストを購入し、それを毎回教室に持ってくる。持ってくるのを忘れた場合は、誰かから借りて該当部分をコピーして教室に持ってくること。							
自己学習	予習として、毎回の授業計画に記載されている部分について事前に繰り返しCDを聴きながら単語や本文などを覚えたり、文法事項を理解したりして授業を受けること。復習として、出された課題をしっかりとやってきて次回の授業時に提出したり(または発表したり)すること。予習および復習には、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.第1課(発音Ⅰ 声調、単母音、複母音) 3.第2課(発音Ⅱ 子音、そり舌音) 4.第3課(発音Ⅲ 鼻音を伴う母音) 5.第4課(動詞述語文、人称代名詞など) 6.第4課(会話の練習と復習) 7.第4課(第4課の総合練習) 8.中国映画鑑賞 9.第5課(指示代名詞、疑問詞疑問文など) 10.第5課(会話の練習と復習) 11.第5課(第5課の総合練習) 12.第6課(“有”の用法、連動式文など) 13.第6課(会話の練習と復習) 14.第6課(第6課の総合練習) 15.春学期内容の復習 16.筆記試験		講義 筆記試験	路玉昌 路玉昌					
教科書 1	ベーシック 友子の北京ライフ 著者:李志華・文南 出版社:白帝社 ISBN:978-4-89174-905-7							
教科書 2								
参考書 1	初回の授業時に紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	中国語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-1-002
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能の習得(基礎編)。中国語を約2年間学んだ学生が2年次秋期の3月に「中国語検定試験」準4級を受験できるレベルに到達するために段階的に到達目標を設定している。 中国語Ⅱでは、前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準4級の獲得へつなげていくことを目標とする。 本講義のラーニングアウトカムズは「コミュニケーション・スキル」と「多文化・異文化理解」である。						
概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。						
評価方法	テーマ「中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(入門篇)する。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1、疑問詞疑問文1 2、的の使い方 3、疑問詞疑問文2 4、形容詞の文 5、数字 6、小テス 7、日付、時刻 8、完了 9、介詞1 10、疑問詞疑問文3 11、時間量 12、介詞2 13、過去 14、助動詞1 15、助動詞2 16、定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然		
教科書 1	シンプルチャイニーズ北京文法篇 著者:早稲田大学理工学術院中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45307-1						
教科書 2							
参考書 1	中国語初めの一步 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06925-7						
参考書 2							

授業科目名	中国語Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	路 玉昌					NO.	GE-LC-1-002
配当学科	アニメ・スポ社			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能の習得(基礎編)。中国語を約2年間学んだ学生が2年次秋学期の3月に「中国語検定試験」準4級を受験できるレベルに到達するために段階的に到達目標を設定している。 中国語Ⅱでは、春学期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準4級の獲得へつなげていくことを目標とする。 本講義のラーニングアウトカムズは「コミュニケーション・スキル」と「多文化・異文化理解」である。						
概要	基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。毎回必ず課題として出された単語や基本構文を暗唱したり、練習したりする。						
評価方法	日頃のテスト、予習、復習、発言などの参加姿勢(30%)、単位認定試験の成績(70%)で評価する。なお、実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、次の学習に生かしておくこと。						
履修条件・注意事項	必ずテキストを購入し、それを毎回教室に持ってくる。持ってくるのを忘れた場合は、誰かから借りて該当部分をコピーして教室に持ってくる。						
自己学習	予習として、毎回の授業計画に記載されている部分について事前に繰り返しCDを聴きながら単語や本文などを覚えたり、文法事項を理解したりして授業を受けること。復習として、出された課題をしっかりとやってきて次回の授業時に提出したり(または発表したり)すること。予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション(前期の総括) 2.第7課(動作の進行を表す“在”など) 3.第7課(完了を表す“了”など) 4.第7課上(会話の練習と復習) 5.第8課(時刻の言い方、連動式文など) 6.第8課(会話と復習) 7.第8課(会話と復習) 8.中国映画の鑑賞 9.第9課(“是…的”文、経験を表す“過”など) 10.第9課(会話と復習) 11.第9課(会話と総合練習) 12.第10課(持続を表す“着”、動詞の重ね型の文など) 13.第10課(会話と復習) 14.第10課(会話と復習) 15.秋学期内容の復習 16.筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌 路玉昌		
教科書 1	ベーシック 友子の北京ライフ 著者:李 志華・文南 出版社:白帝社 ISBN:978-4-89174-905-7						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	中国語Ⅲ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-003	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(助動詞“得” 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頴、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	中国語さらなる一歩 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
参考書 2								

授業科目名	中国語IV			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	孫 基然					NO.	GE-LC-2-004	
配当学科	スポーツ社会・心理学部			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。							
概要	1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。							
評価方法	テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(可能動詞“得”と助動詞“得”) 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:龍頰、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1							
教科書 2								
参考書 1	2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頰、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06910-3							
参考書 2								

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠					
教科書 1	レベルアップトレーニング文法N2 著者:坂本勝信 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2210-0						
教科書 2							
参考書 1	日本語パワードリル N2 文字・語彙 著者:松浦 真理子(他) 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 第25課 3. 第25課 4. 第28課 5. 第28課 6. 第31課 7. 第31課 8. 第34課 9. 第34課 10. 第37課 11. 第37課 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ 15. 総括 16. 単位認定試験		授業または講義 および演習 試験は筆記試験	井上	1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験		授業は講義および演習 試験は筆記試験	井上
教科書 1	日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福本 苗				NO.	GE-LJ-1-001	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.複合語として使われる言葉 7.名詞を使った言葉 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.N2対策 文字・語彙・文法 11.N2対策 文字・語彙・文法 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本					
教科書 1	新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0						
教科書 2							
参考書 1	ISBN:						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-1-001
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)や読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、休憩時間						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.文法1課:～とき・～直後に 3.文法2課:～している(進行中) 4.文法3課:～後で 5.文法4課:範囲の始まりと終わり・その間 6.読解①[対比]ほかのものと比べる 7.読解②[言い換え]ほかの言葉で言い換える 8.読解③[比喩]ほかのものにととえる 9.読解④[疑問提示文]疑問文を使って話題を提示する 10.中間テスト(文法1～4課) 11.文法5課:～だけ 12.文法6課:～だけではなく、それに加えて 13.文法7課:～について、～を相手にして 14.文法8課:～を基準にして 15.文法9課:～に関連して、～に対応して 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)				
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク						
教科書 2	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	日笠 恵美子					NO.	GE-LJ-1-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試	日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	磯 永二				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験	講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法は	担当者	秋学期授業計画	授業方法は	担当者		
1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験	授業または講義 および演習 試験は筆記試験	井上	1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験	授業は講義および演習 試験は筆記試験	井上		
教科書 1	日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7						
教科書 2							
参考書 1	ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム						
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	福本 苗				NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.N2対策 文字・語彙・文法 7.N2対策 文字・語彙・文法 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.複合語として使われる言葉 11.名詞を使った言葉 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本		
教科書 1	新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-1-002	
配当学科	全学共通(留学生)				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。							
概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。							
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。							
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。							
ワイアワ-								
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
			1.オリエンテーション 2.11課 ～に関係なく・無視して 3.12課 強く否定する・強く否定しない 4.13課 ～(話題)は 5.14課 ～けれど 6.15課 もしそうなら・たとえそうでも 7.【中間テスト】11～15課 8.中間テストの解説 9.16課 ～だから(理由)(1) 10.17課 ～だから(理由)(2) 11.18課 できない・困難だ・できる 12.19課 ～を見て評価すると・～の立場で評価すると 13.20課 結果はどうなったか 14.21課 強く言う・軽く言う 15.22課 ～だろうと思う 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)			
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク							
教科書 2	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	日本語ⅡA				履修期	2021年度 春学期			
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-2-003		
配当学科	全学共通				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。								
概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。								
評価方法	単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。								
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。								
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。								
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 1課 時間関係 3. 2課 範囲の始まり・限度 4. 3課 限定・非限定・付加 5. 4課 例示 6. 5課 関連・無関係 7. 6課 様子 8. 【中間テスト】1～6課 9. 中間テストの解説 10. 7課 付随行動 11. 8課 逆接 12. 9課 条件 13. 10課 逆接条件 14. 11課 目的・手段 15. 12課 原因・理由 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋)					
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640								
教科書 2	日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	日本語ⅡB				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	大下 朋子					NO.	GE-LJ-2-004	
配当学科	全学共通				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。							
概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。							
評価方法	単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。							
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスワ-	月曜日3限目(2号館255研究室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1.オリエンテーション 2. 8課 逆接 3. 9課 条件 4. 10課 逆接条件 5. 11課 目的・手段 6. 12課 原因・理由 7. 【中間テスト】8～12課 8. 中間テストの解説 9. 13課 可能・不可能・禁止 10. 14課 話題・評価の基準 11. 15課 比較対照 12. 16課 結末・最終の状態 13. 17課 強調 14. 18課 主張・断定 15. 19課 評価・感想 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下	
教科書 1	新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640							
教科書 2	日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671							
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	応用日本語 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・ I A、応用日本語 I 秋春・ I A、日本語研究 I 秋春・ I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。</p> <p>中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>						
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>						
オフィスワ-	<p>授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上		
教科書 1	著者: 出版社: ISBN:						
教科書 2	著者: 出版社: ISBN:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 第4課(2)学習項目と練習 7. 第4課(3)本文、作文 8. 第7課(1)学習項目と練習 9. 第7課(2)学習項目と練習 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(2)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにする。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎的な文法を主に扱うのでN2レベルの授業ではない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.試験 積極的参加型授業を行うため各課で学ぶ文型について事前に文を作って発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。	講義 試験	久保田 久保田	.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 試験	久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレジメントテストを受験すること。プレジメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括で登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレジメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 統合理解問題 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583						
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-005	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p>						
オフィスアワー	クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。							
教科書 1	留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3						
教科書 2							
参考書 1	はじめの日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5						

授業科目名	応用日本語 I A			履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-005
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。					
概要	中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。					
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。					
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>					
自己学習	自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。					
オフィスワ-	授業の後、休み時間に質問を聞きます。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1. オリエンテーション 2. 文法14課 3. 文法15課 4. 文法16課 5. 文法17課 6. 読解① 7. 読解② 8. 読解③ 9. 読解④ 10. 中間テスト(14課～17課) 11. 文法18課 12. 文法19課 13. 文法20課 14. 文法21課 15. 文法22課 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上「 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験	1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上	
教科書 1	『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者:友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-610-4					
教科書 2	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-88319-610-4					
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・ I A、応用日本語 I 秋春・ I A、日本語研究 I 秋春・ I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。						
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。						
自己学習	積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	著者: 出版社: ISBN:						
教科書 2	著者: 出版社: ISBN:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 第4課(2)学習項目と練習 10. 第4課(3)本文、作文 11. 第7課(1)学習項目と練習 12. 第7課(2)学習項目と練習 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(1)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西		
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I B、応用日本語 I B、日本語研究 I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎的な文法を主に扱うのでN2レベルの授業ではない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.試験 積極的参加型授業を行うため各課で学ぶ文型について事前に文を作って発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。	講義 試験	久保田 久保田	.オリエンテーション/23課 2.23課 3.26課(1) 4.26課(2) 5.29課(1) 6.29課(2) 7.32課(1) 8.32課(2)(中間テストを行う場合もある) 9.35課(1) 10.35課(2) 11.38課(1) 12.38課(2) 13.41課(1) 14.41課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 試験	久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	<p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人と同様に外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業後、教室にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 内容理解(短文) 3. 内容理解(短文) 4. 内容理解(中文) 5. 内容理解(中文) 6. 内容理解(長文) 7. 内容理解(長文) 8. 統合理解 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索 14. 情報検索 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西		
教科書 1	新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583						
参考書 2							

授業科目名	応用日本語 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p>						
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p>						
オフィスアワー	クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。							
教科書 1	留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3						
教科書 2							
参考書 1	はじめての日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5						

授業科目名	応用日本語 I B			履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵				NO.	GE-LJ-1-006
配当学科	全学共通(留学生)			年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。					
概要	中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。					
評価方法	授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。					
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p>					
自己学習	自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。					
オフィスワ-	授業の後、休み時間に質問を聞きます。					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
1. オリエンテーション 2. 第1課 本文と問題、漢字 3. 第2課 本文と問題、漢字 4. 第3課 本文と問題、漢字 5. 第4課 本文と問題、漢字 6. 第5課 本文と問題、漢字 7. 第6課 本文と問題、漢字 8. 第7課 本文と問題、漢字 9. N2直前試験対策 読解 10. N2直前試験対策 読解 11. N2直前試験対策 読解 12. 第8課 本文と問題、漢字 13. 総復習 14. まとめ 15. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上	1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験	1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験	1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上	
教科書 1	『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者: 友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-4-88319-610-4					
教科書 2	『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者: 伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-88319-610-4					
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	応用日本語ⅡA			履修期	2021年度 春学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-2-007
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。						
概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。						
評価方法	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 中間テスト・テストの解説 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西					
教科書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0						
教科書 2							
参考書 1	新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子 他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0						
参考書 2							

授業科目名	応用日本語ⅡB			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	小西 真弓					NO.	GE-LJ-2-008
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。						
概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。						
評価方法	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(長文) 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 日本語能力試験対策 10. 内容理解問題(長文) 11. 統合理解問題 12. 統合理解問題 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西		
教科書 1	日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0						
教科書 2							
参考書 1	新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。N2に合格してはじめて日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 N2合格には相当の覚悟が必要である。						
オフィスワ-	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 確認演習	講義・演習	磯					
2. 実践練習 課題理解① 1～10	講義・演習	磯					
3. 実践練習 課題理解② 11～20	講義・演習	磯					
4. 実践練習 ポイント理解① 1～9	講義・演習	磯					
5. 実践練習 ポイント理解② 10～18	講義・演習	磯					
6. 実践練習 概要理解① 1～10	講義・演習	磯					
7. 実践練習 概要理解② 11～20	講義・演習	磯					
8. 1～7総復習	演習	磯					
9. 実践練習 即時応答① 1～26	講義・演習	磯					
10. 実践練習 即時応答② 追加問題	講義・演習	磯					
11. 実践練習 即時応答③ 追加問題	講義・演習	磯					
12. 実践練習 統合理解① 1～5	講義・演習	磯					
13. 実践練習 統合理解② 6～10	講義・演習	磯					
14. 第1回模擬試験問題	演習	磯					
15. 第2回模擬試験問題	演習	磯					
16. 単位認定試験							
教科書 1	日本語能力試験問題集N2聴解スピードマスター 著者: 棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり 出版社: Jリサーチ ISBN: 978-4-86392-057-6						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語 I ・応用日本語 I ・日本語研究 I の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することもできる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできる」ようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～5クラスに編成される。 日本語 I 秋・応用日本語 I 秋・日本語研究 I 秋の3科目ともに同クラスで受講すること。 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>						
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>						
オフィスワ-	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上					
教科書 1	日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6						
教科書 2	『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A				履修期	2021年度 春学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-009
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業では、主に聴解の力を伸ばします。 学生は、N2レベルの問題演習を解くことで、日本語のヒアリングの能力と聞き取れる単語を増やします。						
概要	毎回、文法の力をつけるためにプリントを解き、その学習内容が記憶できているかどうかを確認する小テストを行います。また、授業中の聴解の練習によって日本語能力試験N2レベルの語彙力・聴解力を身に着けます。						
評価方法	試験(60%)、小テストと宿題の提出など(20%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期ごとに実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語1A/応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 ⑥ 副教材は、プリントで対応する。						
自己学習	毎回、指示された箇所を授業前に解答してくる。時間的には2時間程度の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間程度の復習が必要となる。						
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間などに質問に答えます。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験	演習	井上	1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上		
教科書 1	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 聴解』 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	著者: 出版社:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I A			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-LJ-1-009	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津					
教科書 1	日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究ⅠB				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-1-010
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力を身につけ、日本語力向上を目指すなかで、本授業では聴解能力の向上を目指す。 N2レベルの音声何度も聞くことにより、言葉づかいやスピードに慣れていくことができる。 さらに語彙や文法文字についても学び、加えて会話練習も行い、N2合格のみならず、充実した大学生活を送るための日本語力を身につけることができる。						
概要	この授業は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～5クラスに編成される。 ② 日本語Ⅰ秋・応用日本語Ⅰ秋・日本語研究Ⅰ秋の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション 確認演習 2. 文法演習 第1章1 3. 第1章 2, 3 4. 第1章 4, 5 5. 第2章 1, 2 6. 第2章 3, 4 7. 第2章 5, 6, 7 8. 総復習演習 ① 9. N2対策演習1 10. N2対策演習2 11. 第3章 1, 2, 3 12. 第3章 4, 5 13. 第4章 1, 2, 3 14. 第4章 4, 5 15. 第5章 16. 単位認定試験	講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯		
教科書 1	日本語能力試験対策 日本語総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子、松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究ⅠB				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	久保田 雅子					NO.	GE-LJ-1-010
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ⅰと併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ⅰの3科目(日本語ⅠB、応用日本語ⅠB、日本語研究ⅠB)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。						
評価方法	このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語Ⅰ・応用日本語Ⅰ・日本語研究Ⅰの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのでも活用することもできる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077						
教科書 2	ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-010
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。 学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p>						
概要	<p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p>						
評価方法	<p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p>						
履修条件・注意事項	<p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I 春・応用日本語 I 春・日本語研究 I 春の3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p>						
自己学習	<p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p>						
オフィスアワー	<p>授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義	井上	1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	井上 井上		
教科書 1	<p>日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者: 平井悦子・三輪さち子 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-4-88319-728-6</p>						
教科書 2	<p>『ドリル&ドリル 日本語能力試験N2文字語彙』 著者: 星野恵子+辻和子 出版社: UNICOM ISBN: 978-4-89689-487-5</p>						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 光恵					NO.	GE-LJ-1-010
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	この授業では、主に聴解の力を伸ばします。 学生は、N2レベルの問題演習を解くことで、日本語のヒアリングの能力と聞き取れる単語を増やします。						
概要	毎回、文法の力をつけるためにプリントを解き、その学習内容が記憶できているかどうかを確認する小テストを行います。また、授業中の聴解の練習によって日本語能力試験N2レベルの語彙力・聴解力を身に着けます。						
評価方法	試験(60%)、小テストと宿題の提出など(20%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期ごとに実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語1A/応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の履修中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 ⑥ 副教材は、プリントで対応する。						
自己学習	毎回、指示された箇所を授業前に解答してくること。時間的には2時間程度の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間程度の復習が必要となる。						
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間などに質問に答えます。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習	井上	1.オリエンテーション 第1章 2.第1章 3.第1章 4.第1章 5.N2対策 聴解 6.N2対策 聴解 7.N2対策 聴解 8.N2対策 聴解 9.第2章 10.第2章 11.第2章 12.第3章、 13.第3章 14.第3章 15.総復習 16.単位認定試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 試験	井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上
教科書 1	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2 聴解』 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	著者: 出版社:						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。						
評価方法	授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津		
教科書 1	日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9						
教科書 2							
参考書 1	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8						
参考書 2							

授業科目名	日本語研究 I B			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	久保田 雅子				NO.	GE-LJ-1-010	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。						
概要	このクラスは大学教育で必要不可欠な「聞いて理解すること」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また生活の場面でもひとりでも対応できる能力を身につけるよう構成する。 また第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。 他の日本語関連科目と併せて受講することで、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。						
評価方法	授業評価は、講義内試験(40%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。						
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥教科書については以前海外におりPDFで受け取った学生はプリントアウトしておくほうが望ましい。授業でプリントを配布する場合もあるので、初回からファイル、ノートは持参すること。副教材(語彙の教材)については、3人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑦理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、その発表を行う場合がある。参加型学習法を行うため、予習が必要である。 2) 毎回指定した語彙の宿題を出すので、語彙が定着できるように自らアイデアを考えて行うこと。授業でも取り上げるので積極的にアイデアを発表できるように準備して授業に臨むこと。 予習と復習に2時間以上は必要である。						
オフィスワ-	教室・及びオープンスペースにて授業前に実施する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 授業ではスクリプトを利用してより現実的な聴解練習を行う予定である。積極的に取り組んでほしい。 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田	11. オリエンテーション 第1章1 12. 第1章1, 2 13. 第1章2, 3 14. 第1章4, 5 第2章1 15. 第2章2, 3 16. 第2章4, 5 17. 第2章6, 7 18. 第3章1/中間テスト 19. 第3章2, 3 20. 第3章4, 5 21. 第3章5 22. 第4章1, 2 23. 第4章3, 4 24. 第4章5 25. まとめ 26. 試験 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田		
教科書 1	日本語能力試験対策 日本総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3						
教科書 2	新完全マスター語彙N2 著者:伊能 裕晃 出版社:スリーエーネットワーク						

ISBN:978-4883195749

参考書 1

著者:

参考書 2

授業科目名	日本語研究ⅡA			履修期	2021年度 春学期		
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-2-011
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習
テーマと到達目標	聴解能力の向上はもちろん、「話す」、「読む」、「書く」能力の向上にも努め、日本語能力試験N1合格を目指すめざす。日本語能力を更に向上させ、今後の大学での学びが充実し、日本での生活を自信を持っておくれるようにする。						
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。聴解練習はもちろん講義内で文法、語彙等の学習も行い、日本語能力試験N1レベルの語彙力・聴解力を修得する。						
評価方法	試験(50%)、小テスト等(30%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。						
履修条件・注意事項	N2を取得していることが絶対条件である。 N2を取得していない学生は、日本語関連科目Ⅱを履修できない。 より高い日本語能力獲得のため本講義の受講中にN1の取得を目指してほしい。						
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。						
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 確認演習		講義・演習	磯				
2. 課題理解① 課題理解とは 練習問題1～5		講義・演習	磯				
3. 課題理解② 練習問題6～12		演習	磯				
4. ポイント理解① ポイント理解とは 練習問題1～6		講義・演習	磯				
5. ポイント理解② 練習問題 7～14		演習	磯				
6. 概要理解① 概要理解とは 練習問題1～6		講義・演習	磯				
7. 概要理解② 練習問題 7～12		演習	磯				
8. 1～7総復習		演習	磯				
9. 即時応答① 即時応答とは 敬語表現		講義・演習	磯				
10. 即時応答② 文末否定 慣用表現		講義・演習	磯				
11. 即時応答③ 練習問題1～8		演習	磯				
12. 即時応答④ 練習問題9～20		演習	磯				
13. 即時応答⑤ 練習問題21～30		演習	磯				
14. 総合理解① 統合理解とは		講義	磯				
15. 総合理解② 練習問題1～6		演習	磯				
16. 単位認定試験							
教科書 1	絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニングN1 聴解 著者:松岡 龍美 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-776-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	日本語研究ⅡB			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	磯 永二					NO.	GE-LJ-2-012	
配当学科	全学共通(留学生)			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習	
テーマと到達目標	聴解能力の向上はもちろん、「話す」、「読む」、「書く」能力の向上にも努め、日本語能力試験N1合格を目指すめざす。日本語能力を更に向上させ、今後の大学での学びが充実し、日本での生活を自信を持っておくれるようにする。							
概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。聴解練習はもちろん講義内で文法、語彙等の学習も行い、日本語能力試験N1レベルの語彙力・聴解力を修得する。							
評価方法	試験(50%)、小テスト等(30%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。							
履修条件・注意事項	N2を取得していることが絶対条件である。 N2を取得していない学生は、日本語関連科目Ⅱを履修できない。 より高い日本語能力獲得のため本講義の受講中にN1の取得を目指してほしい。							
自己学習	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。							
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 文法確認演習 2. 文字、語彙演習 第1章1 3. 第1章 2, 3 4. 第1章 4, 5 5. 第2章 1, 2 6. 第2章 3, 4 7. 第2章 5, 6, 7 8. 総復習演習① 9. N2対策演習1 10. N2対策演習2 11. 第3章 1, 2, 3 12. 第3章 4, 5 13. 第4章 1, 2, 3 14. 第4章 4, 5 15. 第5章 16. 単位認定試験				講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 	磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯
教科書 1	日本語能力試験対策 日本語総まとめN1 聴解 著者:佐々木仁子 松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-791-6							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	文章表現入門				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	雲津 英子					NO.	GE-CH-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。</p>							
概要	<p>講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の6つ領域で構成している。学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一步一步着実に高めていくことができる。毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が、小論文指導(表記法、文章表現等の指導)の経験を活かし、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	<p>単位認定試験(70%)、授業態度(15%)、小テスト・復習テスト(15%)による総合評価 なお、小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直ししておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のN2(2級)以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。</p>							
自己学習	<p>毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。</p>							
オフィスアワー	<p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本語検定3級」に挑戦 2. はじめに 3. 敬語の種類と使い分け 4. 注意すべき敬語 5. 配慮を示す言葉 6. 品詞・活用の種類 7. ら抜き言葉・さ入れ言葉 8. 文のねじれと言葉の係り受け 9. 接続後・指示語と文章 10. 類義語・対義語 11. 動詞の自他・視点 12. 文体 13. コロケーション 14. 部首・音訓・熟語 15. 仮名遣い・送り仮名 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津	
教科書 1	<p>スキルアップ! 日本語力 著者:名古屋大学日本語研究会GK7 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-80364-4</p>							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	文学への招待			履修期	2021年度 春学期		
担当者	雲津 英子				NO.	GE-CH-0-002	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしよとする態度を身につけることを到達目標とする。						
概要	<p>詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、学生の読書活動、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験(70%)、発表・討論への参加(15%)、受講態度(15%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。						
自己学習	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。						
オフィスワ-	10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 文学とはなにか 2. 図書館活用方法の理解 3. 図書館活用の実践 4. 日本文学史(1)-上代文学 5. 日本文学史(2)-中古文学 6. 日本文学史(3)-中世文学 7. 日本文学史(4)-近世文学 8. 日本文学史(5)-近代文学 9. 日本文学史(6)-現代文学 10. 夏目漱石・森鷗外・泉鏡花の作品(討論) 11. 芥川龍之介の作品(討論) 12. 宮沢賢治の作品(討論) 13. 小林多喜二・太宰治の作品(討論) 14. 詩・俳句・短歌(討論) 15. まとめ 16. 単位認定試験		講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 レポート試験	雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津				
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	日本文学概論 著者:島内裕子 出版社:財団法人 放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31342-4						
参考書 2							

授業科目名	美術の見方				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	前嶋 英輝					NO.	GE-CH-0-003
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語るができる能力を身につける。美術作品の「見方」の2つの可能性を考えてみる。1つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、2つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、2つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。						
概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみる事が大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る期末試験(40%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。						
履修条件・注意事項	事前に次の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べる事が重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。						
自己学習	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間が必要である。						
オフィスアワー	2号館6階の前嶋研究室において、毎週月曜日5時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 対話型鑑賞と美術の見方 2. 世界の美術館散歩 3. 美術教育と人間形成 4. 古代オリエント 5. ギリシャ・ローマ・中世 6. ルネサンス・バロック 7. 古典主義・印象派 8. 後期印象派以降 9. インド美術とイスラム美術 10. 仏教美術の誕生とシルクロード 11. 飛鳥～平安 12. 鎌倉～室町 13. 安土桃山 14. 江戸 15. 現代の美術 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋		
教科書1	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。						
教科書2							
参考書1	テキスト名: 絵画をいかに味わうか 著者: 著者: ヴィクトル・I・ストイキツァ 出版社: 平凡社 ISBN: 978-4582206371						
参考書2							

授業科目名	音楽のたのしみ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	上田 豊					NO.	GE-CH-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>テーマは「音楽とは何か」。人類は、なぜ音楽を創り出し、そして継承してきたのか。現在、音楽は生活の様々な場面まで深く浸透している。しかし、大多数の人々は、冒頭の問いに直ちに的確に答えることはできない。本講座では、人と音楽との関係、音楽そのものについて考察し、受講者一人ひとりが冒頭の問いに回答でき、人生における音楽の意味を理解できることを目標とする。</p>							
概要	<p>音楽の素材である音について知る。音楽は音素材をどのように組み合わせられて構成されているのか、その仕組みを知る。その仕組みの把握として、よく親しまれている歌を素材に、音階、和音、リズムなど音楽の構成要素を、音楽分析を通して学ぶ。以上は、音楽そのものの把握であるが、次に音楽が我々の生活の中で、どのように用いられ機能しているかをCDやDVDの視聴を通して把握し、音楽が我々の生活をどのように潤しているかを知り、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p>							
評価方法	<p>平素の学習態度、授業における課題、期末試験により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、授業における課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p>							
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平素からテーマ「音楽とは何か」について、考察しておくこと。 ・音楽への姿勢として自分の趣向だけでなく、いろいろな音楽に耳を傾けるようにすること。 ・授業は、積み上げ方式ですすめるので、毎回の授業の課題を復習し、完全に理解しておくこと。 							
自己学習	<p>予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を調査し、専門用語などについて予備知識もち、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業内容の反復学習を行って、十分な理解を持つようにすること。予習及び復習は、各2時間程度を要する。</p>							
オフィスアワー	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何か 2. 音・音楽を知る 3. 音楽の構造1 音楽の三つのタイプ 4. 音楽の構造2 旋律と音階 5. 音楽の構造3 様々な音階 6. 音楽のジャンル1 概要 7. 音楽のジャンル2 芸術音楽 8. 音楽のジャンル2 民俗音楽 9. 音楽のジャンル3 ポピュラー音楽1 10. 音楽のジャンル4 ポピュラー音楽2 11. 音楽の聴き方1 ジャズを知る 12. 音楽の聴き方2 ジャズを楽しむ 13. 音楽の構造1 形式 14. 音楽の形式2 ソナタ形式 15. 音楽とは何か2 音楽の起源・機能 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田	
教科書 1	毎回授業内容に沿った資料を配布する。							
教科書 2								
参考書 1	138億年の音楽史 著者:浦久 俊彦 出版社:講談社現代新書 ISBN:978-4-06-288381-8							
参考書 2								

授業科目名	生涯スポーツ論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研、羽野 真哉					NO.	GE-CH-0-005
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	『スポーツ活動を取り入れた生活』その重要性は、年々高まってきていると言える。健康の維持・増進、老化の防止、心の健康、健全な発育・発達、生きがいづくり、さらにはスポーツを通じての教育・人間形成など、その意義や価値はますます高くなってきている。しかし、スポーツに親しむ人々の数は、著しく増加しているとは言い難く、また望ましいあり様でスポーツが実践されているばかりではない状況も散見される。そこで学生は、多くの人々が生涯にわたってスポーツに親しみ、望ましいスポーツへの関わり方ができるために必要な知識を学び、各々のおかれた環境や状況において、各人の目標に沿ったスポーツ実践が行えるための知識を得ることができることを到達目標とする。						
概要	結果の偏重や勝利至上主義、技能偏重、運動能力偏重といった往々にしてスポーツに携わる人達が陥りやすい傾向を脱し、各人の目的に応じて、そして各々の能力に応じたスポーツの実践が可能になり、取り組みの効果が着実に得られる、合理的な実施方法を学ぶ。それによって初めて、生涯にわたってスポーツに親しむ人々が増えてくるであろう。障害者を含めた、様々な対象者にとってのスポーツの意義について理解する。現代の社会におけるスポーツの持つ幅広い役割と機能、その必要性や価値について認識を深め、スポーツを専門とする人材になっていくための方向づけと動機づけを行う。						
評価方法	授業中のレポート提出で30%、最終試験で70%にて評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	健康運動実践指導者資格認定試験受験資格必須科目(2009年度生まで適用) 毎回の配布資料と授業内容にもとづき、その回の復習と次回の予習を行うこと。						
自己学習	毎回の授業時において、次回の授業内容に応じて、各自のスポーツ経験に基づく問題を見出す指示を行う。これによって、各自経験の見直しや情報収集を行う。授業後は、授業内容を受けて、望ましい在り方について考察し、時にレポートとして提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01,スポーツの本来の姿 02,スポーツ観の変遷 03,スポーツする身体 04,運動・スポーツとメンタルヘルス 05,スポーツの技術 06,体力について 07,心とスポーツ 08,発育・発達とスポーツ 09,現代社会とスポーツ 10,スポーツの上達法 11,健康のためのスポーツ 12,スポーツと教育 13,スポーツと経済 14,スポーツ動作の分析 15,競技スポーツと生涯スポーツ 16,試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 羽野 羽野 羽野 羽野		
教科書 1	文化としてのスポーツ 出版社:ベースボール・マガジン社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	生涯スポーツ実習				履修期	2021年度 春学期				
担当者	枝松 三佳					NO.	GE-CH-0-006			
配当学科	スポーツ社会				年次	1				
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習			
テーマと到達目標	余暇時間の増加に対応すべく、スポーツを有効に活用して、生涯をとおして生活の質を向上させることのできる技術について学び、自ら実践できる能力を身につける。履修人数と体育館の関係で、社会体育の中で、多くの人が参加できるバドミントンの技術について履修していく。社会に出た後も、場所を問わずに気軽に楽しめる技術と試合ができるルールを習得することができる。									
概要	従来の競技主体のスポーツ活動から、各人が自らの主体的条件にあわせ、かつ周囲の環境条件も考慮したスポーツ種目を実践する。また、健康を保持増進させるための運動方法について体力医学、運動生理学などの立場から実践的に教授する。									
評価方法	受講態度(50%)、課題(50%)の成就結果を合わせて評価を行う。									
履修条件・注意事項	「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格必須科目 スポーツ実習であることから、運動のできる服装(ジャージ等)を用意する。体育館シューズを用意する									
自己学習	実習であることから、必要があるとき適宜指示する。									
オフィスワ-	非常勤講師なので、講義終了後とする。									
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1、ウォーミングアップ 2、クーリングダウン 3、準備運動の重要性とその方法 4、ストレッチングの意義と効果 5、ストレッチ指導実習 6、ウォーキングの特性と基礎技術の習得 7、ウォーキング:プログラム作成と実施上の注意点 8、ウォーキング:運動強度調節 9、ジョギングの特性と基礎技術習得 10、ジョギング:プログラム作成と実施上の注意点 11、ジョギング:運動強度特性 12、健康運動・軽運動としての運動ゲーム 13、健康運動・軽運動としてのバドミントン 14、健康運動・軽運動としてのフットサル 15、健康運動・軽運動としてのバレーボール			実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松						
教科書 1										
教科書 2										
参考書 1										
参考書 2										

授業科目名	生涯スポーツ実習				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	國佐 栞					NO.	GE-CH-0-006	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	余暇時間の増加に対応すべく、スポーツを有効に活用して、生涯をとおして生活の質を向上させることのできる技術について学び、自ら実践できる能力を身につける。履修人数と体育館の関係で、社会体育の中で、多くの人が参加できるバドミントンの技術について履修していく。社会に出た後も、場所を問わずに気軽に楽しめる技術と試合ができるルールを習得することができる。							
概要	従来の競技主体のスポーツ活動から、各人が自らの主体的条件にあわせ、かつ周囲の環境条件も考慮したスポーツ種目を実践する。また、健康を保持増進させるための運動方法について体力医学、運動生理学などの立場から実践的に教授する。							
評価方法	受講態度(50%)、課題(50%)の成就結果を合わせて評価を行う。							
履修条件・注意事項	「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格必須科目 スポーツ実習であることから、運動のできる服装(ジャージ等)を用意する。体育館シューズを用意する。							
自己学習	実習であることから必要な時適宜指示する。							
オフィスワ-	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1、ウォーミングアップ 2、クーリングダウン 3、準備運動の重要性とその方法 4、ストレッチングの意義と効果 5、ストレッチ指導実習 6、ウォーキングの特性と基礎技術の習得 7、ウォーキング:プログラム作成と実施上の注意点 8、ウォーキング:運動強度調節 9、ジョギングの特性と基礎技術習得 10、ジョギング:プログラム作成と実施上の注意点 11、ジョギング:運動強度特性 12、健康運動・軽運動としての運動ゲーム 13、健康運動・軽運動としてのバドミントン 14、健康運動・軽運動としてのフットサル 15、健康運動・軽運動としてのバレーボール				実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐 國佐
教科書 1	実習科目につき教科書は使用しない							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	哲学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができるようになる。</p>								
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスアワー	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 哲学という言葉の歴史と哲学の始まり			講義	山本					
2. バルメニデスとその影響			講義	山本					
3. ソクラテスとその影響			講義	山本					
4. プラトン			講義	山本					
5. アリストテレスの論理学と哲学			講義	山本					
6. アリストテレスの第一哲学＝神学			講義	山本					
7. ヘレニズム期の哲学とその後			講義	山本					
8. 西欧文明の成立			講義	山本					
9. 盛期中世の学問状況			講義	山本					
10. 14世紀の大変革			講義	山本					
11. ルネサンスと科学革命			講義	山本					
12. 科学革命と政治哲学			講義	山本					
13. 諸科学の成立と哲学			講義	山本					
14. 科学的心理学の成立と哲学の変容			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1	<p>西洋哲学史<古代から中世へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p>								
参考書 2	<p>西洋哲学史<近代から現代へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310083</p>								

授業科目名	哲学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-001
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。</p>						
概要	<p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり。 エレア派とその影響 ソクラテスとその影響 プラトン アリストテレスの哲学 アリストテレスの第一哲学 ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況 西欧文明の成立 盛期中世の学問状況 14世紀の大変革 ルネサンスと科学革命 科学革命と政治哲学 19世紀における諸科学の成立と哲学 科学的心理学の成立と哲学の変容 総括 定期試験 	<p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 筆記試験</p>	<p>山本</p> <p>山本 山本 山本 山本 山本 山本</p> <p>山本 山本 山本 山本 山本</p> <p>山本</p> <p>山本 山本</p>		
教科書 1	配布資料						
教科書 2							
参考書 1	<p>西洋哲学史(古代から中世) 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p>						
参考書 2							

授業科目名	宗教学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-002		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。そして現代において宗教に対し健全な態度を確立することができるようになる。これらが到達目標である。</p>								
概要	<p>後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。</p>								
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>								
履修条件・注意事項	<p>地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>								
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>								
オフィスワ-	257研究室で木曜4限								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 人類史と宗教:旧石器時代から新石器時代へ			講義	山本					
2. 日本の縄文時代			講義	山本					
3. 文明誕生:メソポタミア			講義	山本					
4. エジプト文明			講義	山本					
5. 古代ギリシャ世界			講義	山本					
6. ユダヤ教の成立			講義	山本					
7. ヘレニズム期の宗教			講義	山本					
8. キリスト教の成立と展開			講義	山本					
9. 初期のイスラーム			講義	山本					
10. ローマ・カトリック			講義	山本					
11. 宗教改革とその後			講義	山本					
12. 日本宗教史:古代・中世・近世			講義	山本					
13. 現代日本の宗教事情			講義	山本					
14. 現代世界の宗教事情			講義	山本					
15. 総括			講義	山本					
16. 定期試験			筆記試験	山本					
教科書 1	配布資料								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	倫理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-GA-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持って余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。</p>						
概要	<p>定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』と一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホップズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。</p>						
評価方法	<p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p>						
オフィスアワー	257研究室、木曜3限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 「好きなこと」とは？ パスカルとニーチェの退屈論 暇と退屈の原理論 定住革命について 暇と退屈の系譜学 暇と退屈の経済史 ホップズ、ルソー、マルクス 暇と退屈の疎外論 暇と退屈の哲学 環世界論 暇と退屈の人間学 ハイデッガー 暇と退屈の倫理学 スピノザ 総括 定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本
教科書 1	暇と退屈の倫理学 著者:国分功一郎 出版社:太田出版 ISBN:9.78E+12						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	心理学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典					NO.	GE-GA-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。人が生活している環境からいかに情報を取り入れ、蓄積し、利用するのか、あるいは、いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して、心理学のおもしろさに触れ、心理学の基礎的な考え方を理解することを到達目標とする。							
概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では、いくつかの領域における研究対象、方法、得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。							
評価方法	小テスト(50%)と定期テスト(50%)の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生(私語、飲食、内職等...)については、この限りではない。 小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。							
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので、集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに、3回に1回くらいの割合で小テストを行うので、特に復習には力を入れること。							
自己学習	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。(2時間) テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である(2時間)。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。							
オフィスワ-	森井:月4 橋本:月5 村上:水1 各教員研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
(1) オリエンテーション (2) 外界を探るこころの働き (3) 感覚と知覚 (4) 認知とは何か? (5) 発達-乳幼児期~青年期- (6) 発達-成人期~老年期- (7) 記憶のふしぎ (8) 本能と学習 (9)行動の源泉:欲求 (10)集団の認知 (11) 対人認知 (12) 態度変容 (13) ストレスと考え方 (14) 性格とは (15) 心理検査について (16) 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 森井 森井 森井 村上 村上 村上 村上 村上 全教員						
教科書 1	教科書は使用しない。							
教科書 2								
参考書 1	心理学 (New Liberal Arts Selection) 著者:無藤・遠藤・玉瀬・森 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641053694							
参考書 2								

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようにすることを、この講義の到達目標とする。								
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。								
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。								
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。								
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。								
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回	グローバル化	講義	高橋						
第2回	「文化」と異文化	講義	高橋						
第3回	異文化交流と異文化理解	講義	高橋						
第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋						
第5回	他者とステレオタイプ	講義	高橋						
第6回	差異と差別	講義	高橋						
第7回	エスニシティと人種論	講義	高橋						
第8回	学校教育と多文化	講義	高橋						
第9回	文化統合と言語政策	講義	高橋						
第10回	多文化共生論	講義	高橋						
第11回	自己の中の異文化	講義	高橋						
第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋						
第13回	文化摩擦と紛争	講義	高橋						
第14回	相対化と自己内省	講義	高橋						
第15回	多文化共生の可能性	講義	高橋						
第16回	最終試験	最終試験	高橋						
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342								
教科書 2									
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735								
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217								

授業科目名	多文化理解				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-GA-0-005	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようにすることを、この講義の到達目標とする。							
概要	グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。							
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。							
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。							
オフィスワ-	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			第1回	グローバル化	第2回	「文化」と異文化	講義	高橋
			第3回	異文化交流と異文化理解	第4回	文化: サブカルチャーの視点	講義	高橋
			第5回	他者とステレオタイプ	第6回	差異と差別	講義	高橋
			第7回	エスニシティと人種論	第8回	学校教育と多文化	講義	高橋
			第9回	文化統合と言語政策	第10回	多文化共生論	講義	高橋
			第11回	自己の中の異文化	第12回	文化的寛容と非寛容	講義	高橋
			第13回	文化摩擦と紛争	第14回	相対化と自己内省	講義	高橋
			第15回	多文化共生の可能性	第16回	最終試験	講義	高橋
							最終試験	高橋
教科書 1	『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342							
教科書 2								
参考書 1	『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735							
参考書 2	『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217							

授業科目名	日本国憲法				履修期	2021年度 春学期		
担当者	入江 祥子					NO.	GE-SI-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p><到達目標> 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。</p> <p><テーマ> 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。</p>							
概要	<p>法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。</p> <p>*実務経験のある教員による授業 本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。</p>							
評価方法	受講態度及び取組姿勢30%、各講義の最後実施する理解度を問う小テストの評価30%、定期試験40%の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。							
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること(特に私語、授業途中の入退室等)は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。							
自己学習	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。							
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか		講義	入江					
第2回:法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い		講義	入江					
第3回:法源とは何か、成文法、不文法		講義	入江					
第4回:憲法とは何か、実質的意味の憲法、立憲的意味の憲法		講義	入江					
第5回:憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法、成立背景、特徴		講義	入江					
第6回:国民主権の意味、その役割		講義	入江					
第7回:戦争の放棄、「戦争」の意味、「戦力」の意味		講義	入江					
第8回:人権の享有主体性、外国人の人権		講義	入江					
第9回:私人間効力の問題		講義	入江					
第10回:人権保障の限界、「公共の福祉」の意味		講義	入江					
第11回:「権力分立」の意味、権力的契機、正当性の契機		講義	入江					
第12回:国会の制度意義、その構成及び役割		講義	入江					
第13回:内閣の制度意義、その構成と役割		講義	入江					
第14回:裁判所の制度意義、その構成及び役割		講義	入江					
第15回:地方自治について		講義	入江					
第16回:試験		試験	入江					
教科書 1	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。							
教科書 2								
参考書 1	六法							
参考書 2								

授業科目名	民法			履修期	2021年度 春学期		
担当者	生駒 正文					NO.	GE-SI-0-002
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	民法は、皆さんが社会生活をする上でのトラブルを解決するルールを定めていますので、民法を学習することにより、社会生活に役立つ実用的な知識が身に付きます。また、公務員試験や資格試験などの多くに試験科目として採用されていますので、これらの試験を目指す人にとっては、必修の科目といえます。従って、この授業では、次のステップとしての公務員試験や資格試験の勉強に円滑に移行することも念頭に置いて、民法の基礎を理解し記憶することを目標とします。						
概要	民法の基礎を理解するために、平易な概説書を使用し、具体的な事例を折り返し、分かりやすく説明します。予習、復習に活用してください。また、復習用に教科書に準拠した問題集を作成しますので、これを活用して知識を整理してください。あわせて、随時、資格試験(試験問題が公表されている行政書士試験を使用)の問題を取り入れ実践的なトレーニングを行います。この科目は、大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	試験 70点 授業態度・意欲 30点 で評価						
履修条件・注意事項	①(予習)別途作成の上配布する補助教材を事前に一読し、授業にて学習する部分の概要を把握するとともに、わからない箇所や疑問に思う箇所などについてチェックしておくこと。 ②(復習)別途作成する問題集により、当日学習した部分について、問題を解き、正解を確認することにより、復習しておくこと。 ③遅刻、無断途中退出と私語は禁止します。 ④ポータブルな六法を携帯すること。						
自己学習	授業計画ごとに教科書を予習・復習しておくこと。						
オフィスワ-	(火)14:00~15:00(14号館6階生駒研究室)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 民法概説 2. 人の能力 3. 制限能力者 4. 物 5. 法律行為と意思表示(意思も欠缺) 6. 法律行為と意思表示(瑕疵ある意思表示) 7. 代理 8. 無権代理 9. 無効と取り消し 10. 条件・期限・期間 11. 時効 12. 団体 13. 物権序論 14. 物権変動(不動産) 15. 物権変動(動産) 16. まとめ(定期試験)		講義	生駒正文				
教科書 1	法学講義案(第2章、第3章、第4章利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	経済学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	張 秉煥					NO.	GE-SI-0-003		
配当学科	全学共通				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	経済学を学ぶもっとも重要なインセンティブは、日常生活で目にするさまざまな経済的現象に関する分析的思考を修得することである。具体的には市場における消費者や企業といった経済主体の経済活動の論理を理解し、市場メカニズムの機能とその失敗、国民所得、経済成長、所得機会の変容および経済政策、そして実生活とのかかわり合いについて理解を深めることができる。								
概要	前半部では、個々の消費者の行動や企業の行動に関する分析をもとに、価格メカニズムについて学ぶ。具体的には需要供給メカニズム、市場の構造と価格分析、公共財と共有資源問題などに関する基礎的知識を修得する。後半部では、一国の経済全体の動きについて解説する。具体的には、国全体の総生産や所得水準の動き、所得分布や所得機会の変容、経済安定化政策などに重点をおく。随時経済学的思考や考え方を体験することができる現実の経済問題について解説を加える。								
評価方法	成績の配点は、随時のミニクイズや復習テスト30点、定期総合筆記試験(16回目授業)70点である。合計60点以上を合格とする。すべてのテストはテキスト類の持ち込み自由で行う。ただし、電子辞書以外の持ち込みは禁ずる。その他詳細については、受験ルールは学則に則るものとする。								
履修条件・注意事項									
自己学習	授業内容に基づき、「基礎的概念」や「現実とのかかわり合い」について理解を深めること。								
オフィスワ-	授業終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 科学としての経済学 第2回 十大原理1__Trade-off等 第3回 十大原理2__GDP等 第4回 需要供給モデルと応用 第5回 市場構造と社会的厚生 第6回 独占市場、復習テスト1 第7回 独占的市場、寡占市場 第8回 現実の価格、価格弾力性 第9回 価格規制、外部性 第10回 公共財、復習テスト2 第11回 情報の非対称性 第12回 国民所得 第13回 経済成長、景気変動 第14回 所得機会、復習テスト3 第15回 経済安定化政策 第16回 単位認定筆記試験			講義および試験(第1回目の授業で詳細のシラバスを配付する)	張					
教科書 1	独自教材(パワーポイント版講義録・ワークブック型)								
教科書 2									
参考書 1	マンキュー入門経済学 著者:N.グレゴリー マンキュー(著)、足立 英之(翻訳) 出版社: 東洋経済新報社 ISBN:978-4492313862								
参考書 2									

授業科目名	社会学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	赤坂 真人					NO.	GE-SI-0-004
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ 基礎社会学(社会学とは何か?・人口論・家族・教育・産業と老d峰) 到達目標 社会学の定義と考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業と労働の領域における現状と問題を理解させ、その解決法を考えさせる。学生たちが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。この講義で現代社会の様々な制度と問題を理解し。毎回実施する小テスト(記述式)で自分の考えを文章で記述する能力を向上させる。</p>						
概要	<p>この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p>						
評価方法	小テスト(30%)・定期試験(70%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。						
履修条件・注意事項	授業を欠席しないように。出席チェックの不正をしないようにする。						
自己学習	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1.社会学とは何か 2.他の社会科学との違い 3.社会学は何の役に立つのか 4.世界の人口動向 5.日本の人口問題:少子高齢化 6.家族とは何か 7.変容する家族 8.現代家族の諸問題 9.教育の社会学 10.学力低下論争 11.教育と社会 12.教員の多忙化と燃え尽き 13.産業と労働 14.IT社会における労働 15.AIの進化と社会変動 16.定期試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂
教科書 1	基礎社会学 著者: 赤坂真人 出版社: ふくろう出版 ISBN: 978-4861864278						
教科書 2	毎回、教員が作成した資料(ハンドアウト)を配布する。						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	人権と政治				履修期	2021年度 春学期	
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。						
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。						
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。						
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。						
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。						
オフィスアワー	火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 人権の思想史 第2回 法の下での平等 第3回 平等権の課題 第4回 自由権 第5回 幸福追求権 第6回 生存権 第7回 生存権と福祉 第8回 教育・学習権 第9回 職業選択と人権 第10回 勤労の権利 第11回 参政権 第12回 請願権:裁判を受ける権利 第13回 子どもの権利 第14回 プライバシー権 第15回 環境権 最終試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 最終試験	高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋				
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者:安藤 高行 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03826-5						
教科書 2							
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者:山本 克司 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03172-3						
参考書 2							

授業科目名	人権と政治			履修期	2021年度 秋学期			
担当者	高橋 睦子					NO.	GE-SI-0-005	
配当学科	全学共通			年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。							
概要	人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。							
評価方法	次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。							
履修条件・注意事項	人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。							
自己学習	受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。							
オフィスアワー	月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			第1回	人権の思想史	講義	高橋		
			第2回	法の下での平等	講義	高橋		
			第3回	平等権の課題	講義	高橋		
			第4回	自由権	講義	高橋		
			第5回	幸福追求権	講義	高橋		
			第6回	生存権	講義	高橋		
			第7回	生存権と福祉	講義	高橋		
			第8回	教育・学習権	講義	高橋		
			第9回	職業選択と人権	講義	高橋		
			第10回	勤労の権利	講義	高橋		
			第11回	参政権	講義	高橋		
			第12回	請願権: 裁判を受ける権利	講義	高橋		
			第13回	子どもの権利	講義	高橋		
			第14回	プライバシー権	講義	高橋		
			第15回	環境権	講義	高橋		
			第16回	最終試験	最終試験	高橋		
教科書 1	『新・エッセンス憲法』 著者: 安藤 高行 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03826-5							
教科書 2								
参考書 1	『福祉に携わる人のための人権読本』 著者: 山本 克司 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03172-3							
参考書 2								

授業科目名	社会と統計			履修期	2021年度 春学期		
担当者	佐藤 匡				NO.	GE-SI-0-006	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と演習
テーマと到達目標	自然現象や社会現象についての量的データを統計的に整理したり分析したりすることは、計画立案や意思決定によく行われていることである。つまり、社会ではデータを整理し分析する能力が求められるとも言え換えることができる。本講義では、その統計学の入門をテーマとして、ディプロマポリシーに従って目的達成のためにどのようなデータを集め、それをどのように整理して、分析結果をどのように読み取るかという思考・判断力身に付けるのが到達目標である。						
概要	統計学はむずかしいと感じる人も多いが、身近なことに統計学がうまく応用されて役立っていることも多い。統計学の手法を使って数値データを分析することにより、あいまいな事柄に科学的な説得力を持たせることができる。本講義では、その分析に必要な知識である、Excelを活用してのデータの入力、度数分布表、ヒストグラム、平均と分散、仮説検定、散布図と相関係数などについて学習する。講義内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 担当教員が理事を務めているNPO社会福祉団体(会員数約1,300人)では、全国の自治体に対して統計的調査を行ったりしている。この科目では、分析の指導などにその担当教員のNPOでの知識が活用されている。						
評価方法	「統計の基礎的知識の理解」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、記述統計を中心とした理解度を問う試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。						
履修条件・注意事項	第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 受講者数は、パソコン教室の定員以内とする。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。						
自己学習	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。						
オフィスワ-	春学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日1時限目 秋学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 スキル確認テスト・統計処理の概要 第2回 Excelの操作 第3回 度数分布表 第4回 ヒストグラム 第5回 データの散らばり具合 第6回 平均と分散 第7回 標準偏差 第8回 乱数とシミュレーション 第9回 検定の考え方 第10回 検定の実際 第11回 いろいろなグラフ 第12回 散布図 第13回 相関関係と因果関係 第14回 相関係数 第15回 回帰分析、まとめ 第16回 単位認定試験	講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験	佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤					
教科書 1	統計学の図鑑 著者: 涌井良幸・涌井貞美 出版社: 技術評論社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。							
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらに対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山						
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	環境科学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-001
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。						
概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山		
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	物理学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	萩野 正興					NO.	GE-NM-0-002	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義と議論・演習	
テーマと到達目標	<p>テーマ: 学生が物理を身近なものとして捉えることができる。学生が物理の考え方を身につけることができる。 到達目標: 講義だけでなく、その講義に沿った内容の演習や議論を行い、深い学びを得られる。</p>							
概要	<p>「物理は難しい」「宇宙は神秘的に満ちている」そんな偏見を持っていませんか？ この担当教員は天文学者です。天文学者は物理学者です。ここでは物理や天文の考え方を勉強しましょう。 この授業では公式の暗記や板書をノートに書き写したりせず、「主体的」、「対話的」、「深い学び」というアクティブラーニングを実践します。 すなわち、前半は最新データに基づいた物理や宇宙の講義を行い、後半はそのテーマに沿った議論や背景にある物理の簡単な演習(実験や体験)を行います。 この授業の前と後では「世界が違って見える」ように努めます。</p>							
評価方法	論述形式試験(60%)、授業態度(40%)							
履修条件・注意事項								
自己学習	理科の知識は問いません。予習は必要ありません。アクティブラーニングを実践したいので、授業への積極的な参加をお願いします。復習は各自の興味で行ってください。							
オフィスワ-								
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1 イントロダクション / 宇宙とは 2 時間と空間 / 運動学 3 暦と太陽系 4 普通とは何か? / 統計学 5 みんな群れを作っている / 力学 6 暖かい? 冷たい? / 熱力学・流体 7 モーターの話 / 電磁気学 8 エネルギーとは何か? 9 虹と夕焼け / 光学 10 いろいろな波 / 波動 11 小さな世界 / 量子力学 12 空を見上げる / 観測技術・望遠鏡 13 宇宙に果てに / 現代の宇宙観 14 我々の置かれた環境 15 物理とは / まとめ 16 論述形式の試験			講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論	萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1	ぼくらは「物理」のおかげで生きている 著者: 横川淳 出版社: 実務教育出版 ISBN: 978-4-7889-1178-9							
参考書 2								

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	香田 康年				NO.	GE-NM-0-003	
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、それらについて考えること、様々な生物現象について考えることで、ヒトや様々な生物、および様々な現象について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。</p> <p>【到達目標】まず生物のシンカと一般用語の「進化」が意味がことなることを学び理解する。その際に、生物のシンカとはどのような現象なのかについて学び理解する。それを踏まえた上で、生物のシンカがどのような仕組みで起こるのかを学び理解する。</p> <p>それらを学ぶ際に、丸暗記するのではなく、様々な生物現象や人間について考える力、および物事の関係について考え、理解する力を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用し、自ら考え議論する力を養う。</p>						
概要	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義とQ&Aのアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容、範囲などは受講生の理解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は、講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。 ○1995年以来担当者として講義を行って来た。 						
評価方法	<p>20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点(70%)とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数(30%)で評価する。</p> <p>ただし、授業態度が悪ければ(授業にまじめに取り組まない場合)10点の範囲で減点する。</p> <p>各小テストは、論述記述式である。</p> <p>講義の内容から、重要な内容について説明記述させる問題を出题する予定である。</p> <p>授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていないことが、採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。</p> <p>なお、途中の小テストは、採点結果を返却し、フィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。</p>						
履修条件・注意事項	<p>受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。</p> <p>教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。</p>						
自己学習	<p>【復習】</p> <p>授業内容は常識と異なることが多く、授業は前回までの理解を前提に進めるので、毎回必ず復習し、理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。</p> <p>またいつ小テストがあっても対応できるように、充分理解し、ノート整理しておくこと。復習には二時間程度かけて行う事を目安とする。</p> <p>【予習】</p> <p>過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、次回の授業内容について、参考書などを参考に、自分なりの現時点での理解を確認しておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。予習にも、二時間程度要することを目安とする。</p>						
オフィスアワー	講義担当者は非常勤講師なので、質問等があれば、授業後の休憩時間に行うこと。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
<ol style="list-style-type: none"> 1 生物のシンカと一般用語としての「進化」 2 生物のシンカの起こる仕組み 3 なぜたくさんの生物がいるのか？ なぜ人類が存在しているのか？ 4 ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか 5 科学とはどのような学問か？ 6 生物とは？ 7 どんな生物、どんな動物がいるのか？ 8 クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか 9 “うんこ”と“おしっこ”の違いは？ 10 遺伝子と遺伝子の発現 11 人間の本性とは？ 12 本能と学習の真の関係 13 利己的行動と利他的行動 14 非血縁者間の利他行動のシンカ 15 様々な対人関係心理のシンカと神を信じる心のシンカ 16 最終試験(筆記試験) 	毎回講義とQ&A方式のアクティブラーニング	毎回香田康年					
教科書 1	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。						
教科書 2							
参考書 1	面白くて眠れなくなる生物学 著者:長谷川英祐 出版社:PHP文庫 ISBN:978-4-569-76860-1						

参考書 2

進化と人間行動

著者:長谷川寿一、長谷川真理子

出版社:東京大学出版会

ISBN:4-13-012032-8

授業科目名	生物学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	福田 富男					NO.	GE-NM-0-003
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマは生物の基礎ともいえる生態、細胞や遺伝などに加え、人の健康に深く関係する生活習慣病などの幅広い知識を習得し、生物現象を広く正確に把握できる。</p> <p>具体的な学習内容は概要の欄にしめすものとし、これらに加え一般社会人として、正しく知識を活用できる能力を養い、学習の到達目標は授業内容の完全な理解を目指す。</p>						
概要	<p>学習の内容としては、(地)地域における森や植物、河川や水生生物の学習および実習などを素材として論文作成法を習得する。更に海と沿岸生物、アマモ場の生態、魚類生態などの諸分野の幅広い生物生態学の知識を学ぶ。加えて生物学と医学、細胞・遺伝などの基礎生物学を学び、それらをもとに老いと生物学、ヒトの一生と健康な生活などの基礎医学の諸分野、また再生医療や環境問題などこれからの生物学に関する広範囲の知識を習得する。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 医学博士。1969年から2003年まで岡山県水産試験場で生物生態学などを調査研究。2004年から、高校、専門学校、大学などで非常勤講師として勤める。医学他に必要な生物の知識を経験から教授する。</p>						
評価方法	<p>復習、小テスト他の課題対応、定期試験等の結果で総合的に評価する。</p> <p>定期試験(80%)、課題評価(20%)の結果で総合的に評価する。</p>						
履修条件・注意事項	<p>基礎生物学を主体に自然科学、医学、環境、保健問題などに広く関心を持っていること。加えて、授業時間外の課題について各授業内で指示するので、必ず実行し失念しないよう留意しておくこと。また、配布資料は再発行しないので紛失しないこと。</p>						
自己学習	<p>ほぼ各週とも復習課題を課し、加えて前週の小試験を実施する。授業開始直後、それらの解答・解説を行い授業内容を確実に習得させる。また、復習課題は不定期に回収しその実施状況を把握・評価する。</p> <p>予習および復習には、各1時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 生物体と生物学の分野 2. 山林、植物の役目 3. 森林生態学実習 4. 水生生物と河川 5. 河川生態学実習 6. 論文作成法、海と生物の起源 7. アマモ場のはたらき 8. 細胞の発見と構造 9. 細胞の機能 10. ヒトとその遺伝子 11. 細胞分裂 12. ヒトの健康と次世代の子供 13. 生老病死,DNA,RNAの構造 14. DNAのはたらきと健康な生活 15. 今後の課題, 再生医療, 環境 16. 定期試験		講義 講義 学外実習 講義 学外実習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記	福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男				
教科書 1	<p>病気になるらない健康生活スタイル 著者:徳田安春、岸本暢将、星 哲哉 出版社:西村書店 ISBN:978-4-89013-612-4</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	化学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-004	
配当学科	全学共通				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。							
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。							
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。							
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。							
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山					
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)							
教科書 2								
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	化学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	秋山 純一					NO.	GE-NM-0-004
配当学科	全学共通				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。						
概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。						
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。						
自己学習	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。						
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山
教科書 1	使用しない(テーマ毎にプリント配布する)						
教科書 2							
参考書 1	教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12						
参考書 2							

授業科目名	人類生態学				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	末吉 秀二					NO.	GE-NM-3-005
配当学科	農学部			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。						
概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレイクダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。						
評価方法	到達目標を計るため、試験(80%)、小テスト(10%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。なお、評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。						
自己学習	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること(予習)、不明な点が理解できたかを確認すること(復習)。						
オフィスワ-	月曜日・金曜日(3限、5限)						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1 オリエンテーション 2 生態系と人類の特性 3 人類の起源と進化 4 生存様式の変化と多様性 5 生業と社会 6 身体とその機能 7 行動の生態学 8 栄養と健康 9 病気の生態学 10 長期的な人口変化 11 人口指標と集団の適応 12 現代の人口問題 13 エネルギーと資源 14 ライフスタイルと環境		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉
教科書 1	人類生態学 著者:大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか 出版社:東京大学出版会 ISBN:4-13-052300-7						
教科書 2							
参考書 1	生態人類学を学ぶ人のために 著者:秋道智彌・市川光雄・大塚柳太郎編 出版社:世界思想社 ISBN:4-7907-0561-7						
参考書 2							

授業科目名	統計学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-006
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	テーマは「数学としての統計学の理解と、推測統計学の実践」である。学生は、度数分布や確率分布の基礎概念を練習問題を解きながら習得する。その上で、母平均や母分散の区間推定や、仮説検定(母平均・母分散、適合度・独立性、母相関係数)の技法に習熟する。これによって学生は関係する分野の現実の問題でそれらの技法を使いこなすことができるようになる。						
概要	集団の代表値・散布度や二つの集団の相関などの度数分布論の基礎概念、二項分布・正規分布や χ^2 乗分布やt分布などの確率分布論の基礎概念を、問題演習を通じて習得する。しかるのち、母平均や母分散の区間推定や母平均・母分散や適合度・独立性や母相関係数に関わる仮説検定の問題を解き、さまざまな分野における応用への道を開く。						
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。						
履修条件・注意事項	順列・組合せ、確率、数列、微分積分の初歩など、ある程度の数学的知識は履修に際して必要条件である。						
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書と板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。						
オフィスアワー	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 度数分布 2. 代表値・散布度 3. 平均・分散の計算 4. 相関係数 5. 確率変数 6. 2次元確立分布 7. 二項分布 8. 正規分布 9. X^2 乗分布とt分布 10. 標本分布 11. 区間推定 12. 仮説検定 13. 母平均・母分散の検定 14. 適合度・独立性の検定 15. 総括 16. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本					
教科書 1	新統計入門 著者:小寺平治 出版社:裳華房 ISBN:4-7853-1099-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	数学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	山本 敦之					NO.	GE-NM-0-007
配当学科	全学共通			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	医療系をはじめとする、広範囲の専門分野で将来必要となる数学的知識、つまり「1変数や2変数の微積分」がテーマである。限られた時間の中で基礎的なものに限定してその学習をおこなう。学生は1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解くことができるようになる。						
概要	まず1変数関数では、さまざまな初等的関数(整関数、三角関数、指数関数)の性質について学び、これらの関数やその逆関数の微分や積分を行なう。また級数展開について学ぶ。2変数関数では全微分という概念を理解し、さまざまな関数の微分や積分を行なう。また2変数関数の極値問題や重積分の問題を解く。こうして1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解く能力を身につける。						
評価方法	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。						
履修条件・注意事項	数学I,A,II, Bを履修していること。それと毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。						
自己学習	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。						
オフィスワ-	257研究室で木曜4限						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 簡単な1変数関数と2次曲線 2. 三角関数と逆三角関数 3. 指数関数と対数関数 4. 1変数関数の微分 5. 初等関数の導関数、n次導関数 6. 平均値の定理とTaylor級数 7. 1変数関数の不定積分 8. 1変数関数の定積分 9. 2変数関数の微分 10. 2変数関数の極値 11. 2変数関数の累次積分 12. 重積分 13. 変数変換 14. 変数変換と積分 15. 総括 16. 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本				
教科書 1	微分と積分 著者:三宅敏恒 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-00352-4						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	韓国地域社会				履修期	2021年度 春学期		
担当者	李 分一					NO.	SS-BU-2-305	
配当学科	経営社会				年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定(平和)と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。							
概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事実を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。							
評価方法	定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。							
履修条件・注意事項	(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。				(2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。			
自己学習	(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 (2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。							
オフィスアワー	毎週水曜日4時限目(9304研究室)							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.韓国という国家 3.韓国の歴史(民族と国家) 4.韓国民主主義の位相と行方 5.韓国民主主義の制約 6.解放前の要因 7.解放後の要因 8.韓国の権威主義体制 9.民主化・人権擁護運動 10.1980年代の韓国 11.1980年代の政治体制 12.1980年代の民主化運動 13.1990年代の民主化政治 14.韓国政治社会の新潮流 15.韓国の民主主義と市民社会 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	李 李					
教科書 1	現代韓国と民主主義 著者:李分一 出版社:大学教育出版 ISBN:4-88730-303-3							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	中国地域社会			履修期	2021年度 秋学期	
担当者	畑木 亦梅				NO.	SS-BU-2-309
配当学科	経営社会			年次	カリキュラムにより異なります。	
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態 講義
テーマと到達目標	中国は近年目覚ましい経済発展を遂げ、政治も変貌し、国際社会における存在も大きくなってきている。社会保障も整備されつつある。一方、腐敗事件が頻発し、社会格差が深刻化しているなど様々な問題も起きている。本講義は、こうした現代中国を分析する。本講義を受講することにより、現代中国の国家制度、社会構造とその変容、経済、環境及び外交、日中関係の現状と問題点などについて理解できるようになる。					
概要	本講義では、現代中国の国家制度、一党支配下の権力構造、社会構造とその変容、経済発展と格差問題、環境問題、外交問題などを様々な視点で捉え分析する。					
評価方法	授業態度、課題レポートなど(40%)、期末テスト(60%)で総合的に評価する。					
履修条件・注意事項	留学生が受講する場合、一定の漢字の読解力が必要である。					
自己学習	予習として、事前に授業資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。予習および復習には、2時間程度を要する。					
オフィスアワー	授業終了後教室にて					
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 政治体制 執政党 多民族国家 香港・マカオ問題 台湾問題 経済の高度成長 経済のグローバル化 社会構造の変容 人口問題 教育問題 環境問題 冷戦下の日中関係 冷戦終結後の日中関係 まとめ 期末試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅	
教科書 1	『5分野から読み解く現代中国』(2016) 出版社: 晃洋書房 ISBN: ISBN 978-4-7710-2720-6					
教科書 2						
参考書 1						
参考書 2						

授業科目名	公衆衛生学 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	中瀬 克己					NO.	HS-NU-1-116
配当学科	看護			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目で学生は、上記の公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。 保健師助産師看護師法第1条には、「この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり、公衆衛生学は看護師における必須分野であることから国家試験にも必出分野である。						
概要	公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度や技術があり、それらを公衆衛生学Ⅱとともに学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的考え方を主要なトピックスを中心として学習し、資料を用いて講義を行う。教科書は、公衆衛生の体系や詳細の整理のために用いる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	期末の定期試験(50%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートを行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。						
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。						
自己学習	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 公衆衛生とは、社会と健康 2. ライフスタイルと健康 3. 行動経済学 4. 公衆衛生を担う機関 5. ソーシャルキャピタル 6. 環境と健康 7. 医療制度 8. レポート発表		講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 演習	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬				
教科書 1	公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2)14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	看護学概論			履修期	2021年度 春学期			
担当者	掛谷 益子、澤田 和子					NO.	HS-NU-1-201	
配当学科	看護			年次	1			
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	<p>〈テーマ〉 看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。</p> <p>〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解する。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解する。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる。</p>							
概要	看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間や健康の基本的捉えかたについて理解する。この科目は、臨床での看護師の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護職者として必要とされる知識や能力について実践的に役立つ授業を実施する							
評価方法	筆記試験70% 課題レポート30%							
履修条件・注意事項	看護とは何かを考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心を持ち、視野を広げておく。							
自己学習	予習:授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。(90分) 復習:毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。(90分)							
オフィスワ-	水曜日2時限目:6号館4階 6402・6438 研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 看護とは 看護の概念 2. 看護の役割と機能 3. 看護の対象の理解 人間のこころ・からだ・発達 4. 看護の対象の理解 地域での暮らし 5. 健康とは 6. ライフサイクルと健康・生活 7. 看護の歴史 8. 看護職のキャリア 9. 看護における倫理 現代社会と職業倫理 10. 看護における倫理 看護実践における倫理的問題 11. 看護サービスの提供 12. 看護をめぐる制度と政策 13. 国際化と看護 14. 災害時における看護 15. 私の看護観 16. 試験		1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.講義 8.講義 9.講義 10.講義 11.講義 12.講義 13.講義 14.講義 15.講義 16.試験	1.掛谷 2.掛谷 3.澤田 4.澤田 5.澤田 6.澤田 7.掛谷 8.掛谷 9.掛谷 10.掛谷 11.掛谷 12.掛谷 13.澤田 14.澤田 15.掛谷・澤田 16.掛谷・澤田					
教科書 1	系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 著者:茂野香おる 他 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02181-4							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	運動学 I				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	井上 茂樹					NO.	HS-PT-1-202
配当学科	理学療法			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>ヒトの身体運動に関する基本的な知識を学修する。主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。</p> <p>学生は、1) 身体運動に関する基本的な知識を理解する、2) 運動器の構造と機能を理解する、3) 上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して理解を深め、基本事項を記憶できることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>運動学は理学療法士の最も基本的な学問であり、また臨床の理学療法士が治療場面で応用する学問である。授業ではその中で主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。参加型学習における授業であるが、運動学の基本事項についてより理解度を深めるために課題を与え、グループ討論も取り入れた授業を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>参加型学習における授業への積極的参加態度(30%)、知識修得程度を確認するための試験(60%)、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート(10%)で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 3) 初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 4) 隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただいただけでは単位は取れない。</p>						
自己学習	<p>事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室(6437)において、毎週火曜日2時限目(11:10～12:40)をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. 上肢帯の運動と構造 2. 上肢の運動と構造 肩関節(1) 3. 上肢の運動と構造 肘関節(2) 4. 上肢の運動と構造 手関節(3) 5. 上肢の運動と構造 手指(4) 6. 運動と動作の分析(1) 7. 運動と動作の分析(2) 8. 体力と運動処方(1) 9. 体力と運動処方(2) 10. 姿勢(1) 11. 姿勢(2) 12. 姿勢(3) 13. 歩行と走行(1) 14. 歩行と走行(2) 15. 歩行と走行(3) 16. 単位認定試験		AL 筆記試験	井上茂樹 井上茂樹
教科書 1	基礎運動学 第6版 補訂 著者: 中村隆一、齋藤 宏、長崎 浩 出版社: 医歯薬出版 ISBN: 978-4-263-21153-3						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	作業療法概論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	京極 真、岩田 美幸、三宅 優紀、狩長 弘親、山本 倫子、寺岡 睦					NO.	HS-OT-1-203
配当学科	作業療法			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。</p> <p>【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p>						
概要	<p>作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目では、作業療法士としての実務経験をもつ教員や外部講師がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。						
履修条件・注意事項	グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人(自分自身も含む)と作業の関係について洞察を深めること。						
自己学習	毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。						
オフィスアワー	月曜4限(15:10～16:40)、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション, 作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 作業療法の歴史(起源) 医学・作業療法用語の解説 7. 作業療法の歴史(パラダイムシフト) 8. 作業療法の実践理論(人間作業モデル) 医学・作業療法用語の確認テスト 9. 作業療法の実践理論(CMOP-E・OTIPM他) 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 予防領域の作業療法 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 生活行為向上マネジメント 15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ 16. 試験	講義 AL AL AL 講義 講義 講義・筆記試験 講義	京極 岩田 寺岡 山本 岩田 京極 寺岡 寺岡 寺岡					
教科書 1	作業療法学概論 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:二木淑子・能登真一 出版社:医学書院 ISBN:978-4260025355						
教科書 2	「作業」って何だろうー作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:978-4263216675						
参考書 1	基礎作業学 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:濱口豊大 出版社:医学書院 ISBN:978-4260030557						
参考書 2	作業療法士になろう! 著者:齋藤さわ子 出版社:青弓社 ISBN:978-4787210531						

授業科目名	人間と作業			履修期	2021年度 春学期		
担当者	寺岡 睦				NO.	HS-OT-1-204	
配当学科	作業療法			年次	1		
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義、AL
テーマと到達目標	<p>テーマ:学生は、作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標:学生は、講義とアクティブラーニングを通して、作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる</p>						
概要	<p>作業とは、人間が経験すること全てである。 作業療法士になるためにはこの作業を理解し、作業療法という方法を使ってクライアントへ介入を行う必要がある。 そのためには作業がもつ力を理解し、健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり、やり方を変更したり、自身で運用できるようになることが求められる。 作業は経験である以上、どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する。 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される。 しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される。 この科目では、健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し、実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し、解釈出来るように構成している。 この科目は、作業科学を研究し、臨床現場で実践していた者が講義を行う。人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え、臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	試験60%、提出物20%、授業への態度20%で評価する。なお、提出物へのフィードバックは授業内で行う。						
履修条件・注意事項	授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと						
自己学習	<p>予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み、事前にインターネットなどを活用し調べておくこと。 予習の時間は1時間程度とする。 講義終了時に、作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと。 課題は30分～1時間程度で行える内容で提供する。課題は次回の講義前までに提出すること。</p>						
オフィスアワー	授業終了後、教室で行う。それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション 2. 作業と健康と幸福の関係性 3. 意志力と作業、演習、宿題 4. 疲労と作業、演習、宿題 5. 感謝と作業、演習、宿題 6. フローと作業、演習、宿題 7. 人間関係と作業、演習、宿題 8. 挫折と作業、演習、宿題 9. ストレス軽減と作業、演習、宿題 10. 強みと作業、演習、宿題 11. レジリエンスと作業、演習、宿題 12. 自己肯定感と作業、演習、宿題 13. 講義と発表 14. 人間と作業まとめ 15. 単位認定試験	講義 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 筆記試験	寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡					
教科書 1	「作業」って何だろう 作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:4263216679						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	発達心理学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	宇都宮 真輝					NO.	PS-PS-1-307		
配当学科	心理				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。								
概要	様々な視点から人間の発達過程について学習する。具体的には、胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期のそれぞれにおける発達の様相や発達課題について学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、その問題に対する心理的援助についても考察を深める。								
評価方法	評価は、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)、期末試験(60%)とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。								
履修条件・注意事項	出席は必須であるので欠席をしないこと。積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。								
自己学習	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、90分程度を要する。								
オフィスワ-	研究室にて、火曜日4時限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.ライフサイクルについて 3.胎児期 4.新生児期 5.乳児期-愛着の形成- 6.乳児期-言葉の発達- 7.幼児期-表象の獲得- 8.幼児期-社会性の発達- 9.児童期-有能感と劣等感- 10.児童期-学校への適応・いじめ- 11.青年期前期 12.青年期後期 13.青年期の病理 14.成人期 15.まとめ 16.期末試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮					
教科書 1	よくわかる発達心理学 著者:無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編) 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05379-7								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	保育の心理学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸					NO.	PS-CE-2-212	
配当学科	子ども発達教育				年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>発達とは人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。</p> <p>到達目標: 子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようにする。</p>							
概要	<p>保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。</p>							
評価方法	<p>ほぼ毎回(計10回ほど)の講義内で行う小テスト・ミニ・レポートの得点(30%)と定期試験の得点(70%)に、受講態度の評価点(0~1)を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が0.5の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点后、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>上述のように、ほぼ毎時間、小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。</p> <p>保育士の資格取得には必須科目である。</p>							
自己学習	<p>予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。(2時間)</p> <p>復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。(2時間)</p> <p>返却された小テストも確認しておくこと。</p>							
オフィスワ-	月曜4限 教員研究室							
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 発達を考える(1章) 人・モノとの出会い(2章) コミュニケーション・愛着(2章) 遊び・好奇心・知識(3章) 他者との関わり(3章) 学校での学び(第4章) 学びのつまずき(4章) 学校のでの人間関係(5章) 人間関係のつまずき(5章) 青年期の発達課題(6章) 職業と自己理解(6章) 親としての発達(7章) 発達理論と発達支援(8章) まとめ 試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井				
教科書 1	保育の心理学 I 著者: 無藤 隆・藤崎真知代 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-2738-9							
教科書 2								
参考書 1	エピソードで学ぶ 乳幼児の発達心理学 著者: 岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる 出版社: 新曜社 ISBN: 978-4-7885-0907-8							
参考書 2								

授業科目名	対人関係論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	栗田 喜勝					NO.	PS-CE-3-219
配当学科	子ども発達教育			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。						
概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体(個人)に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。						
評価方法	受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に提示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。						
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより提示するので受講の前にはあらかじめよく目を通し(予習)、授業後は内容を確認し整理し(復習)、以後の学習に活用してほしい。						
自己学習	1) 事前にファイル提示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。						
オフィスワ-	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 心理学と社会心理学 2. 社会心理学の対象と研究方法について 3. 社会的認知について 4. 社会的相互作用について 5. 社会的欲求と適応行動について 6. 人間関係とストレス 7. 人間関係とフラストレーション 8. 人間関係と認知 9. 印象形成について 10. 人間関係と感情 11. 社会的態度と行動について 12. 社会的態度(1)ステレオタイプ 13. 社会的態度(2)偏見 14. 態度変容について 15. 学修のまとめ 16. 期末試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田				
教科書 1	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより提示する。						
教科書 2							
参考書 1	ワークショップ人間関係の心理学 著者:藤本忠明他編著 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-833-9						
参考書 2							

授業科目名	デジタルメディアと社会				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	大谷 卓史					NO.	AN-AN-1-108
配当学科	アニメーション文化			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることが出来る。</p> <p>本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為・コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。</p> <p>到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 2. 倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 3. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 <p>ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。</p>						
概要	<p>現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方や枠組みを活用する。</p> <p>映像作品やドキュメンタリーを手掛かりとして、現代における情報技術とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。視聴や紹介を予定する映像作品は授業計画を参照のこと。</p> <p>授業では映像作品のストーリーやそこで描かれた哲学的・倫理学的問題を紹介し、学生との議論を中心に進める。映像作品に関しては、事前に見ておくことが望ましい。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p>						
評価方法	<p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。</p> <p>講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p>						
自己学習	<p>各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。</p> <p>予習:レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。</p> <p>復習:授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。</p>						
オフィスワ-	<p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。</p> <p>秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉 4 倫理とは何だろうか(2) 倫理学の基本的な立場 5 グーグル革命(ビデオ教材) 6 サーチエンジンの倫理:スコア化する社会/ブラックボックス化する社会 7 ソーシャルネットワーキングサービス 8 フェイクニュースと情報の信頼 9 プライバシーの基礎 10 個人情報保護制度とその思想 11 監視と見守り 12 著作権の法・技術・ビジネス 13 ICTビジネスと社会(「アップル復活」を見る) 14 バーチャルリアリティ 15 まとめ 16 試験 	<p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 筆記試験</p>	<p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷</p>		
教科書 1	レジュメ等資料を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	<p>改訂新版 情報倫理入門 著者:土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社:アイケイコーポレーション ISBN:4874923240</p>						
参考書 2	<p>AIの倫理学 著者:クーケルバーク著、直江清隆訳者代表 出版社:丸善出版</p>						

授業科目名	スポーツリーダーシップ論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	前田 信弘					NO.	SS-SM-2-103
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「スポーツにおけるリーダーシップを理解する」をテーマとし、スポーツ集団・組織におけるリーダーシップの基礎知識を学び、それらの知見を実際のスポーツ現場で活用し、チームパフォーマンスを向上させる能力を習得できる。						
概要	スポーツ集団においてはリーダーの存在がパフォーマンスに大きな影響を及ぼす。まず、これまでのリーダーシップ研究の主な理論また心理学的な視点からリーダーシップについて基本的知識を学習する。また、それらをベースにリーダーシップを実際の現場で如何に発揮するかを、これまでの事例分析、グループワーキング(現場で起こる様々な問題について課題発見・原因追求・解決方法)を通して獲得できるよう授業を行う。						
評価方法	取り組む姿勢、授業態度30% 課題発表(個人・グループワーキング)40% 試験30%						
履修条件・注意事項	スポーツ現場における各々の「リーダーシップ」についてこれまでの経験についてまとめ参加すること。(保健体育教免選択必修科目)						
自己学習	復習しグループワーキングでいかせるよう必ずノートを作成すること 授業前に前回の授業についての振り返りをおこなうため各授業ごとに各々考えを整理しておくこと						
オフィスワ							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1ガイダンス 2集団(チーム)についての理解 3集団におけるリーダーの役割 4リーダーシップのスタイル 5リーダーシップ理論 6現場でのリーダーシップ発揮にむけて 7ビジョンを掲げる(現状の分析) 8ビジョン実行にむけて(コミュニケーションスキル) 9やる気をひきだす(動機づけ) 10メンバーを育てる(コーチング) 11リーダーのテクニック(パワーをつかう) 12グループワーキング①(課題抽出・ビジョン作成) 13グループワーキング②(解決策の提示・プレゼン準備) 14グループ発表① 15グループ発表②/フォローシップ 16試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL 筆記試験	前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	魅力的な組織を創るリーダーのための「自律」と「モチベーション」の教科書 著者:真田茂人 出版社:CEO BOOKS ISBN:978-4-86318-007-9						
参考書 2							

授業科目名		スポーツマネジメント論			履修期		2021年度 春学期							
担当者		高藤 順					NO.	SS-SM-3-104						
配当学科		スポーツ社会			年次		3							
必修・選択		選択	単位数	2	時間数		30	授業形態	講義					
テーマと到達目標		スポーツ現場におけるマネジメントをテーマとして、身体活動のみならず、ビジネス活動、文化活動など社会的活動としての価値を急速に高めつつあるスポーツの過程の知識を身につける。加えて、学生がスポーツの様々な場面において、効果的なマネジメントを行なうことができる。												
概要		現代ではスポーツに関わる様々な活動がビジネスとして行われるようになってきている。そして、これらのビジネスにおいて高度なマネジメントの知識と技能が要求されつつある。本講義では、スポーツマネジメントの基礎的概念についての理解を深め、マネジメントの基礎を習得するとともに、現代においてマネジメントがどのようにスポーツの場面で応用されているのかについて解説する。この科目は、日本女子サッカーリーグ所属クラブ監督・運営責任者の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、スポーツマネジメント現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。												
評価方法		単位認定試験(40%) 中間レポート(30%) 毎回の小レポート(20%) 受講姿勢(10%) 評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。												
履修条件・注意事項		(公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー受験資格必修科目 パワーポイントの資料は配布しないので、ノート・ルーズリーフ等は必ず持参すること。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。												
自己学習		毎回授業終了後、課外小レポートの内容及び授業内容を必ず毎回2時間程度、復習するとともに次回のテーマについて予習すること。												
オフィスワ-		個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。												
春学期授業計画			授業方法		担当者		秋学期授業計画							
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・スポーツマネジメントとは！? 2. スポーツとスポンサー 3. スポーツマーケティング 4. スポーツクラブにおけるマネジャーの役割(マネジャーとは) 5. スポーツクラブにおけるマネジャーの役割(MGの位置づけ) 6. アメリカのトップリーグのマネジメント 7. ヨーロッパのトップリーグのマネジメント 8. 日本におけるプロ野球とプロサッカーリーグのマネジメント 9. みるスポーツのマネジメント 10. スポーツ施設のマネジメント 11. 地域スポーツクラブのマネジメント 12. スポーツビジネスにおけるマネジメント 13. スポーツメディアに関するマネジメント 14. プロスポーツ選手・プロスポーツクラブのマネジメント 15. トップアスリートのマネジメント 16. 単位認定試験 			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験		高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 外部講師 高藤 高藤 高藤 外部講師 高藤									
										教科書 1		体育・スポーツ経営学講義 著者:八代勉・中村平 編 出版社:大修館書店 ISBN:4-469-26480-6		
										教科書 2		公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 著者:(公財)日本スポーツ協会 出版社:(公財)日本スポーツ協会 ISBN:214K1T 214K2T 214K3T		
										参考書 1				
										参考書 2				

授業科目名	体育・スポーツ行政論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高藤 順				NO.	SS-SM-2-106	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「体育・スポーツ」と「行政」の関わり及びスポーツ振興における行政の役割をテーマに、学生が体育・スポーツ行政に関する基礎的知識を習得し、将来体育・スポーツ指導者としての能力が発揮できる。						
概要	現代社会においてスポーツ活動は社会の様々な分野で実施されているが、地域及び国家単位での社会的なスポーツ活動の成立には、行政の制度的な支援が必要不可欠である。特にスポーツ先進国といわれる北米、ヨーロッパ及び日本では、スポーツの普及振興に当たっては国家を中心とする強力な行政システムの支援が、スポーツの社会的発展の初期の段階においては顕著に認められている。また、これらの国や地域ではスポーツ活動が社会的に成熟した今日にあっても充実した制度とサービスで国民のスポーツ活動を手厚く支援している。本講義では、スポーツ先進国といわれる代表的な国のスポーツ行政の制度的発展とその運用の実態について歴史的に追跡し、それぞれの制度がその国のスポーツ振興にいかなる役割を果たし、またいかなる課題を提示したかについて検証するとともに、わが国の体育・スポーツ行政の歴史的発展と対比させ、その評価すべき点と問題点を明らかにし、21世紀におけるわが国よりよいスポーツ振興のためにいかなる制度と行政サービスを充実させる必要があるかについて解説する。この科目は、中・高保健体育科教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	単位認定試験(40%) 中間レポート(30%) 毎回の小レポート(20%) 受講姿勢(10%) 評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	保健体育科教諭資格選択必修科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー・アシスタントマネージャー受験資格必修科目 パワーポイントの資料は配布しないので、ノート・ルーズリーフ等は必ず持参すること。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。						
自己学習	毎回授業終了後、課す小レポートの内容及び授業内容を必ず毎回2時間程度、復習するとともに次回のテーマについて予習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. オリエンテーション～体育・スポーツ行政とは！？	講義	高藤			
2. (地)地域におけるスポーツ振興方策と行政の関わり	講義	高藤			
3. スポーツ行政のしくみ	講義	高藤			
4. スポーツ競技団体の施策	講義	高藤			
5. スポーツ基本法とスポーツ基本計画	講義	高藤			
6. 2000年以降のスポーツ振興に関する計画と戦略	講義	高藤			
7. 総合型地域スポーツクラブとは！？	講義	高藤			
8. (地)総合型地域スポーツクラブの育成と運営	講義	高藤			
9. (地)地域スポーツクラブの必要性和社会的意義	講義	高藤			
10. スポーツライフとクラブライフ	講義	高藤			
11. クラブのつくり方	講義	高藤			
12. (地)地域におけるスポーツクラブとしてのスポーツ少年団	講義	高藤			
13. アメリカにおける体育・スポーツ行政	講義	高藤			
14. イギリスにおける体育・スポーツ行政	講義	高藤			
15. ドイツにおける体育・スポーツ行政	講義	高藤			
16. 単位認定試験	講義	高藤			
	試験	高藤			

教科書 1	スポーツマネジメント 著者:原田宗彦・小笠原悦子 出版社:大修館書店 ISBN:978-4-469-26669
教科書 2	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 著者:(公財)日本スポーツ協会 出版社:(公財)日本スポーツ協会 ISBN:214K1T 214K2T 214K3T
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	スポーツボランティア実習				履修期	2021年度 春学期～秋学期	
担当者	太田 真司、羽野 真哉					NO.	SS-SM-3-107
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習
テーマと到達目標	<p>「審判(レフェリー)」「運営(マネジメント)」等スポーツに関わるボランティアを行うことをテーマに、スポーツを支えることの大切さを体験するとともに、スポーツ現場の実態やしぐみ、対象者の特性を理解し、専門的技能や思考力を向上させる。また、スポーツ少年団、クラブチーム、中学・高校運動部等でスポーツ指導実践を行うことにより、コーチングの大切さを体験するとともに、スポーツ現場の実態やしぐみ、対象者の特性を理解し、専門的技能や思考力の向上等スポーツ現場において指導や運営ができる能力を養うことを到達目標とする。</p>						
概要	<p>「審判(レフェリー)」 協会・連盟など各スポーツ競技団体主催の公式大会における審判員として、実務経験を積む。</p> <p>「運営(マネジメント)」 協会・連盟など各スポーツ競技団体主催の公式大会における運営補助員として、実務経験を積む。 (例) インターハイ、国体ブロック予選等の審判員及び運営、Jリーグ・フジエアーノ岡山、日本女子サッカーリーグ・吉備国際大学シャルム岡山高梁のホームゲーム等の運営。</p> <p>「指導(コーチング)」 中学校、高校の運動部活動及び地域のスポーツ少年団などで、選手指導を体験し、スポーツ指導者としての実務経験を積む。 練習プランの作成、練習中の選手へのアドバイス、チーム全員に対するミーティング、試合における審判等を体験することにより、指導方法やコーチングの難しさや奥深さを学ぶ。</p> <p>上記のスポーツ実務を32時間(4日間)ずつ合計64時間(8日間)以上、体験し日誌を作成する。また、実習後、「実習を通して学んだこと」をテーマにパワーポイントを作成し、プレゼンテーションによる報告を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	<p>実習先の指導担当者からの成績評価(50%)実習日誌・レポート(25%)プレゼンテーション(25%)。 なお、評価のために実施した日誌、レポート等は、授業でフィードバックするので、レポート・プレゼン試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>(公財)日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目</p> <p>実習前のオリエンテーション欠席者は、履修放棄とする。(必ず出席すること) 実習期間中、茶髪・ピアス・喫煙等は厳禁。 「吉備国際大学の学生」であることという自覚及び「学ばせていただいている」という気持ちで実習に臨むこと。 実習後の日誌・レポート未提出者、報告会の欠席者は、履修放棄とする。</p>						
自己学習	<p>「コーチング」「マネジメント」に関する文献や資料を事前に精読するとともに、毎回、実習前には課題をもって臨み実習後はその日の振り返りを行うこと。レポート試験、プレゼン試験は必ず行うで、必ず予習復習を行うこと。予習復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワーカー	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(ボランティアセンター2階)大広場ゼミ室において木曜日4、5限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション	講義	1. 太田/羽野	1. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	1. 太田/羽野		
2. 各自実習(運営及び審判員及び指導)	実習	2. 太田/羽野	2. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	2. 太田/羽野		
3. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	3. 太田/羽野	3. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	3. 太田/羽野		
4. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	4. 太田/羽野	4. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	4. 太田/羽野		
5. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	5. 太田/羽野	5. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	5. 太田/羽野		
6. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	6. 太田/羽野	6. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	6. 太田/羽野		
7. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	7. 太田/羽野	7. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	7. 太田/羽野		
8. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	8. 太田/羽野	8. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	8. 太田/羽野		
9. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	9. 太田/羽野	9. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	9. 太田/羽野		
10. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	10. 太田/羽野	10. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	10. 太田/羽野		
11. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	11. 太田/羽野	11. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	11. 太田/羽野		
12. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	12. 太田/羽野	12. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	12. 太田/羽野		
13. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	13. 太田/羽野	13. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	13. 太田/羽野		
14. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	14. 太田/羽野	14. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	14. 太田/羽野		
15. 各自実習(運営または審判員及び指導)	実習	15. 太田/羽野	14. 実習報告 15. 実習報告	講義 講義	15. 太田/羽野		
教科書 1	<p>スポーツボランティア読本 著者:二宮雅也 出版社:悠光堂 ISBN:978-4-906873-84-5</p>						

教科書 2	スポーツボランティアへの招待 著者:山口泰雄 編 出版社:世界思想社 ISBN:4-7907-1052-1
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	ゲームプランニング論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	松原 良香					NO.	SS-SM-2-108
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	競技力向上のためには、ゲームを分析し、課題を抽出し、トレーニングにその課題を反映させることが重要である。サッカー指導者やクラブマネジメントの現状を把握したうえで、サッカーの競技力向上を目的とした「ストライカー育成についての研究」を例に、現状分析、分析方法、結果分析、考察、プランニングの一連の流れを習得することを到達目標とする。						
概要	元プロサッカー選手で、現在はサッカー指導やクラブ経営に従事する講師による集中講義。サッカー界での指導者のおかれている立場や、マネジメントの現状について把握するとともに、サッカーの競技力向上を目的とした講師による「ストライカー育成についての研究」を例に、課題抽出、現状分析、結果分析、考察、プランニングの一連の流れを習得する。今後、スポーツ界において、競技力向上やスポーツ界発展のために何をすべきか、どう関わっていくかのビジョンを各自で確立する。 ※実務経験のある教員による科目 この科目は、サッカー指導・クラブ経営の実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。						
評価方法	中間レポート(30%) 最終レポート(30%) 毎回の小レポート(30%) 受講姿勢(10%)						
履修条件・注意事項	授業終了後のレポートの内容とともに毎回の授業終了後に自分なりの考察を各自ノートにまとめる。また、レポート内容、考察を参考に各自課題を持って次回の授業に臨むこと。						
自己学習	予習として、授業時に課題をだし自身の課題にむけプランニングする。また毎回の授業時に必ずノートを作成し復習すること。						
オフィスワ-	オンライン授業終了後、オンライン上にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
①ガイダンス ②サッカー選手のセカンドキャリア(コーチング) ③サッカー選手のセカンドキャリア(マネジメント) ④指導者・クラブ運営の現状 ⑤指導者の現状Ⅰ(プロクラブ) ⑥指導者の現状Ⅱ(アマチュアクラブ) ⑦指導・マネジメントのまとめ ⑧ストライカー研究方法論(目的) ⑨ストライカー研究方法論(研究結果) ⑩ストライカー研究方法論(考察1) ⑪ストライカー研究方法論(結果分析) ⑫ストライカー研究方法論(考察2) ⑬ストライカー研究方法論(提言) ⑭レポート発表	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原					
教科書 1	ストライカーを科学する——サッカーは南米に学べ! (岩波ジュニア新書) 出版社:岩波書店						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	サッカーレフェリーライセンス			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-1-109
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・実習
テーマと到達目標	サッカーの競技規則を理解するとともに、サッカーのゲームにおける審判法を実践することをテーマに、新規取得者(審判資格未 取得者)は、(公財)日本サッカー協会公認4級審判員の取得並びに3・4級資格取得者については来年度登録の更新すると ともに、学生がサッカーの公式戦や練習試合等においてサッカー審判員としての能力を身につけ活躍することができる。						
概要	サッカーの競技規則は、毎年、FIFA(国際サッカー連盟)から競技規則の変更が行われ、JFA(日本サッカー協会)を通じて、各地 域及び都道府県、各チームに通達される。しかしながら、ワールドカップやオリンピック等の国際大会をはじめリーグ等トップリーグ においても、審判の誤審や競技規則の適用において、様々な問題が起こっている。本講義において、サッカーの競技規則及び 「フェアプレーの精神」を理解するだけでなく、サッカーのゲームにおいて、実践を通して審判技術の向上を図る。 サッカー部員必修科目						
評価方法	競技規則テスト(45%)レフェリーの実践(45%)受講態度(10%)						
履修条件・ 注意事項	注意事項 サッカー競技規則2020/2021を熟読しておくこと。 レフェリーの実践において、心身ともにしっかりコンディショニングを行い臨むこと。						
自己学習	日ごろからサッカーのレフェリーの動きや判定を興味・関心を持ち、ゲームを観戦すること。						
オフィスワ-	研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション(審判員制度と 概要) 2. 審判員の心構え 3・マナー、資質と能力について 4. 競技規則の解釈と適用 1 (新シーズン競技規則変更点) 5. 試合における審判の実践 1 (紅白戦・男子Avs.B) 6. 試合における審判の実践 2 (紅白戦・男子Cvs.D) 7. 試合における審判の実践 3 (紅白戦・女子Avs.B) 8. 試合における審判の実践 4 (紅白戦・女子Cvs.D) 9. 競技規則の解釈と適用 2 (主審の役割) 10. 競技規則の解釈と適用 3 (副審の役割) 11. 競技規則の解釈と適用 4 (プレーの開始および再開方法) 12. 競技規則の解釈と適用 5 (オフサイド) 13. 試合における審判の実践 5 (紅白戦・男子Avs.C) 14. 試合における審判の実践 6 (紅白戦・男子Bvs.D) 15. 試合における審判の実践 7 (紅白戦・女子Avs.C) 16. 競技規則テスト	講義 講義 講義 講義 実習 実習 実習 実習 講義 講義 講義 講義 実習 実習 実習 筆記試験	高藤 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤(外部講 師) 高藤					
教科書 1	サッカー競技規則 2020/2021 出版社:(公財)日本サッカー協会						
教科書 2	サッカー競技規則 2021/2022 出版社:(公財)日本サッカー協会						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	基礎コーチング論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-1-110
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「自分自身の内面的資質を開発し、パーソナルリーダーシップを身につけること」をテーマとして、環境が及ぼす暗黙の制限について学び、内的動機付けと目標を設定し、そして、パブリックリーダーシップを結びつける為の能力を身につける。</p> <p>環境が及ぼす暗黙の制限である「条件付け」について理解する。また、環境的条件付けを自ら考え、過去の自分の消極的・否定的な思考を知り、他の人に対するパブリック・リーダーシップを発揮に活かして行く事ができることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>リーダーシップ映像、一枚の絵を多角的、客観的に観察してグループディスカッションを行う。グループでまとめたことをプレゼンしていき、人それぞれのこころの状態や価値観からとらえ方が違うこと認識していく。教養面、社会面、健康面、家庭・経済面等による自己評価チェックを行い、自分自身の長所発見や自己改善の気づきとし、自己認識していく。そして自分の価値を理解し、価値ある目標設定(目標の意味づけ)作業を行っていく。自己認識から自分自身に合ったコーチングを学んでいく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、コーチング基礎論としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>「自分自身のコーチングコミュニケーションができる」の到達度について知識および能力を計るために、定期試験結果や毎回の授業レポートをレポートを通じて総合的に評価する。知識修得状況を把握するための定期試験(50%)毎回の授業におけるレポート(30%)、毎回の授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。</p> <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	(公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目						
自己学習	<p>1) 毎回の授業でレポート課題を宿題とし、事前に身近に起こった人間関係についてレポート課題を作成し提出すること。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>						
オフィスワ-	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)にて木曜日の2限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. パーソナル・リーダーシップについて	講義	太田					
2. パーソナル・リーダーシップの開発法について	講義	太田					
3. 人間が持っている未開発な潜在能力について	講義	太田					
4. セルフ・イメージについて	講義	太田					
5. セルフ・モチベーションについて	講義	太田					
6. マネージャー、管理者の心理	講義	太田					
7. 条件付けと何か?	講義	太田					
8. 家族と社会環境の影響について	講義	太田					
9. リーダーの過ちと失敗との向き合いについて	講義	太田					
10. スポーツ指導者とは何かについて	講義	太田					
11. スポーツ指導者の倫理について	講義	太田					
12. スポーツ活動と安全管理	講義	太田					
13. 指導計画の立て方について	講義	太田					
14. 指導者の心構えの視点について	講義	太田					
15. 世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割について	講義	太田					
16. 単位認定試験	講義	太田					
	筆記試験	太田					
教科書 1	担当者の作成資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	応用コーチング論				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-1-111
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「5W1Hを活用した質問を作り出し創造的な聴き方を理解する」をテーマとして、創造的な聴き方、効果的な質問のつくり方、意思決定プロセスを学び相互理解を深まるコーチングを身につけるための能力を身につける。</p> <p>創造的な聴き方の5原則を学び、聴き方を学ぶことで、効果的なオープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを学び考察する。四つの性格特性を学び、効果的なコーチングを理解する。また、意思決定の重要性、プロセス、仕方とセルフ・イメージと自分の行動との結びつきについて学び、相手の状況、心理を理解するために効果的な質問と聴き方そしてコーチングができるようになることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>成功したリーダーによる意思決定者の在り方、心構えについて考察しレポートしていく。5W1Hの質問が作ることがみにつくように、2人～3人でのグループ討論を主体とした方式による授業を行っていく。特に4つの性格特性に合わせた関わり方を理解して実践することで、目標実現には、他の協力が不可欠であることを学ぶ。</p> <p>意思決定プロセスの原理原則と受講生それぞれによる過去の経験を比較して、自分自身に合った意思決定の在り方を見つけていく。加えて、自己評価によるアクションステップにおいて、自己認識を行い、自分に合ったパーソナルなコーチング方法を見つけていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、サッカーコーチング指導者としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	自分自身のコーチングコミュニケーションの到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や毎回の授業レポートを通じて総合的に評価する。知識修得状況を把握するための定期試験(50%)毎回の授業におけるレポート(40%)、毎回の授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	(公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目。毎回の授業の内容からレポート宿題を課す。次回の授業にて提出をすること。						
自己学習	1) 毎回の授業でレポート課題を宿題とし、事前に身近に起こった人間関係についてレポート課題を作成し提出すること。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	木曜日 2限 吉備国際大学charme岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)大広場ゼミ室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 2. トップアスリートの育成・強化の方法とその評価 3. 競技力向上のためのチームマネジメント 4. 競技力向上のための情報とその活用 5. 一般的なコミュニケーションについて 6. コミュニケーションにおける真の感情移入について 7. 耳を傾ける技術について 8. 人が実社会で聴く事に費やされる時間について 9. 聴いてもらう保障について 10. 人に協力をしてもらう5つの事について 11. メッセージを送り、受け取る事について 12. 意思決定の分析結果について 13. 意思決定プロセスで守る一般原則について 14. 意思決定の仕方について 15. 問題解決のプロセスについて 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義	太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田		
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	スポーツ心理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉藤 利早				NO.	SS-SM-2-112	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生がスポーツ心理学の基礎的知識に基づき、スポーツにおけるメンタルトレーニングの基礎理論の理解と基礎技能を習得し、スポーツ選手に対してメンタルトレーニングができるようになることを到達目標とする。						
概要	<p>スポーツの心理的効用や心理的要因がスポーツのパフォーマンスに及ぼす影響など、スポーツにおける心理学を広く系統的に取り上げ考察する。スポーツ心理学の基本理念、スポーツとパーソナリティ、年齢別の心理的発達段階、運動学習の指導と心理、トップスポーツの心理学などを実際の学校体育や社会体育等のスポーツ指導場面に即して学ぶ。また、メンタルトレーニング技法を学ぶ。そして、事例をもとにメンタルトレーニングプログラムを自ら作成し、プレゼンテーションを行なうことで実践力を身につける。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、教育現場、スポーツ現場での実務経験を持つ教員がその経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	授業内課題及びレポート等(学習到達目標に関する出題)を60%、発表、ディスカッションへの参加を30%、受講態度を10%とする。詳しい評価方法は、最初の授業時間に説明する。 なお、評価のために実施した課題及びレポートは授業にてフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	日本体育協会各種資格基礎科目 配布資料・参考書等による予習・復習を行うこと。 到達目標・授業内容・評価方法を詳しく説明するので、初回の授業は必ず出席すること。 毎回プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。						
自己学習	発表・ディスカッションをおこなう参加型学習のため予習・復習が必要である。講義で配布した資料等を用いて予習・復習を行うこと。予習および復習には、各1時間程度を要する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室において実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション、スポーツ心理学 2. スポーツ心理学の歴史的展開(理論) 3. 心理サポートの必要性(理論) 4. スポーツメンタルトレーニング(理論) 5. 心理的競技能力(理論・実技) 6. メンタルトレーニング技法①(理論・実技) ー目標設定とモチベーション・リラクゼーションー 7. メンタルトレーニング技法②(理論・実技) ーイメージトレーニング・集中力ー 8. メンタルトレーニング技法③(理論・実技) ーポジティブシンキング・自信ー 9. メンタルトレーニング技法④(理論・実技) ーセルフトーク・サイキングアップ・メンタルリハーサル・条件付け・予測力、判断力ー 10. アセスメント(理論) 11. メンタルトレーニングプログラム作成①(討論) 12. メンタルトレーニングプログラム作成②(討論) 13. メンタルトレーニングプログラム作成③(討論) 14. メンタルトレーニングプログラム作成④(討論) 15. メンタルトレーニングプログラム作成⑤(討論) 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL AL AL AL AL AL 実技試験	倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早 倉藤利早		
教科書 1	使用しない(必要に応じプリント等を配布する)						
教科書 2	スポーツメンタルトレーニング教本 (日本スポーツ心理学会 編) 出版社:大修館						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	C級コーチライセンス			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-3-115
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義・実技実習
テーマと到達目標	<p>日本サッカー協会公認C級コーチライセンスにおいて学生は、日本サッカーの方向性とチームマネジメント、更には発育発達の全体像を理解することができる。</p> <p>講義では、ゲーム分析、戦術論、プランニング、コーチング法、発育発達と一貫指導を理論として学ぶことができる。</p> <p>指導の実践においては、受講生同士で指導を行い、「プレイヤーズファースト」「グッドスタンダード」「リスペクト」を念頭に置きながらの指導ができるように実践する。</p> <p>特に本ライセンスでは、「Guided Discovery:選手の発見を導く」コーチング法の導入であり、具体的には「サッカーのプレーの基準を与えながらも常に発問と選手への働きかけを繰り返しながら、選手の思考を停止させないコーチング」を身につける事が到達目標となる。</p> <p>その為に、本ライセンスでは、実務経験のある指導者がファシリテーター役となり、学生が社会や組織の一員として、他者と協働して、主体的に問題発見及びその解決に取り組み、他者に対しても公平かつ好意的に接することができる指導者、教育者、社会の形成者としての資質を持つ事ができる。</p>						
概要	<p>C級コーチライセンスは、公益財団法人日本サッカー協会公認コーチライセンスであり、吉備国際大学は教育機関で唯一無二の認定校となっています。C級コーチライセンスは、上級ライセンス及び多種目のライセンスへの登竜門であり成績優秀者は、公認B級ライセンス、フットサルC級コーチライセンス、フィジカルフィットネスC級ライセンス、GKレベル1ライセンスへの受講チャンスとなります。</p> <p>授業の構成は、講義と実技、通信レポートの提出となっております。講義で学んだ理論を実技の中で実践していきます。先ずは、インストラクター(教員)が模範となる指導実践をポイントを伝えながら行い受講生が体験します。学生が指導実践の後、インストラクターがファシリテーターとなり、ディスカッションを行います。ここでの議論が今後の指導における改善ポイントなり有為意義なものとなります。</p> <p>指導実践は、インストラクターが見本となった14テーマの指導を行います。そのうち13テーマの※指導実践を行います。指導実践後、選手側とディスカッションを行います。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、C級コーチライセンスインストラクターの実務経験員が、その経験を活かす持教し、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>日本サッカー協会のカリキュラムに基づいて、講義、実技講習を受けたのち通信教育課程、指導実践、筆記テストに合格した者にライセンスを与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導実践(効果的なオーガナイズ、コーチングによって改善がみられたか) 50% 2. 筆記テスト 20% 3. 通信教育課程レポート 10% 4. 取り組む姿勢(講義態度、指導実践、議論の積極性、協調性) 10% 5. 実技レベル 10% <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>日本サッカー協会では、指導者資格の取得同様、レベルアップのための自己研鑽が必要と考え、リフレッシュ研修会を開催しています。C級コーチを合格した際に、登録指導者は、リフレッシュ研修会の受講やチームの指導等を通して、所定の期間内にリフレッシュポイントを獲得する必要があります。</p> <p>必要ポイント数と獲得期限は、C級コーチで40ポイントを4年間で獲得する必要があります。</p> <p>日本サッカー協会指導教本協会登録料、DVDの購入してもらいます。(金額と支払い方法は初回授業オリエンテーションにおいて説明する)</p> <p>原則サッカー経験者(経験のない方は別途相談)及び指導現場経験者であること。 ※怪我で実技ができない方は受講できません。</p> <p>実技においてはサッカーのできる服装、サッカーシューズ、時計を持参すること。 (D級コーチライセンスと同時履修)</p> <p>JFA公認指導者ライセンスであり、B級ライセンス以上は、世界(AFC)で通用するライセンスとなっています。講習会の規律を守る事。</p>						
自己学習	<p>1)予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読むこと。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)指導実践のプランニングとシュミレーション(予習および実際に指導実践を練習できると理想)を行ってこること。また復習を行うこと。4)予習および復習には、各2時間程度を要する。通信レポート、2つのレポート課題を学修し、秋学期最後の授業にて提出すること。</p>						
オフィスワ-	木曜日 2限 吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. はじめに JFAの理念、取り組み、C級ガイダンス	講義	1.太田	1. 秋学期ガイダンス、指導現場見学	講義・ディスカッション	1.太田
2. 理論:①発育発達と一貫指導	講義	2.太田	2. 理論:指導者の役割Ⅰ、Ⅱ		2.太田
②育成年代のゴールキーパー指導			3. インストラクター指導実践:	講義	3.太田
3. インストラクター実技:①ゴールキーパー②ゲームとコーディネーション	実技	3.太田	「守備のテクニックON・OFFでの対応」	実技	
4. 理論:③技術戦術Ⅰ④技術戦術Ⅱ⑤技術戦術Ⅲ	講義	4.太田	4. インストラクター指導実践:		4.太田
5. インストラクター実技:③観る	実技	5.太田	「守備ボールを奪う」	実技	
④ボールフィーリング&トリプル			5. インストラクター指導実践:	実技	5.太田
6. 理論:⑥メディカル ⑦審判	講義	6.太田	「攻撃 ポゼッション(サポート)」	実技	6.太田
7. インストラクター実技:⑤パス	実技	7.太田	6. インストラクター指導実践:	実技	
&コントロール ⑥実技:シュート			「攻撃 ゴールを目指す(マークを外す動き)」		7.太田
【多彩なキック】			7. 受講生指導実践「守備のテクニック」「守備ボールを奪う」	実技	
8. 理論:⑧コーチング法Ⅰ、Ⅱ	講義	8.太田	8. 受講生指導実践「攻撃ポゼ		8.太田

<p>⑨指導実践見学 9. 受講生指導実践テーマ①「観る」「ボールフィーリング&ドリブル」 10. 受講生指導実践テーマ②「パス&コントロール」「シュート」 11. 受講生指導実践テーマ③「観る」「ボールフィーリング&ドリブル」 12. 受講生指導実践テーマ④「パス&コントロール」「シュート」 13. ファジアーノ岡山並びにU-20日本代表監督による指導研修(実技・講義) 14. 受講生指導実践テーマ⑥「パス&コントロール」「シュート」 15. 理論:⑧コーチングⅢ ⑨指導実践振り返り</p>	<p>実技 実技 実技 実技 実技 ディスカッション 講義 ディスカッション</p>	<p>9.太田 10.太田 11.太田 12.太田 13.太田 14.太田 15.太田</p>	<p>ション」「ゴールを目指す」 9. 受講生指導実践「守備のテクニック」「ボールを奪う」 10. 受講生指導実践「攻撃ポゼッション」「ゴールを目指す」 11. 指導実践テスト「観る」「ボールフィーリングドリブル」「パス&コントロール」 12. 指導実践テスト「シュート」「守備のテクニック」「ボールを奪う」「ポゼッション」 13. 指導実践テスト「ポゼッション」「ゴールを目指す」「観る」「ボールフィーリング」 14. 指導実践テスト「パス&コントロール」「シュート」「守備のテクニック」 15. 指導実践テスト「ボールを奪う」「ポゼッション」「ゴールを目指す」 16. 筆記試験・通信課題提出</p>	<p>実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 試験</p>	<p>9.太田 10.太田 11.太田 12.太田 13.太田 14.太田 15.太田</p>
<p>教科書 1</p>	<p>U-12指導指針 著者:キッズU-10指導ガイドライン 出版社:公益財団法人日本サッカー協会</p>				
<p>教科書 2</p>	<p>キッズU-8指導ガイドライン 著者:キッズU-6指導ガイドライン 出版社:公益財団法人日本サッカー協会</p>				
<p>参考書 1</p>	<p>サッカー指導ビデオ実技編 出版社:公益財団法人日本サッカー協会</p>				
<p>参考書 2</p>					

授業科目名	D級コーチライセンス			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-3-116
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	講義・実技実習
テーマと到達目標	<p>日本サッカー協会公認D級コーチライセンスにおいて学生は、日本サッカーの方向性とチームマネジメント、更には発育発達の全体像を理解することができる。</p> <p>講義では、ゲーム分析、戦術論、プランニング、コーチング法、発育発達と一貫指導を理論として学びます。</p> <p>指導の実践においては、受講生同士で指導を行い、「プレイヤーズファースト」「グッドスタンダード」「リスペクト」を念頭に置きながらの指導ができるように実践していきます。</p> <p>特に本ライセンスでは、「Guided Discovery:選手の発見を導く」コーチング法の導入であり、具体的には「サッカーのプレーの基準を与えながらも常に発問と選手への働きかけを繰り返しながら、選手の思考を停止させないコーチング」を身につける事が到達目標となる。</p> <p>その為に、本ライセンスでは、実務経験のある指導者がファシリテーター役となり、学生が社会や組織の一員として、他者と協働して、主体的に問題発見及びその解決に取り組み、他者に対しても公平かつ好意的に接することができる指導者、教育者、社会の形成者としての資質を持つ事ができる。</p>						
概要	<p>D級コーチライセンスは、公益財団法人日本サッカー協会公認コーチライセンスであり、吉備国際大学は教育機関で唯一無二の認定校となっております。D級コーチライセンスは、上級ライセンス及び多種目のライセンスへの登竜門であり成績優秀者は、公認B級ライセンス、フットサルC級コーチライセンス、フィジカルフィットネスC級ライセンス、GKレベル1ライセンスへの受講チャンスとなります。</p> <p>授業の構成は、講義と実技、通信レポートの提出となっております。講義で学んだ理論を実技の中で実践していきます。先ずは、インストラクター(教員)が模範となる指導実践をポイントを伝えながら行い受講生が体験します。学生が指導実践の後、インストラクターがファシリテーターとなり、ディスカッションを行います。ここでの議論が今後の指導における改善ポイントなり有為意義なものとなります。</p> <p>指導実践は、インストラクターが見本となった14テーマの指導を行います。そのうち13テーマの※指導実践を行います。指導実践後、選手側とディスカッションを行います。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、D級コーチライセンスインストラクターの実務経験員が、その経験を活かす持教し、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>日本サッカー協会のカリキュラムに基づいて、講義、実技講習を受けたのち通信教育課程、指導実践、筆記テストに合格した者にライセンスを与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導実践(効果的なオーガナイズ、コーチングによって改善がみられたか) 50% 2. 筆記テスト 20% 3. 通信教育課程レポート 10% 4. 取り組む姿勢(講義態度、指導実践、議論の積極性、協調性) 10% 5. 実技レベル 10% <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>日本サッカー協会では、指導者資格の取得同様、レベルアップのための自己研鑽が必要と考え、リフレッシュ研修会を開催しています。D級コーチを合格した際に、登録指導者は、リフレッシュ研修会の受講やチームの指導等を通して、所定の期間内にリフレッシュポイントを獲得する必要があります。</p> <p>必要ポイント数と獲得期限は、D級コーチで40ポイントを4年間で獲得する必要があります。</p> <p>日本サッカー協会指導教本協会登録料、DVDの購入してもらいます。(金額と支払い方法は初回授業オリエンテーションにおいて説明する)</p> <p>原則サッカー経験者(経験のない方は別途相談)及び指導現場経験者であること。 ※怪我で実技ができない方は受講できません。</p> <p>実技においてはサッカーのできる服装、サッカーシューズ、時計を持参すること。 (D級コーチライセンスと同時履修)</p> <p>JFA公認指導者ライセンスであり、B級ライセンス以上は、世界(AFC)で通用するライセンスとなっております。講習会の規律を守る事。</p>						
自己学習	<p>1)予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読むこと。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)指導実践のプランニングとシュミレーション(予習および実際に指導実践を練習できると理想)を行ってこること。また復習を行うこと。4)予習および復習には、各2時間程度を要する。通信レポート、2つのレポート課題を学修し、秋学期最後の授業にて提出すること。</p>						
オフィスワ-	木曜日 2限 吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1. はじめに JFAの理念、取り組み、C級ガイダンス	講義	1.太田	1. 秋学期ガイダンス、指導現場見学	講義・ディスカッション	1.太田
2. 理論:①発育発達と一貫指導	講義	2.太田	2. 理論:指導者の役割Ⅰ、Ⅱ		2.太田
②育成年代のゴールキーパー指導			3. インストラクター指導実践:	講義	3.太田
3. インストラクター実技:①ゴールキーパー②ゲームとコーディネーション	実技	3.太田	「守備のテクニックON・OFFでの対応」	実技	
4. 理論:③技術戦術Ⅰ④技術戦術Ⅱ⑤技術戦術Ⅲ	講義	4.太田	4. インストラクター指導実践:		4.太田
5. インストラクター実技:③観る	実技	5.太田	「守備ボールを奪う」	実技	
④ボールフィーリング&トリプル			5. インストラクター指導実践:	実技	5.太田
6. 理論:⑥メディカル ⑦審判	講義	6.太田	「攻撃 ポゼッション(サポート)」	実技	6.太田
7. インストラクター実技:⑤パス	実技	7.太田	6. インストラクター指導実践:	実技	
&コントロール ⑥実技:シュート			「攻撃 ゴールを目指す(マークを外す動き)」	実技	7.太田
【多彩なキック】			7. 受講生指導実践「守備のテクニック」「守備ボールを奪う」	実技	
8. 理論:⑧コーチング法Ⅰ、Ⅱ	講義	8.太田	8. 受講生指導実践「攻撃ポゼ		8.太田

<p>⑨指導実践見学 9. 受講生指導実践テーマ①「観る」「ボールフィーリング&ドリブル」 10. 受講生指導実践テーマ②「パス&コントロール」「シュート」 11. 受講生指導実践テーマ③「観る」「ボールフィーリング&ドリブル」 12. 受講生指導実践テーマ④「パス&コントロール」「シュート」 13. ファジアーノ岡山並びにU-20日本代表監督による指導研修(実技・講義) 14. 受講生指導実践テーマ⑥「パス&コントロール」「シュート」 15. 理論:⑧コーチングⅢ ⑨指導実践振り返り</p>	<p>実技 実技 実技 実技 実技 ディスカッション 講義 ディスカッション</p>	<p>9.太田 10.太田 11.太田 12.太田 13.太田 14.太田 15.太田</p>	<p>ション」「ゴールを目指す」 9. 受講生指導実践「守備のテクニック」「ボールを奪う」 10. 受講生指導実践「攻撃ポゼッション」「ゴールを目指す」 11. 指導実践テスト「観る」「ボールフィーリングドリブル」「パス&コントロール」 12. 指導実践テスト「シュート」「守備のテクニック」「ボールを奪う」「ポゼッション」 13. 指導実践テスト「ポゼッション」「ゴールを目指す」「観る」「ボールフィーリング」 14. 指導実践テスト「パス&コントロール」「シュート」「守備のテクニック」 15. 指導実践テスト「ボールを奪う」「ポゼッション」「ゴールを目指す」 16. 筆記試験・通信課題提出</p>	<p>実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 試験</p>	<p>9.太田 10.太田 11.太田 12.太田 13.太田 14.太田 15.太田</p>
教科書 1	U-12指導指針 著者:キッズU-10指導ガイドライン 出版社:公益財団法人日本サッカー協会				
教科書 2	キッズU-8指導ガイドライン 著者:キッズU-6指導ガイドライン 出版社:公益財団法人日本サッカー協会				
参考書 1	サッカー指導ビデオ実技編 出版社:公益財団法人日本サッカー協会				
参考書 2					

授業科目名	トレーニング論				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-2-117	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	スポーツの指導者として、『スポーツ全般を対象にして、トレーニングの原則について学習する。』ことをテーマとし、指導はあくまで指導の対象となる者、つまり選手や生徒が主体である。指導対象者の基本的な条件、年齢、性別、目的、レベル等々が、存在する。学生はトレーニング実施に必要な解剖・生理学的原則などに立脚しつつ、バイオメカニクスの理論、さらに今日では認知科学的及び脳科学的研究成果などを踏まえて行われる。トップアスリートを含めたアスリートのトレーニングから、健康づくりを目的としたトレーニングまで、指導方法論などが理解できるようになることを到達目標とする。							
概要	トレーニング学はスポーツ科学の進展と共に進化している。トレーニング自体は人間の有史以来存在すると言える。その時の時代性を反映した論理のもとに、人類の文化遺産として存続してきている。近代においては、約10年余りの年月の間、科学の発展に追随しつつ、トレーニングの近代的な理論が構築されてきた。体力諸要素をベースとして、トレーニング科学が発展してきたが、時代が進むとともに、脳-神経系に焦点と基礎を置くトレーニングも提示されてきている。こうした広範なトレーニングの理論を論じていく。							
評価方法	授業時に課すレポート課題で30%、最終試験で70%の比率で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	指導者としてしっかりとした知識をもとに指導できることを目的としているため、授業の復習や課題を十分に行うことを条件とする。							
自己学習	毎回の授業時において、次回の授業内容に応じて、各自のスポーツ経験に基づく問題を見出す指示を行う。これによって、各自経験の見直しや情報収集を行う。授業後は、授業内容を受けて、望ましい在り方について考察し、時にレポートとして提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。							
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01,オリエンテーション 02,トレーニングとプラクティス 03,トレーニングの領域 04,有酸素トレーニング 05,無酸素トレーニング 06,柔軟性トレーニング 07,筋力トレーニングの分野 08,筋肥大 09,筋力向上 10,スピード筋力 11,スタビライゼーション 12,コーディネーション 13,ゆるエクササイズ 14,ゆるトレーニング 15,メンタルトレーニング 16,試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内	
教科書 1	詳説筋力トレーニング法 出版社:編集工房ソシエタス							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	体力学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全				NO.	SS-SM-2-201	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	体力を広くとらえ、健康に関連した体力の概念を主として、その内容・構造を理解する。運動処方基礎として、体力の構成要素について専門的に学び、健康と体力、引いては運動の必要性が理論的に理解できるようになる。						
概要	現代の社会環境や、現代人の生活状況が、体力にどのように影響を与えているか。また、発育発達の過程で、体力はどのように変遷していくかについて論じる。さらに、老化と体力の関連性、疾病と体力の関連性にまでテーマを広げ、障害者の体力の問題にも焦点を当てる。体力についてその要素を、身体及び精神の両面に関わる、相互の連関において理解し、かつ疾病や障害との関連性を学習する。体力の捉え方や意味についての歴史の変遷について論じ、過去から現代にいたる日本人の体力の推移と、それに関わる要因と健康問題の関連性が理解できるようになる。						
評価方法	受講態度20%、単位認定試験80%による評価を行う。単位認定試験は採点后各自個別指導を行う。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	健康運動指導士資格認定試験受験資格必須科目 健康運動実践指導者資格認定試験受験資格必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、スポーツプログラマー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目 毎回の授業時において配布する資料や、各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習また指示された予習を行うこと。						
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考資料等を約2時間読みまわめておくこと。復習として毎回の授業を自分でまとめ必要ところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 体力の定義:健康に関連した体力 2. 体力の構成要素とその測定方法 3. 身体組成とその評価及び健康との関連性 4. 身体活動度と健康・体力 5. 筋力とその評価及び健康との関連性 6. 全身持久力とその評価及び健康との関連性 7. 柔軟性とその評価及び健康との関連性 8. 調整力とその評価及び健康との関連性 9. 発育発達段階と体力 10. 加齢と体力の減退 11. 女性の体力:男女の比較 12. 障害者の体力 13. スポーツマンと体力 14. 心の健康と体力 15. 生活習慣と体力 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原		
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	体力学演習 I				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全、山口 英峰、天岡 寛					NO.	SS-SM-2-202	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	メディカルチェックの意義と内容,体力の測定方法や健康調査について、その理論と実際を学習する。身体活動度の評価方法、身体組成の評価方法を学習する。そして、的確に健康・体力の評価が行えて、そのうえで運動実施に関する相談を受けかつ指導ができるようになる。							
概要	健康や体力に関する測定・評価について、理論面の講義にもとづき、体力測定、検査、調査法などについて、実技・演習を行う。測定、検査、調査法の妥当性や再現性などについて理解し、対象者や目的に応じた評価方法の選択と、正しい実施方法を習得する。それらのデータを統計学的方法によって分析する基本を学び、これらによる診断・評価を踏まえながら、有酸素運動の運動種目であるジョギングウォーキングの実践方法・指導方法を学習する。							
評価方法	受講態度20%、最終レポート80%による評価を行う。最終レポートは採点后各自個別指導を行う。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、最終レポート作成までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	健康運動指導士資格認定試験受験資格必須科目 健康運動実践指導者資格認定試験受験資格必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格必須科目 毎回の授業時において配布する資料や、各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習また指示された予習を行うこと。適宜、先回の授業内容について、レポートの作成・提出を行う。							
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考資料等を約2時間読みまとめておくこと。復習として毎回の授業を自分でまとめ必要なところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。							
オフィスワ-	担当教員別 9号館4階研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				1. オリエンテーション 2. 体力測定の意義と目的 3. メディカルチェックの必要性と目的 4. メディカルチェックの内容 5. 身体活動度の評価方法:質問紙法 6. 身体活動度の評価方法:その他の方法 7. 身体組成と健康およびその評価 8. 皮下脂肪厚測定による身体組成評価 9. その他の方法による身体組成評価 10. 体力測定の実際:新体力テスト 11. 体力測定の実際:エクササイズガイド 12. 体力測定の計画 13. 体力測定の実施 14. 体力測定の評価 15. 体力プロフィールの作成 16. まとめ			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート	担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員
教科書 1	資料を配布する							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	運動処方演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-3-206
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は『呼吸・循環器系の作業能力を向上させるための運動プログラム』をテーマとし、プログラムを作成したうえで、目的に応じた運動プログラムの作成の仕方を学び、指導することができるようになることを到達目標とする。						
概要	健康・体力の維持向上,老化の防止,瘦身などを目的とした運動処方の実際を学ぶ。介護予防,生活習慣病予防など、目的別運動処方の作成と実施の仕方の実際を学習したうえで、運動行動や習慣を改善するアプローチについて学習する。昨今重要視されてきたメタボリックシンドロームやロコモティブシンドローム、さらにはメンタルヘルスの改善においても、有酸素運動を中心とした運動プログラムは重要である。こうした目的で行われる運動指導の実際上の留意点についても学習する。この授業の担当者は、健康運動指導の実務経験を有する。						
評価方法	授業中の課題提出,小テストやレポート提出で50%、最終レポートで50%の配分によって評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	健康運動指導士資格認定試験受験資格必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格必須科目 運動処方演習Ⅰを履修すること。健康運動実践指導者受験資格科目ではないが、健康運動実践指導者を受験する学生は、履修することが強く望まれる。 毎回の授業時において配布する資料や、各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習また指示された予習を行うこと。 適宜、先回の授業内容について、レポートの作成・提出を行う。						
自己学習	運動処方の基礎となる人間の身体や体力に関する科目の内容を、毎回の授業内容に照らし合わせて、予習しておくこと。さらに、授業後は、学んだことを実践して、実技力として習得すること。 予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01,aerobic exerciseの運動処方の基本 02,aerobic exerciseの目的別プログラム 03,一般的な運動プログラム作成 04,子供の運動プログラム 05,高齢者のaerobic exerciseプログラム 06,介護予防のための運動 07,肥満予防と改善のための運動プログラムの基本 08,ロコモティブシンドロームと運動 09,女性のための運動プログラム 10,障害者のための運動プログラム 11,高血圧の運動指導 12,糖尿病予防の運動指導 13,その他の疾患の運動指導 14,メンタルヘルスのための運動指導 15,最終レポート作成	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 最終レポート	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内		
教科書 1	健康運動指導士養成講習会テキスト 出版社:健康・体力づくり事業財団						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ医学 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	川上 照彦					NO.	SS-SM-3-207		
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	スポーツ医学のもと側面を生理学、整形外科学、内科学等の観点から理解し、スポーツ医学の重要性を理解する。学生はスポーツ時に起こりやすい外傷や障害を理解し、それぞれの応急処置について学ぶことができる。								
概要	競技スポーツの特性と健康スポーツの大切さについて事例をあげて説明する。また、様々な障害について事例をあげ、その予防や処置について基礎的なことを学ぶ。								
評価方法	講義姿勢(10%)、発表、ディスカッションへの参加(10%)、定期試験(80%)から評価する。なお、講義内の発表評価に関しては講義内にフィードバックすることから、発表内容について試験までに見直しが必要である。								
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「日本スポーツ協会公認スポーツリーダー」「スポーツプログラマー」受験資格必須科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。								
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布されたプリントの指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。								
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義後の時間をオフィスアワーとする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. 内科的障害と予防 02. スポーツと内科的障害 03. 外科的障害 上肢 04. 外科的障害 下肢 05. 外科的障害 脊椎 06. 外科的処置1) 全身性障害: 実習含 07. 外科的処置2) 局所外傷: 実習含 08. 救急蘇生法 09. メディカルチェック 10. 健康と障害について 11. スポーツ外傷とその予防 12. スポーツ障害とその予防 13. 救急処置(アイシング・テーピング) 14. 熱中症 15. ドーピングについて 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2	著者: 適宜指示する								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	スポーツ医学Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	川上 照彦					NO.	SS-SM-3-208
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	運動負荷試験の基礎として検査の目的、手順、方法および判定について理解する。学生は実践を通して、エルゴメーターを用いた運動負荷試験を行うことができる。						
概要	運動負荷試験の基礎となる運動負荷の様式、手順ならびに判定について様々な生理学的なパラメータを用いて実践し、理解を深める。						
評価方法	講義姿勢(10%)、発表、ディスカッションへの参加(10%)、レポート課題(10%)、定期試験(70%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布させたプリントの指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義後の時間をオフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. メディカルチェックについて 02. 健診結果の見方について 03. 服薬者の運動プログラム 04. 安静時心電図について 05. 運動負荷試験とは 06. 運動負荷試験の実際 07. 運動負荷試験実習(1)トレッドミル測定の実際(実習含) 08. 運動負荷試験実習(2)エルゴメーター測定の実際(実習含) 09. 運動負荷試験実習(3)ホルター心電図の実際(実習含) 10. 運動負荷試験実習(4)テレメータ心電図の実際(実習含) 11. 運動負荷試験実習(5)フィールド測定(実習含) 12. 運動負荷試験実習(6)評価と解析 13. 運動負荷試験実習(7)潜水反射試験 14. 運動時における一過性の循環器応答について 15. 運動プログラム作成について 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上 川上
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	応用スポーツ論				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-3-209	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	運動プログラム作成をテーマとする。学生は運動プログラム作成の基本的な知識と理論を理解することで、一般の運動処方ならびに内科的疾患を持っている方への運動処方の基礎を学ぶことができる。							
概要	健康の保持・増進にはスポーツなどの身体活動の実践が有効である。本講義はでは、幅広い年齢層におけるスポーツ実践についての理解を深めるために、様々な運動時の生体応答等についての知識と理論について学習する。							
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(10%)、小テスト(40%)、定期試験(50%)から評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。講義毎に前週講義内容の小テストを行うので毎回の授業においてテキストの指定されたページを熟読して頂くこと。復習として講義内容や小テストの内容をしっかりと確認すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
01. 概要 02. ストレッチおよび柔軟体操の実際 03. ウォーミングアップとクーリングダウンの理論 04. 有酸素運動時の生体応答-ウォーキング 05. 有酸素運動時の生体応答-ランニング 06. 有酸素運動時の生体応答-水中運動 07. 有酸素運動時の生体応答-エアロビックダンス 08. 無酸素性運動時の生体応答 09. 筋力トレーニング時の生体応答 10. 運動プログラムについて 11. 運動プログラムの作成-若年者 12. 運動プログラムの作成-高齢者 13. 運動プログラムの作成-後期高齢者 14. 運動プログラムの作成-子ども 15. 総括 16. 単位認定試験	講義 筆記試験	山口 山口						
教科書 1	健康運動実践指導者用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	応用スポーツ実習			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛、山口 英峰、高原 皓全					NO.	SS-SM-3-210
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	運動プログラムの基礎および応用について実践を通して理解する。学生は個人(対象者)に応じた運動プログラムの作成およびその実践力を身につけることができる。						
概要	本講義はでは、幅広い年齢層におけるスポーツ実践についての理解を深めるとともに、効果的な運動実践方法について実習を通して身につけることを目的とする。また、自らの身体がトレーニングによってどのように変化していくのかについても体験する。						
評価方法	レポート課題(20%)、実技試験(40%)、筆記試験(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 健康運動実践指導者資格認定試験受験資格の必須科目ではないが、健康運動実践指導者試験を受験する学生は履修することが強く望まれる。						
自己学習	講義内で行う運動プログラムの作成ならびにその実演についての習得には、事前に配布する運動プログラム内容理解が必要である。実技および筆記試験ともに講義前後の予習復習が必要である。						
オフィスワ-	担当教員別 9号館4階研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. 概要 02. ストレッチおよび柔軟体操の実際 03. ウォーミングアップとクーリングダウンの実際 04. ウォーキングの実際 05. ランニングの実際 06. エアロビックダンスの実際 07. 筋力トレーニングの実際(1) 上肢 08. 筋力トレーニングの実際(2) 下肢 09. 運動プログラム作成 10. 運動プログラムの実践(1) 若年者 11. 運動プログラムの実践(2) 高齢者 12. 運動プログラムの実践(3) 後期高齢者 13. 運動プログラムの実践(4) こども 14. 運動プログラムの実践(5) アスリート 15. 総括 16. 筆記および実技試験	講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 試験	全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員		
教科書 1	健康運動実践指導者養成用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	健康運動実習 I					履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹内 美穂						NO.	SS-SM-3-211	
配当学科	スポーツ社会					年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習		
テーマと到達目標	『有酸素運動のひとつである「エアロビック・ダンスエクササイズ」の特性を』をテーマとし、エアロビック・ダンスエクササイズの基本的な技術を習得する。適切な運動強度の設定と運動強度の把握のしかたを知り、指導上の注意点を理解して、基本的なエアロビック・ダンスエクササイズの指導が出来るよう、指導力を習得することを到達目標とする。								
概要	まずはエアロビック・ダンスエクササイズに親んでもらう。参加者の目的や、経験、体力レベル等を考慮した運動プログラムを実感してもらい、さらにそれらのプログラムの組みたてかたを学ぶ。強化エクササイズとしてのコンディショニングやヨガ・ストレッチ等もとり入れてトータルな健康運動を体感して学ぶ。 この授業の担当者はエアロビック・ダンスエクササイズ指導の実務経験を有する。								
評価方法	授業内での小テストによって(50%)、最終テストによって(50%)で評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	運動できる服装で受講すること。特にシューズは必ず着用のこと(安全上)。平素の小テストにより予習・復習を明確に行う。 「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「(公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格」必須科目								
自己学習	実技内容のまとめと復習(予習復習各2時間程度を要する。)								
ハイワ-	授業終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.エアロビック・ダンスの沿革 2.健康・体力作りとエアロビック・ダンス 3.エアロビック・ダンスの基本・・・ 4.エアロビック・ダンスの基本・・・ 5.エアロビック・ダンスの運動強度とその指標 6.ウォーミング・アップの構成 7.メイン・パートの構成I 8.メイン・パートの構成II 9.メイン・パートの構成III 10.クール・ダウンとコンディショニング 11.レッスンの全体構成と指導方法I 12.レッスンの全体構成と指導方法II 13.レッスンの全体構成と指導方法III 14.目的別・対象者別指導I 15.目的別・対象者別指導II 16.単位認定試験			実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実後	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内					
教科書 1	地域スポーツ指導員 エアロビック専門科目教本 出版社:一般社団法人日本エアロビック連盟								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	健康運動実習Ⅱ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	天岡 寛、山口 真純、高原 皓全					NO.	SS-SM-2-212
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	「水中環境における健康づくり」をテーマとし、自らが考え、行動できるレベルを到達目標とする。						
概要	<p>水の特性を理解する。そして水の特性を利用して行う、水泳・水中運動の基本的な技法を習得する。水泳・水中運動が持つ、健康・体力づくりのための意義を学ぶ。運動強度の調節の方法を理解し、対象者に適した運動プログラムが構成でき、適切な指導が出来るように学習する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、健康運動指導士の資格を所有し健康運動指導の現場の実務経験のある者が担当する。健康運動指導の経験から、現状や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	最終試験(50%)、レポート等課題(30%)、受講態度(20%) なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	<p>「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「保健体育科教員資格」選択科目 学外実習施設を利用する。 事前学習(講義)を春学期中に行う。各自掲示板で確認の上、出席すること。なお、このときに実習クラス分けも行う。 授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び指示された予習を行うこと。 適宜、レポートの作成・提出を行う。</p>						
自己学習	事前学習時に出される毎回の課題の提出について厳守すること。学外実習時においては、事前学習で得たことを実践するため、予習を行い、実践体験についてまとめること。						
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1 導入授業&水の特性と水泳・水中運動1(浮力・水圧)		講義	天岡				
2 水の特性と水泳・水中運動2(水温・粘性抵抗)		講義	天岡				
3 健康・体力づくりと水泳・水中運動(安全管理)		講義	天岡				
4 水中での動作1(浮く)		実習	全教員				
5 水中での動作2(潜る)		実習	全教員				
6 水中での動作の運動強度		実習	全教員				
7 水中運動でのプログラム1(アクアビクス)		実習	全教員				
8 水中運動でのプログラム2(アクアウォーク)		実習	全教員				
9 水中運動の指導方法1(アクアビクス)		実習	全教員				
10 水中運動の指導方法2(アクアウォーク)		実習	全教員				
11 水泳の基本泳法1(クロール・背泳ぎ)		実習	全教員				
12 水泳の基本泳法2(平泳ぎ)		実習	全教員				
13 水泳の基本泳法3(バタフライ)		実習	全教員				
14 水泳の運動強度と指導法		実習	全教員				
15 まとめ		講義	天岡				
16 単位認定試験		試験	天岡				
教科書 1	健康運動実践指導者養成用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:なし						
教科書 2							
参考書 1	遠泳学事始「今こそ、子どもたちに遠泳を!」海で育てる生きる力とおもいやり遠泳学事始 著者:木村 一彦, 矢野 博己 出版社:フリースペース ISBN:4434175610						
参考書 2							

授業科目名	健康運動現場実習				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛、山口 英峰、倉知 典弘、高原 皓全、孫 基然					NO.	SS-SM-3-213	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	60	授業形態	実習	
テーマと到達目標	習得してきた専門的能力を、実際の現場で生かせるために、専門職者としての実務能力や指導力を養成する。また、各自のそれまでの学習で、不足している内容を把握し、今後の指導力養成の糧とすることができる。							
概要	施設での実習に先立ち、学内に於いて、健康増進施設の概要や業務内容、対人関係での留意点などについて学習した後、施設で実習を行なう。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、健康運動指導の現場の実務経験のある外部講師を招聘する。健康運動指導の経験から、現状や課題、それを解決するための必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。							
評価方法	レポート30%、施設実習評価70%とする。なお、評価のために実施したレポート課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントについて検討し、実習報告会で反映させること。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目							
自己学習	施設実習を行う前に十分な予習が必要である。具体的な運動プログラムの作成等、講義で配布された資料を熟読すること。実習中は、「実習ノート」に記録をとり復習すること。							
オフィスワ-	担当教員別 9号館4階研究室 6号館3階研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.健康運動指導の現場から(外部講師) 3.健康増進施設の現状と役割 4.施設・設備の概要と管理 5.対人マナー・コミュニケーション、接遇 6.個人情報管理、事務処理、等 7.施設での実習 8.施設での実習 9.施設での実習 10.施設での実習 11.施設での実習 12.施設での実習 13.施設での実習報告 14.健康運動指導の現場から(外部講師) 15.実習報告会				講義 講義 講義 講義 講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 講義 講義	全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 全教員 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 全教員 全教員
教科書 1	健康運動指導士養成講習会テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	健康心理学			履修期	2021年度 春学期			
担当者	謝名堂 りさ					NO.	SS-SM-2-216	
配当学科	スポーツ社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	『運動中の心理的効用』をテーマとし、心理的要因が運動のパフォーマンスに及ぼす影響など、スポーツの心理的テーマを広く系統的に取り上げ解説する。健康に影響を与える心理的な要因について理解し、心理面からの健康指導ができるようになる。また、健康づくりのための行動変容を促す指導ができるようになることを到達目標とする。							
概要	現代社会における精神保健に関わる問題を理解する。精神ストレスとそれに起因する健康問題及び、その解決方法を学ぶことができる。生活習慣病とそれに関わる心理的要因を理解するとともに、行動変容を含めた、健康心理学的知識を学習する。							
評価方法	講義に関する学習効果及び途中で提出するレポート類(学習到達目標に関する出題)を含む70%。学習態度30%である。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「(公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー・スポーツプログラマー受験資格」必須科目							
自己学習	ノートの復習(予習復習各2時間程度を要する。)							
オフィスワ-	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.運動行動変容の理論と応用 2.運動行動変容の理論と実際(実習含) 3.心の健康論 4.健康づくりとカウンセリング(実習含) 5.ストレスアセスメントと対処法 6.スポーツ競技者の性格特性 7.競技力と情緒の安定 8.動機づけと目標設定(実習含) 9.あがりパフォーマンス 10.スキルトレーニング 11.メンタルトレーニング 12.スポーツ集団と人間関係 13.スポーツ集団とリーダーシップ 14.スポーツ選手のバーンアウト 15.最終テスト		講義 講義・演習 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂					
教科書 1	健康スポーツの心理学 出版社:大修館書店							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	運動生理学演習 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	天岡 寛、山口 英峰、高原 皓全					NO.	SS-SM-3-217
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	運動生理学および身体運動学で身体構造、運動時の生体応答について学んだことを、実験実習形式で身をもって体験する。その結果、人間の生理的運動機能に対する理解を深め、教科書では学ぶことのできない体験的学習が可能となる。学生は将来の実践的運動指導にむけての基礎的能力を身につけることができる。						
概要	運動生理学演習室に設備されている実験機器の操作を理解し、実際に自らの手によって実験を行う。その後、実験データの整理を行い、まとめてレポートを作成する。レポートには、実験の目的、方法、結果、考察。まとめの順で書くように指導する。その後、卒業研究にも結びつくように指導を行う。						
評価方法	実験実習形式であるため、機器の操作、データ整理、レポート内容について評価を行う。機器の操作およびデータ整理(30%)、レポート内容(70%)から評価する。なお、評価のために実施したレポート課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 運動にかかわる実験を行うため、自らが被験者になることを考え、運動のできる服装で参加すること。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。運動生理学の基礎的知識について、事前に配布する資料で予習すること。復習として、実習の疑問点について文章化し、次回の講義で発表すること。						
オフィスアワー	担当教員別 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. 心電図と導出法1)テレメタリング	演習	全教員					
02. 心電図と導出法2)12誘導法	演習	全教員					
03. 心電図と導出法3)説明	演習	全教員					
04. 運動と心拍・心電図1)心拍数の変化	演習	全教員					
05. 運動と心拍・心電図2)負荷心電図とは	演習	全教員					
06. 運動と血圧 1)運動時の血圧応答	演習	全教員					
07. 運動と血圧 2)運動と高血圧	演習	全教員					
08. 運動と血圧 3)説明	演習	全教員					
09. 運動と酸素摂取1)呼気ガス(酸素、炭酸ガス)	演習	全教員					
10. 運動と酸素摂取2)安静時の呼吸代謝と呼吸商	演習	全教員					
11. 運動と酸素摂取3)最大酸素摂取量の測定	演習	全教員					
12. 運動と酸素摂取4)換気閾値(AT)とは	演習	全教員					
13. 診断結果と効果測定	演習	全教員					
14. 運動とメディカルチェック	演習	全教員					
15. 総括	演習	全教員					
16. レポート試験	試験	全教員					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	健康運動実践指導者養成用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						
参考書 2	健康運動指導士養成講習会テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						

授業科目名	運動生理学演習Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	天岡 寛、山口 英峰、高原 皓全					NO.	SS-SM-3-218
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	運動生理学および身体運動学で身体構造、運動時の生体応答について学んだことを、実験実習形式で身をもって体験する。その結果、人間の生理的運動機能に対する理解を深め、教科書では学ぶことのできない体験的学習が可能となる。学生は将来の実践的運動指導等ができる能力を身につけることができる。						
概要	運動生理学演習室に設備されている実験機器をの操作を理解し、実際に自らの手によって実験を行う。その後、実験データの整理を行い、まとめてレポートを作成する。レポートには、実験の目的、方法、結果、考察。まとめの順で書くように指導する。その後、卒業研究にも結びつくように指導を行う。						
評価方法	実験実習形式であるため、機器の操作、データ整理、レポート内容について評価を行う。機器の操作およびデータ整理(30%)、レポート内容(70%)から評価する。なお、評価のために実施したレポート課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 運動にかかわる実験を行うため、自らが被験者になることを考え、運動のできる服装で参加すること。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が各2時間程度必要である。運動生理学の基礎的知識について、事前に配布する資料で予習すること。復習として、実習の疑問点について文章化し、次回の講義で発表すること。						
オフィスワ-	担当教員別 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. 筋電図と導出法 1)筋の活動電位		演習	全教員				
02. 筋電図と導出法 2)表面誘導法		演習	全教員				
03. 筋電図と導出法 3)筋電図のテレメタリング		演習	全教員				
04. 筋電図と導出法 4)歩行時の筋活動		演習	全教員				
05. 筋と筋力 1)筋力レベルと筋放電量		演習	全教員				
06. 筋と筋力 2)筋力レベルと運動単位活動		演習	全教員				
07. 筋と筋力 3)持続的筋活動と筋電図		演習	全教員				
08. 筋と筋力 4)瞬発的筋活動と筋電図		演習	全教員				
09. 筋への血流 1)レーザードップラー法		演習	全教員				
10. 筋への血流 2)超音波法		演習	全教員				
11. 筋への血流 3)説明		演習	全教員				
12. 筋活動と血流 1)掌握動作時の血流変化		演習	全教員				
13. 筋活動と血流 2)運動と頸動脈血流		演習	全教員				
14. 筋活動と血流 3)運動習慣と頸動脈		演習	全教員				
15. 筋活動と血流 4)説明		演習	全教員				
16. レポート試験		試験	全教員				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	健康運動指導士養成講習会テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						
参考書 2							

授業科目名	スポーツ社会学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-1-301
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	スポーツの社会的理解をテーマに、学生が人間社会で生起する様々なスポーツ現象を社会的視点から論理的に分析できる。						
概要	現代社会においてスポーツは、人々の生活にとって欠くべからざるものとなっており、社会の様々な領域でその領域独自の社会的機能を果たすことを要請されている。その意味で現代におけるスポーツはかつてのスポーツに比べ、きわめて多様化・複雑化しており、特にスポーツを専門的に学ぶ学生は将来も見据えて、スポーツを多面的且つ系統的に理解していなければならない。本講義では現代社会におけるスポーツの多面的な領域の主なものについて言及し、その実態と問題点及び将来展望について論じるとともに、これら多様に展開するスポーツを系統的に把握するための社会理論について社会学の領域から言及し、社会的視点においてスポーツを本質的に理解するための知識と能力を養うことを目的とする。この科目は、中・高保健体育科教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	単位認定試験(40%)中間レポート(30%)毎回の小レポート(20%)受講姿勢(10%)評価の詳細は、第1回目の授業で説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	卒業必修科目 中高保健体育科教諭資格必修科目 (公財)日本スポーツ協会公認受験資格必修科目 パワーポイントの資料は配布しないので、ノート・ルーズリーフ等は必ず持参すること。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。						
自己学習	毎回授業終了後、課す小レポートの内容及び授業内容を必ず毎回2時間程度、復習するとともに次回のテーマについて予習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション・スポーツ社会学とは！？ 2.スポーツの概念 3.文化としてのスポーツ 4.地域社会におけるスポーツ 5.スポーツと政治 6.スポーツと経済 7.スポーツ事故における法的責任 8.スポーツと人権 9.企業とスポーツ 10.障がい者とスポーツ 11.障がい者サッカー 12.スポーツを取り巻く環境 13.スポーツと教育 14.スポーツと薬物 15.スポーツと健康 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 外部講師 高藤 高藤 高藤 高藤					
教科書 1	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト 理論編 著者:(公財)日本スポーツ協会 出版社:(公財)日本スポーツ協会 ISBN:214K1T 214K2T 214K3T 215JR						
教科書 2	スポーツ社会学講義 著者:森川貞夫・佐伯聰夫 編 出版社:大修館書店 ISBN:978-4-469-26140-0						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	健康社会学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	吉岡 哲				NO.	SS-SM-1-302	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	健康の社会的意義を理解する。健康と社会の理想的なあり方について考える。社会と健康との関係性について理解することで、日常生活および将来にわたっての健康に対する考え方を学ぶことができる。						
概要	生活スタイルを含めた健康についての正しい知識、考え方について学ぶ。それらをふまえた上で、現代社会における健康や病気の社会的要因について把握する。特にみじかな健康問題に着眼点をおき講義を進めていく。また、健康に関わる制度政策についての認識も深める。						
評価方法	講義姿勢10%、発表、ディスカッションへの参加10%、定期試験80%とする。ただし、3分の2以上の出席のない者は、評価の対象外となる。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が2時間程度必要である。毎回の授業において配布したプリントの指定されたページを熟読していただくこと。						
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義終了後に教室にて実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. 導入 02. 健康と社会 03. 健康づくり施策 04. 生活習慣病の予防および早期発見 05. 介護保険と介護予防 06. 健康づくりのための運動基準および運動指針 07. 現代社会の生活と健康(1)労働 08. 現代社会の生活と健康(2)休養と心 09. 現代社会の生活と健康(3)ストレス 10. 現代社会の生活と健康(4)喫煙 11. 現代社会の生活と健康(5)飲酒 12. 現代社会の生活と健康(6)睡眠 13. 現代社会の生活と健康(7)食生活 14. 高齢社会と健康 15. 総括 16. 単位認定試験	講義 筆記試験	吉岡 吉岡		
教科書 1	使用しない(必要に応じプリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	動く、食べる、休むScience—健康づくりの生理学 著者:上田 伸男(著), 湊 久美子(著), 吉武 裕(著), 小宮 秀明(著), 矢野博己(著) 出版社:I&K corporation						
参考書 2	健康格差社会 著者:近藤 克則 出版社:医学書院						

授業科目名	スポーツ史			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森田 啓之					NO.	SS-SM-1-304
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「体育・スポーツの歴史を理解する」をテーマとして、様々な体育・スポーツ事象の歴史(成り立ち)について考える中で、体育・スポーツの現在と今後を考察する視点を身につける。 具体的には、スポーツはどのように生まれたのか、並びにこれからどのような方向に向かうべきなのかについて、自分の中に妥当な「観」を形成することを到達目標とする。						
概要	スポーツの象徴である「オリンピック」を取り上げ、古代から現代に至るまでどのような経過を辿ってきたのか、さらには近代に誕生した「近代スポーツ」の特徴について理解を深めるとともに、学校体育の歴史を振り返る中で、これからの体育やスポーツの進むべき方向性について、考察する。 なお、互いの意見を冷静に交換できる能力を培う意味でも、授業はプレゼンテーションとグループ討議を中心に進める。						
評価方法	この授業では、自分の中に妥当な「体育・スポーツ観」を形成することを到達目標としているため、最終的には「試験」(60%)においてその理解度や定着度をみる。と同時に、自ら調べまとめる能力を確認するための課題レポートとその発表(10%)、出席とグループ討議への積極的参加態度(30点)とを併せて、総合評価を行う。ただし、試験において6割の点数がなければ単位は認定しない。						
履修条件・注意事項	集中講義のため、参加型の進め方を多くする。毎日の課題としてレポートを課し、翌日にその成果をプレゼンするので、試験に加えて、レポート提出は必須である。(保健体育教免選択必修科目)						
自己学習	復習として、配布資料の確認と、ファイリングを工夫すること。 独自で調べたことをまとめて、課題レポートを作成する。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回:我々はなぜ歴史を学ぶのか? -歴史を学ぶ意義- 第2回:スポーツと遊戯、体育の概念史 第3回:未開社会、古代社会のスポーツ 第4回:中世のスポーツ 第5回:近代スポーツの誕生 第6回:近代オリンピック 第7回:生涯スポーツの概念と普及 第8回:スポーツの個別史(1)イギリス発のスポーツ 第9回:スポーツの個別史(2)アメリカ発のスポーツ 第10回:スポーツの個別史(3)民族スポーツ 第11回:スポーツの個別史(4)ニュースポーツ 第12回:近代教育思想と体育 第13回:近代体育の誕生 第14回:学校体育の理念の変遷 第15回:日本における学校体育の変遷 第16回:単位認定試験	①講義 ②講義 ③講義 ④講義 ⑤講義 ⑥講義 ⑦講義 ⑧講義 ⑨講義 ⑩講義 ⑪講義 ⑫講義 ⑬講義 ⑭講義 ⑮講義 ⑯試験	森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之 森田 啓之		
教科書 1	テキストは指定しない。適宜、資料プリント(※下記参考書籍1より)を配布する。						
教科書 2							
参考書 1	「スポーツ史講義」 著者:稲垣正浩他 出版社:(大修館書店)1995						
参考書 2	「体育史講義」 著者:岸野雄三 出版社:(大修館書店)1984						

授業科目名	スポーツ実習 I (体操)				履修期	2021年度 春学期	
担当者	副島 斉子					NO.	SS-SM-1-305
配当学科	スポーツ社会				年次	1	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	『現代社会における生活環境の変化、特に運動不足の蔓延』をテーマとし、心身のストレスの増加、テクノロジーの発達などによって、人間の心身及び知的機能が阻害されている状況にあると言える。特に、運動能力やそれを支える感覚能力の衰退は著しいと思われ、このことは我々人間の生涯に亘る影響を及ぼすものである。つまり身体性の阻害が広がった現状と言えよう。基本的運動の習得をはじめとし、各種の体操を実践することによって、人間の持つ運動機能引いては運動感覚を取り戻し、健康維持増進、人間関係の構築、運動能力の向上などの基礎を築けるようになることを到達目標とする。						
概要	我が国においては1990年代以降、子供たちの基本的身体能力に対する危機感が急速に高まり、文部科学省も学習指導要領の基本要素の一つに「体ほぐしの運動」を設けて、基本的身体能力の育成に重点を置いている。近代以後、人間の基本運動の習得には体操が用いられてきた。その体操は、今日非常に多様化している。本実習では、これら多様な体操の実践方法と指導方法を学び、自己の目的に役立てることができるようになるとともに、他者へ提供する運動プログラムの内容として活用できるようになる。この授業の担当者は体操指導の実務経験を有する。						
評価方法	実技に関する学習効果を実技試験によって評価する。加えて、逐次運動内容とそのプログラム作成に関するレポートを課して、その両者をそれぞれ50%ずつの比重で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	実技中の怪我などの防止のため、時計や装身具類は身に着けないこと。						
自己学習	各回の授業において、学修した内容を、自らの指導案として、授業後まとめておくこと。さらに次の授業時のねらいがしめされるので、あらかじめそれに応じた運動内容を各自で考えておくこと。予習・復習はそれぞれ約2時間行うこと。						
オフィスワ-	金曜日4限、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01,オリエンテーション 02,基本的運動 03,ストレッチング 04,ストレッチングのプログラム 05,調整力(コーディネーション)を高める体操 06,運動遊び 07,補強運動 08,矯正体操 09,ピラティス 10,全身持久力を高める体操 11,体ほぐしの運動 12,リズム体操 13,エアロビック体操 14,ゆる体操 15,正しいウォーキングのためのゆるウォーク 16,試験		実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実技試験	副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ実習Ⅱ(器械運動)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	梶谷 信之					NO.	SS-SM-1-306
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	「器械運動を理解し、楽しく、安全に実施する」をテーマとし、器械運動の特徴でもある回転系、倒立系、跳躍系などの基本的な技を習得するとともに、器械運動の特性、危険性を理解し、安全かつ効率的な指導法を工夫しながら実践できることを到達目標とする。						
概要	(1)反復練習をすることにより、基本的な技を滑らかに安全に実施できる技術を習得するとともに、自分の意志で自分の体をコントロールする身体支配能力や、バランス・身のこなしなどによる危険回避能力を高める。 (2)プリント資料や講義により器械運動の特性や危険性を理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫しながら指導能力を身につけるようにする。						
評価方法	テーマ「器械運動を理解し、楽しく、安全に実施する」の到達度について、器械運動についての知識と運動能力を図るためにレポート内容や実技練習での積極性等を総合的に評価する。 具体的には授業での積極的な練習態度(50%)、実技能力を判定する試験(30%)、知識習得を把握するための課題レポート(20%)を合計して総合評価するが、実習形態の授業であることから授業への参加態度を特に重視する。詳しい評価方法については初回の授業時に説明する。						
履修条件・注意事項	(1)初回の授業は教室に集合して説明した後、体育館に移動し器具のセットや実技講習を行う。 (2)毎回の授業時は、教室で講義、体育館で実技を行うので、筆記用具を持参すること。 (3)実技の授業にはジャージ・体育館シューズ等の動きやすい服装で出席すること。 (4)水分補給のためのスポーツドリンクやお茶等を持参するとよい。 (5)出席確認を授業中に数回行い、居ない場合は欠席となるので授業中の退席時には連絡しておくこと。						
自己学習	各時限ごとに実技を実施するうえでのポイントや危険回避のための注意事項などをプリントで説明するため、各自でプリントの予習・復習をしておくこと。 尚、試験で行う実技は反復練習が必要となるため、レベルアップのためには授業前にプリント等を見直してポイントを確認しておくことよい。						
オフィスアワー	授業前後、非常勤講師室・講義室・体育館にて。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
(1)器械運動の基礎トレーニングと技の発展過程	講義・実技	梶谷					
(2)マット運動(接転系①)、跳び箱運動(切返し系①)の練習	講義・実技	梶谷					
(3)マット運動(接転系②)、鉄棒運動(上がり技①)の練習	講義・実技	梶谷					
(4)マット運動(接転系③)、跳び箱運動(切返し系②)の練習	講義・実技	梶谷					
(5)マット運動(接転系④)、鉄棒運動(上がり技②)の練習	講義・実技	梶谷					
(6)マット運動(ほん転系①)、跳び箱運動(回転系①)の練習	講義・実技	梶谷					
(7)マット運動(ほん転系②)、鉄棒運動(中技①)の練習	講義・実技	梶谷					
(8)マット運動(ほん転系③)、跳び箱運動(回転系②)の練習	講義・実技	梶谷					
(9)マット運動(ほん転系④)、鉄棒運動(中技②)の練習	講義・実技	梶谷					
(10)マット運動(ほん転系⑤)、跳び箱運動(回転系③)の練習	講義・実技	梶谷					
(11)マット運動(巧技系①)、鉄棒運動(おり技①)の練習	講義・実技	梶谷					
(12)マット運動(巧技系②)、跳び箱運動(回転系④)の練習	講義・実技	梶谷					
(13)マット運動(巧技系③)、鉄棒運動(おり技②)の練習	講義・実技	梶谷					
(14)実技試験練習と採点の練習①	講義・実技	梶谷					
(15)実技試験練習と採点の練習②	講義・実技	梶谷					
(16)単位認定実技試験	実技試験	梶谷					
教科書 1	適宜プリント等を配布する						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ実習Ⅲ(屋外球技)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高藤 順、羽野 真哉					NO.	SS-SM-1-307
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	「ソフトボール」並びに「サッカー」の基本的な特性・規則を理解し、それぞれの競技に興味を持つことをテーマに、基本技能の習得や戦術理解、ゲームを通じて、基本的なトレーニング方法が実践できること、さらに将来、それぞれの競技の指導方法を身につける。						
概要	本講義は、ソフトボール並びにサッカーの基本的な技能などの学習を行う。基本技術を学んだ後、実際のゲームで用いられる戦術のうち、基本的なものを学習する。以上のような基礎的な事項を学習したのち、チームに分けてゲームを行い、ゲームを通して技能や戦術を活かす方法を考えていく。本講義の中では、各自の能力を高めるだけでなく、それぞれ練習方法を考え、チームやグループで実践することを通じて、ソフトボールやサッカーを指導できる能力の向上も図る。この科目は、中・高保健体育科教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	実技試験(30%) 到達目標の達成度(20%) 各回実習の振り返りワークシート(50%)						
履修条件・注意事項	「保健体育科教諭資格必修科目」である。保健体育の授業としてソフトボール並びにサッカーが取り上げられることは非常に多いので教員免許取得希望者は積極的に履修すること。本実習は、ソフトボールは高梁運動公園もしくは硬式野球部雨天練習場、サッカーは檜井サッカー場もしくは順正学園体育館で行う。集合時間は厳守すること。スポーツのできる服装で授業に参加すること。ふさわしくない服装での参加は認めない。けがを防ぐためにも集中して授業に臨むこと。授業態度については厳しく指導する。						
自己学習	事前に次回に行うテーマなどを発表するので、基本的な考え方はまとめておくこと。また、各自で練習方法などを調べてまとめておくこと。授業の後は、学んだことをノートなどにまとめるだけでなく、学んだ技能の練習をしておくことが望ましい。						
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション・受講における諸注意、競技規則 2. ソフトボールの基本技術 キャッチボールとトスバッティング 3. 守備の基本技術 ゴロ処理・フライ捕球・送球 4. 打撃の基本技術 スイング軌道・ミート力向上 5. 攻撃のチーム戦術 フォーメーションプレー 6. 守備のチーム戦術 フォーメーションプレー 7. ゲーム 8・実技試験 9・サッカーの基本技術 10. 攻撃の個人戦術 11. 守備の個人戦術 12. 攻撃のグループ戦術 13. 守備のグループ戦術 14. 攻守のチーム戦術(1) ハーフコートゲーム 15. 攻守のチーム戦術(2) オールコートゲーム	講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野		
教科書 1	わかりやすいソフトボールのルール 著者:丸山克俊 出版社:成美堂出版 ISBN:9.78E+12						
教科書 2	サッカー競技規則 2021/2022 出版社:(公財)日本サッカー協会						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ実習Ⅲ(屋外球技)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高藤 順、羽野 真哉					NO.	SS-SM-1-307
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	学生が、「ソフトボール」並びに「サッカー」の基本的な特性・規則を理解し、それぞれの競技に興味を持つことをテーマに、基本技術の習得や戦術理解、ゲームを通じて、基本的なトレーニング方法が実践できること、さらに将来、それぞれの競技の指導方法を身につける。						
概要	本講義は、ソフトボール並びにサッカーの基本的な技能などの学習を行う。基本技術を学んだ後、実際のゲームで用いられる戦術のうち、基本的なものを学習する。以上のような基礎的な事項を学習したのち、チームに分けてゲームを行い、ゲームを通して技能や戦術を活かす方法を考えていく。本講義の中では、各自の能力を高めるだけでなく、それぞれ練習方法を考え、チームやグループで実践することを通じて、ソフトボールやサッカーを指導できる能力の向上も図る。この科目は、中・高保健体育科教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	実技試験(30%) 到達目標の達成度(20%) 各回実習の振り返りワークシート(50%)						
履修条件・注意事項	「保健体育科教諭資格必修科目」である。保健体育の授業としてソフトボール並びにサッカーが取り上げられることは非常に多いので教員免許取得希望者は積極的に履修すること。本実習は、ソフトボールは高梁運動公園もしくは硬式野球部雨天練習場、サッカーは檜井サッカー場もしくは順正学園体育館で行う。集合時間は厳守すること。スポーツのできる服装で授業に参加すること。ふさわしくない服装での参加は認めない。けがを防ぐためにも集中して授業に臨むこと。授業態度については厳しく指導する。						
自己学習	事前に次回に行うテーマなどを発表するので、基本的な考え方はまとめておくこと。また、各自で練習方法などを調べてまとめておくこと。授業の後は、学んだことをノートなどにまとめるだけではなく、学んだ技能の練習をしておくことが望ましい。						
オフィスアワー	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. オリエンテーション・受講における諸注意、競技規則 2. ソフトボールの基本技術 キャッチボールとトスバッティング 3. 守備の基本技術 ゴロ処理・フライ捕球・送球 4. 打撃の基本技術 スイング軌道・ミート力向上 5. 攻撃のチーム戦術 フォーメーションプレー 6. 守備のチーム戦術 フォーメーションプレー 7. ゲーム 8・実技試験 9・サッカーの基本技術 10. 攻撃の個人戦術 11. 守備の個人戦術 12. 攻撃のグループ戦術 13. 守備のグループ戦術 14. 攻守のチーム戦術(1) ハーフコートゲーム 15. 攻守のチーム戦術(2) オールコートゲーム	講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野 高藤・羽野		
教科書 1	わかりやすいソフトボールのルール 著者:丸山克俊 出版社:成美堂出版 ISBN:9.78E+12						
教科書 2	サッカー競技規則 2021/2022 出版社:(公財)日本サッカー協会						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ実習Ⅳ(陸上競技)				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	松下 健二					NO.	SS-SM-3-308	
配当学科	スポーツ社会			年次	3			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	体育教師の専門的力量的育成を目標とし、陸上競技の指導に関わる基礎的教育的事項について学習指導要領に示された単元の目標や内容を理解するとともに実技能力と実技指導能力を身に着ける。							
概要	陸上競技種目のうち走る種目として100m走、100mハードル走、跳躍種目として走り幅跳び、走り高跳び、投擲種目として砲丸投げの5種目についてその実技能力を高めるとともに実技指導能力も習得する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。							
評価方法	受講態度(25%)＋レポート(25%)＋実技試験(50%)で総合評価する。							
履修条件・注意事項	陸上競技を行うにふさわしい服装と、屋外用、屋内用のシューズを用意すること。陸上競技に関する書籍を参考にして各種目の行い方の概要などを把握しておくこと。 中高保健体育科教諭資格必修科目							
自己学習	5種目のすべてについて陸上競技関係の書籍やVTRなどを参考にし、その行い方を把握するとともに毎授業後も自己研鑽に励むこと。							
オフィスワ-	授業後、現場にて。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.陸上競技についてのオリエンテーション 2. 100m走の走り方(スタート、加速区間の走り方) 3. 100m走中間疾走の走り方。 4. 100m走の記録測定 5. ハードル走の走り方(スタートから1台目) 6. ハードル走のは走り方(スタートから5台目まで) 7. 100mハードル走の記録測定 8. 走り幅とび(助走～踏切) 9.走り幅跳び(空中フォームと着地) 10. 走り幅跳び記録測定 11. 走り高跳び(着地～空中フォーム～踏切) 12. 走り高跳び記録測定 13. 砲丸投げ(ステップバック投法①) 14. 砲丸投げ(ステップバック投法②) 15. 砲丸投げ記録測定				1回～15回実技	1回～15回 松下健二
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	スポーツ実習Ⅴ(屋内球技)				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰、高原 皓全					NO.	SS-SM-3-309	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	高等学校までに習得した内容を復習するとともに、屋内球技の中でも特にバレーボールやバスケットボールなどの専門的な技術や知識を身につけ、実践できるようになる。学生は選手としての知識や技能だけではなく、指導者として運動学的な知見を考慮した指導方法を考え、実践できるようになる。							
概要	本授業では、安全に屋内球技を行うためのコート準備の方法及びルールの一貫性をまず理解する。そして、基礎的な技術と指導方法を身につけたのち、より高度なチーム・プレイを学ぶ。選手としての目線からだけではなく、指導者としての指導方法についても実践から身につける。特に競技が苦手な対象者に対する指導方法について考案し、実践する。							
評価方法	授業への取り組み姿勢(50%)、基本的な技術およびそれを応用出来る能力を評価するための講義内課題試験(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、次回からの講義および講義内課題試験に活用すること。							
履修条件・注意事項	運動するのに相応しい格好で講義を受講すること。ピアス、ネックレスなどのアクセサリ類の着用は怪我の防止の観点から禁止する。また、安全かつ十分なパフォーマンスを発揮できるための体力の維持・向上はかかると、体調を整えて講義に望むこと。中高保健体育教員免許資格取得のための必修科目であることから、教員免許状の取得を目指す学生は必ず履修すること。							
自己学習	予習として、事前に参考書等により、バレーボールやバスケットボールなど屋内球技の技術やその練習・指導方法等についての知識を身につける必要がある。復習として、指導者として最低限の技術を身につけることができるよう技術向上のための練習を必要とする。							
オフィスアワー	9号館2階のフィットネスラボにおいて、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01.ルールの理解と安全に配慮したバレーボール環境 02.バレーボールにおける基本パス技術 03.サーブとサーブ・レシーブの基本 04.スパイクとブロックの基本 05.パス・ゲームによる動きの理解 06.バレーボールにおけるフォーメーション・プレイとその役割 07.バレーボールに関する知識(審判方法、ゲーム進行など) 08.ゲーム1(基礎を中心に) 09.ゲーム2(応用) 10.バスケットボールにおける基本的技術(ドリブル・パス・シュート) 11.バスケットボールのゲームにおける動きの理解 12.バスケットボールにおけるフォーメーション・プレイとその役割 13.バスケットボールに関する知識(審判方法、ゲーム進行など) 14.ゲーム1(基礎) 15.ゲーム2(応用)			実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原	
教科書 1	バレーボール指導教本 著者:日本バレーボール協会 出版社:大修館書店 ISBN:9.78E+12							
教科書 2	バスケットボール指導教本 著者:公益財団法人日本バスケットボール協会 出版社:大修館書店 ISBN:9.78E+12							
参考書 1	バレーボールの科学 科学が教えるバレーボール技術のポイント 著者:根本研,小川良樹 出版社:洋泉社 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	スポーツ実習Ⅵ(格技)			履修期	2021年度 春学期			
担当者	城山 訓郎					NO.	SS-SM-2-310	
配当学科	スポーツ社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	竹刀・木刀を用いての心身鍛錬を通じ、お互いの人格を尊重する。終始礼法を守り、基本動作を重視し、心技体を一体として修練する。指導者としての理論と実勢を修得する。							
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本古来の尚武の精神に由来し、術から道に発展した伝統文化である剣道の特性を理解し、剣道が人格の完成を目的とした運動文化であることを理解すると共に、伝統的所作の理解から剣道のもつ特性、技術を授業時間ごとに系統的に展開する。 ・対人競技としての特質を経験させる。 なお、本実習は学校における剣道の指導及び地域における剣道の指導の実務経験者による実習である。							
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み姿勢(30点) ・剣道の教育的特性・文化的特性に関するレポート(30点) ・実技試験(40点) 							
履修条件・注意事項	学修場所(道場)は心身鍛錬の場であり、規律礼儀作法を守ること(具体的な作法は講義内で指示する)。剣道防具の確実な着装、また講義前に竹刀の破損点検をすること。保健体育教員免許取得に関する選択科目であることを意識すること。実技科目であるから、体調管理に留意すること。							
自己学習	事前に配布した資料など通読して、予習してくる。また、当日配布した資料をノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 授業の概要 剣道史の概要 2. 礼法(対人的敵対関係における「礼」の意味と「座法」「立法」の方法) 3. 基本動作(構え)(足捌き)(竹刀・木刀の扱い方) 4. 基本動作(素振り・打突の仕方) 5. 基本動作(踏み込み足・打突への導入) 6. 踏み込み打突(正面打ち・小手打ち・二段打ち) 7. 打突技術構造(竹刀・木刀による基本形)(1)基本技術 8. 打突技術構造(竹刀・木刀による基本形)(2)応用技術 9. 剣道具の着装法 10. 有効打突く(一本)の理解 11. 対人的技能(しかける技) 12. 対人的技能(応じ技) 13. 対人的技能(つばぜり合いからの技・つばぜり合いからの応じ技) 14. 競技規則(試合・審判を体験する) 15. 授業の総復習 16. 実技試験		講義 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技	城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山					
教科書 1	講義内で配布する。							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	スポーツ実習VI(格技)				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	城山 訓郎					NO.	SS-SM-2-310		
配当学科	スポーツ社会			年次	2				
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習		
テーマと到達目標	竹刀・木刀を用いての心身鍛錬を通じ、お互いの人格を尊重する。 終始礼法を守り、基本動作を重視し、心技体を一体として修練する。 指導者としての理論と実勢を修得する。								
概要	<ul style="list-style-type: none"> 日本古来の尚武の精神に由来し、術から道に発展した伝統文化である剣道の特性を理解し、剣道が人格の完成を目的とした運動文化であることを理解すると共に、伝統的所作の理解から剣道のもつ特性、技術を授業時間ごとに系統的に展開する。 対人競技としての特質を経験させる。 なお、本実習は学校における剣道の指導及び地域における剣道の指導の実務経験者による実習である。								
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み姿勢(30点) 剣道の教育的特性・文化的特性に関するレポート(30点) 実技試験(40点) 								
履修条件・注意事項	学修場所(道場)は心身鍛錬の場であり、規律礼儀作法を守ること(具体的な作法は講義内で指示する)。 剣道防具の確実な着脱、また講義前に竹刀の破損点検をすること。 保健体育教員免許取得に関する選択科目であることを意識すること。 実技科目であるから、体調管理に留意すること。								
自己学習	事前に配布した資料など通読して、予習しておくこと。また、当日配布した資料をノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。								
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者	
1. 授業の概要 剣道史の概要 2. 礼法(対人的敵対関係における「礼」の意味と「座法」「立法」の方法) 3. 基本動作(構え)(足捌き)(竹刀・木刀の扱い方) 4. 基本動作(素振り・打突の仕方) 5. 基本動作(踏み込み足・打突への導入) 6. 踏み込み打突(正面打ち・小手打ち・二段打ち) 7. 打突技術構造(竹刀・木刀による基本形)(1)基本技術 8. 打突技術構造(竹刀・木刀による基本形)(2)応用技術 9. 剣道具の着脱法 10. 有効打突く(一本)の理解 11. 対人的技能(しかける技) 12. 対人的技能(応じ技) 13. 対人的技能(つばぜり合いからの技・つばぜり合いからの応じ技) 14. 競技規則(試合・審判を体験する)			講義 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技	城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山					
教科書 1	講義内で配布する。								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	スポーツ実習 VII(ダンス)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	副島 斉子					NO.	SS-SM-2-311
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	『身体を用いたノンバーバルな表現運動でありコミュニケーションでもある舞踊(ダンス)』をテーマとし、有史以来人類が育み伝承してきた身体運動文化である。体育領域においても、舞踊=ダンスは主たる種目として位置づけられてきた。今日、人間の身体性に根ざした身体運動として、創造性の追及、自己の開示、表現、感性の涵養、他者との交流、リズム教育、自己の探求、健康づくり、等々様々な意味合い、需要、目的で、ダンスが行われている。特に、ダンスは現代社会において、次々と新たな様式・内容が生み出されている。これらの多様化してきたダンスを取り出して実技を学習し、基本運動を基にした動きの組み合わせを実施でき、さらに基本的なコレオグラフィーを創造できるようになることを到達目標とする。						
概要	基本運動を音楽のビート(拍)、フレーズ、曲調などに合わせて実施できるようになる。音楽に合わせた動きの組み合わせの遂行を学習し、そのうえで基本運動を用いて、一連の動作の組み合わせを創造する方法を学習する。その際、時間的要素と空間的要素を理解して、構成されたコレオグラフィーを発展させることを学習する。加えて、集団でのパフォーマンスの遂行を学習し、集団での演技の楽しさを体験する。これらを通して、表現運動としてのダンスの特性を学ぶ。さらに、現代的なダンスであるエアロビックやヒップホップについて、体験を積む。 この授業の担当者はダンス指導の実務経験を有する。						
評価方法	実技に関する学習効果を実技試験によって評価する。加えて、逐次運動内容とそのプログラム作成に関するレポートを課して、その両者をそれぞれ50%ずつの比重で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	実技中の怪我などの防止のため、時計や装身具類は身に着けないこと。						
自己学習	各回の授業において、学修した内容を、自らの指導案として、授業後まとめておくこと。さらに次の授業時のねらいがしめされるので、あらかじめそれに応じた運動内容を各自で考えておくこと。 予習・復習はそれぞれ約2時間行うこと。						
オフィスアワー	金曜日4限、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01,オリエンテーション 02,音楽のビート(拍)に合わせた基本運動 03,音楽のフレーズに合わせた基本運動 04,曲調に合わせた基本運動 05,音楽と動きの時系列的要素 06,動きの組み合わせの遂行 07,空間系列的要素 08,動きの応用変化 09,動きの発展 10,コレオグラフィー作成の基本 11,コレオグラフィー作成の実際 12,表現運動としてのダンス 13,現代的ダンス:エアロビック 14,オンビートとアフタービート 15,現代的ダンス:ヒップホップ 16,試験	実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実技試験	副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島 副島		
教科書1	みんなでトライ! 表現運動の授業 出版社:全国ダンス表現運動授業研究会						
教科書2							
参考書1							
参考書2							

授業科目名	運動学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	松下 健二					NO.	SS-SM-2-312
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「運動分析から運動指導」と「基礎的技術のメカニズムの理解とその習得」をテーマとして、講義と演習を通じて、運動学(運動方法学)の基礎的知識の習得と自己の運動技能を向上させる方法を習得するとともに、それぞれの運動についての知識レベルを都道府県教員採用試験に出題される問題に対応できるレベルにすることを到達目標とする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
概要	様々なスポーツ活動を構成する基本的身体運動の代表なものについて、その基本的動きのメカニズムを解説理解するとともに、主なスポーツの運動及び技術体系について整理し、運動及び技術の発生から多様化、高度化に至るまでの進化の過程について学ぶ。また、運動学の歴史的発展についても触れ、運動学の発展について学習する。						
評価方法	受講態度(25%) + レポート(25%) + 試験(50%)で総合的に評価する。						
履修条件・注意事項	配布した資料及び紹介した書籍などから次の授業の要点について予習を行い授業での問題提起や討論に対して積極的に参加できるようにする。また、レポートの提出状況が受験資格となる。よって授業後授業の内容をノートにまとめておく事が望ましい。 中高保健体育科教諭資格必修科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目						
自己学習	予習として筋肉の機能と構造について解剖学の書籍を参考にして知識を得ておくこと。復習として指示に従ってノートを作成し、身体操作の観点から理解を深めること。予習・復習とも2時間ほど行うこと。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 運動学とは(運動学の領域) 2. 運動と解剖学 3. 運動と力学 4. 運動と生理学 5. 運動と心理学 6. 運動の分析から運動指導へ 7. 基本的技術のメカニズム(走る、跳ぶ) 8. 基本的技術のメカニズム(蹴る) 9. 基本的技術のメカニズム(投げる、捕る) 10. 基本的技術のメカニズム(打つ) 11. 年齢に応じた技術の獲得過程Ⅰ 12. 年齢に応じた技術の獲得過程Ⅱ 13. 運動の身体への影響Ⅰ(生理) 14. 運動の身体への影響Ⅱ(心理) 15. まとめ 16. 単位認定試験		1回～15回講義 16回試験	1回～16回 松下健二				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	運動方法学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-1-313		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	『スポーツ指導者』をテーマとして、スポーツ全般を対象にして、その指導の方法論の原則について学習する。指導はあくまで指導の対象となる者、つまり選手や生徒が主体である。そして、指導は指導者とその指導対象者との関係性において、展開されるものである。そこには当然のこととして、指導対象者の基本的な条件、年齢、性別、目的、レベル等々が、存在する。また、環境との関係性も働きかけてくる。指導は生理学的原則などに立脚しつつ、教育学的及び心理学的理論、さらに今日では認知科学的及び脳科学的研究成果などを踏まえて行われる。学生はトップアスリート育成の方法論も講じながら、学校教育現場における体育授業での指導方法論、競技力向上を目的とした指導方法論、生涯スポーツ的な指導方法論などが理解できるようになることを到達目標と到達目標とする。								
概要	運動方法学は昨今コーチングとの関係性を強めている。これは偏に、指導対象者の主体性を重視し、その人の意思や志向性を指導の立脚点としようという試みである。各人の自己イメージや有能感を指導の中心的なテーマとして、指導者は対象者を見ることの大切さがそこにはある。これは学校教育における課題とも合致し、またトップアスリート育成での基本的な立場でもある。本講義では、こうした視点について、実例を多く示しながら理解していく。そのうえで、技能獲得の具体的な手立て、集団の形成と集団を生かした運動指導、などについて論じていく。 この授業の担当者は、スポーツ指導・コーチングの実務経験を持つ。								
評価方法	授業時に課すレポート課題で30%、最終試験で70%の比率で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	(公財)日本スポーツ協会スポーツ指導員資格取得必修科目である。指導者としてしっかりと知識をもとに指導できることを目的としているため、授業の復習や課題を十分に行うことを条件とする。								
自己学習	毎回の授業時において、次回の授業内容に応じて、各自のスポーツ経験に基づく問題を見出す指示を行う。これによって、各自経験の見直しや情報収集を行う。授業後は、授業内容を受けて、望ましい在り方について考察し、時にレポートとして提出する。予習1コマ・復習1コマを行う。								
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01,オリエンテーション 02,従来の運動指導の問題点 03,コーチングとは 04,運動指導者としての資質 05,運動指導の目的・ねらい 06,スポーツのパフォーマンスとは 07,上達論 08,技術指導の心理学的原則 09,トレーニングとプラクティス 10,集団の構造 11,集団の機能 12,体育授業での運動指導 13,教育目標と運動指導 14,社会スポーツにおける運動指導 15,セルフエフィカシー向上のための方法論 16,試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内					
教科書 1	スポーツ・コーチング学 出版社: 西村書店								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	衛生・公衆衛生			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	中瀬 克己					NO.	SS-SM-2-315
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目では、公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。						
概要	公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度・社会的取り組みや技術があり、それらを学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的な考え方を中心として専攻に関連の深い内容も加えて学習する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要な知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。						
評価方法	期末の定期試験(70%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(30%)で評価する。出欠とは別の目的で授業時にアンケート等を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。						
履修条件・注意事項	試験は、配布資料、自作のまとめ(自作に限る、他人のコピーは不可)を持ち込み可とするが、再試験はしない。 (公財)健康・体力づくり事業財団「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)健康・体力づくり事業財団「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目						
自己学習	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、参考で挙げたテキストは簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。						
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション、公衆衛生学総論 2. 衛生統計1 総論、人口統計 3. 衛生統計2 生命表・疾病統計 4. 疫学1 総論、研究方法 5. 疫学2 疫学指標 6. 疫学3 疫学の応用 7. 健康管理と集団検診の理論 8. 予防医学の考え方、感染症の予防 9. 生活習慣病の予防 10. 環境保健 11. 公害とその予防 12. 母子保健・学校保健 13. 産業保健概論 14. 職場の健康管理と健康増進 15. 成人・老人保健 16. .筆記試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	公衆衛生がみえる 2019-2020(ただし改訂版が出版された場合は新版とする) 著者:編 医療情報科学研究所 出版社:メディックメディア						
参考書 2							

授業科目名	幼児体育			履修期	2021年度 春学期		
担当者	副島 斉子				NO.	SS-SM-2-316	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>スポーツライセンスのうち(公財)日本スポーツ協会ジュニアスポーツ指導員受験資格取得のために必要なカリキュラムを実施する。今日、幼少期においても運動不足、コミュニケーション不足が危惧されているため、『幼少期の運動活動』をテーマとし、スポーツの果たす役割が大きいことから政府はいろいろなスポーツ振興策を進めている。また、この時期は感覚器官及び脳神経系の発達が著しいため、生涯にわたる健康の獲得とスポーツ実践の基礎はこの時期の良い運動習慣により培われる。優れた運動感覚の習得は諸スポーツ活動にスムーズに入るための基礎であり、また、生涯を健康に生活していくための基礎でもある。しかし、幼少期の身体発達は骨格系・筋肉系・内臓系ともに未成熟であるため、この時期の運動感覚の習得は成人のトレーニングスタイルであってはならず、いかに遊びの中で、楽しく身につけるかが重要となる。本実習では幼少期において獲得されるべき基本的運動感覚についての基礎知識の習得と、それらを幼児および児童に楽しく実践させるための指導法について系統的に理解・実践できるようにすることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>幼少期の心身の発達及び運動発達について系統的に理解していく。「遊び」「幼少期の身体」「発育と発達」「感覚」「コミュニケーション」「スポーツ」等、専門用語の基本概念を理解したうえで、各発達段階における心身の機能の特徴を学習する。また、現在求められているコミュニケーション能力の獲得、対人関係の改善等の問題や体力・運動能力の低下の問題等幼少期の課題を理解し、支援するための運動のあり方を考えていく。これらの基礎理論の上にならって、実践的に運動を展開するための運動遊びやゲーム等の教材研究、指導方法を学ぶ。 この授業の担当者は、幼児期の運動指導の実務経験を有する。</p>						
評価方法	最終試験50%、レポート等提出物50% 評価のためのレポートは授業時にフィードバックする。						
履修条件・注意事項	講義の性格上、体調管理、安全な服装で臨むこと						
自己学習	各回の授業において、学修した内容を、自らの指導案として、授業後まとめておくこと。さらに次の授業時のねらいがしめされるので、あらかじめそれに応じた運動内容を各自で考えておくこと。 予習・復習はそれぞれ約2時間行うこと。						
オフィスアワー	金曜日4限、教室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 子どものコミュニケーションスキル1:子どもの発達とコミュニケーションスキル	実習	副島					
2. 子どものコミュニケーションスキル2:子どもの発達とコミュニケーションスキル	実習	副島					
3. 子どものコミュニケーションスキル3:子どもの発達とコミュニケーションスキル	実習	副島					
4. 幼児期、児童期における基本的運動感覚の習得1-移動系:動きの発達とスキルの獲得	実習	副島					
5. 幼児期、児童期における基本的運動感覚の習得2-平衡系:動きの発達とスキルの獲得	実習	副島					
6. 幼児期、児童期における基本的運動感覚の習得3-操作系:動きの発達とスキルの獲得	実習	副島					
7. 幼児期、児童期におけるスポーツスキルの獲得:動きの発達とスキルの獲得、運動の組合せ、基礎コーディネーション能力を高める運動の必要性	実習	副島					
8. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム1-ごっこあそび:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
9. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム2-ゲーム:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
10. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム3-運動遊び:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
11. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム4-スポー:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
12. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム5-親子遊び:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
13. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム6-1人遊び:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
14. 幼児期、児童期における運動遊びとゲーム7-グループでの遊び:運動遊び・ゲームの実際	実習	副島					
15. 幼児期、児童期の指導の留意点	実習	副島					
16. 試験	実技試験	副島					
教科書 1	幼少年期の体育 出版社:大修館書店						

教科書 2	
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	解剖学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-1-317
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人体解剖学をより科学的に理解することをテーマとし人体を分子細胞のレベルから個体のレベルまで理解し、あわせて専門用語も身に付けることによって専門科目を容易に学ぶことができる。人体の構造と機能を理解し、各専門科目を学ぶための基礎能力を身に付けることを目標とする。						
概要	人体は一個の受精卵から出発し、発生分化を経て複雑な構造体を形成している。解剖学はその人体の構造と各器官の形態及び機能を分子細胞のレベルから個体のレベルまで一体として理解し、合せて各専門科目を学ぶための基礎とする。講義内容、(1)人体の概要(2)人体の構造と区分(3)人体の支持と機能(骨格系)(4)人体の支持と機能(筋系)(5)人体の支持と機能(関節)(6)神経系の機能(末梢神経系)(7)神経系の機能(自律神経系)(8)循環器系(9)呼吸器系(10)消化器系(11)泌尿器系(12)内分泌系(13)中枢神経系(上位中枢)(14)中枢神経系(下位中枢)(15)感覚器						
評価方法	受講態度20%、単位認定試験80%による評価を行う。単位認定試験は採点后各自個別指導を行う。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	出席、受講態度を重視するので注意すること。 常に予習・復習を行い、予習で起きた疑問点は授業と復習によって解決するように心がけること。						
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考書等を約2時間読みまわめておくこと。復習として毎回の授業を自分でまとめ必要なところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 人体の概要 2. 人体の構造と区分 3. 人体の支持と機能(骨格系) 4. 人体の支持と機能(筋系) 5. 人体の支持と機能(関節) 6. 神経系の機能(末梢神経系) 7. 神経系の機能(中枢神経系) 8. 循環器系 9. 呼吸器系 10. 消化器系 11. 泌尿器系 12. 内分泌系 13. 中枢神経系(上位中枢) 14. 中枢神経系(下位中枢) 15. 感覚器 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原					
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	図解解剖学辞典 著者:山田英智 出版社:医学書院						
参考書 2	入門人体解剖学 著者:藤田恒夫 出版社:南江堂						

授業科目名	生理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	椎葉 大輔					NO.	SS-SM-1-318
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	健康科学の根幹である生理学から人体の生きている仕組みを学ぶ。そして生体の在り方が多くのバランスの上に成り立つことを理解する。						
概要	生理学は身体各臓器の機能を知るとともに、身体全体としての統合的な調整と適応の機序を明らかにする学問である。各機能間の関連を考慮しながら、筋、循環、呼吸、消化、代謝、排泄、内分泌などの植物性機能の概要を講義する。また、健康科学や臨床医学とのかかわりを解説し、それらの基礎とすることを旨とする。						
評価方法	講義姿勢(10%)、小テスト(10%)および定期試験の成績で評価する(80%)。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 健康及び医学関連の科目を学習する上で基礎となる科目である。十分な学習をなされることが望まれる。毎回の授業前後において、講義資料を熟読し、予習復習すること。						
自己学習	教科書に目を通し、解剖学の基礎的な知識を持つておくこと。さらに、講義に出題される課題に取り組むこと。						
オフィスアワー	非常勤なので授業終了後、教室にて質問に対応しますので声をかけてください。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				01. 生体機能とホメオスタシス 02. 骨格筋 1) 構造と機能 03. 骨格筋 2) 収縮機構・脊髄反射 04. 神経系 1) 神経系の分類 05. 神経系 2) 静止電位と活動電位 06. 神経系 3) 興奮の伝導と伝達 4) 反射 07. 神経系 5) 中枢神経系 6) 体性神経系・自律神経系 08. 感覚器 09. 血液と体液 10. 心臓の機能と調節 11. 血管運動調節系 12. 呼吸器系の構造と機能 13. 呼吸運動とその調節 14. 高温環境と運動 15. 体温調節系 16. 試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉
教科書 1	使用しない(毎回の講義で資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1	イラストでまなぶ生理学 著者: 田中越郎 出版社: 医学書院 ISBN: 9.78426E+12						
参考書 2							

授業科目名	運動栄養学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	野瀬 由佳					NO.	SS-SM-2-319
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	栄養学の基礎として、各栄養成分の理解と、消化吸収のメカニズムについて理解し、実生活での食事と栄養の関係について配慮できるようになる。また運動のエネルギー供給について理解し、健康づくりやスポーツ活動における効果的な食事について配慮することができる。						
概要	基礎栄養学として、活動のエネルギーとなる栄養素と、体の恒常性を保つための栄養素について学び、日常の食事との関連について講義する。また、身体運動と栄養の関係について講義する。さらに、スポーツ活動や健康づくりに関連する、栄養素やビタミン、ミネラル、水分摂取などについて講義する。						
評価方法	リアクションペーパー(20%)レポート(20%)、講義終了後の試験(60%)をあわせて評価する。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、スポーツプログラマー受験資格必須科目						
自己学習	予習は講義の進行を見て、講義の終わりに意を出す。復讐はその日のキーワードを示すのでそのことについてまとめる。予習2時間、復習2時間をかけて行うこと。						
オフィスアワー	非常勤講師のため、大学に常駐していません。オフィスアワーは講義終了後、ならびに講義内で示すメールでの対応となります。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. 栄養の概念 02. 消化・吸収と栄養素の体内動態1 03. 消化・吸収と栄養素の体内動態2 04. 糖質の栄養 05. 脂質の栄養 06. たんぱく質の栄養 07. ビタミンの栄養 08. ミネラルの栄養 09. 食生活と食品群 10. 健康と栄養 11. 運動のエネルギーとしての栄養 12. 実際の食事とその栄養素1 13. 実際の食事とその栄養素2 14. 栄養摂取と食生活 15. スポーツ栄養における最新の知見について 16. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬 野瀬					
教科書1	各回講義において資料を配布する						
教科書2							
参考書1	基礎栄養学 著者:鈴木 和春 他 出版社:第一出版 ISBN:978-4-8041-1143-8						
参考書2							

授業科目名	身体運動学				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全、枝松 千尋					NO.	SS-SM-2-320	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	身体運動を支える、体の機能を、生理学的、解剖学的を基本として学び、また、身体運動の成り立ちを物理学的解析法により理解し、運動の理論的実践指導が出来るようになる。							
概要	身体運動を支える、体の機能を、生理学的、解剖学的を基本として学ぶ。また、身体運動の成り立ちを物理学的解析法により理解し、運動の理論的実践指導が出来る。							
評価方法	課題(20%)および試験(80%)の結果を合わせて評価を行う。							
履修条件・注意事項	「健康運動実践指導者および健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 配布資料で毎回予習範囲を指定する。							
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日1限目をオフィスアワーの時間とする。							

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.身体運動と物理学 3.姿勢、重心と身体運動 4.関節の構造と機能 5.頸部の関節運動 6.上肢の関節運動 7.脊柱の構造とその運動 8.骨盤と下肢の運動 9.エネルギーとパワー 10.歩行と走行 11.水中での身体運動 12.3つのエネルギー供給システム 13.有酸素パワーと無酸素パワー 14.筋パワーと弾性エネルギー 15.身体運動と健康 16.試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	枝松 枝松 枝松 高原 高原 高原 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 枝松 高原 高原

教科書 1	
教科書 2	
参考書 1	身体運動学概論 著者:浅見 俊雄 他 出版社:大修館書店 ISBN:ISBN4-469-26038
参考書 2	運動とからだ 著者:朝比奈一男 出版社:大修館書店 ISBN:4-469-16312-0

授業科目名	リハビリテーション医学				履修期	2021年度 春学期	
担当者	河村 顕治					NO.	SS-SM-3-321
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	授業の到達目標及びテーマ:スポーツに関係する運動器疾患を中心として、リハビリテーション医学の対象となる疾患の理解をテーマとし、学生がそれらの病態とその治療、理学・作業療法の内容などの知識を身につけることができる。						
概要	リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成12年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。 ※実務経験のある教員による授業:この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	定期試験(80%)を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容(20%)にて総合的に判定を行う。 なお、評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	リハビリテーション医学の履修において各自がポートフォリオを作成することを義務づける。これは学習をより確かなものにしてこれからの専門的学習の基礎を作るためである。						
自己学習	授業に先立って「リハビリテーション医学テキスト」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。						
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.リハビリテーションとは 2.運動器のリハビリテーション(総論) 3.運動器のリハビリテーション(運動器不安定症:病態と診断) 4.運動器のリハビリテーション(運動器不安定症:上肢疾患) 5.運動器のリハビリテーション(運動器不安定症:下肢疾患) 6.運動器のリハビリテーション(評価の概要) 7.運動器のリハビリテーション(評価の実際) 8.運動器のリハビリテーション(治療総論) 9.運動器のリハビリテーション(筋力訓練) 10.運動器のリハビリテーション(ストレッチング) 11.運動器のリハビリテーション(体操療法) 12.運動器のリハビリテーション(物理療法) 13.運動器のリハビリテーション(各論:関節疾患) 14.運動器のリハビリテーション(各論:腰椎疾患:病態と診断) 15.運動器のリハビリテーション(各論:腰椎疾患:治療) 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治				
教科書 1	リハビリテーション医学 第1版 著者:安保雅博/監、渡邊 修、松田雅弘/編 出版社:羊土社 ISBN:978-4-7581-0231-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	内科学一般				履修期	2021年度 春学期		
担当者	高原 皓全、青山 雅					NO.	SS-SM-3-322	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	健康領域に従事する者として心得ておかなければならない医学一般並びに老人医療に関する知識を幅広く理解すること。ならびに他の医療従事者とも緊密にチームワークを作る為にも医学や看護などの基礎的知識を豊かにすること。学生はこれらのことを学び、理解することで、健康領域の現場に出た際に他の医療従事者と共通理解の上で円滑に業務を遂行することができる。							
概要	様々な疾患の概要、頻度、症候、病理生理、診断、治療と予後についての基礎的知識を把握する。また、疾患を十分理解するために、疾患の要因、特徴や症状についての理解を深める。生活習慣病に関しては、各疾患についての理解にとどまらず、運動療法、食事療法、薬物療法との関係についても理解を深める。							
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(10%)、小テスト(10%)、定期試験の結果(80%)から評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目(2011年度生より適用) 最近の社会における医療や福祉の変化の情報に注目する。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布された資料の指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 生活習慣病概論 2. メタボリックシンドローム 3. ロコモティブシンドローム 4. 肥満症(1)肥満症とは 5. 肥満症(2)肥満症の治療と予防 6. 高血圧症 7. 高脂血症 8. 糖尿病 9. 虚血性心疾患 10. 呼吸器疾患 11. 循環器疾患 12. 悪性新生物 13. 認知症 14. 骨粗鬆症 15. 総括 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高原 青山 青山 高原 青山 青山 青山 青山 青山 高原 青山 青山 高原 高原					
教科書 1	資料を配布する							
教科書 2								
参考書 1	コメディカルのための内科学 著者:伊東進、森博愛 出版社:医学出版社 ISBN:978-4870550971							
参考書 2								

授業科目名	東洋医学概論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-1-323	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	東洋医学の歴史は如何に誕生したのか、日本での変遷及び中国への影響、東洋医学の特徴、基本理念、古代哲学思想と医学との関連などを理解できるようになる。						
概要	東洋医学概論の講義では病気の予防および体質改善を目的とし、今後多分野の中で応用できる基礎理論の掌握を狙いとしている。生活の知恵から生まれた東洋医学の背景を検討し、さらにそれに伴って陰陽論の基本内容および東洋医学における陰陽論の応用、五行論の基本内容および東洋医学における五行論の応用、気血津液の分類と作用及び相互関係、臓腑学説の形成及び生理特徴、経絡の作用、循行及び接続の規則性、八綱弁証理論などを紹介する。						
評価方法	テーマ「東洋医学の歴史は如何に誕生したのか、日本での変遷及び中国への影響、東洋医学の特徴、基本理念、古代哲学思想と医学との関連などを理解できるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に各、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. 東洋医学とは 02. 東洋医学の特徴 03. 陰陽学説 04. 五行学説 05. 臓腑学説Ⅰ(心・肝について) 06. 臓腑学説Ⅱ(脾・肺について) 07. 臓腑学説Ⅲ(腎について) 08. 気について 09. 血について 10. 津液について 11. 精について 12. 神について 13. 八綱弁証Ⅰ(陰陽弁証) 14. 八綱弁証Ⅱ(表裏弁証) 15. 八綱弁証Ⅲ(寒熱虚実弁証) 16. 定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然		
教科書 1	身近な東洋医学 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	経絡鍼灸学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-324
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では東洋医学における重要な「経絡鍼灸学」をテーマとして、それについて福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする。						
概要	「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。						
評価方法	テーマ「経絡鍼灸学福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 肺経・大腸経について 第2回 胃経・脾経について 第3回 心経・小腸経について 第4回 腎経・膀胱経について 第5回 心包経・三焦経について 第6回 肝経について 第7回 胆経について 第8回 鍼灸概説について 第9回 片手挿管について 第10回 鍼に関する一般知識 第11回 鍼治療の適応症 第12回 刺鍼手技法について 第13回 灸療法概説について 第14回 灸療法の実際について 第15回 鍼灸理論について 第16回 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然				
教科書 1	身近な東洋医学 著者:王専 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	東洋医学演習				履修期	2021年度 秋学期				
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-325			
配当学科	スポーツ社会				年次	2				
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義、演習			
テーマと到達目標	鍼灸、整体刺激による筋硬度への影響をテーマとする。学生はスポーツ選手に広く応用されている東洋医学的手法を習得することで、よくみかける肩こり、腰痛などへの影響を学ぶことである。									
概要	東洋医学演習の講義では、誰でもできる簡単な円皮鍼、艾灸、光灸、真空灸、整体といった東洋医学的手法を利用し、主に僧帽筋や腓腹筋の硬さを観察指標とし、スポーツ障害と筋の硬さとの関係を理解しその改善方法についての知識と理論について学習し、将来スポーツや福祉の分野において応用できるようにする。									
評価方法	本講義では演習を中心に行われることから、毎回実験参加態度(50%)、課題発表(30%)、レポートの出来具合(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。									
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくること。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。									
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に各、各2時間程度を要する。									
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。									
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者		
				01. オリエンテーション		01. オリエンテーション	演習	孫基然		
				02. 筋硬度測定方法の習得1		02. 筋硬度測定方法の習得1	演習	孫基然		
				03. 筋硬度測定方法の習得1		03. 筋硬度測定方法の習得1	演習	孫基然		
				04. 艾灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響		04. 艾灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響	演習	孫基然		
				05. 光灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響		05. 光灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響	演習	孫基然		
				06. 円皮鍼による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響		06. 円皮鍼による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響	演習	孫基然		
				07. 真空灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響		07. 真空灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響	演習	孫基然		
				08. 温灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響		08. 温灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響	演習	孫基然		
				09. 中間発表会		09. 中間発表会	演習	孫基然		
				10. 温熱灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響		10. 温熱灸による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響	演習	孫基然		
				11. 整体による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響(一)		11. 整体による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響(一)	演習	孫基然		
				12. 整体による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響(二)		12. 整体による筋硬度(腓腹筋)に及ぼす影響(二)	演習	孫基然		
				13. 筋の硬さに関する文献輪読(一)		13. 筋の硬さに関する文献輪読(一)	演習	孫基然		
				14. 筋の硬さに関する文献輪読(二)		14. 筋の硬さに関する文献輪読(二)	演習	孫基然		
				15. まとめ		15. まとめ	演習	孫基然		
				16. 定期試験		16. 定期試験	実技とレポート試験	孫基然		
教科書 1	身近な東洋医学 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9									
教科書 2										
参考書 1	プリントを配布する。									
参考書 2										

授業科目名	発育発達				履修期	2021年度 春学期			
担当者	松本 希					NO.	SS-SM-3-326		
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	成人期以降の体の変化を総合的、臓器別に学び、老化のメカニズムを理解することによって、高齢者等の健康に配慮できるようになるとともに、安全で効果的な運動を指導することができる。								
概要	人間の発育発達を生涯の加齢現象としてとらえ、成人期以降のカ加齢と生体機能の関係を明らかにする。主に生理学、解剖学、心理学、老人病理学などの立場で講義し、The biology aging の意義について講義する。人間の一生において各機能形態的発達様式が違うことから、老化について考え、それぞれの時期に応じた適切な社会福祉とその対策について講義する。								
評価方法	講義前後の課題(20%)および試験(80%)の結果を合わせて評価を行う。								
履修条件・注意事項	「健康運動指導士受験資格認定試験受験資格」必須科目資料を配布するので、講義の最後に予習箇所を指定する。								
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時にレポートを提出すること。								
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義終了後をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 人間の一生における発達現象 2. 高齢者の定義 3. 老化の定義と具体的特徴 4. 老化に影響を与える他の因子 5. 生理的機能の変化と組織的变化 6. 免疫機能の変化 7. 老化の学説とその真意 8. 細胞レベルでの老化 9. 早老症とそのメカニズム 10. 細胞レベルでの老化 11. 老年病の三つの特徴 12. 老化現象を基盤とした病気 13. QOLとADL 14. 環境と老化現象 15. 運動と老化現象 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1	人間の発達と健康 著者:神戸大学発達科学部健康発達論研究会 出版社:大修館書店 ISBN:4-469-26363-x								
参考書 2									

授業科目名	救急処置			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森 芳史				NO.	SS-SM-3-327	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「救急処置の基本と実際」、「スポーツ障害の現状と対策」をテーマとし、アスリートやスポーツ指導者として、学生がスポーツ障害の病態・診断・治療・障害予防について理解し、学んだ知識を実際のスポーツ現場での応急処置やスポーツ障害の予防に役立てることができる。						
概要	<p>スポーツの現場では、競技者としてのみならず、指導者として、突然の事故や内科的疾病に伴う緊急の事態に直面することがある。本講義ではこのような事態に備え、スポーツ中に起こりうる外傷・障害に関する医学的知識、とりわけ救急処置についての知識を資料を用いて解説し、グループディスカッションやディベート、救急処置の実技指導を通して実際の現場で自ら考え、対処できるようにする。</p> <p>＊実務経験のある教員による授業科目 この科目は、スポーツ医学や救急現場で実務経験のある講師により、現状や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	平常のレポートの提出や受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。とりわけ予習復習のためのレポート提出や受講態度は重要であり、成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、課題(提出物・レポート)10%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度10%の割合で評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までにみなおしておくこと。						
履修条件・注意事項	<p>講義はスライドを中心に行い、スライド内容は講義用テキストとして配布するが、救急法やテーピングの実際についても体験してもらうため始業時に遅れないこと。毎回出される課題や講義テキストを予習・復習に活用し、その提出を定期試験受験の条件とする。また、受講態度は特に重要であり、講義で習ったことをスポーツ現場に積極的に生かしていくように心掛けること。予習、復習、および実技の際に必要なため、必ず教科書を用意すること。</p> <p>「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ必須科目</p>						
自己学習	自己学習のためのレポート課題を課す。それを作成することによって講義の予習復習が可能であり、必ず提出すること。なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	6号館4階、6412号室:火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1.スポーツ現場における事故の実際	講義	森			
2.心肺蘇生法(理論)	講義	森			
3.心肺蘇生法(手技の実際)	講義	森			
4.循環器系障害に対する対応(病態)	講義	森			
5.循環器系障害に対する対応(手技の実際)	講義	森			
6.呼吸器系障害に対する対応(病態・手技の実際)	講義	森			
7.創傷及び出血に対する対応(病態)	講義	森			
8.創傷及び出血に対する対応(手技の実際)	講義	森			
9..骨、関節及び筋肉の損傷に対する対応(骨折)	講義	森			
10.骨、関節及び筋肉の損傷に対する対応(関節障害)	講義	森			
11.骨、関節及び筋肉の損傷に対する対応(筋・腱障害)	講義	森			
12.神経系の障害に対する対応(脳の外傷)	講義	森			
13.神経系の障害に対する対応(脳血管傷害)	講義	森			
14.神経系の障害に対する対応(脊髄損傷)	講義	森			
15.環境・代謝障害に伴う障害に対する対応	講義	森			
16.単位認定試験	講義	森			
	筆記試験	森			

教科書 1	改訂5版 救急蘇生法の指針 2015 市民用・解説編 著者:監修:日本救急医療財団心肺蘇生法委員会 出版社:へるす出版 ISBN:978-4-89269-882-8
教科書 2	
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	運動生理学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-328	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	動物としてのヒトの根底には、常に身体運動が伴う。日々の在り方でそれは多様に変化し、各人を形成する。その可塑性を理解する。学生は身体活動にともなう生体諸機能の適応やその機序に関する生理学を理解することにより、「運動」に関する考え方を学ぶことができる。							
概要	ヒトの身体活動は人体の多様な機能を動員することで発現する。今日、運動不足による疾患が危惧されている。そこで呼吸・循環機能、脂質代謝と生活習慣病、またメタボリックシンドロームを説明し、予防、改善のための至適運動を提示する。運動生理学の基礎的な知見について、テキストと実験データをもとに紹介する。							
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(20%)、講義中の課題(10%)、定期試験の結果(70%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー必須科目 講義項目ごとに資料を事前に配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。生理学、解剖学を基礎としており、適宜、それらの復習が大切である。予習復習として講義内に配布プリントの指定されたページを熟読してくる。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
01. 運動と血液 02. 運動と心拍数 03. 運動と血圧 04. 運動と血流 05. 循環機能とトレーニング 06. 運動と呼吸運動 07. 運動と酸素摂取 08. 運動と呼吸商 09. 呼吸機能とトレーニング 10. 運動と高血圧・高脂血症 11. 運動と糖尿病 12. 神経・筋機能の加齢変化 13. 呼吸・循環機能の加齢変化 14. 骨の加齢変化 15. 運動と免疫能 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口						
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	改訂版 運動生理学の基礎と発展 著者: 春日規克・竹倉宏明 出版社: フリースペース ISBN: 978-4-434-07569-8							
参考書 2								

授業科目名	運動生理学Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-329	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	動物としてのヒトの根底には、常に身体運動が伴う。日々の在り方でそれは多様に変化し、各人を形成する。その可塑性を理解する。学生は、身体活動にともなう生体諸機能の適応やその機序に関する生理学を理解することにより、「運動」に関する考え方を学ぶことができる。							
概要	ヒトの身体活動は人体の多様な機能を動員することで発現する。身体運動にともなう神経や筋の適応と機序について学ぶ。運動生理学の基礎的な知見について、テキストと実験データをもとに紹介する。							
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(10%)、小テスト(10%)、定期試験の結果(80%)から評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「(公財)日本スポーツ協会スポーツリーダー」科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。生理学、解剖学を基礎としており、適宜、それらの復習が大切である。毎回の授業において配布したプリントの指定されたページを熟読してくる。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01. 運動とは 02. 筋の構造 03. 筋収縮のしくみ 04. 筋繊維の種類 05. 筋繊維の種類と収縮特性 06. 筋繊維の種類と身体活動 07. 筋収縮と糖質代謝 08. 筋収縮と脂質代謝 09. 筋の肥大、損傷、再生 10. 運動単位の種類 11. 運動単位と筋力、筋電図 12. 運動の発現 1) 脊髄反射 13. 運動の発現 2) 中枢神経系 14. 歩行運動の正常と異常 15. 水中環境と運動 16. 単位認定試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	改訂版 運動生理学の基礎と発展 著者:春日規克・竹倉宏明 出版社:フリースペース ISBN:978-4-434-07569-8							
参考書 2								

授業科目名	レクリエーション				履修期	2021年度 春学期		
担当者	直原 一美					NO.	SS-SM-2-330	
配当学科	スポーツ社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>～自ら楽しむ～をテーマに人とひととの交流を深めます。 レクリエーション活動は、コミュニケーション能力を深める有効手段の一つです。 今、多くの企業や職場でコミュニケーション能力のある人材が求められています。また、レクリエーションの支援者として、家族の絆を深め、地域の絆を取り戻すきっかけづくりの提供、高齢者、障害者福祉施設、スポーツ、健康づくりに関する職場、地域社会、学校現場など即戦力となる人材を育てます。 レクリエーションの授業を通して、楽しみながらコミュニケーション能力を高めます。</p>							
概要	<p>現在レクリエーションは、健康づくりや高齢者・障害者福祉、子育て支援、幼児教育、学校教育、社会教育（地域づくり、環境教育、医療現場などで幅広く用いられています。 現場で必要な、コミュニケーション技法や集団を対象としたレク・ワーク技術を身に付け、「人とひととの交流を感動的な出会い」の演出を学びます。 春学期は、レクリエーションの楽しさ、仲間との交流の素晴らしさを体感し、ニュースポーツや最近話題の健康法「笑いヨガ(ラフトアーヨガ)」、そして、野外に出かけて自然との触れ合いなど、様々なレクリエーションの技法を体験します。</p>							
評価方法	試験(50%) 授業態度(30%) 課題レポート(20%)							
履修条件・注意事項	動きやすい服装、体育館シューズを準備する。							
自己学習	予習復習については、別途指示し核2時間程度を要する。							
オフィスアワー	授業終了後教室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.「初めまして」自ら楽しむレクリエーション	実習	直原			
			2. 仲間と共に楽しむレクリエーション	実習	直原			
			3. グループ対抗ゲーム	実習	直原			
			4. 歌は心のメッセージ	実習	直原			
			5. レッツダンス！	実習	直原			
			6. 健康体操リハビリ体操ストレッチ他	実習	直原			
			7. 創作レクダンス(これがけっこうはまります)	実習	直原			
			8. ネイチャーゲーム(心と体で自然を感じます)	実習	直原			
			9. ニュースポーツ I	実習	直原			
			10. ニュースポーツ II	実習	直原			
			11. 高齢者・障害者と楽しむレクリエーション	実習	直原			
			12.「笑いヨガ」今話題の有酸素運動	実習	直原			
			13. 大縄跳び・バンブーダンス	実習	直原			
			14. 脳トレク①	実習	直原			
			15. 脳トレク②	実習	直原			
			16. 単位認定試験	試験	直原			
教科書 1	使用しない							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	アダプテッド・スポーツ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-2-331
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「アダプテッド・スポーツの理論と実際」をテーマとする。アダプテッド・スポーツの理論だけではなく、運動指導者としての実践方法の基礎を理解できる。						
概要	<p>アダプテッド・スポーツとは、1人1人の発達状況や身体条件に適応させたスポーツのことをいう。特に、障がいを持つ者の身体的・精神的障がいの種類や程度に合わせてルールや用具を適合させることによって、スポーツ活動を実施することができるようになる。しかしながら、間違った運動を行うと、かえって障がいを悪化させてしまう。本講義では、障がい者のスポーツ活動について、障がいの関係特性について理解を深めるとともに正しく理解し、対象者に適したスポーツ活動の理解及び適切な指導が出来るよう学習する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、アダプテッド・スポーツに関する活動及び研究実績のある者が担当する。スポーツ活動及び研究活動の経験から、アダプテッド・スポーツにおける課題、それを解決するためのに必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	最終試験(90%)、発表、ディスカッションへの参加(5%)、受講態度(5%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	<p>1) 事前に課題を出し、発表形式を取る参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。</p> <p>3) 初回の授業には、必ず出席すること。</p> <p>4) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れない。</p>						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。						
オフィスアワー	水曜日4時限目 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<p>1.オリエンテーション</p> <p>2.アダプテッド・スポーツとは</p> <p>3.アダプテッド・スポーツの歴史</p> <p>4.障がい者スポーツ指導者制度</p> <p>5.障がい者のスポーツ活動の意義と理念</p> <p>6.障がい者のスポーツ大会</p> <p>7.障がい者スポーツとクラス分け</p> <p>8.障がいの理解とスポーツ(肢体不自由者)</p> <p>9.障がいの理解とスポーツ(肢体不自由者)</p> <p>10.障がいの理解とスポーツ(内部障害者)</p> <p>11.障がいの理解とスポーツ(知的障害者)</p> <p>12.障がいの理解とスポーツ(精神障害者)</p> <p>13.アダプテッド・スポーツの現場から～指導者として～</p> <p>14.アダプテッド・スポーツの現場から～大会を支える立場として～</p> <p>15.まとめ</p> <p>16.最終試験</p>		<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>試験</p>	<p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p>				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	保健体育科教育法 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	松下 健二					NO.	TC-SM-2-901
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	体育教師の専門的力量育成を目標とし、保健体育科教育に関わる基礎的教育的事項について学習指導要領に示された教科の目標や内容を理解する。						
概要	保健体育科の目標および内容と各分野の目標と内容および指導計画の作成方法と内容の取り扱いについて理解するとともに、専門的教育知識を把握し、体育の授業の中で実践できるようにする。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	受講態度(25%)、レポート(25%)、試験(50%)で総合評価する。						
履修条件・注意事項	前の授業の要点の確実な理解から次の授業を始めるので授業後にノートをまとめ、配布された資料を基にして次授業の授業内容について把握しておくこと。 レポートの提出状況が試験の受験条件となる。 中高保健体育科教諭資格必修科目						
自己学習	予習として各授業計画に記載されている部分について事前に参考となる書籍を読み、理解できない点をまとめて授業をうけること。指示に従って必ずノートを作成し、復習すること。」予習・復習とも2時間ほど行うこと。						
オフィスワ-	授業終了後、教室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:中学校学習指導要領保健体育編における目標と各分野の内容について(その①) 第2回:中学校学習指導要領保健体育編における目標と各分野の内容について(その②) 第3回:中学校学習指導要領保健体育編における指導計画の作成方法について 第4回:高等学校学習指導要領保健体育編・体育編における目標と各分野の内容について(その①) 第5回:高等学校学習指導要領保健体育編・体育編における目標と各分野の内容について(その②) 第6回:高等学校学習指導要領保健体育編・体育編における指導計画の作成方法について 第7回:保健体育授業の成立基盤と授業の構造と機能 第8回:保健体育科の目標と学力と教育内容 第9回:保健体育授業の学習指導-アクティブラーニングの手法と情報機器の活用(体育分野・保健分野) 第10回:モニタリングと相互作用技術 第11回:マネジメント方略 第12回:運動の技術(運動成功のためのコツ) 第13回:競争とルール・マナーと戦術学習 第14回:運動学習の適時期 第15回:授業評価と学習評価 第16回:単位認定試験		1回~15回 講義 16回 試験	1回~16回 松下健二				
教科書 1	中学校学習指導要領(平成29年告知)解説:保健体育編 出版社:文部科学省						
教科書 2	高等学校学習指導要領(平成30年度告知):保健体育編・体育編 出版社:文部科学省						
参考書 1	内容学と架橋する保健体育教育論 著者:後藤幸弘 出版社:晃洋書房						
参考書 2	体育授業の理論と方法 著者:小林一久 出版社:大修館書店						

授業科目名	保健体育科教育法Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	松下 健二					NO.	TC-SM-2-902	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	授業のテーマ及び到達目標 保健体育科において扱われる体育分野の内の4領域と保健分野について、それぞれの授業を行う際の重要ポイントを理解し、授業計画(指導案)を作成する。情報機器を使用したプレゼンテーションおよび模擬授業ができる。							
概要	<p>授業の概要 体育分野の「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「球技」の各領域と保健分野についてそれぞれの代表例の教材研究を行うとともに指導案作成、模擬授業を行う。模擬授業では教師の介入を逐次取り入れ、指導案と実際の指導との連携を理解し、授業づくりを行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	受講態度(25%)、レポート(25%)、試験(50%)で総合評価する。							
履修条件・注意事項	<p>前の授業の要点の確実な理解から次の授業を始めるので授業後にノートをまとめ、配布された資料をもとにして次の授業の内容について把握しておくこと。 レポートの提出状況が試験の受験条件になる。 中高保健体育科教諭資格必修科目</p>							
自己学習	予習として各授業計画に記載されている部分について事前に参考となる書籍を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。指示に従って必ずノートを作成し、復習すること。予習・復習とも2時間ほど行うこと。							
オフィスワ-								
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			<p>授業計画 第1回:「体づくり運動」の授業づくり (1):体ほぐし・体の動きを高める運動の教材研究 第2回:「体づくり運動」の授業づくり(2):指導案の作成 第3回:「体づくり運動」の授業づくり(3):指導案の発表と模擬授業 第4回:「器械運動」の授業づくり(1):マット運動、跳び箱運動の教材研究 第5回:「器械運動」の授業づくり(2):指導案の作成 第6回:「器械運動」の授業づくり(3):指導案の発表と模擬授業 第7回:「陸上競技」の授業づくり(1):「ハードル走」「走り高跳び」の教材研究 第8回:「陸上競技」の授業づくり(2):指導案の作成 第9回:「陸上競技」の授業づくり(3):指導案の発表と模擬授業 第10回:「球技」の授業づくり(1):「バレーボール」「バスケットボール」の教材研究 第11回:「球技」の授業づくり(2):指導案の作成 第12回:「球技」の授業づくり(3):指導案の発表と模擬授業 第13回:保健分野の授業づくり(1):「傷害の防止」の教材研究 第14回:保健分野の授業づくり(2):情報機器の活用を含めた指導案の作成 第15回:保健分野の授業づくり(3):指導案の発表と模擬授業 第16回:単位認定試験</p>				<p>1回～15回講義・演習 16回試験</p>	1回～16回松下健二
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	保健体育科教育法Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	松下 健二					NO.	TC-SM-3-903
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・実技
テーマと到達目標	模擬授業を通じて実技種目の実践指導方法を習得する。体育分野の4つの内容の実技について「できる」「わかる」「教えることができる」の能力をつける。						
概要	<p>「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「球技」の各種目の指導方法を習得する。まず各種目について技ができる(示範)ようにスマートフォンなどで動画をその場で撮り、自己の動作を把握・改善する。技の運動構造を分析することから成功する「コツ」を理解し、その上で指導する際の留意点や効果的な指導法について学ぶ。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	受講態度(25%)、レポート(25%)、試験(50%)で総合評価する。						
履修条件・注意事項	実技を伴うので体操服、体育館シューズ、屋外用シューズを用意し、体の調子に気をつける。 中学校保健体育科教諭資格必修科目						
自己学習	予習として各運動領域の学習内容を授業前に参考図書を利用して把握しておくこと。復習として学んだ指導法についてノートを作成しすること。予習・復習とも2時間ほど行うこと。						
オフィスワ-	授業後教室にて。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
授業計画 第1回:体づくり運動①体ほぐし 第2回:体づくり運動②体の動きを高める運動(筋力養成) 第3回:体づくり運動③体の動きをを高める運動(調整力、持久力養成) 第4回:器械運動①マット運動(回転系:接転系) 第5回:器械運動②マット運動(回転系:翻転系) 第6回:器械運動③跳び箱 第7回:器械運動④鉄棒 第8回:陸上競技①ハードル走 第9回:陸上競技②走り高跳び 第10回:陸上競技③砲丸投げ 第11回:球技①:ゴール型(サッカー) 第12回:球技②:ゴール型(バスケットボール) 第13回:球技③:ネット型(バレーボール) 第14回:球技④:ネット型(バドミントン) 第15回:球技⑤:ベースボール型(ソフトボール) 第16回:単位認定試験		1回～15回講義と実技 16回試験	1回～16回松下健二				
教科書 1	体育の授業と教授技術 著者:阪田尚彦 出版社:大修館書店						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	保健体育科教育法Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	松下 健二					NO.	TC-SM-3-904	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義・演習	
テーマと到達目標	体育教師の力量を高める。体育授業で求められる教師の力量が何であるかを理解するとともに、指導案(細案)を作成し、模擬授業を行い、授業分析・評価することから教授力を高める。							
概要	<p>教師行動と教授技術および授業分析・評価について理解する。模擬授業を行うとともにそれをVTRに記録し、次の授業において記録された模擬授業を分析・評価し、授業における教授能力を高める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>							
評価方法	受講態度(25%)+レポート(25%)+試験(50%)で総合評価する。							
履修条件・注意事項	<p>前の授業の要点の確実な理解から、次の授業を始めるので、授業後にノートをまとめ、配布された資料を基にして次の授業内容について把握しておくこと。レポートの提出状況が試験の受験条件になる。</p> <p>中学校保健体育科教諭資格必修科目</p>							
自己学習	各模擬授業の実践例についてVTRなどを参考にして予習しておくこと。復習として、実践された模擬授業を分析するとともに評価を行い次の授業につなげること。予習・復習とも2時間ほど行うこと。							
オフィスワ-	授業後、教室にて。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<p>授業計画 第1回:「体づくり運動」の授業づくり (1)体ほぐし:指導案の作成と模擬授業 第2回:「体づくり運動」の授業づくり (2)体ほぐし:模擬授業の授業分析と授業改善 第3回:「体づくり運動」の授業づくり (3)体ほぐし:授業改善に基づく指導案の作成と模擬授業 第4回:「器械運動」の授業づくり(1) マット運動:指導案の作成と模擬授業 第5回:「器械運動」の授業づくり(2) マット運動:模擬授業の授業分析と授業改善 第6回:「器械運動」の授業づくり(3) マット運動:授業改善に基づく指導案の作成と模擬授業 第7回:「陸上競技」の授業づくり(1) ハードル走:指導案の作成と模擬授業 第8回:「陸上競技」の授業づくり(2) ハードル走:模擬授業の授業分析と授業改善 第9回:「陸上競技」の授業づくり(3) ハードル走:授業改善に基づく指導案の作成と模擬授業 第10回:「球技」の授業づくり(1)バレーボール:指導案の作成と模擬授業 第11回:「球技」の授業づくり(2)バレーボール:模擬授業の授業分析と授業改善 第12回:「球技」の授業づくり(3)バレーボール:授業改善に基づく指導案の作成と模擬授業 第13回:保健分野の授業づくり(1)傷害の防止:情報機器の活用を含めた指導案の作成と模擬授業 第14回:保健分野の授業づくり(2)障害の防止:模擬授業の授業分析と授業改善 第15回:保健分野の授業づくり(3)障害の防止:授業改善に基づく指導案の作成と模擬授業 第16回:単位認定試験</p>			<p>1回～15回講義・演習</p> <p>16回試験</p>	<p>1回～16回 松下健二</p>	
教科書 1								
教科書 2								
参考書 1								

授業科目名	介護等体験の研究				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森井 康幸					NO.	TC-SM-2-919	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	
テーマと到達目標	介護等体験の意義・目的の理解がテーマであり、体験施設の概要や活動内容を把握すること、あわせて教職意識の明確化を図ることが到達目標である。							
概要	次年度以降実施する「介護等体験」の事前指導に当たる。様々な特別支援学校の先生や福祉施設の方に、それぞれの学校や施設の概要やそこでの介護等体験における注意事項等を講義していただく。							
評価方法	受講態度(40%)と毎回課されるレポート(60%)により評価する。							
履修条件・注意事項	介護等体験を行うことが義務づけられている小学校・中学校の教員免許状取得希望者には必修科目である。教員志望者に対する講義ということで、出席状況、受講態度等にはシビアである。講義予定回数は8回であり、実施日程にはくれぐれも注意すること。							
自己学習	予習:テキストの該当箇所を精読。授業で該当する施設について、図書館等で調べておくこと。(2時間) 復習・課題:外部講師の方のお話を整理してレポートにまとめること。(2時間) 日頃から、自分の教師適正について考えておくように。							
オフィスワ-	月曜4限、教員研究室、または、講義終了後、教室にて。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 介護等体験の意義・目的(第1部1～3章) 2. 介護等体験の実際(第2部2章, 3章) 3. 高齢者福祉施設の概要と介護等体験(外部) 4. 児童福祉施設の概要と介護等体験(外部) 5. 知的障害者福祉施設と介護等体験(外部) 6. 特別支援学校の概要と介護等体験(外部) 7. 特別支援学校(視覚障がい)の概要と介護等体験(外部) 8. まとめ・今後の予定(第1部4章)			講義	森井	
教科書 1	教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 五訂版 著者: 現代教師養成研究会(編) 出版社: 大修館書店 ISBN: 4469268763							
教科書 2								
参考書 1	特別支援学校における介護等体験ガイドブック 新フィリア 著者: 全国特別支援学校長会 編 出版社: ジアース教育新社 ISBN: 978-4-86371-522-6							
参考書 2								

授業科目名	教育原論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	TC-SM-1-905
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる 2. 代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する 3. 近代公教育(学校)をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する 4. 家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する 5. 上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度(学校など)の役割について自身の意見を持つ 						
概要	<p>本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかんにか変容し、それに伴い家庭教育、地域社会(共同体)の教育、学校教育がいかんにか変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。本講義は大きく6つの段階に分けて展開する。1・2回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的(非組織的)な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。</p>						
評価方法	各回の講義の振り返りを行う学習記録(15%)、レポート(15%)、定期試験(70%)で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。						
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。初回の講義の際に成績評価に用いる学習記録用紙を配布するので必ず出席すること。						
自己学習	各回講義の予習と復習を行っていただく(学習記録用紙)。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。						
オフィスアワー	火曜日2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回:教育の基礎概念 第2回:教育の源形態—家庭・共同体による教育 第3回:古代の教育思想(1)西洋の教育思想 第4回:古代の教育思想(2)日本の教育思想 第5回:中世の教育思想(1)宗教と教育 第6回:中世の教育思想(2)ルネッサンスと教育 第7回:近代の教育思想(1)産業革命と教育 第8回:近代の教育思想(2)近代教育制度の成立 第9回:近代の教育思想(3)教育学の成立と展開 第10回:現代の教育思想(1)新教育運動の諸相 第11回:現代の教育思想(2)戦争と教育 第12回:現代の教育思想(3)東西冷戦下の教育 第13回:現代社会と教育(1)現代社会の課題と教育 第14回:現代社会と教育(2)子どもの生活世界の変容と教育 第15回:現代社会と教育(3)—まとめにかえて 第16回:定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知		
教科書 1	『教育思想史』(有斐閣アルマ) 著者:今井康雄編 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641123847						
教科書 2							
参考書 1	教育の歴史と思想 著者:石村華代・軽部勝一郎編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065844						

参考書 2

新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷
著者: 水原克敏
出版社: 東北大学出版会
ISBN: 978-4861633171

授業科目名	教育原論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	倉知 典弘					NO.	TC-SM-1-905		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる 2. 代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する 3. 近代公教育(学校)をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する 4. 家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する 5. 上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度(学校など)の役割について自身の意見を持つ 								
概要	<p>本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかんにか変容し、それに伴い家庭教育、地域社会(共同体)の教育、学校教育がいかんにか変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。本講義は大きく6つの段階に分けて展開する。1・2回目では教育の基本概念について理解するとともに家庭などにおける日常的(非組織的)な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。</p>								
評価方法	各回の講義の振り返りを行う学習記録(15%)、レポート(15%)、定期試験(70%)で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。								
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。初回の講義の際に成績評価に用いる学習記録用紙を配布するので必ず出席すること。								
自己学習	各回講義の予習と復習を行っていただく(学習記録用紙)。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読み直し、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。								
オフィスアワー	火曜日2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回:教育の基本概念			講義	倉知					
第2回:教育の源形態—家庭・共同体による教育			講義	倉知					
第3回:古代の教育思想(1)西洋の教育思想			講義	倉知					
第4回:古代の教育思想(2)日本の教育思想			講義	倉知					
第5回:中世の教育思想(1)宗教と教育			講義	倉知					
第6回:中世の教育思想(2)ルネッサンスと教育			講義	倉知					
第7回:近代の教育思想(1)産業革命と教育			講義	倉知					
第8回:近代の教育思想(2)近代教育制度の成立			講義	倉知					
第9回:近代の教育思想(3)教育学の成立と展開			講義	倉知					
第10回:現代の教育思想(1)新教育運動の諸相			講義	倉知					
第11回:現代の教育思想(2)戦争と教育			講義	倉知					
第12回:現代の教育思想(3)東西冷戦下の教育			講義	倉知					
第13回:現代社会と教育(1)現代社会の課題と教育			講義	倉知					
第14回:現代社会と教育(2)子どもの生活世界の変容と教育			講義	倉知					
第15回:現代社会と教育(3)—まとめにかえて			講義	倉知					
第16回:定期試験			講義	倉知					
教科書 1	『教育思想史』(有斐閣アルマ) 著者:今井康雄編 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641123847								
教科書 2									
参考書 1	教育の歴史と思想 著者:石村華代・軽部勝一郎編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065844								

参考書 2

新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷
著者: 水原克敏
出版社: 東北大学出版会
ISBN: 978-4861633171

授業科目名	教育行政学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘				NO.	TC-SM-3-907	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。</p> <p>到達目標 1. 教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解する 2. 学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解する 3. 学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解する 4. 子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解する 5. 現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解する 6. 子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる</p>						
概要	<p>本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする(第1回)。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく(第2回～第7回)。</p> <p>以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい(第8回～第14回)。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる(第15回)。</p> <p>本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に付けてもらいたい。</p>						
評価方法	学習記録の提出(15%)及びレポート課題(15%)及び定期試験(70%)で評価する。定期試験の結果及びレポート課題については掲示によって総括的なフィードバックを行う						
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは学科等によって異なるので、必ず学生便覧を確認してから履修すること。なお、教員となるのにふさわしい態度で受講することが求められる。						
自己学習	予習として1)講義に取り上げる予定の法令調べ 2)講義にかかわる事項の調べ 3)テーマに関わる論述課題を課す(2時間程度)。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1)講義のキーワードのまとめ 2)論述課題 3)講義の振り返りを課す(2時間程度)						
オフィスワ-	火曜2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回:公教育の基本原則と教育行政:教育の公共性について 第2回:教育の法制の概要:教育の法律主義について 第3回:教育行政の機構:教育行政のガバナンス 第4回:教育の中立性確保:宗教的中立と政治的中立 第5回:教育の義務制と機会均等:教育福祉の観点から 第6回:教育機関の設置・管理:学校と社会教育・生涯学習 第7回:教育職員に関わる法制:養成・採用・服務を中心に 第8回:学校の組織体制:チームとしての学校を中心に 第9回:学校経営計画と評価:PDCAサイクル 第10回:学校における教育活動:教育課程 第11回:学校における生徒指導:「問題行動」とその制度的対応 第12回:学校経営の諸課題(1)地域社会との連携 第13回:学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健 第14回:学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応 第15回:現代教育改革と教育行政・学校経営 第16回:定期試験			講義	倉知
教科書 1	教育行政学: 子ども・若者の未来を拓く(改訂版) 著者:横井敏郎編 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917092						
教科書 2							

参考書 1

教育小六法

著者:市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆

出版社:学陽書房

ISBN:978-4313011953

参考書 2

中学校学習指導要領(最新版) 高等学校学習指導要領(最新版)

授業科目名	教育心理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤原 直子					NO.	TC-SM-2-908
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>1. 教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ</p> <p>2. 児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける</p> <p>3. 児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与する教育心理学的知識を身につける</p>						
概要	<p>この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。はじめに教育心理学の理論と方法を概観した後、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。続いて児童生徒の友人関係、心の問題を、学習活動や学校生活との関わりで解説する。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や対応方法について教授し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	<p>評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。講義内の小テストや演習課題については、講義内で回答・フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>講義をしっかりと聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業の最初に実施する小テスト(前の時間の確認テスト)の結果をもとに、復習を行う。 ③毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。</p>						
オフィスワ-	研究室にて、毎週月曜日2限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>第1回:オリエンテーション</p> <p>第2回:教育心理学とは、発達と教育</p> <p>第3回:発達段階、認知の発達</p> <p>第4回:特別支援教育と発達障害</p> <p>第5回:発達障害の理解と対応</p> <p>第6回:発達障害への教育・支援</p> <p>第7回:学習指導の基礎理論と基本</p> <p>第8回:学習指導の方法</p> <p>第9回:適応の心理と教育</p> <p>第10回:いじめ・不登校の心理と指導</p> <p>第11回:学習理論と学習のメカニズム</p> <p>第12回:学習理論に基づく技能学習と問題解決</p> <p>第13回:動機づけの理論</p> <p>第14回:動機づけの応用と学習へのアプローチ</p> <p>第15回:学級・集団の心理</p> <p>第16回:単位認定試験</p>	<p>講義 講義</p> <p>講義・演習</p> <p>講義 講義 講義</p> <p>講義・演習</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義・演習</p> <p>講義 講義</p> <p>講義 筆記試験</p>	<p>藤原 藤原 藤原</p> <p>藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原</p> <p>藤原</p> <p>藤原</p> <p>藤原 藤原</p> <p>藤原 藤原</p>		
教科書 1	<p>教育心理学 著者:松原達哉 出版社:丸善出版 ISBN:978-4-621-08636-0</p>						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	特別支援教育				履修期	2021年度 春学期			
担当者	藤吉 晴美					NO.	TC-SM-2-909		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義		
テーマと到達目標	この授業では、さまざまな障害の種類や特性を理解し、特別支援教育に携わる上で必要となる指導・支援法について学んでいく。具体的には、特別支援教育の理念とシステムを理解し、特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を知る。さらに特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒への適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につける。								
概要	特別支援教育では、特別支援学校や、保育園・幼稚園、小学校等において、様々な障害のある幼児・児童ひとりひとりのニーズに応じた適切な指導と支援が求められている。本科目では、特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の理解と指導内容・方法等の基本的事項について解説する。								
評価方法	試験60%、ミニレポート40%とする。 ミニレポートはコメントをつけフィードバックする。								
履修条件・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさず行うこと。 ・積極的に授業に参加すること。 								
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として教科書をよく読み、ポイントと思われるところ、理解できないところ、それぞれにマーカーを入れて授業を受けること。 ・復習のために授業の内容をノート、配布プリントに書くこと。その内容と教科書を照合し学びを深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 								
オフィスワ-	木曜2限:個人研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1:特別支援教育の理念と制度 2:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 3:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(1) 4:発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(2) 5:視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 6:視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童に対する支援 7:特別支援の幼児・児童への組織的支援 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児・児童への対応8. 定期試験			1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 試験	1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 筆記試験					
教科書 1	はじめての特別支援教育 著者:拓植雅義 編 出版社:有斐閣アルマ ISBN:978-4-641-22038-6								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	教育課程論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	池上 真由美					NO.	TC-SM-2-910
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義
テーマと到達目標	教育課程の編成と実施などについての基礎的・基本的な知識を修得し、学校や地域の特性と教師の創意・工夫を生かした魅力ある教育課程を編成するための方略について理解する、また、編成した教育課程を実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルについて理解することを目標とする。						
概要	教育課程とは何か、教育課程の変遷、教育課程の法体系と学習指導要領、新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて理解する。また、編成した教育課程を実施・評価し改善するカリキュラム・マネジメントのプロセスを、実践例を通して学び、演習やグループワーク等を行うことで、カリキュラム・マネジメント力を養う。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	[試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する。レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する。)						
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。						
自己学習	前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。						
オフィスアワー	月曜日4時限目						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回:教育課程とは何か 第2回:教育の目的と教育課程の編成		講義・AL 講義・AL	池上 池上				
第3回:現代日本の教育課程の変遷 第4回:新学習指導要領等の改訂のポイント「社会に開かれた教育課程」「学びの地図」「主体的・対話的で深い学び」		講義・AL 講義・AL	池上 池上				
第5回:近年の教育改革の動向および今後の課題		講義・AL	池上				
第6回:幼稚園・小学校・中学校教育・高等学校教育における教育課程		講義・AL	池上				
第7回:教育課程の法と行政、実践・カリキュラム・マネジメント		講義・AL	池上				
第8回:定期試験		講義・AL 筆記試験	池上 池上				
教科書 1	はじめて学ぶ教育課程 著者:広岡義之 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07559-1						
教科書 2							
参考書 1	小学校学習指導要領・中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領 著者:文部科学省						
参考書 2							

授業科目名	道徳教育の理論と方法				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	川上 はる江					NO.	TC-SM-3-911
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 討論 模擬授業
テーマと到達目標	道徳教育について、基礎理論を理解し、併せて実践的指導力を養う。 基礎理論としては、道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達理論、道徳教育の役割と課題、道徳教育の授業理論について理解する。また、実践力については、道徳の時間の指導案作成、模擬授業、総合単元的な道徳学習の構想作成を通して、道徳の時間の指導法を身に付ける。						
概要	授業の概要 道徳教育の基礎知識である、道徳性の発達理論、教育理論、道徳教育の役割や意義をテキストを基に学修し、理解する。また、実践力の育成という意味から、学生の参加型授業を取り入れ、講義を行う。道徳資料を基に、道徳的価値について分析し、指導案を作成する。模擬授業後、学生の相互評価を行い、改善策を考え、指導案を修正したり、授業を練り直したりする。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。						
評価方法	理論的なものについては、テスト及びレポートで評価する。知識の習得については定期試験、実践的な目標については、発表態度、発表内容で評価する。授業では、テキストを熟読してくることを前提とする。 模擬授業(30%) 提出物(20%) 最終試験(50%) なお、実施した課題等については授業で補足説明する。						
履修条件・注意事項	毎時間の授業内容を効率的に理解し、発展できるようにするためにその時間の学習に必要な内容等について予習と復習が必須である。また、毎時間の授業の一部を使用して、その時間の学習の成果を創意・工夫を加えて、レポートとしてまとめる						
自己学習	予習 2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習 2時間 学修した内容の課題を出すので要点をまとめておくこと						
オフィスワ-	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			第1回: 道徳教育を学ぶ視点 第2回: 人間と道徳、道徳教育 第3回: 戦前、戦後の道徳教育 第4回: 指導要領と道徳教育 第5回: 発達理論 第6回: 授業理論 第7回: 学校の道徳教育の構造 第8回: 道徳資料の読み方 第9回: 指導案の書き方 第10回: 教材研究、指導案作成 第11回: 模擬授業1(演習) 第12回: 模擬授業2(演習) 第13回: 総合単元的道徳学習 第14回: 構想表作成 第15回: 道徳教育における評価 第16回: 定期試験	講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 演習 講義・AL 講義・AL 講義・AL 演習 講義・演習 講義 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上		
教科書 1	道徳教育を学ぶ人のために(四訂版) 著者:小寺正一 他編 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-0						
教科書 2	中学校学習指導要領解説 道徳編 平成20年9月 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59004-4						
参考書 1	楽しく豊かな「道徳の時間」をつくる 著者:横山利弘 牧崎幸夫他 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07160-9						
参考書 2	私たちの道徳 著者:文部科学省 出版社:廣済堂あかつき株式会社 ISBN:978-4-331-75188-6						

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				履修期	2021年度 春学期	
担当者	川上 はる江					NO.	TC-SM-2-912
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義 演習 AL
テーマと到達目標	<p>授業のテーマ及び到達目標 特別活動は、集団活動を通して課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行う活動である。集団や社会の一員として「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を持ちながら自主的、実践的な育てることを目標にしている。また、総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的な学習を行い、よりよく課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。これらの教育方法上の特徴ゆえに、教科指導とは異なる役割を担っている。 本授業では、下記の3点を目標に学修し、学級活動及び総合的な学習の時間の学習指導案や活動計画を書き、授業構成ができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動・総合的な学習の時間の意義、目標、内容を理解する。 2. 特別活動の指導法を実践的に理解する。 3. 総合的な学習の時間の指導計画を作成し、指導と評価の考え方を理解する。 						
概要	<p>授業の概要 特別活動、総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら、次の6点について学修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習指導要領における特別活動の目標、主な内容、教育課程における位置づけ 2. 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質 3. 学級活動の指導案を作成し、模擬授業(別途実施)の実践と評価 4. 学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、主な内容、教育課程上の位置づけ 5. 総合的な学習の時間における年間指導計画作成の仕方、単元計画の作成の仕方 6. 総合的な学習の時間について指導と評価の方法、その留意点 <p>※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>授業では、テキストを事前に熟読してくることを大前提にする。授業でレポートを出すこともあるので、レポートの評価も授業への参画状況として考える。 評価は、授業での発表や発表をめぐる発言、討論など(20%)、授業への参画状況(20%)、最終試験(60%)とで行う。 なお、評価ために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	<p>授業前に、事前にテキストを読み込み、内容を理解するとともに、質問や疑問のなごしをかを携えた来ることを望む。理解を進める上で、予習(一読)は大切。</p>						
自己学習	<p>予習2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習2時間 個別に課題を出すので少しずつまとめること</p>						
オフィスワ-	木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
授業オリエンテーション、特別活動の教育課程上の位置づけと役割 2:特別活動の目標、主な内容 3:学級活動の特質 4:児童会、クラブ、学校行事 5:特別活動の評価、連携 6:年間計画 学習指導案書き方 7:学習指導案作成(学級活動) 8:SELとは(外部講師) 9:模擬授業と評価 10:模擬授業と評価 11:総合 教育課程上の位置づけ 12:総合的な学習 目標、内容 13:年間計画、単元計画 14:年間計画、単元計画の作成 15:評価と留意点 16:定期試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 模擬授業 講義 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 外部講師 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上	:				
教科書 1	新しい教職教育講座9 特別活動 著者:中村豊/原 清治 出版社:図書文化 ISBN:978-4-8100-9546-3						
教科書 2	中学校学習指導要領解説 特別活動編 著者:文部科学省 出版社:東山書房 ISBN:978-4-8278-1562-7						
参考書 1	中学校学習指導要領 解説 総合的な学習の時間 著者:文部科学省 出版社:東山書房 ISBN:978-4-8278-1561-0						
参考書 2							

授業科目名	教育の方法と技術				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	片山 章郎、竹井 皓三					NO.	TC-SM-3-913
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業方針を考え、実践できるようになる。</p> <p>到達目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育方法に関する基礎的理論及び実践の理解 2.授業を構成する諸要素についての理解 3.子どもの学習の観点から授業デザインをする方法の理解 4.主体的・対話的で深い学びとは何か、またそれが求められる背景の理解 5.情報機器を活用した効果的な授業方法についての理解 6.メディアリテラシーについて理解し、その育成の手法を考えられる 7.上記を活用して学習指導方針を作成することができる 						
概要	<p>本講義では、今後の学校教育に求められる主体的・対話的で深い学びを考え、そのための具体的な手法を学ぶ。授業にかかわる様々な要素について学習するが、特にアクティブ・ラーニングを中心に取り上げ、その背景にある社会観・教育観を検討する。著名な教育実践について学ぶだけでなく、現代の教育課題の一つでもある高度情報化社会への教育的対応という観点からメディアリテラシーについて学習する。そして、実際に情報機器を使った授業実践の在り方を学び、実際に情報機器を使った授業方針の作成も行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は初等教育の実務経験のある教員と電算部で職場のICTの導入を担当してきた教員が担当し、今後の教育の方法や技術を講義したり、実践したりして理解を深める。</p>						
評価方法	<p>アクティブ・ラーニング型の授業への積極的・協働的参加態度と、課題に対して調べてまとめたものに加えて、当日の講義のポイントとそれに対する意見も記入するレポートを合わせて20%。知識の修得度を確認するための筆記試験が80%。 なお、評価のために実施するレポートは授業でフィードバックするので、フィードバック後の内容をしっかり復習すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>反転授業の一環としてのレポート課題は初回の授業で配布する資料にすべて提示している。したがって、事前によく課題について調べておくこと。 参加型学習であるので、グループ討議や発表がある。グループ討議では積極的かつ協働的に参加し、発表ではプレゼンテーション能力を磨くこと。</p>						
自己学習	<p>アクティブ・ラーニングや反転授業を実施するので、予習が必須である。かつ、参加型学習による授業内容と授業でフィードバックされたレポートの内容を確実に理解するために復習をしっかりと行うこと。予習と復習には各2時間程度要する。</p>						
オフィスアワー	<p>講義終了後に実施。片山は2号館4階242研究室。竹井は6号館1階講師控室。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>第1回 授業の概要と教育の方法・技術の基礎認識</p> <p>第2回 授業におけるデジタル技術の利用の現状(マルチメディアも含む)</p> <p>第3回 アクティブ・ラーニングや反転授業について</p> <p>第4回 情報機器の活用能力育成のための教育手法</p> <p>第5回 教育活動におけるメディアリテラシーの重要性</p> <p>第6回 授業における動機付け理論と場の理論</p> <p>第7回 授業におけるICTの利用の現状</p> <p>第8回 アクティブ・ラーニングにおけるメディアとコミュニケーション</p> <p>第9回 LMSの種類とコンテンツの種類(著作権も含む)</p> <p>第10回 LMSの今後(AIも含む)</p> <p>第11回 Eラーニングの利用と課題(1) 授業運営手法</p> <p>第12回 Eラーニングの利用と課題(2) 理解度の分析</p> <p>第13回 学習ソフトの現状と今後について</p> <p>第14回 情報機器と教材を活用した授業案</p> <p>第15回 授業改善と教育評価の在り方及びまとめ</p> <p>第16回 単位認定試験</p>	<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>筆記試験</p>	<p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>片山竹井</p>		
教科書 1	作成資料(初回授業時に配布)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	生徒・進路指導論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	藤井 和郎				NO.	TC-SM-3-914	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>【テーマ】生徒指導、進路指導及びキャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、進路指導及びキャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2 すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3 生徒の抱える主な生徒指導上の課題の態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5 すべての生徒を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6 生徒が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。 						
概要	<p>生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに含まれる進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p>						
自己学習	<p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p>						
オフィスアワー	<p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と原理 2. 学校における生徒指導体制、教育相談 3. 生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携 4. 生徒指導の進め方(児童生徒全体への指導) 5. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:問題行動) 6. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:不登校) 7. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:いじめ) 8. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:発達障害) 9. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:児童虐待) 10. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:愛着障害) 11. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:性的マイノリティ) 12. キャリア教育とは何か 13. 中学校におけるキャリア教育推進のために 14. 中学校におけるキャリア教育の実践 15. 生徒指導の今後の方向性 16. 試験 	<p>講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>筆記試験</p>	<p>藤井 藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p>		
教科書 1	<p>生徒指導提要 著者:文部科学省</p>						

	出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0
教科書 2	中学校キャリア教育の手引き 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30026-9
参考書 1	中学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房
参考書 2	高等学校学習指導要領(平成30年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房

授業科目名	教育相談の基礎				履修期	2021年度 春学期		
担当者	津川 秀夫					NO.	TC-SM-1-915	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	<p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p>							
概要	<p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担当が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p>							
評価方法	<p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題および個人の得点については適宜フィードバックを行う。</p>							
履修条件・注意事項	<p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p>							
自己学習	<p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ2時間を要する。</p>							
オフィスワ-	<p>月曜日4時限、個人研究室</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如他動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスモデル 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校:守秘義務と情報共有 15.まとめ	講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 AL 講義 講義 AL AL AL AL 講義	津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川						
教科書 1	<p>リットの法則 出版社:集英社</p>							
教科書 2								
参考書 1	<p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p>							
参考書 2	<p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p>							

授業科目名	教育相談の基礎			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	津川 秀夫				NO.	TC-SM-1-915	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p>						
概要	<p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p>						
評価方法	<p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題や個別の得点について適宜フィードバックを行う。</p>						
履修条件・注意事項	<p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p>						
自己学習	<p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ1時間を要する。</p>						
オフィスアワー	<p>水曜日3時限、個人研究室</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如多動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスモデル 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校①:守秘義務と情報共有 15. チーム学校②:連携 16. 定期試験 	<p>講義 AL</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>AL</p> <p>講義 講義</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL 筆記試験</p>	<p>津川 津川</p> <p>津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川 津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p>		
教科書 1	<p>ポジティブ認知行動療法 出版社:北大路書房</p>						
教科書 2	<p>メリットの法則 出版社:集英社</p>						
参考書 1	<p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p>						
参考書 2	<p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p>						

授業科目名	教育実習指導			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森井 康幸、倉知 典弘					NO.	TC-SM-3-916
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	講義・実習
テーマと到達目標	「教育実習の準備と教職意識の明確化」をテーマとして、教育実習に最低限必要な知識・技術の習得と確認、および、自分自身の問題点の確認と克服を到達目標とする。						
概要	<p>次年度、教育実習を行うための事前・事後指導にあたる。教職意識を高めるとともに、実習に向けた基本的な知識や技能の習得をめざす。授業は、学校の実態、学校教育の内容と方法などについて、小・中・高等学校の教員や教育委員会などの現場の先生方の講義を中心に進める。また、受講者は全員、正規の授業時間外に、自分で作成した指導案をもとに模擬授業を行い、実習に向けての問題点の把握、改善に努めなくてはならない。また、4年次の教育実習終了後にも事後指導としての時間を何回か設けるので、必ず出席し、教師としての実践力の向上に努めなくてはならない。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、上述のように学校教育における実務経験のある外部講師の先生方を招き、教育現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義・演習を行うことにより、教育実習に向けた学生の理解を深める。</p>						
評価方法	受講態度(40%)、およびレポート(60%:模擬授業も含む)により評価する。 教育実習終了後に行われる事後指導も評価の対象になる。						
履修条件・注意事項	<p>教育実習を行うための必須単位である。 教師という自覚を高めるためにも、欠席・遅刻には厳しく対処する。 授業時間外に小グループに分かれて模擬授業をしなくてはならないので承知しておくこと。 講義概要の欄にも記したが、厳密にはこの授業は後期のみの15回で終了するのではなく、実習終了後(次年度)にも事後指導として継続し、評価の対象となるので、掲示には注意しておくこと。</p>						
自己学習	<p>復習として、配付資料、ノート等をもとに、授業内容を再確認しておくこと。(2時間) 教職意識の明確化と基礎学力の向上に努めること。 様々な話題(新聞等)に興味を持って触れておくこと。 指導案の作成の学習については、他の教科と関連づけながら進めること。</p>						
オフィスワ-	月曜4限、教員研究室						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1.オリエンテーション 2.教師への道(高等学校)(外部) 3.教師の適性 4.教師への道(中学校)(外部) 5.4年生からのメッセージ 6.指導案の作成と授業の展開(1) 基本的考え方(外部) 7.指導案の作成と授業の展開(2) 教材研究と授業の展開(外部) 8..授業改革(外部) 9.実習生の授業を見る1 10.実習生の授業を見る2 11.授業実践(外部) 12.模擬授業(1) 13.模擬授業(2) 14.模擬授業(3) 15.模擬授業(4)まとめ	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 演習 演習 演習 実習 実習 実習・演習	森井・倉知 外部・森井 森井・倉知 外部・森井 森井・倉知 外部・森井 外部・森井 外部・森井 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知		
教科書 1	使用しない。資料は配付する。						
教科書 2							
参考書 1	取得しようとする教科の学習指導要領解説						
参考書 2							

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-1-401	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	大学生生活の導入部分として、学習の動機づけを行うとともに、学習の方法を身につける。図書館での資料の探し方、文献検索の仕方、レジュメ(報告用資料)の書き方、報告の仕方、レポートの書き方などを学ぶことができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。							
概要	講義の聴き方、ノートの取り方、読書の仕方、レポートの書き方、図書館の利用法、インターネットの使い方、発表の仕方などを学びます。大学ではグループディスカッションの機会が多くあります。自分の意見を言えること、人の意見を聴くこと、話をまとめる事など大切な能力は訓練しなければ身につけません。つまり、基礎演習 I では「話す」「読む」「書く」「聴く」等コミュニケーションスキルの習得を徹底し、大人としての最低限の表現能力を身につけるよう実践する。							
評価方法	テーマ「大学生生活の導入部分として、学習の動機づけを行うとともに、学習の方法を身につける」の到達度について、授業姿勢30%、提出物30%、発表、ディスカッションへの参加40%を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。							
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に各、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
第1回 大学生としての心構えと行動の仕方について		演習	孫基然					
第2回 話し方の基礎について			孫基然					
第3回 自己紹介をするについて		演習	孫基然					
第4回 自分の意見を述べるについて		演習	孫基然					
第5回 テーマについて意見を述べるについて		演習	孫基然					
第6回 討論するについて		演習	孫基然					
第7回 書籍購読 1-簡単な文献を読むについて		演習	孫基然					
第8回 書籍購読 2-中級文献を読むについて		演習	孫基然					
第9回 書籍購読 3-専門書を読むについて		演習	孫基然					
第10回 書籍購読 4-効率的な読書の仕方について		演習	孫基然					
第11回 文章表現 1-手紙の書き方について		演習	孫基然					
第12回 文章表現 2-文章表現の基礎について		演習	孫基然					
第13回 文章表現 3-小レポートの書き方について		演習	孫基然					
第14回 文章表現 4-レポートの書き方について		演習	孫基然					
第15回 文章表現 5-論文の書き方について		演習	孫基然					
第16回 定期試験		演習	孫基然					
		レポート試験	孫基然					
教科書 1	プリントを配布する。							
教科書 2								
参考書 1	プリントを配布する。							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-1-401		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	基本的な「コミュニケーションスキルの向上」をテーマに、学生が大学生としての基本的素養を習得し、大学における学業生活をより積極的効果的に行なえることができる。								
概要	「話す」「読む」「書く」「聴く」等コミュニケーションスキルの習得を徹底し、大人としての最低限の表現能力を身につける。将来的には、4年生次の卒業論文、就職活動におけるエントリーシート等につながるため、様々な方法によって、自分の考えや主張が相手にきちんと伝わるためのコミュニケーションスキルを向上させる。								
評価方法	毎回のレポート(40%)、最終レポート・発表(40%)、授業姿勢(20%)								
履修条件・注意事項	毎回、授業時にレポートのプレゼンテーションを行い、ディスカッションする。								
自己学習	毎回授業終了後、課外小レポートの内容及び授業内容を必ず毎回2時間程度、復習するとともに次回のテーマについて予習すること。								
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 大学生としての心構えと行動の仕方 2. 話し方の基礎 3. 自己紹介をする 4. 自分の意見を述べる 5. テーマについて意見を述べる 6. 討論する 7. 書籍購読-簡単な文献を読む- 8. 書籍購読-中級文献を読む- 9. 書籍購読-専門書を読む- 10. 書籍購読-効率的な読書の仕方- 11. 文章表現-手紙の書き方- 12. 文章表現-文章表現の基礎- 13. 文章表現-小レポートの書き方- 14. 文章表現-レポートの書き方- 15. 最終レポート・発表			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 発表	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤					
教科書 1	キャリアを磨く学生のための生活百科 入学から就職まで 著者:村井雄・為田英一郎・神田秀一・河野裕 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-863-0								
教科書 2	手紙の書き方実例辞典 著者:金田一春彦・秀穂 出版社:学習研究社 ISBN:4-05-402892-6								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-1-401		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	大学生生活の導入部分として、学習の動機づけを行うとともに、学習の方法を身につける。学生は図書館での資料の探し方、文献検索の仕方、レジュメ(報告用資料)の書き方、報告の仕方、レポートの書き方などを学ぶことができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。								
概要	「話す」「読む」「書く」「聴く」等コミュニケーションスキルの習得を徹底し、大人としての最低限の表現能力を身につけることをよう実践する。								
評価方法	授業姿勢(30%)、課題(30%)、発表、ディスカッションへの参加(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。								
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。								
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布させたプリントの指定されたページを熟読してくる。予習復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。								
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. 大学生としての心構えと行動の仕方			演習	山口					
02. 話し方の基礎			演習	山口					
03. 自己紹介をする			演習	山口					
04. 自分の意見を述べる			演習	山口					
05. テーマについて意見を述べる			演習	山口					
06. 討論する			演習	山口					
07. 書籍購読 1-簡単な文献を読む			演習	山口					
08. 書籍購読 2-中級文献を読む			演習	山口					
09. 書籍購読 3-専門書を読む			演習	山口					
10. 書籍購読 4-効率的な読書の仕方			演習	山口					
11. 文章表現 1-手紙の書き方			演習	山口					
12. 文章表現 2-文章表現の基礎			演習	山口					
13. 文章表現 3-小レポートの書き方			演習	山口					
14. 文章表現 4-レポートの書き方			演習	山口					
15. 文章表現 5-論文の書き方			演習	山口					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-1-401		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	大学生生活の導入部分として、学習の動機づけを行うとともに、学習の方法を身につける。図書館での資料の探し方、文献検索の仕方、レジュメ(報告用資料)の書き方、報告の仕方、レポートの書き方などを学ぶことができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。								
概要	「話す」「読む」「書く」「聴く」等コミュニケーションスキルの習得を徹底し、大人としての最低限の表現能力を身につけることをよう実践する。								
評価方法	授業姿勢30%、提出物30%、発表、ディスカッションへの参加40%。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。								
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. 大学生としての心構えと行動の仕方			演習	天岡					
02. 話し方の基礎			演習	天岡					
03. 自己紹介をする			演習	天岡					
04. 自分の意見を述べる			演習	天岡					
05. テーマについて意見を述べる			演習	天岡					
06. 討論する			演習	天岡					
07. 書籍購読 1-簡単な文献を読む			演習	天岡					
08. 書籍購読 2-中級文献を読む			演習	天岡					
09. 書籍購読 3-専門書を読む			演習	天岡					
10. 書籍購読 4-効率的な読書の仕方			演習	天岡					
11. 文章表現 1-手紙の書き方			演習	天岡					
12. 文章表現 2-文章表現の基礎			演習	天岡					
13. 文章表現 3-小レポートの書き方			演習	天岡					
14. 文章表現 4-レポートの書き方			演習	天岡					
15. 文章表現 5-論文の書き方			演習	天岡					
教科書 1	適宜指示する								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期	
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-1-401
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>「論理的思考能力を理解する」をテーマとしてビジネス文書を題材に学生が自ら文書作成の基礎知識の能力を身につける。</p> <p>学生が社内文書(連絡、報告、提案、届出文書)、社外文書(取引、儀礼、委任、契約書等)を理解する。加えて、学生が自ら考え作成できることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>レポートや論文を書くときに踏まえなければならない基本的な要件と形式を重視する。何をもってレポート、論文というのか。また感想文の域をでていないと評価されるのはなぜかを理解していく。</p> <p>論文とは何かを理解し、論文の要件と構成を知る。</p> <p>社内文書と社外文書をPCで作成しながらスキルを身につける。</p> <p>またスループディスカッション討論を主体とした方式による演習を行う。</p>						
評価方法	<p>毎回のレポートの内容(50%) プレゼンテーションの(30%) 学習意欲(20%)を総合して評価する なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、レポート試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	パソコンの取り扱いができること。パソコンを保持してる事が望ましい。						
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学修法により授業を行うのが必須である。2)必ずノートを作成し復習をすること。3)授業初めにミニテストを行う為授業で議題となったテーマとポイントなることを予習復習を行い、自分なりの考察力を養うこと。						
オフィスワ-	木曜日 2限 吉備国際大学Charme岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. ビジネス文書基本ルールとマナー	演習	太田					
2. 社内連絡文書(通達、回覧、通知、案内、依頼、紹介)作成	演習	太田					
3. 社内報告文書(日報、業務報告書、始末書、顛末書)作成	演習	太田					
4. 社内提案文書(提案書、企画書、上申書、稟議書)作成	演習	太田					
5. 社内届出文書(欠勤・休暇・退職)の作成	演習	太田					
6. 社外取引文書(クレーム、詫び状)の作成	演習	太田					
7. 社外儀礼文書(挨拶状、案内状、招待状、祝賀状、お礼状)	演習	太田					
8. 会議の時間を3分の1にする一会議の生産性	AL	太田					
9. 論理的思考とは何かを知る。	演習	太田					
10. 科学的な議論、討論、論争が得意になる	AL	太田					
11. 前置きが長すぎる話し方	AL	太田					
12. 理由や論拠について示す	AL	太田					
13. 有り得る反論に対して再反論しながら肯定する	AL	太田					
14. 話の後置きがある話し方	AL	太田					
15. 9.情報処理の能力を高める	演習	太田					
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	基礎演習Ⅰ			履修期	2021年度 春学期	
担当者	倉知 典弘				NO.	SS-SM-1-401
配当学科	スポーツ社会		年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態 演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 大学生活に必要なコミュニケーション能力と学習遂行能力を高める</p> <p>到達目標</p> <p>1: 大学生活に適応するための基本的な学び方などを知り、生活を構築することが出来るようになる</p> <p>2: 文章の書き方の基礎を学び、自分の意見をより適切に書くことが出来るようになる</p> <p>3: 読解力を高め、教科書を能動的に読むことが出来るようになる</p> <p>4: 人に意見を伝える方法を学び、プレゼンテーションを行うことが出来るようになる</p>					
概要	<p>本講義は大学生として必要な基礎的な能力や学び方を学習することを目的としている。まず最初に大学生としての学びの在り方をディスカッションを通じて考える(第1回～第3回)。その後、文章読解やそれに基づいた文章作成を行い、文章力の向上を図る。そのうえで、スピーチを合わせて行い、伝える技術を高めていく(第5回～第11回)。最後は、各自で簡単な学習目標を立て、学習目標達成のためのワークを行う(第12回～第15回)。この過程を通じて、大学での学びの基礎となるコミュニケーション能力と学習遂行能力の向上を目指す。</p>					
評価方法	<p>各回最初に実施する小テスト(15点) 各回の文章課題(30点) 講義の振り返りシート(15点) 終講レポート(40点) で評価する。11回以上の文章課題の提出。小テストの受験・振り返りシートの提出がなされない場合は、評価の対象としない。終講レポートについては、継続して履修する基礎演習Ⅱの冒頭でフィードバックを行う。</p>					
履修条件・注意事項	<p>基礎演習Ⅱを合わせて履修すること。また、文章作成を頻繁に行い、最後には文章指導の振り返りを行ってもらうので、その成果物を綴じるファイルを用意すること。PCを使った文章作成なども行うのでUSBメモリーなど持ち運び可能な記憶媒体を用意すること。</p>					
自己学習	<p>各回講義において、文献読解及びそのまとめ、文章課題を課すので必ず講義の際に提出すること(2時間程度)。また、講義中に文章課題について修正箇所などを指示するので復習として修正作業を行うこと(2時間程度)</p>					
オフィスワ-	火曜日 2限 研究室(9301)					
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法 担当者
1: 講義概要について 2: 大学生の学び方について 3: 大学の学習資源の活用法 4: 4年間の目標作成 5: 上手に伝える手法 6: 伝えるものを生み出すために 7: 伝える力を向上させる手法 8: 伝える力とは何か 9: 文章作成一自分史 10: 文章作成ースポーツ 11: 文章作成ー現代社会 12: 学習目標の立て方 13: 調べ方とまとめ方 14: 研究の倫理 15: プレゼンテーション 16: 終講レポート		講義 GW 講義 GW GW GW GW GW GW GW GW GW GW GW 講義 プレゼン	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知			
教科書 1	文章力の基本 著者: 阿部 紘久 出版社: 日本実業出版社 ISBN: 978-4534045881					
教科書 2						
参考書 1	各回の講義テーマなどによって適宜紹介する。					
参考書 2						

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-1-401	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	大学生生活の導入部分として、学習の動機づけを行うとともに、学習の方法を身につける。学生は図書館での資料の探し方、文献検索の仕方、レジюме(報告用資料)の書き方、報告の仕方、レポートの書き方などを学ぶことができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。							
概要	「話す」「読む」「書く」「聴く」等コミュニケーションスキルの習得を徹底し、大人としての最低限の表現能力を身につけることをよう実践する。							
評価方法	授業姿勢(30%)、課題(30%)、発表、ディスカッションへの参加(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が各2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布された資料の指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。							
オフィスワ-	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 大学生としての心構えと行動の仕方 2. 話し方の基礎 3. 自己紹介をする 4. 自分の意見を述べる 5. テーマについて意見を述べる 6. 討論する 7. 書籍購読 1 簡単な文献を読む 8. 書籍購読 2 中級文献を読む 9. 書籍購読 3 専門書を読む 10. 書籍購読 4 効率的な読書の仕方 11. 文章表現 1 手紙の書き方 12. 文章表現 2 文章表現の基礎 13. 文章表現 3 小レポートの書き方 14. 文章表現 4 レポートの書き方 15. 文章表現 5 論文の書き方		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原					
教科書 1	資料を配布する							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	羽野 真哉					NO.	SS-SM-1-401		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	大学生生活の導入部分として、学習の動機づけを行うとともに、学習の方法を身につける。学生は図書館での資料の探し方、文献検索の仕方、レジюме(報告用資料)の書き方、報告の仕方、レポートの書き方などを学ぶことができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。								
概要	「話す」「読む」「書く」「聴く」等コミュニケーションスキルの習得を徹底し、大人としての最低限の表現能力を身につけることをよう実践する。								
評価方法	授業姿勢(30%)、課題(30%)、発表、ディスカッションへの参加(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。								
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。								
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布させたプリントの指定されたページを熟読してくる。予習復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。								
オフィスアワー	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. 大学生としての心構えと行動の仕方			演習	羽野					
02. 話し方の基礎			演習	羽野					
03. 自己紹介をする			演習	羽野					
04. 自分の意見を述べる			演習	羽野					
05. テーマについて意見を述べる			演習	羽野					
06. 討論する			演習	羽野					
07. 書籍購読 1-簡単な文献を読む			演習	羽野					
08. 書籍購読 2-中級文献を読む			演習	羽野					
09. 書籍購読 3-専門書を読む			演習	羽野					
10. 書籍購読 4-効率的な読書の仕方			演習	羽野					
11. 文章表現 1-手紙の書き方			演習	羽野					
12. 文章表現 2-文章表現の基礎			演習	羽野					
13. 文章表現 3-小レポートの書き方			演習	羽野					
14. 文章表現 4-レポートの書き方			演習	羽野					
15. 文章表現 5-論文の書き方			演習	羽野					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	基礎演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-1-402	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	前期で学習した「コミュニケーションスキル」をベースに「プレゼンテーションスキルの向上」をテーマに、プレゼンテーション能力を身につけることが出来る。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。						
概要	本演習では、まず論理的な思考力を高めるための実践を行っていく。そのために図表の読み解き方や文章の読み方を学ぶとともに、実際にスピーチやディスカッションをすることでその応用を図っていく。この能力は、今後の学生生活のみならず社会に出てからの学習にも大きく寄与すると考えられる。その後、スポーツ社会学科での学びのあり方を他の先生方の話を伺ったりする中で理解し、2年次以降のコース選択を行うとともに学びの深化を図るための手がかりを得ることとする。						
評価方法	テーマ「前期学習したコミュニケーションスキルをベースにプレゼンテーションスキルの向上をテーマに、プレゼンテーション能力を身につけることが出来る」の到達度について、授業姿勢30%、提出物30%、発表、ディスカッションへの参加40%を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				01. コミュニケーションとプレゼンテーション	演習	孫基然	
				02. プレゼンテーションとは	演習	孫基然	
				03. プレゼンテーションの目的	演習	孫基然	
				04. プレゼンテーションの方法	演習	孫基然	
				05. プレゼンテーションスキルの基本	演習	孫基然	
				06. プレゼンテーションスキルの実際	演習	孫基然	
				07. プレゼンテーションスキルの発展	演習	孫基然	
				08. ディスカッションの基本	演習	孫基然	
				09. ディスカッションの実際	演習	孫基然	
				10. 効果的なプレゼンテーションための技術	演習	孫基然	
				11. プレゼンテーション資料の充実	演習	孫基然	
				12. ディスカッションのパターン	演習	孫基然	
				13. グループ・ディスカッション	演習	孫基然	
				14. プレゼンテーション及びディスカッションの評価	演習	孫基然	
				15. まとめ	演習	孫基然	
				16. 定期試験	レポート試験	孫基然	
教科書 1	プリントを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-1-402		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	春学期で履修した基礎演習Ⅰ(コミュニケーションスキル)に基づくプレゼンテーションをテーマに、学生が各自のテーマに対して時間内にプレゼンテーションができる。								
概要	プレゼンテーションスキルの習得を徹底し、テーマにそった内容の表現能力を身につけることをよう実践する。								
評価方法	毎回のレポート(40%)最終レポート(40%)授業姿勢(20%)								
履修条件・注意事項	毎回のレポートのプレゼンテーションを行う。								
自己学習	毎回授業終了後、2時間程度復習および次回のテーマについて、予習すること。								
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションとは！？ 2. プレゼンテーションの目的 3. プレゼンテーションの方法 4. プレゼンテーションのポイント 5. 聴き手へのプレゼンテーション 6. 基本構成と時間配分 7. ドキュメントの定義 8. チャートづくり 9. プレゼンテーション(序論) 10. プレゼンテーション(本論) 11. プレゼンテーション(結論) 12. プレゼンテーションの組立作業 13. 質疑応答への準備 14. プレゼンテーションの実践 15. 最終レポート 			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 発表	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤
教科書 1	伝える力 著者:池上彰 出版社:PHP文庫 ISBN:978-4-569-69081-0								
教科書 2	「プレゼンテーション」に強くなる本 著者:木幡健一 出版社:PHP文庫 ISBN:4-569-57716-4								
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-1-402	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	前期学習した「コミュニケーションスキル」をベースに「プレゼンテーションスキルの向上」をテーマとする。学生はプレゼンテーション能力を身につけることができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。							
概要	プレゼンテーションの目的・方法を理解し、各自でテーマを設定し、テーマにそったプレゼンテーションを行なう。また、発表者のプレゼンテーションに対して、ディスカッションを行なう。							
評価方法	授業姿勢(30%)、提出物(30%)、発表、ディスカッションへの参加(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布した資料を熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01. コミュニケーションとプレゼンテーション 02. プレゼンテーションとは 03. プレゼンテーションの目的 04. プレゼンテーションの方法 05. プレゼンテーションスキルの基本 06. プレゼンテーションスキルの実際 07. プレゼンテーションスキルの発展 08. ディスカッションの基本 09. ディスカッションの実際 10. 効果的なプレゼンテーションのための技術 11. プレゼンテーション資料の充実 12. ディスカッションのパターン 13. グループ・ディスカッション 14. プレゼンテーション及びディスカッションの評価 15. 総括			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口	
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-1-402	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	前期学習した「コミュニケーションスキル」をベースに「プレゼンテーションスキルの向上」をテーマに、プレゼンテーション能力を身につけることができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。							
概要	プレゼンテーションの目的・方法を理解し、各自でテーマを設定し、テーマにそったプレゼンテーションを行なう。また、発表者のプレゼンテーションに対して、ディスカッションを行なう。							
評価方法	授業姿勢30%、提出物30%、発表、ディスカッションへの参加40%。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。							
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。							
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01. コミュニケーションとプレゼンテーション 02. プレゼンテーションとは 03. プレゼンテーションの目的 04. プレゼンテーションの方法 05. プレゼンテーションスキルの基本 06. プレゼンテーションスキルの実際 07. プレゼンテーションスキルの発展 08. ディスカッションの基本 09. ディスカッションの実際 10. 効果的なプレゼンテーションのための技術 11. プレゼンテーション資料の充実 12. ディスカッションのパターン 13. グループ・ディスカッション 14. プレゼンテーション及びディスカッションの評価 15. まとめ				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡
教科書 1	適宜指示する							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-1-402	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	物事を論理的に考える事「ロジカルコミュニケーション」をテーマとして、自分の意思を決定する方法を知り実行できる。問題を正しく見出し、その解決方法を考えることができる。考えたくないことを考えることができる為の能力を身につける。							
概要	概要 話し方の構造と問題点を知ること。意思決定が遅い三角形型と日本人の表現方法のどこが問題なのかを知る。論理的に話す為に、ディベートとは、根本目的は、実践目的は何かを知る。そして「話し合い・談合」とディベートの違い、ディベートの素晴らしい効果を知り、人前で話す力を養っていく。							
評価方法	毎回のレポートの内容(20%) プレゼンテーションの質(70%) 議論への積極性(10%)							
履修条件・注意事項	トップアスリート、指導者の心構えについて学ぶ意欲がある事。 自分自身が、トップアスリート、指導者、マネージャーに必要な資質を引き上げたい意欲がある事。							
自己学習	1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学修法により授業を行うのが必須である。2)必ずノートを作成し復習をすること。3)授業初めにミニテストを行う為授業で議題となったテーマとポイントなることを予習復習を行い、自分なりの考察力を養うこと。予習及び復習には、各2時間程度を要する。							
オフィスワ-	木曜日 2限 吉備国際大学charme岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階大広場ゼミ室)							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			秋学期授業計画 1.意思決定・経営戦略ディベート 2.問題解決ディベート 3.マーケティングディベート 4.比較セールスディベート 5.マネジメントディベート 6.なぜ論理の構築が重要なのか 7.知識を走査せず、知識を離れる 8.論題をあらゆる角度から論証する 9.ディベートストーリーで論理を構築する 10.映像・資料を見てのスピーチ実践Ⅰ 11.映像・資料を見てのスピーチ実践Ⅱ 12.映像・資料を見てのスピーチ実践Ⅲ 13.映像・資料を見てのスピーチ実践Ⅳ 14.映像・資料を見てのスピーチ実践Ⅴ 15.映像を見てのスピーチ実践 16.レポート試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL AL AL AL	太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田
教科書 1	担当者の用意する資料により進める。							
教科書 2								
参考書 1	適宜紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	倉知 典弘					NO.	SS-SM-1-402
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:スポーツについての学び 到達目標:長期にわたる学習計画の作成及び実践を通じて以下のことができるようになる 1:社会状況を振り返りながら、各自のキャリアに応じた学習課題を設定できる 2:設定した学習課題に応じた学習計画を作成することができる 3:協力しながら、一つの学習活動を展開することができる 4:多様なデータ収集及びデータ分析の基本ができる 5:学習結果を適切な方法で表現できる 6:学習活動を適切な方法で評価し、各自の次の課題を明確にすることができる</p>						
概要	<p>本講義は、コンテンツデザインではなく、プロセスデザインの観点から校正されている。そのため、本講義では、具体的な学習目標を設定しない。学習目標は学生の興味関心などに応じて、学生によって設定されるものとする。学習活動の展開は、最初に学習課題を討議を通じて明らかにした後、その学習課題に応じた学習資源(情報源)及び分析手法を明確にする。中間の段階で、学習活動を取りまとめたうえで、改めて学習計画を練り直し、学習活動を展開するものとする</p>						
評価方法	<p>初回の講義で作成する学習契約及び評価レポート(30%)、各回講義のまとめ(20%)、プレゼンテーション(40%)、終講レポート(10%)で評価する。すべての評価資料を提出しなければ、評価の対象としない。プレゼンテーションについては講義内で、レポートについては掲示で総合的なフィードバックを行う</p>						
履修条件・注意事項	<p>必ず基礎演習Ⅰと合わせて履修すること。また、講義における作業を記録するため、以下のものを各自で用意すること 1:USBメモリーなどの記憶媒体 2:A4のリングファイル 3:A4用紙</p>						
自己学習	<p>各回講義で指示する文献読解の予習課題(2時間程度)及び講義内容のまとめ、感想などの講義の復習課題(2時間程度)を必ず行うこと。また、共同での作業を行うため、授業外での協議や作業が必要となる。具体的な協議、作業内容はその都度指示する。</p>						
オフィスアワー	火曜日2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回学習計画の作成 第2回学習契約の作成 第3回学習資源の探求 第4回量的データの収集方法 第5回量的データ収集の実践 第6回量的データ分析:分類 第7回量的データ分析:比較 第8回中間討議 第9回質的データ収集の手法 第10回質的データの収集 第11回質的データ分析 第12回分析結果の整理 第13回学習成果の文章化 第14回プレゼンテーションの手法 第15回プレゼンテーションの準備 第16回プレゼンテーション			AL	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知
教科書 1	講義担当者が作成する資料にもとづいて行う						
教科書 2							
参考書 1	その都度紹介する						
参考書 2							

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-1-402	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	前期学習した「コミュニケーションスキル」をベースに「プレゼンテーションスキルの向上」をテーマとする。学生はプレゼンテーション能力を身につけることができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。							
概要	プレゼンテーションの目的・方法を理解し、各自でテーマを設定し、テーマにそったプレゼンテーションを行なう。また、発表者のプレゼンテーションに対して、ディスカッションを行なう。							
評価方法	授業姿勢(30%)、提出物(30%)、発表、ディスカッションへの参加(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が各2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能ないように配布した資料を熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日1限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1. コミュニケーションとプレゼンテーション 2. プレゼンテーションとは 3. プレゼンテーションの目的 4. プレゼンテーションの方法 5. プレゼンテーションスキルの基本 6. プレゼンテーションスキルの実際 7. プレゼンテーションスキルの発展 8. ディスカッションの基本 9. ディスカッションの実際 10. 効果的なプレゼンテーションのための技術 11. プレゼンテーション資料の充実 12. ディスカッションのパターン 13. グループ・ディスカッション 14. プレゼンテーション及びディスカッションの評価 15. 総括				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	基礎演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	羽野 真哉					NO.	SS-SM-1-402	
配当学科	スポーツ社会				年次	1		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	前期学習した「コミュニケーションスキル」をベースに「プレゼンテーションスキルの向上」をテーマとする。学生はプレゼンテーション能力を身につけることができる。2年次から始まる「演習」のための準備科目でもある。							
概要	プレゼンテーションの目的・方法を理解し、各自でテーマを設定し、テーマにそったプレゼンテーションを行なう。また、発表者のプレゼンテーションに対して、ディスカッションを行なう。							
評価方法	授業姿勢(30%)、提出物(30%)、発表、ディスカッションへの参加(40%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布した資料を熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
オフィスワ-	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
				01. コミュニケーションとプレゼンテーション 02. プレゼンテーションとは 03. プレゼンテーションの目的 04. プレゼンテーションの方法 05. プレゼンテーションスキルの基本 06. プレゼンテーションスキルの実際 07. プレゼンテーションスキルの発展 08. ディスカッションの基本 09. ディスカッションの実際 10. 効果的なプレゼンテーションのための技術 11. プレゼンテーション資料の充実 12. ディスカッションのパターン 13. グループ・ディスカッション 14. プレゼンテーション及びディスカッションの評価 15. 総括			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる。								
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	テーマ「健康について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる」の到達度について、知識および能力を計るために、授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能ないように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる事。								
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。								
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	孫基然					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	孫基然					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	孫基然					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	孫基然					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	孫基然					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	孫基然					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料ー健康)			演習	孫基然					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料ースポーツ)			演習	孫基然					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料ー教育)			演習	孫基然					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	孫基然					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	孫基然					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	孫基然					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	孫基然					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	孫基然					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	孫基然					
16. 定期試験			演習	孫基然					
			演習	孫基然					
			レポート試験	孫基然					
教科書 1	プリントを配布する。								
教科書 2									
参考書 1	プリントを配布する。								
参考書 2									

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「スポーツコーチング」をテーマに、スポーツ指導に関する知識を理解するとともに、学生が将来スポーツ指導者として、様々な指導対象者にスポーツ指導ができる。								
概要	スポーツのコーチング方法は、年齢・目的・スポーツ経験・性差など様々な指導対象者によって、共通点や異なる点が存在する。スポーツコーチングに関する基礎的な内容を解説するとともに、スポーツ指導における課題や理想を考察する。								
評価方法	毎回のレポート(40%)課題レポート・発表(40%)授業姿勢(20%)								
履修条件・注意事項	毎回のレポートのプレゼンテーションを行う。								
自己学習	毎回授業終了後、2時間程度、復習および次回のテーマについて、予習すること。								
オフィスアワー	オフィスアワー 個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(ガイダンス)			演習	高藤					
2. スポーツコーチング・スポーツ指導者とは!?			演習	高藤					
3. スポーツ指導者とスポーツ組織の関わり			演習	高藤					
4. スポーツコーチングの役割			演習	高藤					
5. ジュニアスポーツにおけるコーチング			演習 演習	高藤 高藤					
6. ジュニアユース・ユース年代対象のコーチング			演習	高藤					
7. 大学生年代対象のコーチング			演習	高藤					
8. プロスポーツ対象のコーチング			演習	高藤					
9. 高齢者対象のコーチング			演習	高藤					
10. スポーツコーチングに関する文献研究(保育・幼稚園年代)			演習	高藤					
11. スポーツコーチングに関する文献研究(小学生年代)			演習	高藤					
12. スポーツコーチングに関する文献研究(中学生年代)			演習	高藤					
13. スポーツコーチングに関する文献研究(高校生年代)			演習	高藤					
14. スポーツコーチングに関する文献研究(大学生・社会人)			演習	高藤					
15. 課題レポート			演習	高藤					
			レポート	高藤					
教科書 1	知的コーチングのすすめ 著者: 河野一郎・勝田隆 出版社: 大修館書店 ISBN: 4-469-26501-2								
教科書 2	痛快! みんなのスポーツ学 著者: 辻秀一 出版社: 集英社 ISBN: 4-7976-7047-9								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	学生は『「健康」について運動・栄養・休養』をテーマとし、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。論理的に物事を考える力を身につけることを到達目標とする。								
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	授業姿勢20%、提出物30%、最終レポート50%で評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくること。								
自己学習	次回の授業の概要を提示するので、学生は各自それをもとに、事前の情報収集などの予習を行う。各回の授業後は、授業内容に基づいて、各自考察を記載して、後で提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。								
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	竹内					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	竹内					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	竹内					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	竹内					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	竹内					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	竹内					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)			演習	竹内					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)			演習	竹内					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)			演習	竹内					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	竹内					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	竹内					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	竹内					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	竹内					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	竹内					
15. 最終レポート作成			演習	竹内					
教科書 1	タッピングセラピー 出版社:遊タイム出版								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-403	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は論理的に物事を考える力を身につけることができる。							
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。							
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。							
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
01.オリエンテーション	演習	山口						
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)	演習	山口						
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)	演習	山口						
04. 資料の収集(趣味について)	演習	山口						
05. 資料の収集(スポーツについて)	演習	山口						
06. 資料の収集(将来の就職について)	演習	山口						
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)	演習	山口						
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)	演習	山口						
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)	演習	山口						
10. 抄読(健康に関する資料)	演習	山口						
11. 抄読(スポーツに関する資料)	演習	山口						
12. 抄読(教育に関する資料)	演習	山口						
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)	演習	山口						
14. 抄読(健康と運動に関する資料)	演習	山口						
15. 抄読(健康と休養に関する資料)	演習	山口						
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。論理的に物事を考える力を身につけることができる。								
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくる事。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。								
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	天岡					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	天岡					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	天岡					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	天岡					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	天岡					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	天岡					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)			演習	天岡					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)			演習	天岡					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)			演習	天岡					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	天岡					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	天岡					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	天岡					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	天岡					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	天岡					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	天岡					
教科書 1	適宜指示する								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-2-403
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>「ロジカルコミュニケーションを理解する」をテーマとして、討論の技術、発表の技術、説明文、描写文、レポート、論文などを様々な種類の作文の技術を学ぶことができるし、そうした技術教育を通して、論理的思考力、分析力、解釈力、クリティカル・シンキング(批判的思考)などを身につける。</p> <p>学生が、ロジカルコミュニケーションのスキルを理解し、人の話を聞くと、人に話をするとき、物を読む時、何かを書くとき、どんな時も人間は言葉を使っていることを認識する。また、家庭や学校、職場等毎日の生活の中で、自分の思い通りに言葉を操ることができるようになることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>3部構成(基礎編、実践編、応用編)でそれぞれの編の目的や内容について理解していく。基礎編では、日常生活でよく使われる言葉の使い方とその問題点を示していく。まずは日常での言葉のやりとり全般を見直すことに役立てていく。</p> <p>実践編では、「問答ゲーム」を活用して、グループ討論で、矢継ぎ早に簡単な質問を出し問答していく。「問答ゲーム」は、楽しんで遊びながら論理的で知的な問答の技術を身につけ、自然に討論や議論、小論文の技術を身につけられるようにしていく。</p> <p>応用編では、具体的に主語を明確にする。自己を認識する。5W1Hを明確にする。ナンバーリングを使って考えを整理する。理由を考える。複眼的に考える。かみ合った問答をする等、グループ討論を主体とした方式による演習を行う。</p>						
評価方法	<p>毎回のレポート評価(30%) 毎回のプレゼンテーション(30%) レポートテスト(40%) なお、評価のために実施した小テストや小レポートは、授業でフィードバックするので、レポートテストまでに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、初回授業よりファイルを用意すること。						
自己学習	事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして参加型学習法で行う。支持に従ってノートを作成復習を行うこと。レポートやスピーチを行う為予習を行うこと。必ず予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	吉備国際大学Charme岡山高梁事務所2階大広場ゼミ室にて、木曜日4限目を実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人にものを頼むとき。 2. 相手の目を見て話をする 3. 主語を明確にする。 4. 誰のことを言っているか。 5. 「みんな」で誰? 6. どうして?なぜ?とは? 7. きちんと最後までいう。 8. かみ合った問答をしよう。 9. 反対の立場考えてみる。 10. ナンバーリングを使ってみる。 11. どちらを選ぶ。 12. 5W1Hと活用。 13. 事実と意見の違い。 14. たしかに~でも:相手の意見を受け入れる。 15. 賛成反対の意見を言う。 		<p>講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL</p>	<p>太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田</p>				
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習 I			履修期	2021年度 春学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	SS-SM-2-403
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:スポーツマネジメントを学ぶための基礎理論及び組織論を学ぶ 到達目標</p> <p>1:マネジメントの議論で用いられる基本的な概念を説明できるようになる 2:マネジメントの観点から地域社会のスポーツの在り方を考えることができるようになる 3:学習する組織論を学ぶことで組織のあり方について意見を述べるようになる 4:教科書を読み、まとめる作業を行うことで家庭で学習できるようになる 5:スポーツを考えることができるようになる</p>						
概要	<p>本講義では、まずマネジメントコースでの学びの基礎となる概念などを学んでいく(第8回まで)。マネジメントの概念を用いて地域社会におけるスポーツの在り方はどうあるべきかを説明できるようになることを目指す。その後、マネジメントに大いに関わる組織論として学習する組織論を学習する(第13回まで)。学習する組織論は、主に組織における人材育成やリーダーシップの問題を取り扱っているが、前提となる人間観や組織論はスポーツ組織を考えるうえでも参考になるだろう。最後に学んだことを各自でまとめて発表してもらう(第15回)。なお、各回講義の最初で数学・社会等の基礎学力に関わる問題演習を行う。</p>						
評価方法	各回課題の提出(45点)及び終講レポート(55点)によって評価する。特別な事情がない限り、各回の課題を提出しなかった場合、「不可」とする。						
履修条件・注意事項	教科書の読解が講義の課題なので必ず購入しておくこと。講義の際にはPCで課題を作成することを求めるので、PCを使うことができる環境を用意しておくこと(情報処理室の利用も可能なので確認しておくこと)。課題のデータなどを保存するためにUSBメモリーのような記憶媒体を用意しておくことが望ましい。						
自己学習	予習として毎回テキストの該当箇所を読み、報告を行ってもらう(2時間程度)。復習として学んだことをまとめ、各自の意見を書いてもらう(2時間程度)。						
オフィスアワー	火曜日 2限 研究室(9301)にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1:ガイダンス 2:スポーツマネジメントの基本 3:組織論・人間論 4:マーケティング 5:プロダクト、事業 6:スポーツ政策 7:スポーツマネジメントの実際 8:中間討議 9:改めて組織とは何か 10:組織変革の必要性 11:変革のための動機付け 12:組織変革の阻害要因 13:組織変革とリーダーシップ 14:組織変革とビジョン 15:総括討議 16:レポート課題	講義 プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン GW プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン GW	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知					
教科書 1	基本・スポーツマネジメント 著者:畑 攻, 小野里真弓編著 出版社:大修館書店 ISBN:978-4469268324						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は論理的に物事を考える力を身につけることができる。								
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。								
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション			演習	高原					
2. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	高原					
3. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	高原					
4. 資料の収集(趣味について)			演習	高原					
5. 資料の収集(スポーツについて)			演習	高原					
6. 資料の収集(将来の就職について)			演習	高原					
7. 資料の収集(抄読に必要な資料ー健康)			演習	高原					
8. 資料の収集(抄読に必要な資料ースポーツ)			演習	高原					
9. 資料の収集(抄読に必要な資料ー教育)			演習	高原					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	高原					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	高原					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	高原					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	高原					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	高原					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	高原					
教科書 1	資料を配布する								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	羽野 真哉					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は論理的に物事を考える力を身につけることができる。								
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。								
オフィスワ-	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	羽野					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	羽野					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	羽野					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	羽野					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	羽野					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	羽野					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)			演習	羽野					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)			演習	羽野					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)			演習	羽野					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	羽野					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	羽野					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	羽野					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	羽野					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	羽野					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	羽野					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-2-404	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる。						
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくような内容にまとめる必要がある。各自の研究テーマに関連したテキストや文献の輪読を順次行ない、ゼミ生全員での討論を重ねていく。その後、各自の研究テーマおよび研究成果を発表させることによって、その問題点や曖昧な論理を少しずつ修正・改正していくよう指導する。						
評価方法	テーマ「健康について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる」の到達度について、知識および能力を計るために、授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表(健康と運動に関する資料) 16. 定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然		
教科書 1	プリントを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-2-404
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	スポーツマネジメントをテーマに、様々なスポーツマネジメント方法や知識を理解するとともに、将来学生がマネジメント能力を身につけ、スポーツ現場においてその能力を発揮することができる。						
概要	自分自身がクラブマネージャー、ジェネラルマネージャーの立場でスポーツクラブの運営に携わることを想定し、考察し、ディスカッションする。						
評価方法	毎回のレポート(40%) 最終レポート(40%) 授業姿勢(20%)						
履修条件・注意事項	プレゼンテーションにおける配布資料を毎回作成すること。						
自己学習	毎回授業終了後、2時間程度復習および次回のテーマについて、予習すること						
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. オリエンテーション(ガイダンス) 2. わが国のスポーツクラブの種類及び現状の課題 3. わが国のスポーツクラブとスポーツ組織の関わり 4. プロクラブ・企業クラブ・地域クラブ 5. スポーツマネジメントにおける経営資源 6. スポーツクラブを取り巻く外部環境 7. スポーツクラブマネジメントに関する文献研究(地域SC) 8. スポーツクラブマネジメントに関する文献研究(民間SC) 9. スポーツクラブマネジメントに関する文献研究(企業SC) 10. スポーツクラブマネジメントに関する文献研究(プロSC) 11. スポーツクラブマネジメントの具体的事例(地域SC) 12. スポーツクラブマネジメントの具体的事例(民間SC) 13. スポーツクラブマネジメントの具体的事例(企業SC) 14. スポーツクラブマネジメントの具体的事例(プロSC) 15. 最終レポート		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 発表	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤
教科書 1	スポーツ業界の歩き方 著者:河島德基 出版社:ばる出版 ISBN:978-4-8272-0807-8						
教科書 2	プロスポーツ・ビジネス羅針盤 著者:西野努・藤原兼蔵・三浦太 出版社:税務経理協会 ISBN:978-4-419-06110-4						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-2-404
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	学生は『「健康」について運動・栄養・休養』をテーマとし、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。健康について様々な視点から考えることができることを到達目標とする。						
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	授業姿勢20%、提出物30%、最終レポート50%で評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくること。						
自己学習	次回の授業の概要を提示するので、学生は各自それをもとに、事前の情報収集などの予習を行う。各回の授業後は、授業内容に基づいて、各自考察を記載して、後で提出する。 予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. オリエンテーション 02. 抄読 (スポーツに関する資料) 03. 抄読 (教育に関する資料) 04. 抄読 (健康と食生活に関する資料) 05. 抄読 (健康と運動に関する資料) 06. 抄読 (健康と休養に関する資料) 07. 発表準備 (スポーツに関する資料) 08. 発表準備 (教育に関する資料) 09. 発表準備 (健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備 (健康と運動に関する資料) 11. 発表準備 (健康と休養に関する資料) 12. 発表 (スポーツに関する資料) 13. 発表 (教育に関する資料) 14. 発表 (健康と食生活に関する資料) 15. 最終レポート作成			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内
教科書 1	タッピングセラピー 出版社:遊タイム出帆						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-404	
配当学科	スポーツ社会			年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。							
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。							
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備および熟読が必要となる。							
自己学習	本講義は予習復習が必要である。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表(健康と運動に関する資料)				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-2-404	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。健康について様々な視点から考えることができる。							
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。							
評価方法	授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。							
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくる。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。							
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表(健康と運動に関する資料)				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡
教科書 1	適宜指示する							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-2-404
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>「ロジカルコミュニケーションを理解する」をテーマとして、討論の技術、発表の技術、説明文、描写分、レポート、論文などを様々な種類の作文の技術を学び、論理的思考力、分析力、解釈力、クリティカル・シンキング(批判的思考)などを身につける。</p> <p>学生が、ロジカルコミュニケーションのスキルを理解し、人の話を聞くと、人に話をするとき、物を読む時、何かを書くとき、どんな時も人間は言葉を使っています。家庭や学校、職場等毎日の生活の中で、自分の思い通りに言葉を操ることができることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>3部構成(基礎編、実践編、応用編)でそれぞれの編の目的や内容について理解していく。基礎編では、日常生活でよく使われる言葉の使い方とその問題点を示していく。先ずは日常での言葉のやりとり全般を見直すことに役立てていく。</p> <p>実践編では、「問答ゲーム」を活用して、グループ討論で、矢継ぎ早に簡単な質問を出し問答していく。「問答ゲーム」は、楽しんで遊びながら論理的で知的な問答の技術を身につけ、自然に討論や議論、小論文の技術を身につけられるようにしていく。</p> <p>応用編では、具体的に主語を明確にする。自己を認識する。5W1Hを明確にする。ナンバーリングを使って考えを整理する。理由を考える。複眼的に考える。かみ合った問答をする等、グループ討論を主体とした方式による演習を行う。</p>						
評価方法	<p>毎回のレポート評価(20%) 毎回のプレゼンテーション(70%) 議論への積極性(10%)</p>						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、初回授業よりファイルを用意すること。						
自己学習	事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして参加型学習法で行う。支持に従ってノートを作成復習を行うこと。レポートやスピーチを行う為、予習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所2階大広場ゼミ室にて木曜日4限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 伝言を受ける。 2. 伝言をする。 3. スピーチをする。 4. インタビューをする。 5. インタビューを受ける。 6. 説明する:道案内①待ち合わせ場所。 7. 説明する:道案内②ここが私の家です。 8. 説明する:机の並べ方。 9. 説明する:遠足のお菓子。 10. 説明する:キャンプの準備。 11. 描写する:私のふでばこ。 12. 描写する:フランスの旗。 13. 描写する:落し物。 14. 描写する:友達の服装。 15. 報告する:放課後にしたこと。 16. レポート試験 			<p>講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL 講義・AL 講義・AL</p>	<p>太田 太田 太田 太田 太田 太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田 太田 太田</p>
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	SS-SM-2-404
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:組織を変革するリーダーシップとは何かを考える 到達目標 1:新たなリーダーシップが求められている時代背景を理解する 2:ポジティブアプローチを理解し、その意義を述べるようになる 3:サーバントリーダーシップの考え方を理解する 4:組織変革を促すリーダーシップの在り方を考え、自身の見解を表現できる 5:学習したリーダーシップのあり方に関する知見を活用して、自身の所属する組織にふさわしいリーダーシップのあり方を考え、表現出来る</p>						
概要	<p>本講義は演習Ⅰの継続として実施されるものである。演習Ⅰでは学習する組織論を通じて組織の変革をどのように進めるのかを学習してきた。本講義では、組織変革のためのリーダーシップについて学ぶ。まず、組織が置かれている社会的状況を改めて確認し(第1回～第3回)、リーダーシップのあり方も変化していることを確認する。その後ポジティブアプローチを検討する(第4回～第5回)。以上の検討ののち、新しいリーダーシップを考えるための手掛かりとして「サーバントリーダーシップ」について検討する(第6回～第11回)。これらの理解をもとにして自分自身のリーダーシップに関する意見をまとめ、受講者相互で批評しあう(第12回～第15回)。このことを通じて、今までのリーダーシップの考え方を批判的に見つめる視点が構築されるだろう。</p>						
評価方法	<p>文献の読解力を測るための報告資料(30%)、授業の理解度を測るためのプレゼンテーション(50%)、自身の学習経験を振り返るための終講レポート(20%)で評価する。報告資料は著者の見解を正確に理解できているかどうかを評価する。プレゼンテーションでは、文献等にも示されたリーダーシップのあり方についての理解が正確であるか、各自の経験(組織の在り方)を検討できているかを評価する。終講レポートでは、講義において実施した学び方を理解できているかを評価する。報告資料及びプレゼンテーションは講義内でフィードバックを行う。終講レポートについては掲示で総括的なフィードバックを行うものとする。</p>						
履修条件・注意事項	<p>本講義は演習Ⅰと合わせて履修すること。テキストを用いて授業を行うので、必ず購入すること。 また、報告資料を綴るためのA4ファイルを1冊とデータを持ち運ぶためのUSBメモリーを必ず用意すること。本講義は文献読解を行ってきていることを前提とし、各回報告を行ってもらおう。この報告を行わなかった場合は、成績評価を行わない。</p>						
自己学習	<p>予習として毎回テキストの該当箇所を読み、報告を行ってもらおう(2時間程度)。復習として学んだことをまとめ、各自の意見を書いてもらおう(2時間程度)。</p>						
オフィスワ-	火曜日 2限 研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1:学習する組織とは何か 2:組織を取り巻く社会状況 3:組織のありかた 4:「働きがい」をつくり出す 5: ポジティブアプローチとは 6: 組織を変えるプロセス 7:リーダーシップの幻想と誤解 8:サーバントリーダーシップ 9:サーバントリーダーシップの条件 10:サーバントリーダーシップと使命感 11:サーバントリーダーシップの在り方 12: 中間討議 13: 個人の学習と組織の変革 14: 改めてリーダーシップとは 15: 講義のまとめ 16: プレゼンテーション	AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知		
教科書 1	各回ごとに提示する						
教科書 2							
参考書 1	その都度紹介する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-2-404
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備および熟読が必要となる。						
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日1限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. 抄読(スポーツに関する資料) 3. 抄読(教育に関する資料) 4. 抄読(健康と食生活に関する資料) 5. 抄読(健康と運動に関する資料) 6. 抄読(健康と休養に関する資料) 7. 発表準備(スポーツに関する資料) 8. 発表準備(教育に関する資料) 9. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表(健康と運動に関する資料)			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	羽野 真哉					NO.	SS-SM-2-404
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備および熟読が必要となる。						
自己学習	本講義は予習復習が必要である。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してここと。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。						
オフィスアワー	9411研究室 金曜日1限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表(健康と運動に関する資料)	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野 羽野		
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-3-405
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる。						
概要	演習ⅠとⅡで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。卒論テーマに結びつくように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	テーマ「健康について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能ないように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. オリエンテーション		演習	孫基然				
02. 抄読(スポーツに関する資料)		演習	孫基然				
03. 抄読(教育に関する資料)		演習	孫基然				
04. 抄読(健康と食生活に関する資料)		演習	孫基然				
05. 抄読(健康と運動に関する資料)		演習	孫基然				
06. 抄読(健康と休養に関する資料)		演習	孫基然				
07. 発表準備(スポーツに関する資料)		演習	孫基然				
08. 発表準備(教育に関する資料)		演習	孫基然				
09. 発表準備(健康と食生活に関する資料)		演習	孫基然				
10. 発表準備(健康と運動に関する資料)		演習	孫基然				
11. 発表準備(健康と休養に関する資料)		演習	孫基然				
12. 発表(スポーツに関する資料)		演習	孫基然				
13. 発表(教育に関する資料)		演習	孫基然				
14. 発表(健康と食生活に関する資料)		演習	孫基然				
15. 発表(健康と運動に関する資料)		演習	孫基然				
16. 定期試験		演習	孫基然				
		レポート試験	孫基然				
教科書 1	プリントを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-3-405		
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「スポーツコーチング」「スポーツマネジメント」「ゲーム分析」をテーマに、それらについて考察するとともに、学生が将来、スポーツが生活の一部として生涯スポーツに関わることができる。								
概要	「スポーツコーチング」「スポーツマネジメント」「ゲーム分析」等の先行研究や文献を通して、考察するとともに、4年次の卒業論文につながるよう、プレゼンテーションおよびディスカッションする。								
評価方法	毎回のレポート(40%) 課題レポート・発表(40%) 授業姿勢(20%)								
履修条件・注意事項	「スポーツコーチング」「スポーツマネジメント」「ゲーム分析」等の先行研究や文献を通して、考察するとともに、4年次の卒業論文につながるよう、プレゼンテーションおよびディスカッションする。								
自己学習	毎回授業終了後、毎回2時間程度、復習および次回のテーマについて、予習すること。								
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(ガイダンス)			演習	高藤					
2. スポーツコーチングに関する文献研究(攻撃のグループ戦術)			演習	高藤					
3. スポーツコーチングに関する文献研究(攻撃のチーム戦術)			演習	高藤					
4. スポーツコーチングに関する文献研究(守備のグループ戦術)			演習	高藤					
5. スポーツコーチングに関する文献研究(守備のチーム戦術)			演習	高藤					
6. スポーツコーチングに関する文献研究(攻守の切り替え)			演習	高藤					
7. スポーツマネジメントに関する文献研究(学校運動部)			演習	高藤					
8. スポーツマネジメントに関する文献研究(地域スポーツクラブ)			演習	高藤					
9. スポーツマネジメントに関する文献研究(民間スポーツクラブ)			演習	高藤					
10. スポーツマネジメントに関する文献研究(企業スポーツクラブ)			演習	高藤					
11. スポーツマネジメントに関する文献研究(Jリーグクラブ)			演習	高藤					
12. スポーツマネジメントに関する文献研究(プロ野球球団)			演習	高藤					
13. ゲーム分析に関する文献研究(サッカー)			演習	高藤					
14. ゲーム分析に関する文献研究(野球)			演習	高藤					
15. 最終レポート			演習	高藤					
			演習	高藤					
			レポート	高藤					
教科書 1	体育・部活のリスクマネジメント 著者:小笠原正・諏訪伸夫 編 出版社:信山社 ISBN:978-4-7972-8612-0								
教科書 2	スポーツ団体のマネジメント入門 著者:新日本有限責任監査法人 編 出版社:同文館出版 ISBN: 978-4-495-20181-4								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-3-405
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	『現代社会における健康や能力向上』をテーマとし、これまでの運動の持つ機能や、運動に対する認識・方法論では、多くの課題や問題を解決することが難しくなってきた。現代の社会とそこでの環境が、これまでのやり方では解決困難な問題を突きつけてきたと言えよう。学生はこれまでの理論と方法論に立脚しつつも、新たに研究・開発された理論と方法論、取り分け本演習では高岡英夫氏創始による運動科学の内容を概観しつつ、これらの問題を理解・解明する足掛かりを得られることを到達目標とする。						
概要	人間存在が成立する基軸として、人間の意識構造に着目する運動科学における内容を学習する。すなわち高岡英夫氏により解明された身体意識の構造・メカニズム・作用について学習する。さらに、人間のパフォーマンスの水準を規定する身体と動きに関する、運動科学が説く内容について学ぶ。これらは、例えばスポーツのパフォーマンスの成り立ちと、その向上のための方法論について考察するために有益であるのみならず、広く人間の織り成す様々な行為やその結果・状態などに対する理解を確たるものにする。						
評価方法	授業時に課するレポートで50%、最終レポートで50%、をもって評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	出席も重視する。授業時の指導やディスカッションをもとに、また授業時に課された課題について、各自学習を進めて、次回の授業に臨むこと。各自が授業でのテーマについて、掘り下げる学習を要求する。						
自己学習	次回の授業の概要を提示するので、学生は各自それをもとに、事前の情報収集などの予習を行う。各回の授業後は、授業内容に基づいて、各自考察を記載して、後で提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスアワー	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01,オリエンテーション 02,高岡英夫氏創始による運動科学 03,運動科学が包含する領域 04,身体意識 05,運動進化論 06,魚体構造論 07,ゆるむことと組織分化 08,ゆるむことの効果 09,分散加算 10,アクセルブレーキ 11,重心感知 12,多重中心構造 13,ゆるんだ身体とパフォーマンス 14,ゆるんだ身体と心理的コンディショニング 15,最終レポート作成		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内				
教科書 1	究極の身体 出版社:講談社						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-3-405	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は論理的に物事を考える力を身につけることができる。							
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。							
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。							
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
01.オリエンテーション	演習	山口						
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)	演習	山口						
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)	演習	山口						
04. 資料の収集(趣味について)	演習	山口						
05. 資料の収集(スポーツについて)	演習	山口						
06. 資料の収集(将来の就職について)	演習	山口						
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)	演習	山口						
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)	演習	山口						
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)	演習	山口						
10. 抄読(健康に関する資料)	演習	山口						
11. 抄読(スポーツに関する資料)	演習	山口						
12. 抄読(教育に関する資料)	演習	山口						
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)	演習	山口						
14. 抄読(健康と運動に関する資料)	演習	山口						
15. 抄読(健康と休養に関する資料)	演習	山口						
16. 中間発表	演習	山口						
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-3-405		
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、「運動と障がい」について健康と運動などの観点から、基礎的な知識および、「運動と障がい」についての考え方を深め、論理的に物事を考える力を身につけることができる。								
概要	本演習では、「運動と障がい」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる点、興味がある点について考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	毎回の出席50%、課題・議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能のように各自で必要なテキストを探し、熟読してくる。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。								
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	天岡					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	天岡					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	天岡					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	天岡					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	天岡					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	天岡					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)			演習	天岡					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)			演習	天岡					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)			演習	天岡					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	天岡					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	天岡					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	天岡					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	天岡					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	天岡					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	天岡					
16. レポート試験			演習	天岡					
教科書 1	適宜指示する								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する。								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-3-405
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>「ディベートの根本的・実践的・目的は何かを理解する」をテーマとして、単なる口舌の技術ではなく、自国の文化に自信を持ち、自国語で自分の意見を主張できること。また、相手が誰であろうとも論理的に議論や討論ができることを身につける。</p> <p>国際化時代とは、ディベート的精神を発揮する時代であり、語学の問題ではなく、必要なのは信念であり、気概であり、そして日本語によるディベート技術であり、これがリーダーの条件であることを理解する。加えてディベートが持っている論理的思考能力や意思決定能力の開発とともに人間をプラス思考にさせるディベート的精神を理解することを到達目標とする。</p>						
概要	日本人の表現方法の問題点を考察し、話し方の構造といった基礎的な理解を深めていく。また、ディベートの目的を理解しながら、ディベートの種類と役割について事例を示しながらも加えて資料とデータの効果的な収集と活用方法を理解する。そしてディベートの基本である論理構築能力が身につくようグループ討論を主体とした方式による演習を行う。						
評価方法	この科目では、グループ討論を主体とした方式のため、討論への積極的参加態度(50%)、その為の授業準備(30%)で評価する。毎回のレポート評価(20%)、グループ討論、参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。詳しい評価方法は、授業時に説明する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、レポート試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、初回授業よりファイルを用意すること。						
自己学習	事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして参加型学習法で行う。指示に従ってノートを作成復習を行うこと。レポートやスピーチを行う為、予習を行うこと。3)レポート試験は必ず行うので、授業に出席していただければ単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所2階大広場ゼミ室にて、木曜日4限目を実施する。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 話し方の構造と問題点を知ること。	講義・AL	太田					
2. 意思決定の違い三角型の話方。	講義・AL	太田					
3. 日本人の表現方法のどこが問題なのか。	講義・AL	太田					
4. ディベートとは何か。	講義・AL	太田					
5. ディベートの根本目的は何か。	講義・AL	太田					
6. ディベートの実践的・目的は何か。	講義・AL	太田					
7. ディベートは仮説と仮説の討論。	講義・AL	太田					
8. 「話し合い・談合」とディベートの違い。	講義・AL	太田					
9. 日本人に求められるディベート能力とは。	講義・AL	太田					
10. ディベートにはこんなに素晴らしい効果がある。	講義・AL	太田					
11. ディベートにはどんな種類があるのか。	講義・AL	太田					
12. 経営・マーケティングディベート。	講義・AL	太田					
13. ディベート資料とデータ収集。	講義・AL	太田					
14. マネジメント・ディベート。	講義・AL	太田					
15. 問題解決ディベート。	講義・AL	太田					
16. レポート試験。	講義・AL	太田					
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ			履修期	2021年度 春学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	SS-SM-3-405
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>本演習では学習論に関わる関係書籍・論文のプレゼンテーションを通じて、運動指導のあり方について理解を深めることを目的とし、以下の到達目標を達成することを目指す。</p> <p>1:生涯にわたる学びのありかたを理解し、説明できる 2:学校などにおける子どもに対する学習支援のあり方について理解し、説明できる 3:学習支援のための制度を理解し、説明することができる 4:上記の理解をもとに、今後の学習支援のあり方について自身の意見を述べるすることができる 5:プレゼンテーションソフトの使い方を理解し、適切なプレゼンテーションを行うことができる</p>						
概要	<p>本演習はマネジメント・コーチコースと健康スポーツコースの双方にまたがる演習である。講義は文献読解及びそれに基づいたプレゼンテーションで進められる。</p> <p>学習に関わる議論を中心としながら、組織のあり方などを考察する。学校教員を志望する学生は主に「体育科教育学」に関わる基本本文献を読み、体育指導のあり方を検討する。健康スポーツコースの学生は大人に対する学習理論(成人教育学)を中心に議論を行う。</p> <p>なお、本演習を履修するものは、本学科が実施する健康教室への参加を義務付ける。これは運動指導の実践能力を高めるとともに、実際の大人の学習環境を学ぶためでもある。</p>						
評価方法	各回で提示する学習課題(30%)プレゼンテーション(30%)終講レポート(40%)で評価する。なお、課題提出ができなかった場合、プレゼンテーションを行わなかった場合は評価の対象としない。						
履修条件・注意事項	演習Ⅳを合わせて履修すること						
自己学習	各回課題を提示するので、その課題を必ず行うこと。プレゼンテーションソフトの使い方などは各自で習熟できるように練習しておくこと。						
オフィスワ-	火曜日2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1:オリエンテーション 2:プレゼンテーションとは 3:生涯発達について 4:生涯学習について 5:学習支援の機関について 6:子どもの学習支援について 7:大人の学習支援について 8:子どもの体力向上について 9:キャリアと学習 10:組織と学習 11:自己効力感 12:多様なリテラシー 13:社会参加と学習 14:高齢期の学習 15:総括討議 16:終講レポート	講義 実習 プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン プレゼン GW	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知					
教科書 1	学生の関心に合わせて講義担当者が提示する						
教科書 2							
参考書 1	その都度紹介する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-3-405
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は論理的に物事を考える力を身につけることができる。						
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。						
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。						
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくること。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1.オリエンテーション 2. 資料の収集方法の紹介(図書館) 3. 資料の収集方法の紹介(インターネット) 4. 資料の収集(趣味について) 5. 資料の収集(スポーツについて) 6. 資料の収集(将来の就職について) 7. 資料の収集(抄読に必要な資料ー健康) 8. 資料の収集(抄読に必要な資料ースポーツ) 9. 資料の収集(抄読に必要な資料ー教育) 10. 抄読(健康に関する資料) 11. 抄読(スポーツに関する資料) 12. 抄読(教育に関する資料) 13. 抄読(健康と食生活に関する資料) 14. 抄読(健康と運動に関する資料) 15. 抄読(健康と休養に関する資料) 16. 中間発表	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原					
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅲ				履修期	2021年度 春学期			
担当者	羽野 真哉					NO.			
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「チームビルディング」「チームワーキング」「コーチング」をテーマに、それらについて考察するとともに、将来、スポーツの場面だけでなくビジネスの場でも役に立つことを学ぶことができる。								
概要	「チームビルディング」「チームワーキング」「コーチング」等の先行研究や文献を通じて、考察するとともに4年次の卒業論文につながるよう、プレゼンテーションおよびディスカッションする。								
評価方法	毎回のレポート(40%)課題レポート(40%)授業姿勢(20%)								
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントの配布をするため、初回授業よりファイルを用意すること。								
自己学習	毎回授業終了後、テーマに関連する本、記事、先行研究の文献にて復習する。								
オフィスワ-	個人研究室(9411)にて、金曜日2限に実施								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(ガイダンス)			演習	羽野					
2. チームビルディングとは何か			演習	羽野					
3. チームビルディング(タックマンモデル)			演習	羽野					
4. チームビルディングの活用			演習	羽野					
5. チームワーキングとは何か			演習	羽野					
6. チームワーキング(チーム視点)			演習	羽野					
7. チームワーキング(全員リーダー視点)			演習	羽野					
8. チームワーキングの活用			演習	羽野					
9. コーチングとは何か			演習	羽野					
10. コーチングの基本理論			演習	羽野					
11. 結果を出すコーチのルール			演習	羽野					
12. コーチングが人を動かす			演習	羽野					
13. 人が育つ言葉			演習	羽野					
14. 組織づくりのリーダーの役割			演習	羽野					
15. 指導者と選手			演習	羽野					
16. 最終レポート			演習	羽野					
			演習	羽野					
			演習	羽野					
教科書 1	担当者の作成資料により進める。								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-3-406	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅲで決定した各自のテーマをさらに深めていき、三年生の演習に結びつくような内容にまとめる必要がある。各自の研究テーマに関連したテキストや文献の輪読を順次行ない、ゼミ生全員での討論を重ねていく。その後、各自の研究テーマおよび研究成果を発表させることによって、その問題点や曖昧な論理を少しずつ修正・改正していくよう指導する。						
評価方法	テーマ「健康について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる」の到達度について、知識および能力を計るために、総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能ないように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. 抄読 (スポーツに関する資料) 03. 抄読 (教育に関する資料) 04. 抄読 (健康と食生活に関する資料) 05. 抄読 (健康と運動に関する資料) 06. 抄読 (健康と休養に関する資料) 07. 発表準備 (スポーツに関する資料) 08. 発表準備 (教育に関する資料) 09. 発表準備 (健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備 (健康と運動に関する資料) 11. 発表準備 (健康と休養に関する資料) 12. 発表 (スポーツに関する資料) 13. 発表 (教育に関する資料) 14. 発表 (健康と食生活に関する資料) 15. 中間報告発表会 16. 定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然		
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-3-406
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	演習	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	「スポーツコーチング」「スポーツマネジメント」「ゲーム分析」をテーマに、それらについて考察するとともに、学生が将来、スポーツが生活の一部として生涯スポーツに関わることができる。						
概要	「スポーツコーチング」「スポーツマネジメント」「ゲーム分析」等の先行研究や文献を通して、考察するとともに、4年次の卒業論文につながるよう、プレゼンテーションおよびディスカッションする。						
評価方法	毎回のレポート(40%) 発表(40%) 授業姿勢(20%)						
履修条件・注意事項	プレゼンテーションにおける配布資料を作成すること。						
自己学習	毎回授業終了後、2時間程度復習および次回の発表について、予習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				1. オリエンテーション 2. 少年団のマネジメント 3. 少年団のコーチング 4. 地域SCのマネジメント 5. 地域SCのコーチング 6. 学校運動部のマネジメント 7. 学校運動部のコーチング 8. 民間SCのマネジメント 9. 民間SCのコーチング 10. プロSCのマネジメント 11. プロSCのコーチング 12. ゲーム分析(守備) 13. ゲーム分析(攻撃) 14. ゲーム分析(守備→攻撃) 15. ゲーム分析(攻撃→守備)		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤
教科書 1	少年スポーツダメな指導者バカな親 著者:永井洋一 出版社:合同出版 ISBN:978-4-7726-0398-0						
教科書 2	人を束ねる 著者:久米一正 出版社:幻冬舎新書 ISBN:978-4-344-98256-7						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-3-406
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	『これまで多くの運動学習方法や指導方法が研究・実践されてきた。』をテーマとし、また、そこに関わる分野も学問的な認識を扱う分野に始まり、その対象としての職業スキルやパフォーマンス、芸術におけるスキルやパフォーマンス、そして運動・スポーツのスキルやパフォーマンスなど多岐に亘る。しかし総じていえば、目標達成ということになるだろう。近年、コーチングとして新たな目標達成プログラムが提起され、多くの分野で成果をあげている。本演習では学生はコーチングの理論と方法を理解して、それぞれが目標達成のためのスキルを用いることができるようになることを到達目標とする。						
概要	認知科学, 脳科学, 心理学などの研究成果に裏打ちされた、最も代表的な目標達成プログラムである、TPIEの理論と方法について学習する。演習を通して、各自が自らの目標を明確に設定でき、その目標達成のためにゴールのリアリティを高めていく方法を習得する。						
評価方法	授業時のレポート(30%)及び最終レポート(70%)をもって評価する。 評価のためのレポートは授業時にフィードバックする。						
履修条件・注意事項	本演習は予習及び復習が必要である。指示された内容について、各自予習・復習を行うこと。						
自己学習	次回の授業の概要を提示するので、学生は各自それをもとに、事前の情報収集などの予習を行う。各回の授業後は、授業内容に基づいて、各自考察を記載して、後で提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01,オリエンテーション 02,コーチングとは 03,コーチングとメンタルトレーニング 04,コーチングの始まり 05,RASとスコトマ 06,情動記憶 07,現状のゲシュタルトとゴールのゲシュタルト 08,セルフイメージ 09,セルフエフィカシーとセルフエステーム 10,ゴールの設定の仕方 11,コンフォートゾーンとハイパフォーマンス 12,セルフトークのコントロール 13,アフメーション 14,ビジュアライゼーション 15,最終レポート作成			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内
教科書 1	コンフォートゾーンの作り方 出版社:フォレスト出版						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-3-406
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅲで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備および熟読が必要となる。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				01. オリエンテーション	演習	山口	
				02. 抄読(スポーツに関する資料)	演習	山口	
				03. 抄読(教育に関する資料)	演習	山口	
				04. 抄読(健康と食生活に関する資料)	演習	山口	
				05. 抄読(健康と運動に関する資料)	演習	山口	
				06. 抄読(健康と休養に関する資料)	演習	山口	
				07. 発表準備(スポーツに関する資料)	演習	山口	
				08. 発表準備(教育に関する資料)	演習	山口	
				09. 発表準備(健康と食生活に関する資料)	演習	山口	
				10. 発表準備(健康と運動に関する資料)	演習	山口	
				11. 発表準備(健康と休養に関する資料)	演習	山口	
				12. 発表(スポーツに関する資料)	演習	山口	
				13. 発表(教育に関する資料)	演習	山口	
				14. 発表(健康と食生活に関する資料)	演習	山口	
				15. 中間報告発表会事前準備	演習	山口	
				16. 中間報告発表会	演習	山口 外部講師	
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)□						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-3-406	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習では、「障がい者とスポーツ」について障がい者とスポーツなどの観点から、基礎的な知識および、「障がい者とスポーツ」についての考え方を深めることができる。							
概要	演習Ⅲで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて発表し、全員で討論する。4年生の演習及び卒業論文に結びつくように内容にまとめる必要がある。							
評価方法	毎回の出席50%、課題・議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。							
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくる。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。							
オフィスアワー	水曜日4時限目 9号館4階研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 中間報告発表会(外部講師) 16. レポート試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡	
教科書 1	適宜指示する							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	太田 真司				NO.	SS-SM-3-406	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>「ディベートの根本的目的、実践的目的は何かを理解する」をテーマとして、単なる口舌の技術ではなく、自国の文化に自信を持ち、自国語で自分の意見を主張できること。また、相手が誰であろうとも論理的に議論や討論ができることを身につける。</p> <p>国際化時代とは、ディベート的精神を発揮する時代であり、語学の問題ではなく、必要なのは信念であり、気概であり、そして日本語によるディベート技術であり、これがリーダーの条件であることを理解する。加えてディベートが持っている論理的思考能力や意思決定能力の開発とともに人間をプラス思考にさせるディベート的精神を理解することを到達目標とする。</p>						
概要	日本人の表現方法の問題点を考察し、話し方の構造といった基礎的な理解を深めていく。また、ディベートの目的を理解しながら、ディベートの種類と役割について事例を示しながらも加えて資料とデータの効果的な収集と活用方法を理解する。そしてディベートの基本である論理構築能力が身につくようグループ討論を主体とした方式による演習を行う。						
評価方法	この科目では、グループ討論を主体とした方式のため、討論への積極的参加態度(10%)、その為の授業準備(20%)で評価する。毎回のレポート評価(30%)、レポート試験(40%)とする。グループ討論、参加型学習を主体としている事から、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。詳しい評価方法は、授業時に説明する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、レポート試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、初回授業よりファイルを用意すること。						
自己学習	事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして参加型学習法で行う。指示に従ってノートを作成復習を行うこと。レポートやスピーチを行う為、予習を行うこと。						
オフィスワ-	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(短大ボランティアセンター2階大広場ゼミ室)にて、木曜日4限目を実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> なぜ論理の構築が重要なのか。 論題を多角的に論証する。 ディベートストーリーで論理を構築する。 ディベート討論の配置、フォーマット。 討論の基本原則。 ディベートにおける討論の技術。 相手の前提を読む、ひっくり返す。 事実とデータで話す。 事実と意見を区別する。 論拠、理由とエビデンス。 レトリックを使う。 結論を先に話、前置きを短くする。 論争では意見や感想を求めない。 論点は1つ1つ独立させて話す。 ストーリーを組み立てて議論する。 レポート試験 	講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL	太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田		
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	SS-SM-3-406	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>本演習では、講義形式を用いたプレゼンテーションを行うことで、各自の興味関心を深めることを目的とし、以下の到達目標の達成を目指す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 学習や教育の理論をもとに、適切な学習支援計画を作成することができる 2: 健康や運動に関わる議論を知り、適切に説明することができる 3: 討議の進め方を知り、実際に建設的な討議を行うことができる 4: リテラシーやエフィカシーの測定方法を知り、実際に測定・分析できる 5: 各自の実践を多様な方法で評価することができる 							
概要	<p>本講義は演習Ⅲで学んだ基本的な概念をより深めるための演習である。本演習では、プレゼンテーションをより精緻な学習支援計画に基づいたマイクロティーチングの手法を用いて進める。そのため、講義の最初の段階では、マイクロティーチングの進め方、学習支援計画の進め方という基本的な方針について学習する。その後、各自の関心に基づいた探究を進める。そのテーマは4年次の卒業論文の執筆に引き継がれるものとなる。 なお、本演習では運動指導の実際を知るために学科で実施する健康教室への参加を義務付ける。</p>							
評価方法	<p>各回の課題(30%)プレゼンテーション(30%)終講レポートで(40%)で評価する。なお、上記2つの条件のいずれかを満たさない場合は、評価の対象としない。</p>							
履修条件・注意事項	<p>演習Ⅲを合わせて履修すること。初回講義時に準備すべきものを説明するので必ず参加すること。学科が実施する健康教室及び体力測定事業への参加を義務付ける。</p>							
自己学習	<p>各回課題を課し、また複数回のプレゼンテーションを行ってもらうので、適切な準備を行うこと。講義終了時は、講義の際に出た質問などを反映させてプレゼンテーションの改善などを行うこと。</p>							
オフィスワ-	火曜日2限							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
			<ol style="list-style-type: none"> 1: 授業の進め方 2: 学習支援計画の作成方法 3: 学習テーマの決定 4: 資料検索の仕方・読み方 5: 体育の基本概念 6: 生涯スポーツとその支援 7: 健康増進事業のあり方 8: 競技スポーツの指導法 9: エフィカシーを高めるために 10: リテラシーを高める健康学習 11: 社会を作る学習 12: 組織を作る学習 13: 学習を社会に開く 14: 学習研究の最先端 15: 総括討議 終講レポート	講義 講義 AL 講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL	倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知			
教科書 1	各自のプレゼンテーション内容に応じて提示する							
教科書 2								
参考書 1	その都度紹介する							
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅳ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-3-406
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅲで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつのように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備および熟読が必要となる。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が各2時間程度必要である。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。						
オフィスワ-	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日1限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			1. オリエンテーション 2. 抄読(スポーツに関する資料) 3. 抄読(教育に関する資料) 4. 抄読(健康と食生活に関する資料) 5. 抄読(健康と運動に関する資料) 6. 抄読(健康と休養に関する資料) 7. 発表準備(スポーツに関する資料) 8. 発表準備(教育に関する資料) 9. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 中間報告発表会事前準備 16. 中間報告発表会			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 外部講師
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅳ				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	羽野 真哉					NO.			
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「スポーツ・コンプライアンス」をテーマに、スポーツ現場における現状と問題点を学び、スポーツ現場での指導、またビジネスの場面でも役に立つことを身に着けることができる。								
概要	「スポーツ・コンプライアンス」の先行研究や文献研究を通じて、考察するとともに4年次の卒業論文につながるよう、プレゼンテーションおよびディスカッションする。								
評価方法	開会のレポート(40%)課題レポート(40%)授業姿勢(20%)								
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントの配布をするため、初回授業よりファイルを用意すること。								
自己学習	毎回授業終了後、テーマみ関連する本、記事、先行研究の文献にて復習する。								
オフィスワ-	個人研究室(9411)にて、金曜日2限に実施								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(ガイダンス)			演習	羽野					
2. コンプライアンスとは何か			演習	羽野					
3. スポーツ・コンプライアンスとは何か			演習	羽野					
4. スポーツの価値とは何か			演習	羽野					
5. 体罰・暴力・暴言			演習	羽野					
6. ハラスメント			演習	羽野					
7. ドーピング			演習	羽野					
8. パラ・ドーピング			演習	羽野					
9. 八百長・不正行為			演習	羽野					
10. 犯罪・違法行為			演習	羽野					
11. スポーツ界のひずみ			演習	羽野					
12. スポーツの価値と力を守り、信頼を勝ち取るために			演習	羽野					
13. スポーツ界の現状			演習	羽野					
14. スポーツ界の未来			演習	羽野					
15. 現状との比較			演習	羽野					
16. 最終レポート			演習	羽野					
教科書 1	担当者の作成資料により進める。								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

Syllabus

社会科学部 スポーツ社会学科

2018 年度入学生

吉備国際大学

授業科目名	スポーツリーダーシップ論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	前田 信弘					NO.	SS-SM-2-103
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「スポーツにおけるリーダーシップを理解する」をテーマとし、スポーツ集団・組織におけるリーダーシップの基礎知識を学び、それらの知見を実際のスポーツ現場で活用し、チームパフォーマンスを向上させる能力を習得できる。						
概要	スポーツ集団においてはリーダーの存在がパフォーマンスに大きな影響を及ぼす。まず、これまでのリーダーシップ研究の主な理論また心理学的な視点からリーダーシップについて基本的知識を学習する。また、それらをベースにリーダーシップを実際の現場で如何に発揮するかを、これまでの事例分析、グループワーキング(現場で起こる様々な問題について課題発見・原因追求・解決方法)を通して獲得できるよう授業を行う。						
評価方法	取り組む姿勢、授業態度30% 課題発表(個人・グループワーキング)40% 試験30%						
履修条件・注意事項	スポーツ現場における各々の「リーダーシップ」についてこれまでの経験についてまとめ参加すること。(保健体育教免選択必修科目)						
自己学習	復習しグループワーキングでいかせるよう必ずノートを作成すること 授業前に前回の授業についての振り返りをおこなうため各授業ごとに各々考えを整理しておくこと						
オフィスワ							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1ガイダンス 2集団(チーム)についての理解 3集団におけるリーダーの役割 4リーダーシップのスタイル 5リーダーシップ理論 6現場でのリーダーシップ発揮にむけて 7ビジョンを掲げる(現状の分析) 8ビジョン実行にむけて(コミュニケーションスキル) 9やる気をひきだす(動機づけ) 10メンバーを育てる(コーチング) 11リーダーのテクニック(パワーをつかう) 12グループワーキング①(課題抽出・ビジョン作成) 13グループワーキング②(解決策の提示・プレゼン準備) 14グループ発表① 15グループ発表②/フォローアップ 16試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL AL AL 筆記試験	前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田 前田					
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	魅力的な組織を創るリーダーのための「自律」と「モチベーション」の教科書 著者:真田茂人 出版社:CEO BOOKS ISBN:978-4-86318-007-9						
参考書 2							

授業科目名	スポーツマネジメント論				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-3-104		
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	スポーツ現場におけるマネジメントをテーマとして、身体活動のみならず、ビジネス活動、文化活動など社会的活動としての価値を急速に高めつつあるスポーツの過程の知識を身につける。加えて、学生がスポーツの様々な場面において、効果的なマネジメントを行なうことができる。								
概要	現代ではスポーツに関わる様々な活動がビジネスとして行われるようになってきている。そして、これらのビジネスにおいて高度なマネジメントの知識と技能が要求されつつある。本講義では、スポーツマネジメントの基礎的概念についての理解を深め、マネジメントの基礎を習得するとともに、現代においてマネジメントがどのようにスポーツの場面で応用されているのかについて解説する。この科目は、日本女子サッカーリーグ所属クラブ監督・運営責任者の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、スポーツマネジメント現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。								
評価方法	単位認定試験(40%)中間レポート(30%)毎回の小レポート(20%)受講姿勢(10%)評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	(公財)日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー受験資格必修科目 パワーポイントの資料は配布しないので、ノート・ルーズリーフ等は必ず持参すること。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。								
自己学習	毎回授業終了後、課す小レポートの内容及び授業内容を必ず毎回2時間程度、復習するとともに次回のテーマについて予習すること。								
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション・スポーツマネジメントとは！？			講義	高藤					
2. スポーツとスポンサー			講義	高藤					
3. スポーツマーケティング			講義	高藤					
4. スポーツクラブにおけるマネジャーの役割(マネジャーとは)			講義	高藤					
5. スポーツクラブにおけるマネジャーの役割(MGの位置づけ)			講義	高藤					
6. アメリカのトップリーグのマネジメント			講義	高藤					
7. ヨーロッパのトップリーグのマネジメント			講義	高藤					
8. 日本におけるプロ野球とプロサッカーリーグのマネジメント			講義	高藤					
9. みるスポーツのマネジメント			講義	高藤					
10. スポーツ施設のマネジメント			講義	高藤					
11. 地域スポーツクラブのマネジメント			講義	高藤					
12. スポーツビジネスにおけるマネジメント			講義	外部講師					
13. スポーツメディアに関するマネジメント			講義	高藤					
14. プロスポーツ選手・プロスポーツクラブのマネジメント			講義	高藤					
15. トップアスリートのマネジメント			講義	高藤					
16. 単位認定試験			講義	高藤					
			講義	外部講師					
			試験	高藤					
教科書 1	体育・スポーツ経営学講義 著者:八代勉・中村平 編 出版社:大修館書店 ISBN:4-469-26480-6								
教科書 2	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I、II、III 著者:(公財)日本スポーツ協会 出版社:(公財)日本スポーツ協会 ISBN:214K1T 214K2T 214K3T								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	社会スポーツ概論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高藤 順				NO.	SS-SM-4-105	
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生が、「社会スポーツの概念」及び「社会制度としての社会スポーツの実態」をテーマとし、それらについて地域のスポーツ指導者になるために必要な知識を習得するとともに、指導者としての能力をスポーツ指導現場において発揮できる。						
概要	(地) 現在スポーツは、特に先進諸国においては人々の社会生活の一部となり、きわめて高度に整備され機能している。しかしながら、学校体育や企業スポーツを中心にスポーツが普及・発展してきたわが国の社会スポーツは、1993年日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)開幕以降、文部科学省や日本体育協会、スポーツ競技団体を中心にようやく発展しつつある現状である。また、バブル経済の崩壊、リーマンショック以降、企業クラブが休・廃部が増加する一方、地域・市民を中心とした総合型地域スポーツクラブも増加傾向にある。本講義では、スポーツと社会に関わる様々なしくみや課題及び今後の展望を解説する。この科目は、日本女子サッカーリーグ所属クラブ監督・運営責任者の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、スポーツマネジメント現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。						
評価方法	単位認定試験(40%) 中間レポート(30%) 毎回授業終了後のプレゼンテーション(20%) 受講姿勢(10%) 評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	授業終了後の小レポート内容とともに自分なりの考察を毎回授業後、ノートにまとめておくこと。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。						
自己学習	授業終了後、毎回2時間程度授業内容を必ず復習し、次回のテーマについて予習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会スポーツの概念 2. 学校体育との相違点 3. 日本における社会スポーツ発展の歴史 4. アメリカにおける社会スポーツ発展の歴史 5. ヨーロッパにおける社会スポーツ発展の歴史 6. 日本における社会スポーツの現状 7. 社会スポーツ発展のための行政支援 8. 社会スポーツ発展のための企業支援 9. FC吉備国際大学シャルムの実践を通じた地域貢献活動 10. 地域スポーツクラブ活動の現状と課題 11. 社会スポーツ発展のための地域住民とのタイアップ 12. 商業スポーツクラブの現状と課題 13. プロスポーツの社会スポーツへの貢献と課題 14. スポーツを通じたまちづくり(トップリーグクラブ) 15. スポーツを通じたまちづくり(地域スポーツクラブ) 16. 単位認定試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤		
教科書 1	スポーツのリスクマネジメント 著者:小笠原正・諏訪伸夫 編著 出版社:ぎょうせい ISBN:978-4-08838-8						
教科書 2	スポーツ政策の現代的課題 著者:諏訪伸夫・井上洋一・齋藤健司・出雲輝彦 編 出版社:日本評論社 ISBN:978-4-535-59514-0						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	体育・スポーツ行政論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-2-106
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「体育・スポーツ」と「行政」の関わり及びスポーツ振興における行政の役割をテーマに、学生が体育・スポーツ行政に関する基礎的知識を習得し、将来体育・スポーツ指導者としての能力が発揮できる。						
概要	現代社会においてスポーツ活動は社会の様々な分野で実施されているが、地域及び国家単位での社会的なスポーツ活動の成立には、行政の制度的な支援が必要不可欠である。特にスポーツ先進国といわれる北米、ヨーロッパ及び日本では、スポーツの普及振興に当たっては国家を中心とする強力な行政システムの支援が、スポーツの社会的発展の初期の段階においては顕著に認められている。また、これらの国や地域ではスポーツ活動が社会的に成熟した今日にあっても充実した制度とサービスで国民のスポーツ活動を手厚く支援している。本講義では、スポーツ先進国といわれる代表的な国のスポーツ行政の制度的発展とその運用の実態について歴史的に追跡し、それぞれの制度がその国のスポーツ振興にいかなる役割を果たし、またいかなる課題を提示したかについて検証するとともに、わが国の体育・スポーツ行政の歴史的発展と対比させ、その評価すべき点と問題点を明らかにし、21世紀におけるわが国のよりよいスポーツ振興のためにいかなる制度と行政サービスを充実させる必要があるかについて解説する。この科目は、中・高保健体育科教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	単位認定試験(40%) 中間レポート(30%) 毎回の小レポート(20%) 受講姿勢(10%) 評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	保健体育科教諭資格選択必修科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー・アシスタントマネージャー受験資格必修科目 パワーポイントの資料は配布しないので、ノート・ルーズリーフ等は必ず持参すること。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。						
自己学習	毎回授業終了後、課す小レポートの内容及び授業内容を必ず毎回2時間程度、復習するとともに次回のテーマについて予習すること。						
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. オリエンテーション～体育・スポーツ行政とは！？	講義	高藤					
2. (地)地域におけるスポーツ振興方策と行政の関わり	講義	高藤					
3. スポーツ行政のしくみ	講義	高藤					
4. スポーツ競技団体の施策	講義	高藤					
5. スポーツ基本法とスポーツ基本計画	講義	高藤					
6. 2000年以降のスポーツ振興に関する計画と戦略	講義	高藤					
7. 総合型地域スポーツクラブとは！？	講義	高藤					
8. (地)総合型地域スポーツクラブの育成と運営	講義	高藤					
9. (地)地域スポーツクラブの必要性和社会的意義	講義	高藤					
10. スポーツライフとクラブライフ	講義	高藤					
11. クラブのつくり方	講義	高藤					
12. (地)地域におけるスポーツクラブとしてのスポーツ少年団	講義	高藤					
13. アメリカにおける体育・スポーツ行政	講義	高藤					
14. イギリスにおける体育・スポーツ行政	講義	高藤					
15. ドイツにおける体育・スポーツ行政	講義	高藤					
16. 単位認定試験	講義	高藤					
	試験	高藤					
教科書 1	スポーツマネジメント 著者:原田宗彦・小笠原悦子 出版社:大修館書店 ISBN:978-4-469-26669						
教科書 2	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 著者:(公財)日本スポーツ協会 出版社:(公財)日本スポーツ協会 ISBN:214K1T 214K2T 214K3T						
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	ゲームプランニング論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	松原 良香					NO.	SS-SM-2-108
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	競技力向上のためには、ゲームを分析し、課題を抽出し、トレーニングにその課題を反映させることが重要である。サッカー指導者やクラブマネジメントの現状を把握したうえで、サッカーの競技力向上を目的とした「ストライカー育成についての研究」を例に、現状分析、分析方法、結果分析、考察、プランニングの一連の流れを習得することを到達目標とする。						
概要	元プロサッカー選手で、現在はサッカー指導やクラブ経営に従事する講師による集中講義。サッカー界での指導者のおかれている立場や、マネジメントの現状について把握するとともに、サッカーの競技力向上を目的とした講師による「ストライカー育成についての研究」を例に、課題抽出、現状分析、結果分析、考察、プランニングの一連の流れを習得する。今後、スポーツ界において、競技力向上やスポーツ界発展のために何をすべきか、どう関わっていくかのビジョンを各自で確立する。 ※実務経験のある教員による科目 この科目は、サッカー指導・クラブ経営の実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。						
評価方法	中間レポート(30%) 最終レポート(30%) 毎回の小レポート(30%) 受講姿勢(10%)						
履修条件・注意事項	授業終了後のレポートの内容とともに毎回の授業終了後に自分なりの考察を各自ノートにまとめる。また、レポート内容、考察を参考に各自課題を持って次回の授業に臨むこと。						
自己学習	予習として、授業時に課題をだし自身の課題にむけプランニングする。また毎回の授業時に必ずノートを作成し復習すること。						
オフィスワ-	オンライン上で						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
①ガイダンス ②サッカー選手のセカンドキャリア(コーチング) ③サッカー選手のセカンドキャリア(マネジメント) ④指導者・クラブ運営の現状 ⑤指導者の現状Ⅰ(プロクラブ) ⑥指導者の現状Ⅱ(アマチュアクラブ) ⑦指導・マネジメントのまとめ ⑧ストライカー研究方法論(目的) ⑨ストライカー研究方法論(研究結果) ⑩ストライカー研究方法論(考察1) ⑪ストライカー研究方法論(結果分析) ⑫ストライカー研究方法論(考察2) ⑬ストライカー研究方法論(提言) ⑭レポート発表	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原 松原					
教科書 1	ストライカーを科学する——サッカーは南米に学べ! (岩波ジュニア新書) 出版社:岩波書店						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	基礎コーチング論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-1-110
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>「条件付け:人間は環境に適応している」をテーマとして人間の潜在的な能力について、心理学、哲学、倫理学、病理学等の専門家から多角的な角度で学んでいく。加えて、人間は「心構え:心のクセ」が環境的外的要因によって消極的・否定的に涵養され内的な資質が押し殺されている事を学び、「この条件付け」を解放するコーチングの能力を身に付ける。</p> <p>環境が及ぼす暗黙の制限である「条件付け」はいつ、どのように、誰から外的影響を受けて心構えに涵養されていくのかを理解する。また、世界中の成功事例から、心構えが積極的・肯定的思考に涵養されていく事により、目標が実現していく事を理解する。この条件付けを外す為に、まずは自分自身に「消極的、否定的思考」がある事を認識し「積極的・肯定的思考」に置き換える事で他者の心理を理解し、コーチングにて「解放」や「気づき」を与え進歩、成長、変化していく事ができることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>「条件付け」の要因である、学校生活における比較社会要因、実績のある経験者の言葉によるリスク等、外的要因が消極的、否定的思考を形成していることを理解する。「無限の可能性」について、自然の豊かさ、まだ解明されていない脳科学について「人間の凄さ」を歴史の変遷を踏まえて学んでいく。</p> <p>スポーツ選手のリーダーシップ成功映像、マズローによる欲求階層、フロイトの防衛機能の事例から人間のしぐみを考察する。一枚の絵をグループ討論を主体とした方式により、人それぞれ価値観が違う事を学んでいく。</p> <p>教養面、社会面、健康面、家庭・経済面等による自己評価チェックを行い、自分自身の長所発見や自己改善の気づきとし自己を認識していく。チェック表から自分の価値観を理解し目標設定(目標の意味づけ)作業を行っていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、コーチングとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>「自分自身のコーチングコミュニケーションができる」の到達度について知識および能力を計るために、定期試験結果や毎回の授業レポートをレポートを通じて総合的に評価する。知識修得状況を把握するための定期試験(50%)毎回の授業におけるレポート(30%)、毎回の授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。</p> <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	(公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目						
自己学習	1) 毎回の授業でレポート課題を宿題とし、事前に身近に起こった人間関係についてレポート課題を作成し提出すること。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)にて木曜日の2限目を実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. パーソナル・リーダーシップについて		講義	太田				
2. パーソナル・リーダーシップの開発法について		講義	太田				
3. 人間が持っている未開発な潜在能力について		講義	太田				
4. セルフ・イメージについて		講義	太田				
5. セルフ・モチベーションについて		講義	太田				
6. マネージャー、管理者の心理		講義	太田				
7. 条件付けとな何か?		講義	太田				
8. 家族と社会環境の影響について		講義	太田				
9. リーダーの過ちと失敗との向き合いについて		講義	太田				
10. スポーツ指導者とは何かについて		講義	太田				
11. スポーツ指導者の倫理について		講義	太田				
12. スポーツ活動と安全管理		講義	太田				
13. 指導計画の立て方について		講義	太田				
14. 指導者の心構えの視点について		ディスカッション	太田				
15. 世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割について		講義	太田				
16. 単位認定試験		講義	太田				
		講義	太田				
		講義	太田				
		講義	太田				
		筆記試験	太田				
教科書 1	担当者の作成資料により進める。						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する。						
参考書 2							

授業科目名	サッカーコーチング論			履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-4-113
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>日本サッカー協会の理念「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」に寄与できる人材を育成することを目的とする。</p> <p>「現場で起こる人間関係のチームマネジメントを理解する」をテーマとする。プロサッカークラブにおけるチームマネジメント、プロクラブのスター選手、リザーブ選手のマネジメント、監督をとりまく会長やオーナー、スポンサー、コーチなどのマネジメントをコーチが関わるプロ選手、ステークホルダーのマネジメントを学び、チームマネジメントの解決法を自ら考え、行動に結びつけるための能力を身につけることを到達目標とする。</p>						
概要	<p>プロクラブに関わる、エグゼクティブやステークホルダー、GMやコーチ、医療トレーナーの基礎的な役割を理解を深め、それぞれに課される役割責任と心理面から人間関係の複雑な仕組みを考察する。</p> <p>クラブの事例を示しながらその解決策を導き出す能力が身につくようグループ討論を主体としてファシリテーターを任命した方式による授業を行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、サッカー指導者としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	<p>テーマ「プロサッカークラブのマネジメントを理解する」の到達度について、知識及び能力を図るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には知識習得状況を把握するための定期試験(50%)、会話能力を発表する為の課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、積極的な議論参加態度(20%)を合計して総合評価する。</p> <p>その他評価項目:プレゼンテーション、ファシリテーターへの積極的な態度を評価する。</p> <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するので、初回授業よりファイル(A4)を用意すること。						
自己学習	1)事前にマネジメント課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学修法により授業を行うのが必須である。2)必ずノートを作成し復習をすること。3)必ず試験は行うので、授業で議題となったテーマとポイントなることを予習復習を行い、自分なりの考察力を養うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	吉備国際大学Charme岡山高梁事務所(短大10号館ボランティアセンター2階)にて木曜日の2限目に実施。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 世界のサッカートレンドと現状	講義	太田					
2. 現代サッカーにおける指導者の重要性と役割	講義	太田					
3. 指導者の資質と哲学の重要性	講義	太田					
4. プレーヤー(選手)の一般特徴(年齢、活動の短さ、チーム内の多様性、個人主義等)	講義	太田					
5. 指導者の仕事の基本的要求は何か?(結果、チームビルディング、モチベーション、環境)	講義	太田					
6. 目標の明確化と年間、週間のプログラミング(セッションといくつかの指標、新プレイヤーを迎え入れるとき)	講義	太田					
7. グループのマネジメント(共通の価値観、帰属意識)	講義	太田					
8. 話し方(試合前、試合中、ハーフタイム 試合後の批評、振る舞い方)	講義	太田					
9. 特別な状況、困難な状況(①特別な意味ある試合へのアプローチ)	AL	太田					
10. リザーブ選手、機会の少ない選手のマネジメント	講義	太田					
11. 去りゆく選手、契約終了の選手、スタッフをどのようにマネジメントするか。	AL	太田					
12. スター選手、チームの中心選手をどのようにマネジメントするか?	講義	太田					
13. 危機的な時期、成績不振の時期をどのようにマネジメントするか?	ディスカッション	太田					
14. 選手との対立をどのようにマネジメントするか(自尊心を傷つけた場合等)	講義	太田					
15. オーナー、フロント、コーチ、ステークホルダーとの関係作りのマネジメント	ディスカッション	太田					
16. 筆記試験	講義	太田					
教科書 1	担当者の作成資料により進める。						
教科書 2							

参考書 1	適宜紹介する
参考書 2	

参考書 1

適宜紹介する。

参考書 2

授業科目名	トレーニング論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-2-117
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	スポーツの指導者として、『スポーツ全般を対象にして、トレーニングの原則について学習する。』ことをテーマとし、指導はあくまで指導の対象となる者、つまり選手や生徒が主体である。指導対象者の基本的な条件、年齢、性別、目的、レベル等々が、存在する。学生はトレーニング実施に必要な解剖・生理学的原則などに立脚しつつ、バイオメカニクスの理論、さらに今日では認知科学的及び脳科学的研究成果などを踏まえて行われる。トップアスリートを含めたアスリートのトレーニングから、健康づくりを目的としたトレーニングまで、指導方法論などが理解できるようになることを到達目標とする。						
概要	トレーニング学はスポーツ科学の進展と共に進化している。トレーニング自体は人間の有史以来存在すると言える。その時の時代性を反映した論理のもとに、人類の文化遺産として存続してきている。近代においては、約10年余りの年月の間、科学の発展に追随しつつ、トレーニングの近代的な理論が構築されてきた。体力諸要素をベースとして、トレーニング科学が発展してきたが、時代が進むとともに、脳-神経系に焦点と基礎を置くトレーニングも提示されてきている。こうした広範なトレーニングの理論を論じていく。						
評価方法	授業時に課すレポート課題で30%、最終試験で70%の比率で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	指導者としてしっかりとした知識をもとに指導できることを目的としているため、授業の復習や課題を十分に行うことを条件とする。						
自己学習	毎回の授業時において、次回の授業内容に応じて、各自のスポーツ経験に基づく問題を見出す指示を行う。これによって、各自経験の見直しや情報収集を行う。授業後は、授業内容を受けて、望ましい在り方について考察し、時にレポートとして提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01,オリエンテーション 02,トレーニングとプラクティス 03,トレーニングの領域 04,有酸素トレーニング 05,無酸素トレーニング 06,柔軟性トレーニング 07,筋力トレーニングの分野 08,筋肥大 09,筋力向上 10,スピード筋力 11,スタビライゼーション 12,コーディネーション 13,ゆるエクササイズ 14,ゆるトレーニング 15,メンタルトレーニング 16,試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内		
教科書 1	詳説筋力トレーニング法 出版社:編集工房ソシエタス						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	体力学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全				NO.	SS-SM-2-201	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	体力を広くとらえ、健康に関連した体力の概念を主として、その内容・構造を理解する。運動処方基礎として、体力の構成要素について専門的に学び、健康と体力、引いては運動の必要性が理論的に理解できるようになる。						
概要	現代の社会環境や、現代人の生活状況が、体力にどのように影響を与えているか。また、発育発達の過程で、体力はどのように変遷していくかについて論じる。さらに、老化と体力の関連性、疾病と体力の関連性にまでテーマを広げ、障害者の体力の問題にも焦点を当てる。体力についてその要素を、身体及び精神の両面に関わる、相互の連関において理解し、かつ疾病や障害との関連性を学習する。体力の捉え方や意味についての歴史的変遷について論じ、過去から現代にいたる日本人の体力の推移と、それに関わる要因と健康問題の関連性が理解できるようになる。						
評価方法	受講態度20%、単位認定試験80%による評価を行う。単位認定試験は採点后各自個別指導を行う。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	健康運動指導士資格認定試験受験資格必須科目 健康運動実践指導者資格認定試験受験資格必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、スポーツプログラマー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目 毎回の授業時において配布する資料や、各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習また指示された予習を行うこと。						
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考資料等を約2時間読みままとめておくこと。復習として毎回の授業を自分でまとめ必要ところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 体力の定義:健康に関連した体力 2. 体力の構成要素とその測定方法 3. 身体組成とその評価及び健康との関連性 4. 身体活動度と健康・体力 5. 筋力とその評価及び健康との関連性 6. 全身持久力とその評価及び健康との関連性 7. 柔軟性とその評価及び健康との関連性 8. 調整力とその評価及び健康との関連性 9. 発育発達段階と体力 10. 加齢と体力の減退 11. 女性の体力:男女の比較 12. 障害者の体力 13. スポーツマンと体力 14. 心の健康と体力 15. 生活習慣と体力 16. 単位認定試験 	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原		
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	体力学演習 I				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	高原 皓全、山口 英峰、天岡 寛					NO.	SS-SM-2-202
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	メディカルチェックの意義と内容,体力の測定方法や健康調査について、その理論と実際を学習する。身体活動度の評価方法、身体組成の評価方法を学習する。そして、的確に健康・体力の評価が行えて、そのうえで運動実施に関する相談を受けかつ指導ができるようになる。						
概要	健康や体力に関する測定・評価について、理論面の講義にもとづき、体力測定、検査、調査法などについて、実技・演習を行う。測定、検査、調査法の妥当性や再現性などについて理解し、対象者や目的に応じた評価方法の選択と、正しい実施方法を習得する。それらのデータを統計学的方法によって分析する基本を学び、これらによる診断・評価を踏まえながら、有酸素運動の運動種目であるジョギングウォーキングの実践方法・指導方法を学習する。						
評価方法	受講態度20%、最終レポート80%による評価を行う。最終レポートは採点后各自個別指導を行う。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、最終レポート作成までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	健康運動指導士資格認定試験受験資格必須科目 健康運動実践指導者資格認定試験受験資格必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格必須科目 毎回の授業時において配布する資料や、各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習また指示された予習を行うこと。 適宜、先回の授業内容について、レポートの作成・提出を行う。						
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考資料等を約2時間読みままとめておくこと。復習として毎回の授業を自分でままとめ必要なところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。						
オフィスワ-	担当教員別 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
				<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 体力測定の意義と目的 3. メディカルチェックの必要性と目的 4. メディカルチェックの内容 5. 身体活動度の評価方法:質問紙法 6. 身体活動度の評価方法:その他の方法 7. 身体組成と健康およびその評価 8. 皮下脂肪厚測定による身体組成評価 9. その他の方法による身体組成評価 10. 体力測定の実際:新体力テスト 11. 体力測定の実際:エクササイズガイド 12. 体力測定の計画 13. 体力測定の実施 14. 体力測定の評価 15. 体力プロフィールの作成 16. まとめ 		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート	担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員 担当者全員
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	運動処方			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高原 皓全				NO.	SS-SM-3-204	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「現場で役に立つ運動処方」をテーマとする。運動処方の理論だけでなく、現場で役立つ実践方法の基礎を理解することができる。						
概要	本講義では、トレーニングについての基礎的な理解を深め、具体的な運動処方の方法を学ぶ。運動処方では、薬の処方と同様、間違った運動を処方することは大変危険である。正しい知識を身につけ、子どもから高齢者まで様々な体力レベルに応じた運動処方ができるよう、トレーニングの原則や方法を熟知しておくことが重要である。						
評価方法	最終試験(90%)、発表、ディスカッションへの参加(5%)、受講態度(5%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等は授業でフィードバックするので、最終試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「日本スポーツ協会関連資格認定試験受験資格 共通科目(共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)」必須科目 授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び指示された予習を行うこと。 適宜、レポートの作成・提出を行う。						
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考書等を約2時間読みままとめておくこと。復習として毎回の授業を自分でまとめ必要ところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 運動処方とは 2. 運動不足と生活習慣病 3. トレーニング概論 4. トレーニングの原理・原則 5. トレーニング条件と反応・トレーニング強度 6. 筋力と筋量増強のトレーニング条件とその効果 7. 筋パワーと筋持久力トレーニングの条件とその効果 8. 全身運動によるエアロビクトレーニング 9. 減量とトレーニング 10. 加齢に伴う体力の自然減退とトレーニング 11. 子どもと運動 12. 高齢者と運動 13. 運動プログラムの基本原則 14. 運動プログラム作成の基礎 15. 運動プログラム作成の応用 16. 最終試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原					
教科書 1	健康運動実践指導者養成用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	運動処方演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-3-206
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	学生は『呼吸・循環器系の作業能力を向上させるための運動プログラム』をテーマとし、プログラムを作成したうえで、目的に応じた運動プログラムの作成の仕方を学び、指導することができるようになることを到達目標とする。						
概要	健康・体力の維持向上,老化の防止,瘦身などを目的とした運動処方の実際を学ぶ。介護予防,生活習慣病予防など、目的別運動処方の作成と実施の仕方の実際を学習したうえで、運動行動や習慣を改善するアプローチについて学習する。昨今重要視されてきたメタボリックシンドロームやロコモティブシンドローム、さらにはメンタルヘルスの改善においても、有酸素運動を中心とした運動プログラムは重要である。こうした目的で行われる運動指導の実際上の留意点についても学習する。この授業の担当者は、健康運動指導の実務経験を有する。						
評価方法	授業中の課題提出,小テストやレポート提出で50%、最終レポートで50%の配分によって評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	健康運動指導士資格認定試験受験資格必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツプログラマー受験資格必須科目 運動処方演習Ⅰを履修すること。健康運動実践指導者受験資格科目ではないが、健康運動実践指導者を受験する学生は、履修することが強く望まれる。 毎回の授業時において配布する資料や、各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習また指示された予習を行うこと。 適宜、先回の授業内容について、レポートの作成・提出を行う。						
自己学習	運動処方の基礎となる人間の身体や体力に関する科目の内容を、毎回の授業内容に照らし合わせて、予習しておくこと。さらに、授業後は、学んだことを実践して、実技力として習得すること。 予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。						
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01,aerobic exerciseの運動処方の基本 02,aerobic exerciseの目的別プログラム 03,一般的な運動プログラム作成 04,子供の運動プログラム 05,高齢者のaerobic exerciseプログラム 06,介護予防のための運動 07,肥満予防と改善のための運動プログラムの基本 08,ロコモティブシンドロームと運動 09,女性のための運動プログラム 10,障害者のための運動プログラム 11,高血圧の運動指導 12,糖尿病予防の運動指導 13,その他の疾患の運動指導 14,メンタルヘルスのための運動指導 15,最終レポート作成	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 最終レポート	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内		
教科書 1	健康運動指導士養成講習会テキスト 出版社:健康・体力づくり事業財団						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	スポーツ医学 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	川上 照彦					NO.	SS-SM-3-207		
配当学科	スポーツ社会				年次	3			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	スポーツ医学のもと側面を生理学、整形外科、内科学等の観点から理解し、スポーツ医学の重要性を理解する。学生はスポーツ時に起こりやすい外傷や障害を理解し、それぞれの応急処置について学ぶことができる。								
概要	競技スポーツの特性と健康スポーツの大切さについて事例をあげて説明する。また、様々な障害について事例をあげ、その予防や処置について基礎的なことを学ぶ。								
評価方法	講義姿勢(10%)、発表、ディスカッションへの参加(10%)、定期試験(80%)から評価する。なお、講義内の発表評価に関しては講義内にフィードバックすることから、発表内容について試験までに見直しが必要である。								
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「日本スポーツ協会公認スポーツリーダー」「スポーツプログラマー」受験資格必須科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。								
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布させたプリントの指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。								
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義後の時間をオフィスアワーとする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. 内科的障害と予防 02. スポーツと内科的障害 03. 外科的障害 上肢 04. 外科的障害 下肢 05. 外科的障害 脊椎 06. 外科的処置1) 全身性障害: 実習含 07. 外科的処置2) 局所外傷: 実習含 08. 救急蘇生法 09. メディカルチェック 10. 健康と障害について 11. スポーツ外傷とその予防 12. スポーツ障害とその予防 13. 救急処置(アイシング・テーピング) 14. 熱中症 15. ドーピングについて 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2	著者: 適宜指示する								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	スポーツ医学Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	川上 照彦					NO.	SS-SM-3-208
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	運動負荷試験の基礎として検査の目的、手順、方法および判定について理解する。学生は実践を通して、エルゴメーターを用いた運動負荷試験を行うことができる。						
概要	運動負荷試験の基礎となる運動負荷の様式、手順ならびに判定について様々な生理学的なパラメータを用いて実践し、理解を深める。						
評価方法	講義姿勢(10%)、発表、ディスカッションへの参加(10%)、レポート課題(10%)、定期試験(70%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布させたプリントの指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義後の時間をオフィスアワーとする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. メディカルチェックについて 02. 健診結果の見方について 03. 服薬者の運動プログラム 04. 安静時心電図について 05. 運動負荷試験とは 06. 運動負荷試験の実際 07. 運動負荷試験実習(1)トレッドミル測定の実際(実習含) 08. 運動負荷試験実習(2)エルゴメーター測定の実際(実習含) 09. 運動負荷試験実習(3)ホルター心電図の実際(実習含) 10. 運動負荷試験実習(4)テレメータ心電図の実際(実習含) 11. 運動負荷試験実習(5)フィールド測定(実習含) 12. 運動負荷試験実習(6)評価と解析 13. 運動負荷試験実習(7)潜水反射試験 14. 運動時における一過性の循環器応答について 15. 運動プログラム作成について 16. 単位認定試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	川上 川上
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	応用スポーツ論				履修期	2021年度 春学期	
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-3-209
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	運動プログラム作成をテーマとする。学生は運動プログラム作成の基本的な知識と理論を理解することで、一般の運動処方ならびに内科的疾患を持っている方への運動処方の基礎を学ぶことができる。						
概要	健康の保持・増進にはスポーツなどの身体活動の実践が有効である。本講義はでは、幅広い年齢層におけるスポーツ実践についての理解を深めるために、様々な運動時の生体応答等についての知識と理論について学習する。						
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(10%)、小テスト(40%)、定期試験(50%)から評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。講義毎に前週講義内容の小テストを行うので毎回の授業においてテキストの指定されたページを熟読して頂くこと。復習として講義内容や小テストの内容をしっかりと確認すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. 概要 02. ストレッチおよび柔軟体操の実際 03. ウォーミングアップとクーリングダウンの理論 04. 有酸素運動時の生体応答-ウォーキング 05. 有酸素運動時の生体応答-ランニング 06. 有酸素運動時の生体応答-水中運動 07. 有酸素運動時の生体応答-エアロビックダンス 08. 無酸素性運動時の生体応答 09. 筋力トレーニング時の生体応答 10. 運動プログラムについて 11. 運動プログラムの作成-若年者 12. 運動プログラムの作成-高齢者 13. 運動プログラムの作成-後期高齢者 14. 運動プログラムの作成-子ども 15. 総括 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山口 山口					
教科書 1	健康運動実践指導者用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	健康運動実習Ⅱ			履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛、山口 真純、高原 皓全					NO.	SS-SM-2-212	
配当学科	スポーツ社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	「水中環境における健康づくり」をテーマとし、自らが考え、行動できるレベルを到達目標とする。							
概要	<p>水の特性を理解する。そして水の特性を利用して行う、水泳・水中運動の基本的な技法を習得する。水泳・水中運動が持つ、健康・体力づくりのための意義を学ぶ。運動強度の調節の方法を理解し、対象者に適した運動プログラムが構成でき、適切な指導が出来るように学習する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、健康運動指導士の資格を所有し健康運動指導の現場の実務経験のある者が担当する。健康運動指導の経験から、現状や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>							
評価方法	最終試験(50%)、レポート等課題(30%)、受講態度(20%) なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	<p>「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「保健体育科教員資格」選択科目 学外実習施設を利用する。 事前学習(講義)を春学期中に行う。各自掲示板で確認の上、出席すること。なお、このときに実習クラス分けも行う。 授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び指示された予習を行うこと。 適宜、レポートの作成・提出を行う。</p>							
自己学習	事前学習時に出される毎回の課題の提出について厳守すること。学外実習時においては、事前学習で得たことを実践するため、予習を行い、実践体験についてまとめること。							
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1 導入授業&水の特性と水泳・水中運動1(浮力・水圧)		講義	天岡					
2 水の特性と水泳・水中運動2(水温・粘性抵抗)		講義	天岡					
3 健康・体力づくりと水泳・水中運動(安全管理)		講義	天岡					
4 水中での動作1(浮く)		実習	全教員					
5 水中での動作2(潜る)		実習	全教員					
6 水中での動作の運動強度		実習	全教員					
7 水中運動でのプログラム1(アクアビクス)		実習	全教員					
8 水中運動でのプログラム2(アクアウォーク)		実習	全教員					
9 水中運動の指導方法1(アクアビクス)		実習	全教員					
10 水中運動の指導方法2(アクアウォーク)		実習	全教員					
11 水泳の基本泳法1(クロール・背泳ぎ)		実習	全教員					
12 水泳の基本泳法2(平泳ぎ)		実習	全教員					
13 水泳の基本泳法3(バタフライ)		実習	全教員					
14 水泳の運動強度と指導法		実習	全教員					
15 まとめ		講義	天岡					
16 単位認定試験		試験	天岡					
教科書 1	健康運動実践指導者養成用テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:なし							
教科書 2								
参考書 1	遠泳学事始「今こそ、子どもたちに遠泳を!」海で育てる生きる力とおもいやり遠泳学事始 著者:木村 一彦, 矢野 博己 出版社:フリースペース ISBN:4434175610							
参考書 2								

授業科目名	運動療法			履修期	2021年度 春学期		
担当者	天岡 寛				NO.	SS-SM-4-214	
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「運動療法の理論と実際」をテーマとする。運動療法の理論だけでなく、現場で役立つ実践方法の基礎を理解できる。						
概要	<p>運動は体力の維持・向上だけでなく、生活習慣病の予防・改善にも効果的であることは周知の通りである。しかしながら、間違った運動を行うと、かえって病状を悪化させてしまう。本講義では、生活習慣病と運動の関係について、疾患・疾病の関係特性について理解を深め、何をどの程度行うのが効果的であるのかを正しく理解し、対象者に適した運動プログラムの作成及び適切な指導が出来るよう学習する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、健康運動指導士の資格を所有し健康運動指導の現場の実務経験のある者が担当する。健康運動指導の経験から、現状や課題、それを解決するためのに必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	最終試験(90%)、発表、ディスカッションへの参加(5%)、受講態度(5%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	<p>「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目</p> <p>1) 事前に課題を出し、グループ発表を行う参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。 3) 初回の授業には、必ず出席すること。 4) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れない。</p> <p>なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。</p>						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。						
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. オリエンテーション 2. 運動療法とは 3. 生活習慣病と運動療法 4. 肥満症と運動療法 5. 高血圧症と運動療法 6. 高脂血症と運動療法 7. 糖尿病と運動療法 8. 虚血性心疾患と運動療法 9. 認知症と運動療法 10. 転倒防止と運動療法 11. がんと運動 12. 障害者の運動能力の特徴とトレーニング 13. 生活習慣病改善のための運動プログラム作成 14. 服薬者の運動プログラム作成上の注意 15. まとめ 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 最終試験	天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡				
教科書 1	健康運動指導士養成講習会テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:なし						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	老年体力学				履修期	2021年度 春学期		
担当者	天岡 寛、永見 邦篤					NO.	SS-SM-4-215	
配当学科	スポーツ社会			年次	4			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	加齢に伴う心身の変化と身体活動は、密接に関連する。身体活動の低下は、日常生活の不具合を引き起こす。その予防・改善の為に高齢者の体力について理解することができる。							
概要	加齢にともなって、身体活動能力がいかに変化するかを示す。神経・筋系の機能、呼吸・循環機能及び運動能力の変化について理解し、体力的予備力やトレーニングを捉えて、高齢者に適した運動の実際をプログラム化しよう学習する。							
評価方法	講義内の課題を10%、毎回の試験を90%とし、評価する。 なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 講義項目ごとに適宜、資料を配布する。生理学、解剖学、体力学及び運動生理学等を土台とする応用分野なので、各々の学習のなされていることが望まれる。							
自己学習	本講義は予習復習が各2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布されたプリントのページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。							
オフィスアワー	非常勤講師のため講義前後をオフィスアワーとする。場所は6号館1階非常勤講師控え室とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01. 高齢者と福祉と体力 02. 高齢者の体力の推移 03. 神経・筋機能の加齢変化 1) 筋タイプと萎縮 04. 神経・筋機能の加齢変化 2) 行動の変化 05. 呼吸機能の加齢変化 06. 循環機能の加齢変化 1) 血管 07. 循環機能の加齢変化 2) 心臓 08. 高齢者と骨 1) 骨代謝 09. 高齢者と骨 2) 骨と運動 10. 身体活動の低下とCa代謝 11. 身体活動の低下と循環機能 12. 高齢者と睡眠、水分代謝 13. 高齢期の至適運動 筋・循環機能について 14. 高齢者の運動指導とその注意点 15. まとめ 16. 最終試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	天岡 天岡 永見 永見 永見 永見 天岡 永見 天岡 天岡 永見 永見 天岡 天岡 天岡					
教科書 1	使用しない(毎講義毎にプリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する							
参考書 2								

授業科目名	健康心理学			履修期	2021年度 春学期			
担当者	謝名堂 りさ					NO.	SS-SM-2-216	
配当学科	スポーツ社会			年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	『運動中の心理的効用』をテーマとし、心理的要因が運動のパフォーマンスに及ぼす影響など、スポーツの心理的テーマを広く系統的に取り上げ解説する。健康に影響を与える心理的な要因について理解し、心理面からの健康指導ができるようになる。また、健康づくりのための行動変容を促す指導ができるようになることを到達目標とする。							
概要	現代社会における精神保健に関わる問題を理解する。精神ストレスとそれに起因する健康問題及び、その解決方法を学ぶことができる。生活習慣病とそれに関わる心理的要因を理解するとともに、行動変容を含めた、健康心理学的知識を学習する。							
評価方法	講義に関する学習効果及び途中で提出するレポート類(学習到達目標に関する出題)を含む70%。学習態度30%である。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「(公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー・スポーツプログラマー受験資格」必須科目							
自己学習	ノートの復習(予習復習各2時間程度を要する。)							
オフィスワ-	授業終了後、教室にて							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.運動行動変容の理論と応用 2.運動行動変容の理論と実際(実習含) 3.心の健康論 4.健康づくりとカウンセリング(実習含) 5.ストレスアセスメントと対処法 6.スポーツ競技者の性格特性 7.競技力と情緒の安定 8.動機づけと目標設定(実習含) 9.あがりパフォーマンス 10.スキルトレーニング 11.メンタルトレーニング 12.スポーツ集団と人間関係 13.スポーツ集団とリーダーシップ 14.スポーツ選手のバーンアウト 15.最終テスト		講義 講義・演習 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂 謝名堂					
教科書 1	健康スポーツの心理学 出版社:大修館書店							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	運動生理学演習Ⅱ				履修期	2021年度 春学期	
担当者	天岡 寛、山口 英峰、高原 皓全					NO.	SS-SM-3-218
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	運動生理学および身体運動学で身体構造、運動時の生体応答について学んだことを、実験実習形式で身をもって体験する。その結果、人間の生理的運動機能に対する理解を深め、教科書では学ぶことのできない体験的学習が可能となる。学生は将来の実践的運動指導等ができる能力を身につけることができる。						
概要	運動生理学演習室に設備されている実験機器をの操作を理解し、実際に自らの手によって実験を行う。その後、実験データの整理を行い、まとめてレポートを作成する。レポートには、実験の目的、方法、結果、考察。まとめの順で書くように指導する。その後、卒業研究にも結びつくように指導を行う。						
評価方法	実験実習形式であるため、機器の操作、データ整理、レポート内容について評価を行う。機器の操作およびデータ整理(30%)、レポート内容(70%)から評価する。なお、評価のために実施したレポート課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 運動にかかわる実験を行うため、自らが被験者になることを考え、運動のできる服装で参加すること。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が各2時間程度必要である。運動生理学の基礎的知識について、事前に配布する資料で予習すること。復習として、実習の疑問点について文章化し、次回の講義で発表すること。						
オフィスワ-	担当教員別 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. 筋電図と導出法 1)筋の活動電位		演習	全教員				
02. 筋電図と導出法 2)表面誘導法		演習	全教員				
03. 筋電図と導出法 3)筋電図のテレメタリング		演習	全教員				
04. 筋電図と導出法 4)歩行時の筋活動		演習	全教員				
05. 筋と筋力 1)筋力レベルと筋放電量		演習	全教員				
06. 筋と筋力 2)筋力レベルと運動単位活動		演習	全教員				
07. 筋と筋力 3)持続的筋活動と筋電図		演習	全教員				
08. 筋と筋力 4)瞬発的筋活動と筋電図		演習	全教員				
09. 筋への血流 1)レーザードップラー法		演習	全教員				
10. 筋への血流 2)超音波法		演習	全教員				
11. 筋への血流 3)説明		演習	全教員				
12. 筋活動と血流 1)掌握動作時の血流変化		演習	全教員				
13. 筋活動と血流 2)運動と頸動脈血流		演習	全教員				
14. 筋活動と血流 3)運動習慣と頸動脈		演習	全教員				
15. 筋活動と血流 4)説明		演習	全教員				
16. レポート試験		試験	全教員				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	健康運動指導士養成講習会テキスト 著者:健康・体力づくり事業財団 出版社:健康・体力づくり事業財団 ISBN:ISBNなし						
参考書 2							

授業科目名	スポーツ実習Ⅴ(屋内球技)				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰、高原 皓全					NO.	SS-SM-3-309	
配当学科	スポーツ社会				年次	3		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習	
テーマと到達目標	高等学校までに習得した内容を復習するとともに、屋内球技の中でも特にバレーボールやバスケットボールなどの専門的な技術や知識を身につけ、実践できるようになる。学生は選手としての知識や技能だけではなく、指導者として運動学的な知見を考慮した指導方法を考え、実践できるようになる。							
概要	本授業では、安全に屋内球技を行うためのコート準備の方法及びルールの一貫性をまず理解する。そして、基礎的な技術と指導方法を身につけたのち、より高度なチーム・プレイを学ぶ。選手としての目線からだけではなく、指導者としての指導方法についても実践から身につける。特に競技が苦手な対象者に対する指導方法について考案し、実践する。							
評価方法	授業への取り組み姿勢(50%)、基本的な技術およびそれを応用出来る能力を評価するための講義内課題試験(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、次回からの講義および講義内課題試験に活用すること。							
履修条件・注意事項	運動するのに相応しい格好で講義を受講すること。ピアス、ネックレスなどのアクセサリ類の着用は怪我の防止の観点から禁止する。また、安全かつ十分なパフォーマンスを発揮できるための体力の維持・向上はかること、体調を整えて講義に望むこと。中高保健体育教員免許資格取得のための必修科目であることから、教員免許状の取得を目指す学生は必ず履修すること。							
自己学習	予習として、事前に参考書等により、バレーボールやバスケットボールなど屋内球技の技術やその練習・指導方法等についての知識を身につける必要がある。復習として、指導者として最低限の技術を身につけることができるよう技術向上のための練習をする必要がある。							
オフィスアワー	9号館2階のフィットネスラボにおいて、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01.ルールの理解と安全に配慮したバレーボール環境 02.バレーボールにおける基本パス技術 03.サーブとサーブ・レシーブの基本 04.スパイクとブロックの基本 05.パス・ゲームによる動きの理解 06.バレーボールにおけるフォーメーション・プレイとその役割 07.バレーボールに関する知識(審判方法、ゲーム進行など) 08.ゲーム1(基礎を中心に) 09.ゲーム2(応用) 10.バスケットボールにおける基本的技術(ドリブル・パス・シュート) 11.バスケットボールのゲームにおける動きの理解 12.バスケットボールにおけるフォーメーション・プレイとその役割 13.バスケットボールに関する知識(審判方法、ゲーム進行など) 14.ゲーム1(基礎) 15.ゲーム2(応用)			実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原	
教科書 1	バレーボール指導教本 著者:日本バレーボール協会 出版社:大修館書店 ISBN:9.78E+12							
教科書 2	バスケットボール指導教本 著者:公益財団法人日本バスケットボール協会 出版社:大修館書店 ISBN:9.78E+12							
参考書 1	バレーボールの科学 科学が教えるバレーボール技術のポイント 著者:根本研,小川良樹 出版社:洋泉社 ISBN:9.78E+12							
参考書 2								

授業科目名	スポーツ実習VI(格技)			履修期	2021年度 春学期		
担当者	城山 訓郎					NO.	SS-SM-2-310
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	30	授業形態	実習
テーマと到達目標	竹刀・木刀を用いての心身鍛錬を通じ、お互いの人格を尊重する。終始礼法を守り、基本動作を重視し、心技体を一体として修練する。指導者としての理論と実勢を修得する。						
概要	<ul style="list-style-type: none"> 日本古来の尚武の精神に由来し、術から道に発展した伝統文化である剣道の特性を理解し、剣道が人格の完成を目的とした運動文化であることを理解すると共に、伝統的所作の理解から剣道のもつ特性、技術を授業時間ごとに系統的に展開する。 対人競技としての特質を経験させる。 なお、本実習は学校における剣道の指導及び地域における剣道の指導の実務経験者による実習である。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み姿勢(30点) 剣道の教育的特性・文化的特性に関するレポート(30点) 実技試験(40点) 						
履修条件・注意事項	学修場所(道場)は心身鍛錬の場であり、規律礼儀作法を守ること(具体的な作法は講義内で指示する)。剣道防具の確実な着装、また講義前に竹刀の破損点検をすること。保健体育教員免許取得に関する選択科目であることを意識すること。実技科目であるから、体調管理に留意すること。						
自己学習	事前に配布した資料など通読して、予習しておくこと。また、当日配布した資料をノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 授業の概要 剣道史の概要 2. 礼法(対人的敵対関係における「礼」の意味と「座法」「立法」の方法) 3. 基本動作(構え)(足捌き)(竹刀・木刀の扱い方) 4. 基本動作(素振り・打突の仕方) 5. 基本動作(踏み込み足・打突への導入) 6. 踏み込み打突(正面打ち・小手打ち・二段打ち) 7. 打突技術構造(竹刀・木刀による基本形)(1)基本技術 8. 打突技術構造(竹刀・木刀による基本形)(2)応用技術 9. 剣道具の着装法 10. 有効打突く(一本)の理解 11. 対人的技能(しかける技) 12. 対人的技能(応じ技) 13. 対人的技能(つばぜり合いからの技・つばぜり合いからの応じ技) 14. 競技規則(試合・審判を体験する)		講義 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技	城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山				
教科書 1	講義内で配布する。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	運動学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	松下 健二					NO.	SS-SM-2-312		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	<p>「運動分析から運動指導」と「基礎的技術のメカニズムの理解とその習得」をテーマとして、講義と演習を通じて、運動学(運動方法学)の基礎的知識の習得と自己の運動技能を向上させる方法を習得するとともに、それぞれの運動についての知識レベルを都道府県教員採用試験に出題される問題に対応できるレベルにすることを到達目標とする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>								
概要	<p>様々なスポーツ活動を構成する基本的身体運動の代表的なものについて、その基本的動きのメカニズムを解説理解するとともに、主なスポーツの運動及び技術体系について整理し、運動及び技術の発生から多様化、高度化に至るまでの進化の過程について学ぶ。また、運動学の歴史的発展についても触れ、運動学の発展について学習する。</p>								
評価方法	受講態度(25%) + レポート(25%) + 試験(50%)で総合的に評価する。								
履修条件・注意事項	<p>配布した資料及び紹介した書籍などから次の授業の要点について予習を行い授業での問題提起や討論に対して積極的に参加できるようにする。また、レポートの提出状況が受験資格となる。よって授業後授業の内容をノートにまとめておく事が望ましい。</p> <p>中高保健体育科教諭資格必修科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー、ジュニアスポーツ指導員受験資格必修科目</p>								
自己学習	<p>予習として筋肉の機能と構造について解剖学の書籍を参考にして知識を得ておくこと。復習として指示に従ってノートを作成し、身体操作の観点から理解を深めること。予習・復習とも2時間ほど行うこと。</p>								
オフィスワ-	授業終了後、教室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. 運動学とは(運動学の領域) 2. 運動と解剖学 3. 運動と力学 4. 運動と生理学 5. 運動と心理学 6. 運動の分析から運動指導へ 7. 基本的技術のメカニズム(走る、跳ぶ) 8. 基本的技術のメカニズム(蹴る) 9. 基本的技術のメカニズム(投げる、捕る) 10. 基本的技術のメカニズム(打つ) 11. 年齢に応じた技術の獲得過程Ⅰ 12. 年齢に応じた技術の獲得過程Ⅱ 13. 運動の身体への影響Ⅰ(生理) 14. 運動の身体への影響Ⅱ(心理) 15. まとめ 16. 単位認定試験			1回～15回講義 16回試験	1回～16回 松下健二					
教科書 1									
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	運動方法学				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-1-313		
配当学科	スポーツ社会				年次	1			
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義		
テーマと到達目標	『スポーツ指導者』をテーマとして、スポーツ全般を対象にして、その指導の方法論の原則について学習する。指導はあくまで指導の対象となる者、つまり選手や生徒が主体である。そして、指導は指導者とその指導対象者との関係性において、展開されるものである。そこには当然のこととして、指導対象者の基本的な条件、年齢、性別、目的、レベル等々が、存在する。また、環界との関係性も働きかけてくる。指導は生理学的原則などに立脚しつつ、教育学的及び心理学的理論、さらに今日では認知科学的及び脳科学的研究成果などを踏まえて行われる。学生はトップアスリート育成の方法論も講じながら、学校教育現場における体育授業での指導方法論、競技力向上を目的とした指導方法論、生涯スポーツ的な指導方法論などが理解できるようになることを到達目標と到達目標とする。								
概要	運動方法学は昨今コーチングとの関係性を強めている。これは偏に、指導対象者の主体性を重視し、その人の意思や志向性を指導の立脚点としようという試みである。各人の自己イメージや有能感を指導の中心的なテーマとして、指導者は対象者を見ることの大切さがそこにはある。これは学校教育における課題とも合致し、またトップアスリート育成での基本的な立場でもある。本講義では、こうした視点について、実例を多く示しながら理解していく。そのうえで、技能獲得の具体的な手立て、集団の形成と集団を生かした運動指導、などについて論じていく。 この授業の担当者は、スポーツ指導・コーチングの実務経験を持つ。								
評価方法	授業時に課すレポート課題で30%、最終試験で70%の比率で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	(公財)日本スポーツ協会スポーツ指導員資格取得必修科目である。指導者としてしっかりと知識をもとに指導できることを目的としているため、授業の復習や課題を十分に行うことを条件とする。								
自己学習	毎回の授業時において、次回の授業内容に応じて、各自のスポーツ経験に基づく問題を見出す指示を行う。これによって、各自経験の見直しや情報収集を行う。授業後は、授業内容を受けて、望ましい在り方について考察し、時にレポートとして提出する。予習1コマ・復習1コマを行う。								
オフィスワ-	金曜日3限 個人研究室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01,オリエンテーション 02,従来の運動指導の問題点 03,コーチングとは 04,運動指導者としての資質 05,運動指導の目的・ねらい 06,スポーツのパフォーマンスとは 07,上達論 08,技術指導の心理学的原則 09,トレーニングとプラクティス 10,集団の構造 11,集団の機能 12,体育授業での運動指導 13,教育目標と運動指導 14,社会スポーツにおける運動指導 15,セルフエフィカシー向上のための方法論 16,試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内					
教科書 1	スポーツ・コーチング学 出版社: 西村書店								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	解剖学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-1-317
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	人体解剖学をより科学的に理解することをテーマとし人体を分子細胞のレベルから個体のレベルまで理解し、あわせて専門用語も身に付けることによって専門科目を容易に学ぶことができる。人体の構造と機能を理解し、各専門科目を学ぶための基礎能力を身に付けることを目標とする。						
概要	人体は一個の受精卵から出発し、発生分化を経て複雑な構造体を形成している。解剖学はその人体の構造と各器官の形態及び機能を分子細胞のレベルから個体のレベルまで一体として理解し、合せて各専門科目を学ぶための基礎とする。講義内容、(1)人体の概要(2)人体の構造と区分(3)人体の支持と機能(骨格系)(4)人体の支持と機能(筋系)(5)人体の支持と機能(関節)(6)神経系の機能(末梢神経系)(7)神経系の機能(自律神経系)(8)循環器系(9)呼吸器系(10)消化器系(11)泌尿器系(12)内分泌系(13)中枢神経系(上位中枢)(14)中枢神経系(下位中枢)(15)感覚器						
評価方法	受講態度20%、単位認定試験80%による評価を行う。単位認定試験は採点后各自個別指導を行う。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	出席、受講態度を重視するので注意すること。 常に予習・復習を行い、予習で起きた疑問点は授業と復習によって解決するように心がけること。						
自己学習	予習として授業計画に記載されている部分について事前に参考書等を約2時間読みまわめておくこと。復習として毎回の授業を自分でまとめ必要なところは繰り返し約2時間読んで暗記すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 人体の概要 2. 人体の構造と区分 3. 人体の支持と機能(骨格系) 4. 人体の支持と機能(筋系) 5. 人体の支持と機能(関節) 6. 神経系の機能(末梢神経系) 7. 神経系の機能(中枢神経系) 8. 循環器系 9. 呼吸器系 10. 消化器系 11. 泌尿器系 12. 内分泌系 13. 中枢神経系(上位中枢) 14. 中枢神経系(下位中枢) 15. 感覚器 16. 単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原				
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	図解解剖学辞典 著者:山田英智 出版社:医学書院						
参考書 2	入門人体解剖学 著者:藤田恒夫 出版社:南江堂						

授業科目名	生理学			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	椎葉 大輔					NO.	SS-SM-1-318
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	健康科学の根幹である生理学から人体の生きている仕組みを学ぶ。そして生体の在り方が多くのバランスの上に成り立つことを理解する。						
概要	生理学は身体各臓器の機能を知るとともに、身体全体としての統合的な調整と適応の機序を明らかにする学問である。各機能間の関連を考慮しながら、筋、循環、呼吸、消化、代謝、排泄、内分泌などの植物性機能の概要を講義する。また、健康科学や臨床医学とのかかわりを解説し、それらの基礎とすることを旨とする。						
評価方法	講義姿勢(10%)、小テスト(10%)および定期試験の成績で評価する(80%)。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 健康及び医学関連の科目を学習する上で基礎となる科目である。十分な学習をなされることが望まれる。毎回の授業前後において、講義資料を熟読し、予習復習すること。						
自己学習	教科書に目を通し、解剖学の基礎的な知識を持つておくこと。さらに、講義に出題される課題に取り組むこと。						
オフィスアワー	非常勤なので授業終了後、教室にて質問に対応しますので声をかけてください。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. 生体機能とホメオスタシス 02. 骨格筋 1) 構造と機能 03. 骨格筋 2) 収縮機構・脊髄反射 04. 神経系 1) 神経系の分類 05. 神経系 2) 静止電位と活動電位 06. 神経系 3) 興奮の伝導と伝達 4) 反射 07. 神経系 5) 中枢神経系 6) 体性神経系・自律神経系 08. 感覚器 09. 血液と体液 10. 心臓の機能と調節 11. 血管運動調節系 12. 呼吸器系の構造と機能 13. 呼吸運動とその調節 14. 高温環境と運動 15. 体温調節系 16. 試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉 椎葉		
教科書 1	使用しない(毎回の講義で資料を配布する)						
教科書 2							
参考書 1	イラストでまなぶ生理学 著者: 田中越郎 出版社: 医学書院 ISBN: 9.78426E+12						
参考書 2							

授業科目名	リハビリテーション医学				履修期	2021年度 春学期	
担当者	河村 顕治					NO.	SS-SM-3-321
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	授業の到達目標及びテーマ:スポーツに関係する運動器疾患を中心として、リハビリテーション医学の対象となる疾患の理解をテーマとし、学生がそれらの病態とその治療、理学・作業療法の内容などの知識を身につけることができる。						
概要	リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成12年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。 ※実務経験のある教員による授業:この科目は、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。						
評価方法	定期試験(80%)を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容(20%)にて総合的に判定を行う。 なお、評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。						
履修条件・注意事項	リハビリテーション医学の履修において各自がポートフォリオを作成することを義務づける。これは学習をより確かなものにしてこれからの専門的学習の基礎を作るためである。						
自己学習	授業に先立って「リハビリテーション医学テキスト」で該当部分を予習しておくこと。復習として授業終了後には講義内容及び関連事項を図書館やインターネットを利用してポートフォリオにまとめること。 予習および復習には、各1時間程度を要する。						
オフィスアワー	個人研究室にて、火曜日の4時限目を実施。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1.リハビリテーションとは 2.運動器のリハビリテーション(総論) 3.運動器のリハビリテーション(運動器不安定症:病態と診断) 4.運動器のリハビリテーション(運動器不安定症:上肢疾患) 5.運動器のリハビリテーション(運動器不安定症:下肢疾患) 6.運動器のリハビリテーション(評価の概要) 7.運動器のリハビリテーション(評価の実際) 8.運動器のリハビリテーション(治療総論) 9.運動器のリハビリテーション(筋力訓練) 10.運動器のリハビリテーション(ストレッチング) 11.運動器のリハビリテーション(体操療法) 12.運動器のリハビリテーション(物理療法) 13.運動器のリハビリテーション(各論:関節疾患) 14.運動器のリハビリテーション(各論:腰椎疾患:病態と診断) 15.運動器のリハビリテーション(各論:腰椎疾患:治療) 16.単位認定試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治 河村顕治				
教科書 1	リハビリテーション医学 第1版 著者:安保雅博/監、渡邊 修、松田雅弘/編 出版社:羊土社 ISBN:978-4-7581-0231-5						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	内科学一般			履修期	2021年度 春学期		
担当者	高原 皓全、青山 雅					NO.	SS-SM-3-322
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	健康領域に従事する者として心得ておかなければならない医学一般並びに老人医療に関する知識を幅広く理解すること。ならびに他の医療従事者とも緊密にチームワークを作る為にも医学や看護などの基礎的知識を豊かにすること。学生はこれらのことを学び、理解することで、健康領域の現場に出た際に他の医療従事者と共通理解の上で円滑に業務を遂行することができる。						
概要	様々な疾患の概要、頻度、症候、病理生理、診断、治療と予後についての基礎的知識を把握する。また、疾患を十分理解するために、疾患の要因、特徴や症状についての理解を深める。生活習慣病に関しては、各疾患についての理解にとどまらず、運動療法、食事療法、薬物療法との関係についても理解を深める。						
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(10%)、小テスト(10%)、定期試験の結果(80%)から評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目(2011年度生より適用) 最近の社会における医療や福祉の変化の情報に注目する。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が2時間程度必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように配布された資料の指定されたページを熟読してくる。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に発表すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402研究室)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
1. 生活習慣病概論 2. メタボリックシンドローム 3. ロコモティブシンドローム 4. 肥満症(1)肥満症とは 5. 肥満症(2)肥満症の治療と予防 6. 高血圧症 7. 高脂血症 8. 糖尿病 9. 虚血性心疾患 10. 呼吸器疾患 11. 循環器疾患 12. 悪性新生物 13. 認知症 14. 骨粗鬆症 15. 総括 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	高原 青山 青山 高原 青山 青山 青山 青山 青山 高原 青山 青山 高原 高原					
教科書 1	資料を配布する						
教科書 2							
参考書 1	コメディカルのための内科学 著者:伊東進、森博愛 出版社:医学出版社 ISBN:978-4870550971						
参考書 2							

授業科目名	東洋医学概論			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-1-323	
配当学科	スポーツ社会			年次	1		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	東洋医学の歴史は如何に誕生したのか、日本での変遷及び中国への影響、東洋医学の特徴、基本理念、古代哲学思想と医学との関連などを理解できるようになる。						
概要	東洋医学概論の講義では病気の予防および体質改善を目的とし、今後多分野の中で応用できる基礎理論の掌握を狙いとしている。生活の知恵から生まれた東洋医学の背景を検討し、さらにそれに伴って陰陽論の基本内容および東洋医学における陰陽論の応用、五行論の基本内容および東洋医学における五行論の応用、気血津液の分類と作用及び相互関係、臓腑学説の形成及び生理特徴、経絡の作用、循行及び接続の規則性、八綱弁証理論などを紹介する。						
評価方法	テーマ「東洋医学の歴史は如何に誕生したのか、日本での変遷及び中国への影響、東洋医学の特徴、基本理念、古代哲学思想と医学との関連などを理解できるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に各、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. 東洋医学とは 02. 東洋医学の特徴 03. 陰陽学説 04. 五行学説 05. 臓腑学説Ⅰ(心・肝について) 06. 臓腑学説Ⅱ(脾・肺について) 07. 臓腑学説Ⅲ(腎について) 08. 気について 09. 血について 10. 津液について 11. 精について 12. 神について 13. 八綱弁証Ⅰ(陰陽弁証) 14. 八綱弁証Ⅱ(表裏弁証) 15. 八綱弁証Ⅲ(寒熱虚実弁証) 16. 定期試験			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然
教科書 1	身近な東洋医学 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	経絡鍼灸学			履修期	2021年度 春学期		
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-2-324
配当学科	スポーツ社会			年次	カリキュラムにより異なります。		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	本講義では東洋医学における重要な「経絡鍼灸学」をテーマとして、それについて福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする。						
概要	「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。						
評価方法	テーマ「経絡鍼灸学福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回 肺経・大腸経について 第2回 胃経・脾経について 第3回 心経・小腸経について 第4回 腎経・膀胱経について 第5回 心包経・三焦経について 第6回 肝経について 第7回 胆経について 第8回 鍼灸概説について 第9回 片手挿管について 第10回 鍼に関する一般知識 第11回 鍼治療の適応症 第12回 刺鍼手技法について 第13回 灸療法概説について 第14回 灸療法の実際について 第15回 鍼灸理論について 第16回 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然				
教科書 1	身近な東洋医学 著者:王専 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	発育発達			履修期	2021年度 春学期		
担当者	松本 希				NO.	SS-SM-3-326	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	成人期以降の体の変化を総合的、臓器別に学び、老化のメカニズムを理解することによって、高齢者等の健康に配慮できるようになるとともに、安全で効果的な運動を指導することができる。						
概要	人間の発育発達を生涯の加齢現象としてとらえ、成人期以降のカ加齢と生体機能の関係を明らかにする。主に生理学、解剖学、心理学、老人病理学などの立場で講義し、The biology aging の意義について講義する。人間の一生において各機能形態的発達様式が違うことから、老化について考え、それぞれの時期に応じた適切な社会福祉とその対策について講義する。						
評価方法	講義前後の課題(20%)および試験(80%)の結果を合わせて評価を行う。						
履修条件・注意事項	「健康運動指導士受験資格認定試験受験資格」必須科目資料を配布するので、講義の最後に予習箇所を指定する。						
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時にレポートを提出すること。						
オフィスアワー	非常勤講師のため、講義終了後をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
1. 人間の一生における発達現象 2. 高齢者の定義 3. 老化の定義と具体的特徴 4. 老化に影響を与える他の因子 5. 生理的機能の変化と組織的变化 6. 免疫機能の変化 7. 老化の学説とその真意 8. 細胞レベルでの老化 9. 早老症とそのメカニズム 10. 細胞レベルでの老化 11. 老年病の三つの特徴 12. 老化現象を基盤とした病気 13. QOLとADL 14. 環境と老化現象 15. 運動と老化現象 16. 定期試験		講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験	松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本 松本				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	人間の発達と健康 著者:神戸大学発達科学部健康発達論研究会 出版社:大修館書店 ISBN:4-469-26363-x						
参考書 2							

授業科目名	救急処置			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森 芳史				NO.	SS-SM-3-327	
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「救急処置の基本と実際」、「スポーツ障害の現状と対策」をテーマとし、アスリートやスポーツ指導者として、学生がスポーツ障害の病態・診断・治療・障害予防について理解し、学んだ知識を実際のスポーツ現場での応急処置やスポーツ障害の予防に役立てることができる。						
概要	<p>スポーツの現場では、競技者としてのみならず、指導者として、突然の事故や内科的疾病に伴う緊急の事態に直面することがある。本講義ではこのような事態に備え、スポーツ中に起こりうる外傷・障害に関する医学的知識、とりわけ救急処置についての知識を資料を用いて解説し、グループディスカッションやディベート、救急処置の実技指導を通して実際の現場で自ら考え、対処できるようにする。</p> <p>＊実務経験のある教員による授業科目 この科目は、スポーツ医学や救急現場で実務経験のある講師により、現状や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。</p>						
評価方法	平常のレポートの提出や受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。とりわけ予習復習のためのレポート提出や受講態度は重要であり、成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、課題(提出物・レポート)10%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度10%の割合で評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までにみなおしておくこと。						
履修条件・注意事項	<p>講義はスライドを中心に行い、スライド内容は講義用テキストとして配布するが、救急法やテーピングの実際についても体験してもらうため始業時に遅れないこと。毎回出される課題や講義テキストを予習・復習に活用し、その提出を定期試験受験の条件とする。また、受講態度は特に重要であり、講義で習ったことをスポーツ現場に積極的に生かしていくように心掛けること。予習、復習、および実技の際に必要なもので、必ず教科書を用意すること。</p> <p>「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ必須科目</p>						
自己学習	自己学習のためのレポート課題を課す。それを作成することによって講義の予習復習が可能であり、必ず提出すること。なお、予習及び復習には、各2時間程度を要する。						
オフィスワ-	6号館4階、6412号室:火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。						

春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者
1.スポーツ現場における事故の実際	講義	森			
2.心肺蘇生法(理論)	講義	森			
3.心肺蘇生法(手技の実際)	講義	森			
4.循環器系障害に対する対応(病態)	講義	森			
5.循環器系障害に対する対応(手技の実際)	講義	森			
6.呼吸器系障害に対する対応(病態・手技の実際)	講義	森			
7.創傷及び出血に対する対応(病態)	講義	森			
8.創傷及び出血に対する対応(手技の実際)	講義	森			
9..骨、関節及び筋肉の損傷に対する対応(骨折)	講義	森			
10.骨、関節及び筋肉の損傷に対する対応(関節障害)	講義	森			
11.骨、関節及び筋肉の損傷に対する対応(筋・腱障害)	講義	森			
12.神経系の障害に対する対応(脳の外傷)	講義	森			
13.神経系の障害に対する対応(脳血管傷害)	講義	森			
14.神経系の障害に対する対応(脊髄損傷)	講義	森			
15.環境・代謝障害に伴う障害に対する対応	講義	森			
16.単位認定試験	講義	森			
	筆記試験	森			

教科書 1	改訂5版 救急蘇生法の指針 2015 市民用・解説編 著者:監修:日本救急医療財団心肺蘇生法委員会 出版社:へるす出版 ISBN:978-4-89269-882-8
教科書 2	
参考書 1	
参考書 2	

授業科目名	運動生理学 I				履修期	2021年度 春学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-328	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	動物としてのヒトの根底には、常に身体運動が伴う。日々の在り方でそれは多様に変化し、各人を形成する。その可塑性を理解する。学生は身体活動にともなう生体諸機能の適応やその機序に関する生理学を理解することにより、「運動」に関する考え方を学ぶことができる。							
概要	ヒトの身体活動は人体の多様な機能を動員することで発現する。今日、運動不足による疾患が危惧されている。そこで呼吸・循環機能、脂質代謝と生活習慣病、またメタボリックシンドロームを説明し、予防、改善のための至適運動を提示する。運動生理学の基礎的な知見について、テキストと実験データをもとに紹介する。							
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(20%)、講義中の課題(10%)、定期試験の結果(70%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツリーダー必須科目 講義項目ごとに資料を事前に配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。すべてにおいて、主体的な姿勢で臨むこと。分からないことについては積極的に質問するよう取り組むこと。提出物の期限は厳守すること。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。生理学、解剖学を基礎としており、適宜、それらの復習が大切である。予習復習として講義内に配布プリントの指定されたページを熟読してくる。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
01. 運動と血液 02. 運動と心拍数 03. 運動と血圧 04. 運動と血流 05. 循環機能とトレーニング 06. 運動と呼吸運動 07. 運動と酸素摂取 08. 運動と呼吸商 09. 呼吸機能とトレーニング 10. 運動と高血圧・高脂血症 11. 運動と糖尿病 12. 神経・筋機能の加齢変化 13. 呼吸・循環機能の加齢変化 14. 骨の加齢変化 15. 運動と免疫能 16. 単位認定試験	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口						
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	改訂版 運動生理学の基礎と発展 著者:春日規克・竹倉宏明 出版社:フリースペース ISBN:978-4-434-07569-8							
参考書 2								

授業科目名	運動生理学Ⅱ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-329	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義	
テーマと到達目標	動物としてのヒトの根底には、常に身体運動が伴う。日々の在り方でそれは多様に変化し、各人を形成する。その可塑性を理解する。学生は、身体活動にともなう生体諸機能の適応やその機序に関する生理学を理解することにより、「運動」に関する考え方を学ぶことができる。							
概要	ヒトの身体活動は人体の多様な機能を動員することで発現する。身体運動にともなう神経や筋の適応と機序について学ぶ。運動生理学の基礎的な知見について、テキストと実験データをもとに紹介する。							
評価方法	発表、ディスカッションへの参加(10%)、小テスト(10%)、定期試験の結果(80%)から評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	「健康運動指導士資格認定試験受験資格」必須科目 「健康運動実践指導者資格認定試験受験資格」必須科目 「(公財)日本スポーツ協会スポーツリーダー」科目 講義項目ごとに資料を配布する。資料は図表が主となるので、理解のためには講義への出席が重要となる。							
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。生理学、解剖学を基礎としており、適宜、それらの復習が大切である。毎回の授業において配布したプリントの指定されたページを熟読してくる。							
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01. 運動とは 02. 筋の構造 03. 筋収縮のしくみ 04. 筋繊維の種類 05. 筋繊維の種類と収縮特性 06. 筋繊維の種類と身体活動 07. 筋収縮と糖質代謝 08. 筋収縮と脂質代謝 09. 筋の肥大、損傷、再生 10. 運動単位の種類 11. 運動単位と筋力、筋電図 12. 運動の発現 1) 脊髄反射 13. 運動の発現 2) 中枢神経系 14. 歩行運動の正常と異常 15. 水中環境と運動 16. 単位認定試験				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	改訂版 運動生理学の基礎と発展 著者:春日規克・竹倉宏明 出版社:フリースペース ISBN:978-4-434-07569-8							
参考書 2								

授業科目名	アダプテッド・スポーツ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-2-331
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	「アダプテッド・スポーツの理論と実際」をテーマとする。アダプテッド・スポーツの理論だけではなく、運動指導者としての実践方法の基礎を理解できる。						
概要	<p>アダプテッド・スポーツとは、1人1人の発達状況や身体条件に適応させたスポーツのことをいう。特に、障がいを持つ者の身体的・精神的障がいの種類や程度に合わせてルールや用具を適合させることによって、スポーツ活動を実施することができるようになる。しかしながら、間違った運動を行うと、かえって障がいを悪化させてしまう。本講義では、障がい者のスポーツ活動について、障がいの関係特性について理解を深めるとともに正しく理解し、対象者に適したスポーツ活動の理解及び適切な指導が出来るよう学習する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、アダプテッド・スポーツに関する活動及び研究実績のある者が担当する。スポーツ活動及び研究活動の経験から、アダプテッド・スポーツにおける課題、それを解決するためのに必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。</p>						
評価方法	最終試験(90%)、発表、ディスカッションへの参加(5%)、受講態度(5%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。						
履修条件・注意事項	<p>1) 事前に課題を出し、発表形式を取る参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。</p> <p>3) 初回の授業には、必ず出席すること。</p> <p>4) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れない。</p>						
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと(各2時間程度)。						
オフィスアワー	水曜日4時限目 9号館4階研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
<p>1.オリエンテーション</p> <p>2.アダプテッド・スポーツとは</p> <p>3.アダプテッド・スポーツの歴史</p> <p>4.障がい者スポーツ指導者制度</p> <p>5.障がい者のスポーツ活動の意義と理念</p> <p>6.障がい者のスポーツ大会</p> <p>7.障がい者スポーツとクラス分け</p> <p>8.障がいの理解とスポーツ(肢体不自由者)</p> <p>9.障がいの理解とスポーツ(肢体不自由者)</p> <p>10.障がいの理解とスポーツ(内部障害者)</p> <p>11.障がいの理解とスポーツ(知的障害者)</p> <p>12.障がいの理解とスポーツ(精神障害者)</p> <p>13.アダプテッド・スポーツの現場から～指導者として～</p> <p>14.アダプテッド・スポーツの現場から～大会を支える立場として～</p> <p>15.まとめ</p> <p>16.最終試験</p>		<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>試験</p>	<p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p> <p>天岡</p>				
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する。						
参考書 2							

授業科目名	教育の方法と技術				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	片山 章郎、竹井 皓三					NO.	TC-SM-3-912
配当学科	スポーツ社会			年次	3		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ: 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業方針を考え、実践できるようになる。</p> <p>到達目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育方法に関する基礎的理論及び実践の理解 2.授業を構成する諸要素についての理解 3.子どもの学習の観点から授業デザインをする方法の理解 4.主体的・対話的で深い学びとは何か、またそれが求められる背景の理解 5.情報機器を活用した効果的な授業方法についての理解 6.メディアリテラシーについて理解し、その育成の手法を考えられる 7.上記を活用して学習指導方針を作成することができる 						
概要	<p>本講義では、今後の学校教育に求められる主体的・対話的で深い学びを考え、そのための具体的な手法を学ぶ。授業にかかわる様々な要素について学習するが、特にアクティブ・ラーニングを中心に取り上げ、その背景にある社会観・教育観を検討する。著名な教育実践について学ぶだけでなく、現代の教育課題の一つでもある高度情報化社会への教育的対応という観点からメディアリテラシーについて学習する。そして、実際に情報機器を使った授業実践の在り方を学び、実際に情報機器を使った授業方針の作成も行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目:この科目は初等教育の実務経験のある教員と電算部で職場のICTの導入を担当してきた教員が担当し、今後の教育の方法や技術を講義したり、実践したりして理解を深める。</p>						
評価方法	<p>アクティブ・ラーニング型の授業への積極的・協働的参加態度と、課題に対して調べてまとめたものに加えて、当日の講義のポイントとそれに対する意見も記入するレポートを合わせて20%。知識の修得度を確認するための筆記試験が80%。 なお、評価のために実施するレポートは授業でフィードバックするので、フィードバック後の内容をしっかり復習すること。</p>						
履修条件・注意事項	<p>反転授業の一環としてのレポート課題は初回の授業で配布する資料にすべて提示している。したがって、事前によく課題について調べておくこと。 参加型学習であるので、グループ討議や発表がある。グループ討議では積極的かつ協働的に参加し、発表ではプレゼンテーション能力を磨くこと。</p>						
自己学習	<p>アクティブ・ラーニングや反転授業を実施するので、予習が必須である。かつ、参加型学習による授業内容と授業でフィードバックされたレポートの内容を確実に理解するために復習をしっかりと行うこと。予習と復習には各2時間程度要する。</p>						
オフィスアワー	<p>講義終了後に実施。片山は2号館4階242研究室。竹井は6号館1階講師控室。</p>						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			<p>第1回 授業の概要と教育の方法・技術の基礎認識</p> <p>第2回 授業におけるデジタル技術の利用の現状(マルチメディアも含む)</p> <p>第3回 アクティブ・ラーニングや反転授業について</p> <p>第4回 情報機器の活用能力育成のための教育手法</p> <p>第5回 教育活動におけるメディアリテラシーの重要性</p> <p>第6回 授業における動機付け理論と場の理論</p> <p>第7回 授業におけるICTの利用の現状</p> <p>第8回 アクティブ・ラーニングにおけるメディアとコミュニケーション</p> <p>第9回 LMSの種類とコンテンツの種類(著作権も含む)</p> <p>第10回 LMSの今後(AIも含む)</p> <p>第11回 Eラーニングの利用と課題(1) 授業運営手法</p> <p>第12回 Eラーニングの利用と課題(2) 理解度の分析</p> <p>第13回 学習ソフトの現状と今後について</p> <p>第14回 情報機器と教材を活用した授業案</p> <p>第15回 授業改善と教育評価の在り方及びまとめ</p> <p>第16回 単位認定試験</p>	<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義</p> <p>筆記試験</p>	<p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>竹井</p> <p>片山</p> <p>片山</p> <p>竹井</p> <p>片山竹井</p>		
教科書 1	作成資料(初回授業時に配布)						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	教育実習			履修期	2021年度 春学期		
担当者	森井 康幸、倉知 典弘					NO.	TC-SM-4-916
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	120	授業形態	実習
テーマと到達目標	テーマは「学校における教育実習」であり、到達目標は、教師としての指導力の基礎となる実践的知識・技術の習得である。						
概要	<p>教育実習は、教員免許取得のための必修科目であり、中学校、または高等学校での実習を通して、大学で学んできた知識や技術を現場における実際の教育活動と結びつけるためのものである。そのために、3週間にわたる実数期間中に、授業実習のみならず、学校はどんな活動をするところか、教師はどんな仕事をしているのか、生徒の実態はどうか、授業はどのように行われているのかなどについて、観察したり、参加したりしなくてはならない。</p> <p>実習期間は実習校によって違いがあるが、基本的には6月を中心とした3週間である。</p> <p>学校での実習終了後、大学で事後指導としての授業もあるので、実施日時・場所についての掲示には注意すること。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p>						
評価方法	実習校からの成績評価(70%)、実習日誌・最終レポート(20%)、事前説明会及び事後反省会等への出席態度(10%)により評価する。フィードバックは事後指導時に行う。						
履修条件・注意事項	3年次に行われる「教育実習指導」の単位の他、学生便覧で指示してある授業科目の単位を取得していない者は実習に参加できない。また、教職志望意識の低い者、大学での学業成績が全般に著しく低い者も実習を辞退していただく。実習校での事前打ち合わせがある場合もあるので注意しておくこと。						
自己学習	実習前から、しっかりと教材研究等を行っておくこと。 また、模擬授業・マイクロティーチングなども経験しておくこと。						
オフィスワ-	月曜4限、森井研究室。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
6月を中心に3週間。		実習	各実習校の指導担当教諭 (森井・倉知)				
教科書 1							
教科書 2							
参考書 1	実習を行う教科の学習指導要領						
参考書 2							

授業科目名	教職実践演習(中・高)			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森井 康幸、倉知 典弘					NO.	TC-SM-4-917
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	これまでの学生の履修状況をふまえ、教師として必要な知識、技能の補完がテーマである。到達目標は、教師らしくなることである。						
概要	<p>以下の3点を中心に、学校や教育委員会の先生方の協力のもと、講義、討議、ロールプレイングなどを行いながら演習を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習を振り返り、総括するとともに、教師として必要な資質能力、自分に不足している資質能力等について討議・検討する。 2. クラス運営やPTA活動などの学校教育の諸活動のあり方について実践的に学ぶ。 3. 教科の指導に必要な知識・技能などを見直し、力量向上のための取り組みを検討する。 <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学校教育において教員としての実務経験を持つ方々が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p>						
評価方法	評価は受講態度(討議などへの参加状況など;30%)と課題レポート・模擬授業(70%)の評価による。課題レポートは、内容確認後、コメントをつけて返却する。						
履修条件・注意事項	教育実習を終えていることが基本要件であり、将来、教職に就くという強い意志を持っている学生のみが対象の演習である。教職カルテを持参すること。						
自己学習	教職に就こうとする自覚と向上心を高めるべく、すべての面での学修に真剣に取り組むこと。 4月から教師として勤められるように、自分に不足する資質・能力を向上させるように自己陶冶に努めること。 課題レポート等の作成(4時間以上必要)により、教育現場での活動についての理解を深めること。						
オフィスワ-	月曜4限、10号館4階、森井研究室。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			(1) オリエンテーション (2) 教育実習を振り返る (3) 教師の服務と学校現場の課題 (4) 学校の安全管理 (5) 3年生へのメッセージ (6) 教材研究 (7) いじめ・不登校への取り組み (8) 特別支援教育の現状と実際 (9) 道徳教科化の問題 (10) 国際バカロレア (11) 模擬授業と授業研究1 (12) 模擬授業と授業研究2 (13) 模擬授業と授業研究3 (14) 模擬授業と授業研究4 (15) 自己教育課題の総括			講義 演習 講義 講義 演習 演習 講義・AL 講義 講義 講義 演習 講義 演習 実習 実習 実習 演習	森井・倉知 森井・倉知 外部・森井 外部・森井 森井・倉知 外部・森井 学内・森井 外部・森井 学内・森井 外部・森井 外部・森井 学内・森井 外部・森井 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知
教科書 1	教科書は使用しない。						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							

授業科目名	介護等体験の研究				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	森井 康幸					NO.	TC-SM-2-918	
配当学科	スポーツ社会				年次	2		
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15	授業形態	講義	
テーマと到達目標	介護等体験の意義・目的の理解がテーマであり、体験施設の概要や活動内容を把握すること、あわせて教職意識の明確化を図ることが到達目標である。							
概要	次年度以降実施する「介護等体験」の事前指導に当たる。様々な特別支援学校の先生や福祉施設の方に、それぞれの学校や施設の概要やそこで介護等体験における注意事項等を講義していただく。							
評価方法	受講態度(40%)と毎回課されるレポート(60%)により評価する。							
履修条件・注意事項	介護等体験を行うことが義務づけられている小学校・中学校の教員免許取得希望者には必修科目である。教員志望者に対する講義ということで、出席状況、受講態度等にはシビアである。講義予定回数は8回であり、実施日程にはくれぐれも注意すること。							
自己学習	予習:テキストの該当箇所を精読。授業で該当する施設について、図書館等で調べておくこと。(2時間) 復習・課題:外部講師の方のお話を整理してレポートにまとめること。(2時間) 日頃から、自分の教師適正について考えておくように。							
オフィスワ-	講義終了後、教室にて。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			1. 介護等体験の意義・目的(第1部1～3章) 2. 介護等体験の実際(第2部2章, 3章) 3. 高齢者福祉施設の概要と介護等体験(外部) 4. 児童福祉施設の概要と介護等体験(外部) 5. 知的障害者福祉施設と介護等体験(外部) 6. 特別支援学校の概要と介護等体験(外部) 7. 特別支援学校(視覚障がい)の概要と介護等体験(外部) 8. まとめ・今後の予定(第1部4章)			講義	森井	
						講義	森井	
						講義	外部講師 森井	
						講義	外部講師 森井	
						講義	外部講師 森井	
						講義	外部講師 森井	
						講義	外部講師 森井	
						講義	外部講師 森井	
						講義	外部講師 森井	
教科書 1	教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 五訂版 著者: 現代教師養成研究会(編) 出版社: 大修館書店 ISBN: 4469268763							
教科書 2								
参考書 1	特別支援学校における介護等体験ガイドブック 新フィリア 著者: 全国特別支援学校長会 編 出版社: ジアース教育新社 ISBN: 978-4-86371-522-6							
参考書 2								

授業科目名	演習 I				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-2-403		
配当学科	スポーツ社会				年次	2			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は論理的に物事を考える力を身につけることができる。								
概要	本演習では、「健康とスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。								
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。								
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	山口					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	山口					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	山口					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	山口					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	山口					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	山口					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)			演習	山口					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)			演習	山口					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)			演習	山口					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	山口					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	山口					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	山口					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	山口					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	山口					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	山口					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅱ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-2-404	
配当学科	スポーツ社会			年次	2		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる。						
概要	演習Ⅰで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくような内容にまとめる必要がある。各自の研究テーマに関連したテキストや文献の輪読を順次行ない、ゼミ生全員での討論を重ねていく。その後、各自の研究テーマおよび研究成果を発表させることによって、その問題点や曖昧な論理を少しずつ修正・改正していくよう指導する。						
評価方法	テーマ「健康について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、具体的な応用に関する内容を深め、様々な視点から考えることができる」の到達度について、知識および能力を計るために、授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表(健康と運動に関する資料) 16. 定期試験	演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然		
教科書 1	プリントを配布する。						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習 V			履修期	2021年度 春学期			
担当者	孫 基然					NO.	SS-SM-4-407	
配当学科	スポーツ社会			年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	「福祉、健康、運動の関わりについて」をテーマとする。学生は実験および実技を通してそれらの相互関係を理解することができる。							
概要	本演習では、特に東洋医学からのアプローチに着目し、スポーツ、福祉や健康との関わりから考えていく。そして、自らの健康と体力を維持し、生活の質を向上させるためになすべきことを、具体的な実験あるいは実践を通して検証していく。これら様々な結果を融合させて、スポーツ、福祉現場や運動実践現場などの応用としていきたいと考えている。自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、自分自身に問題提議する。その中から各自がテーマを選択し、関連資料を収集し、その成果をまとめて発表し、全員で討論する。その後、検証すべき課題を設定し、実験あるいはフィールド調査等の手法を用いて研究を進めていく。基本的技術として、実験機器の操作法や実験手法やパソコンによるデータ集計、作図方法、プレゼンテーション技術などを学ぶ。十分な理解を得るために、授業時間以外にも実験ならびにデータ整理等の指導を行う予定である。							
評価方法	テーマ「福祉、健康、運動の関わりについて」をテーマとする。学生は実験を通してそれらの相互関係を理解することができる」の到達度について、知識および能力を計るために、授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。							
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。							
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。							
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション 02. 資料の収集方法の紹介(図書館) 03. 資料の収集方法の紹介(インターネット) 04. 資料の収集(趣味について) 05. 資料の収集(スポーツについて) 06. 資料の収集(将来の就職について) 07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康) 08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ) 09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育) 10. 抄読(健康に関する資料) 11. 抄読(スポーツに関する資料) 12. 抄読(教育に関する資料) 13. 抄読(健康と食生活に関する資料) 14. 抄読(健康と運動に関する資料) 15. 抄読(健康と休養に関する資料) 16.定期試験		演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)							
教科書 2								
参考書 1	プリントを配布する。							
参考書 2								

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-4-407		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	3年次の演習Ⅲ・演習Ⅳにおける学習内容をベースに学生が、「スポーツマネジメント」「スポーツコーチング」「ゲーム分析」等をテーマに卒業論文作成の現状報告を理論的にプレゼンテーションできる。								
概要	各自の卒業論文のテーマについて、作成経過を発表し、ディスカッションする。								
評価方法	プレゼンテーション(50%)ディスカッション参加度(20%)レポート(30%)								
履修条件・注意事項	無断欠席は認めない。								
自己学習	毎回授業終了後、2時間程度、復習および次回のテーマについて、予習すること。								
オフィスワ-	個人研究室(9405)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(ガイダンス) 2. 緒言(仮説) 3. 緒言(目的) 4. 調査方法 5. 調査対象・調査内容(項目) 6. 調査結果の分析方法 7. 結果(マネジメント) 8. 結果(コーチング) 9. 結果(ゲーム分析) 10. 考察(マネジメント) 11. 考察(コーチング) 12. 考察(ゲーム分析) 13. 結論(マネジメント) 14. 結論(コーチング) 15. 結論(ゲーム分析)			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤					
教科書 1	論文・レポートの文章作成技法 論理の文章術 著者:古郡延治 出版社:エディター ISBN:4-88888-366-1								
教科書 2	プレゼンテーションを学べ!! 著者:アンドリュー・ブラッドバリー 出版社:ディスカバー ISBN:978-4-88759-464-7								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-4-407		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	『現代社会において、運動の持つ役割、運動に対する認識』をテーマとし、運動へのかかわり方はさまざま多様化し、かつ幾多の問題も存在する。社会・生活環境はそこに暮らす人々の健康や体力などに、現代ならではの影響を及ぼしている。その特性に焦点を当てながら、運動やスポーツが我々の直面する様々な問題の改善・解決に貢献することができる可能性について考え、これまでの運動・スポーツの実践方法では及ばない範疇があることを認識することができる。その上で、学生は既存の運動方法を超克する運動のメソッドを知ることができることを到達目標とする。								
概要	運動分析、運動とメンタルヘルス、身体的機能・健康と運動の関係性、運動・スポーツに関わる心理、運動パフォーマンスの成り立ち、運動指導の概念と方法、などについてこれまでの考え方を概観する。そのうえで、従来の概念やアプローチでは到達できない、身体と運動及びマインドの有様について、新たなパラダイムに基づく理論と方法を学べる。								
評価方法	授業時のレポート(30%)及び最終レポート(70%)をもって評価する。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	本演習は予習及び復習が必要である。指示された内容について、各自予習・復習を行うこと。								
自己学習	次回の授業の概要を提示するので、学生は各自それをもとに、事前の情報収集などの予習を行う。各回の授業後は、授業内容に基づいて、各自考察を記載して、後で提出する。予習1コマ・復習1コマをそれぞれ行うこと。								
オフィスアワー	金曜日3限 個人研究室にて								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01,オリエンテーション 02,自然科学的運動分析 03,人間学的運動分析 04,運動科学による運動分析 05, 運動とメンタルヘルス 06,身体とメンタルヘルス 07,メンタルコントロールと身体 08,動機・意欲とマインド 09,運動行動を規定するマインド 10,心理的競技能力を規定するもの 11,運動パフォーマンスを規定するもの 12,身体機能の基盤 13,身体意識 14,身体とマインド 15,最終レポート作成			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内					
教科書 1	スポーツ運動学 出版社:明和出版								
教科書 2									
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-4-407		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「福祉、健康、運動の関わりについて」をテーマとする。学生は実験を通してそれらの相互関係を理解することができる。								
概要	本演習では、特に運動生理学からのアプローチに着目し、福祉や健康について運動や運動処方との関わりから考えていく。そして、自らの健康と体力を維持し、生活の質を向上させるためになすべきことを、具体的な実験あるいは実践を通して検証していく。これら様々な結果を融合させて、福祉現場や運動実践現場などの応用としていきたいと考えている。＜演習の実施方法＞自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、自分自身に問題提議する。その中から各自がテーマを選択し、関連資料を収集し、その成果をまとめて発表し、全員で討論する。その後、検証すべき課題を設定し、実験あるいはフィールド調査等の手法を用いて研究を進めていく。基本的技術として、実験機器の操作法や実験手法やパソコンによるデータ集計、作図方法、プレゼンテーション技術などを学ぶ。十分な理解を得るために、授業時間以外にも実験ならびにデータ整理等の指導を行う予定である。								
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。								
自己学習	本講義は予習復習が必要である。予習として、毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自が必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。								
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	山口					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	山口					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	山口					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	山口					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	山口					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	山口					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料-健康)			演習	山口					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料-スポーツ)			演習	山口					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料-教育)			演習	山口					
10. 抄読(健康に関する資料)			演習	山口					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	山口					
12. 抄読(教育に関する資料)			演習	山口					
13. 抄読(健康と食生活に関する資料)			演習	山口					
14. 抄読(健康と運動に関する資料)			演習	山口					
15. 抄読(健康と休養に関する資料)			演習	山口					
16. 中間発表			演習	山口					
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-4-407		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	本演習では、スポーツを『any physical activity』としてとらえ、障がい者を対象とした「スポーツ」についての考え方を理解することができる。								
概要	本演習では、「アダプテッドスポーツ」に関する資料を読み、自分が疑問に感じる事、興味があることについて考え、その中から各自がテーマを選択する。関連資料を収集し、その成果をまとめる。基本的技術として、パソコンによるデータ集計、作図方法、プレゼンテーション技術などを学ぶ。十分な理解を得るために、授業時間以外にも実験ならびにデータ整理等の指導を行う予定である。また、学外でのボランティア活動を行う予定である。								
評価方法	課題・議論・発表などへの取り組み等(50%)、受講態度(50%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。								
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。学外ボランティア活動も行う予定である。								
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。								
オフィスワ-	水曜日4時限目 9号館4階研究室								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
01.オリエンテーション			演習	天岡					
02. 資料の収集方法の紹介(図書館)			演習	天岡					
03. 資料の収集方法の紹介(インターネット)			演習	天岡					
04. 資料の収集(趣味について)			演習	天岡					
05. 資料の収集(スポーツについて)			演習	天岡					
06. 資料の収集(将来の就職について)			演習	天岡					
07. 資料の収集(抄読に必要な資料:障害とは)			演習	天岡					
08. 資料の収集(抄読に必要な資料:スポーツとは)			演習	天岡					
09. 資料の収集(抄読に必要な資料:アダプテッドスポーツとは)			演習	天岡					
10. 抄読(障害に関する資料)			演習	天岡					
11. 抄読(スポーツに関する資料)			演習	天岡					
12. 抄読(アダプテッドスポーツに関する資料)			演習	天岡					
13. 抄読(健康に関する資料)			演習	天岡					
14. 抄読(運動に関する資料)			演習	天岡					
15. 抄読(休養に関する資料)			演習	天岡					
教科書 1	適宜指示する。								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する。								
参考書 2									

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-4-407	
配当学科	スポーツ社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>「コーチ論」をテーマとしてクリエイティブな選手を育てるためにコーチングの目的を学び、学生が、自発的にコーチングができる能力を身につけることができる。</p> <p>学生が、世界の監督独自のリーダーシップを知ることで、理想のコーチング像と勝つための戦略作り、アカデミー世代へのアプローチを理解し、自ら考えコーチングできることを到達目標とする。</p>							
概要	<p>学生がコーチングの目的、コーチ、選手の心理学、コーチに求められる知識、チームビルディング、戦術、トレーニング方法や複雑な仕組みについて考察する。また具体的な事例を示しながら、コーチングが身につくようにグループ討論を主体とした方式による演習を行なう。</p>							
評価方法	<p>毎回のレポート評価(40%) 毎回のプレゼンテーション・議論 (60%)</p>							
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、初回授業よりファイルを用意すること。							
自己学習	<p>事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして参加型学習法で行う。支持に従ってノートを作成復習を行うこと。レポートやスピーチを行う為、予習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。</p>							
オフィスワ-	吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所2階大広場ゼミ室にて、木曜日4限目に実施する。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
1. 世界の監督考察 イビチャ・オンム・モウリーニョ・アーセン	講義・演習	太田						
2. ベンゲルの美学	講義・演習	太田						
3. ジョゼップ・グアルディオラとバイエルンミュンヘン	講義・演習	太田						
4. アレックス・ファーガソンのマネジメント力	講義・演習	太田						
5. ユルゲン Klopp とバイエルン	講義・演習	太田						
6. ベングローシュとジェフ	講義・演習	太田						
7. ディエゴ・シモオネ アトレティコマドリッド	講義・演習	太田						
8. ズデネク・ゼーマン	講義・演習	太田						
9. カルロ・アンチェロッティ	講義・演習	太田						
10. ファティ・テリム・ガラタサライ	講義・演習	太田						
11. リーガにおける監督、GM、会長の役割	講義・演習	太田						
12. 指揮官の「覇気」	講義・演習	太田						
13. イタリアで頻繁に起きる監督解任劇の謎	講義・演習	太田						
14. 指揮官の器量を測るアプローチの相違	講義・演習	太田						
15. 監督の切り札たち	講義・演習	太田						
16. レポート試験	講義・演習	太田						
教科書 1	担当者の作成する資料により進める。							
教科書 2								
参考書 1	適宜紹介する。							
参考書 2								

授業科目名	演習 V			履修期	2021年度 春学期		
担当者	倉知 典弘				NO.	SS-SM-4-407	
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:スポーツの教育的効果に対する期待と現実 到達目標:本演習では、討議を通じて以下のような目標を達成する 1:政策文書や指導者用テキストの分析を通じて、スポーツに対する期待を理解する 2:先行する調査結果を分析することを通じて、スポーツの教育的効果の実際を理解する 3:調査結果を分析する手法を理解し、実際に行われた調査を批判的に見ることができるようになる 4:調査手法について理解し、各自の問題意識に適合した調査方法を選択できる 5:調査手法の基礎を理解し、実際に実施できるようになる</p>						
概要	<p>本演習では、スポーツに対する期待を検討したうえで、その期待が達成されているかどうかを検討するための基礎的な検討を行う。(なお、秋学期に行われる演習VIでは、今回の基礎をもとに実際に分析を行う。)最初に、スポーツに対する期待を政策文書や指導者向けテキストの分析を通じて検討する。そのことで、スポーツに何が期待されているかを知るとともに分析すべき能力などを明確化していく。そのうえで、具体的な調査手法について学び、各自が検討の対象とする能力等に合致する調査法を選択する。そして、その調査の実施計画を作成する。</p>						
評価方法	<p>各回講義の振り返りシート(30%)、プレゼンテーション(40%)、学習契約及びその評価レポート(30%)。すべての資料が提出されない場合は、評価の対象としない。出席回数については学内規定による。</p>						
履修条件・注意事項	<p>演習VI及び卒業論文を合わせて履修すること。各回課題を提示するので必ず実施すること。また、履修に当たり、以下のものを用意すること 1:各自の作成した資料などを保存するUSBメモリーなどの記憶媒体 2:講義資料や作成した課題を綴じ込むA4ファイル(リングファイルが望ましい) 3:資料を打ち出すためのA4用紙(1000枚程度)</p>						
自己学習	<p>各回振り返りシートを作成してもらい、講義内容を復習し、自分の受講態度などを評価してもらい。また、各回講義内容に応じた文献読解を進めてもらい、その内容を各自の問題意識からまとめる作業を行ってもらい。</p>						
オフィスワ-	火曜日2限 研究室						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
第1回	オリエンテーション	講義	倉知				
第2回	能力観の変遷と現状	講義	倉知				
第3回	スポーツ振興計画の分析	プレゼン	倉知				
第4回	学習指導要領などの分析	プレゼン	倉知				
第5回	その他政策文書の分析	プレゼン	倉知				
第6回	指導者用テキストの分析	プレゼン	倉知				
第7回	分析結果のまとめ	プレゼン	倉知				
第8回	量的調査の目的と手法	プレゼン	倉知				
第9回	質的調査の目的と手法	プレゼン	倉知				
第10回	調査目的の設定	プレゼン	倉知				
第11回	調査手法・対象の決定	プレゼン	倉知				
第12回	調査項目及び尺度の検討	プレゼン	倉知				
第13回	調査結果の取りまとめ方	プレゼン	倉知				
第14回	調査デザインの発表	プレゼン	倉知				
第15回	講義のまとめ	プレゼン	倉知				
第16回	レポート						
教科書 1	講義担当者が用意する資料に基づいて実施する						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	演習 V				履修期	2021年度 春学期			
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-4-407		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「こころ」と「からだ」のつながりについてをテーマとする。学生は実験を通してこころとからだの結びつきについて理解することができる								
概要	本演習では、生理学および心理学的アプローチ法を用いてヒトのこころとからだの結びつきについて検証する。ヒトを対象とした実験を実施し、得られた結果から、日常生活や将来の就職先等で応用可能な基礎的資料を得る。学生は各自の日常生活や大学での学習内容から生じた疑問を研究テーマの素材とする。各学生の研究テーマについて学生同士でディスカッションを行う。ディスカッションを通して得られた意見等をもとに研究テーマ、研究方法のブラッシュアップを行う。実験機器の操作方法、実験手法、コンピューターを用いたデータ解析、統計学的検定方法、プレゼンテーション技法を学ぶ。								
評価方法	受講姿勢(30%)、提出物(30%)、発表・ディスカッション等への取り組み姿勢(50%)から総合的に評価する。評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックするため、コメントに対して再度検討し、自身の考えをまとめておくこと。								
履修条件・注意事項	情報収集および資料作成は講義外の時間で必要となる。								
自己学習	本講義では、予習復習がそれぞれ2時間程度必要である。予習は、毎回の講義において質の高いディスカッションが可能になるよう、各自で必要な資料を探し、熟読しておくこと。復習は、ディスカッションで得られた課題について次週発表できるように準備すること。								
オフィスアワー	9号館2階の個人研究室(9402)において、毎週月曜日2限目をオフィスアワーとする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.オリエンテーション 2.資料の収集方法(図書館) 3.資料の収集方法(インターネット) 4.資料の収集(趣味) 5.資料の収集(からだの健康) 6.資料の収集(こころの健康) 7.資料の収集(抄読に必要な資料-からだの健康) 8.資料の収集(抄読に必要な資料-こころの健康) 9.資料の収集(抄読に必要な資料教育) 10.抄読(健康に関する資料) 11.抄読(スポーツに関する資料) 12.抄読(教育に関する資料) 13.抄読(生活習慣と健康に関する資料) 14.抄読(運動と健康に関する資料) 15.中間発表			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原					
教科書 1	プリントを配布する								
教科書 2									
参考書 1	適宜指示する								
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅵ			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-4-408	
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	習得(前期)、および論議(後期)を中心として演習を展開する。卒業論文を書くための実験によるデータ収集を行う。最終的に卒業論文に結びつくように指導する。同様な実験を企画する者でグループを編成し、グループ単位で演習することもある。						
概要	本演習では、特に東洋医学からのアプローチに着目し、福祉や健康について運動や運動処方との関わりから考えていく。そして、自らの健康と体力を維持し、生活の質を向上させるためになすべきことを、具体的な実験あるいは実践を通して検証していく。これら様々な結果を融合させて、福祉現場や運動実践現場などの応用としていきたいと考えている。自分が疑問に感じること、興味があることについて考え、自分自身に問題提議する。その中から各自がテーマを選択し、関連資料を収集し、その成果をまとめて発表し、全員で討論する。						
評価方法	テーマ「習得(前期)、および論議(後期)を中心として演習を展開する。卒業論文を書くための実験によるデータ収集を行う。最終的に卒業論文に結びつくように指導する。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、授業姿勢20%、提出物30%、議論・発表などへの取り組み等(50%)で評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくること。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に各、各2時間程度を要する。						
オフィスアワー	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料)(外部講師) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 発表会 16. 定期試験			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート試験	孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-4-408		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習		
テーマと到達目標	3年次の演習Ⅲ・演習Ⅳにおける学習内容をベースに学生が、「スポーツマネジメント」「スポーツコーチング」「ゲーム分析」等をテーマに卒業論文作成の現状報告を理論的にプレゼンテーションできる。								
概要	各自の卒業論文のテーマについて、作成経過を発表し、ディスカッションする。								
評価方法	プレゼンテーション(50%)ディスカッション参加度(20%)レポート(30%)								
履修条件・注意事項	無断欠席は認めない。								
自己学習	毎回のプレゼンテーション内容をまとめておくだけでなく、他の人の発表内容もまとめておくこと。								
オフィスワ-	個人研究室(9号館4階)にて、火曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
					1. オリエンテーション 2. マネジメント(文献研究) 3. コーチング(文献研究) 4. マネジメント(資料調査) 5. コーチング(資料調査) 6. ゲーム分析(フットサル) 7. ゲーム分析(サッカー攻撃) 8. ゲーム分析(サッカー守備) 9. マネジメント(アンケート) 10. コーチング(アンケート) 11. 発表(文献研究) 12. 発表(分析・攻撃) 13. 発表(アンケート) 14. 発表(分析・守備) 15. 総括(まとめ)			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤
教科書 1	体育経営管理論集 出版社: 日本体育学会 体育経営管理専門分科会								
教科書 2	体育・スポーツ経営学研究 出版社: 日本体育学会 体育経営管理専門分科会								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	竹内 研					NO.	SS-SM-4-408	
配当学科	スポーツ社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	『これまでの多くの運動学習方法や指導方法の研究・実践』をテーマとし、そこに関わる分野も学問的な認識を扱う分野に始まり、その対象としての職業スキルやパフォーマンス、芸術におけるスキルやパフォーマンス、そして運動・スポーツのスキルやパフォーマンスなど多岐に亘る。しかし総じていえば、目標達成ということになるだろう。近年、コーチングとして新たな目標達成プログラムが提起され、多くの分野で成果をあげている。本演習では学生はコーチングの理論と方法を理解して、それぞれが目標達成のためのスキルを用いることができるようになることを到達目標とする。							
概要	認知科学、脳科学、心理学などの研究成果に裏打ちされた、最も代表的な目標達成プログラムである、TPIEの理論と方法について学習する。演習を通して、各自が自らの目標を明確に設定でき、その目標達成のためにゴールのリアリティを高めていく方法を習得する。							
評価方法	授業時のレポート(30%)及び最終レポート(70%)をもって評価する。 評価のためのレポート等は、授業時にフィードバックする。							
履修条件・注意事項	本演習は予習及び復習が必要である。指示された内容について、各自予習・復習を行うこと。							
自己学習	次回の授業の概要を提示するので、学生は各自それをもとに、事前の情報収集などの予習を行う。各回の授業後は、授業内容に基づいて、各自考察を記載して、後で提出する。 予習1コマ・復習1コマをそれぞれ約2時間行うこと。							
オフィスアワー	金曜日3限 個人研究室にて							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			01,オリエンテーション 02,コーチングとは 03,コーチングとメンタルトレーニング 04,コーチングの始まり 05,RASとスコトマ 06,情動記憶 07,現状のゲシュタルトとゴールのゲシュタルト 08,セルフイメージ 09,セルフエフィカシーとセルフエステーム 10,ゴールの設定の仕方 11,コンフォートゾーンとハイパフォーマンス 12,セルフトークのコントロール 13,アフタメーション 14,ビジュアライゼーション 15,最終レポート作成				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内 竹内
教科書 1	スポーツ運動学 出版社:明和出版							
教科書 2								
参考書 1								
参考書 2								

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期	
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-4-408
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	本演習では、「健康」について運動・栄養・休養などの観点から、基礎的な知識および、「健康」についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考える能力を身につけることができる。						
概要	演習Ⅲで決定した各自のテーマをさらに深めていく。各自のテーマの成果をまとめて、発表し、全員で討論する。三年生の演習に結びつくように内容にまとめる必要がある。						
評価方法	授業姿勢(20%)、提出物(30%)、議論・発表などへの取り組み等(50%)から評価する。なお、評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめること。						
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備および熟読が必要となる。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が必要である。毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくる。復習として、疑問点をピックアップし、その内容を次週発表出来るように準備すること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			01. オリエンテーション 02. 抄読(スポーツに関する資料) 03. 抄読(教育に関する資料) 04. 抄読(健康と食生活に関する資料) 05. 抄読(健康と運動に関する資料) 06. 抄読(健康と休養に関する資料) 07. 発表準備(スポーツに関する資料) 08. 発表準備(教育に関する資料) 09. 発表準備(健康と食生活に関する資料) 10. 発表準備(健康と運動に関する資料) 11. 発表準備(健康と休養に関する資料) 12. 発表(スポーツに関する資料) 13. 発表(教育に関する資料) 14. 発表(健康と食生活に関する資料) 15. 報告会事前準備 16. 報告発表会			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 山口 外部講師
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)□						
教科書 2							
参考書 1	適宜指示する						
参考書 2							

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	天岡 寛					NO.	SS-SM-4-408	
配当学科	スポーツ社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本演習では、演習Ⅴで各自が取り上げた研究内容をさらに充実させていく。障がい者とスポーツ活動のあり方について学ぶことができる。							
概要	特に、重度の身体障がいを持つ人々が行う「電動車椅子サッカー」を対象とする。卒業論文を書くためのデータ収集・解析を行う。学外でのボランティア活動を行うこともある。							
評価方法	課題・議論・発表などへの取り組み等(50%)、受講態度(50%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等はフィードバックするので見直しておくこと。							
履修条件・注意事項	講義は個人の興味がある資料の収集と抄読が主となることから、講義外での資料収集ならびに抄読用資料の準備が必要となる。学外ボランティア活動も行う予定である。							
自己学習	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように各自で必要なテキストを探し、熟読してくること。また、授業時に配布する資料や各自の授業ノートにもとづいて、十分な復習及び次回への予習を行うこと。							
オフィスアワー	水曜日4時限目 9号館4階研究室							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			01.オリエンテーション 02. データ解析方法の紹介(図書館) 03. データ解析方法の紹介(インターネット) 04. 資料収集(電動車椅子サッカーとは) 05. 資料収集(電動車椅子サッカーの組織) 06. 資料収集(電動車椅子サッカーのルール) 07. 資料収集(電動車椅子サッカーに関わる人) 08. 資料収集(電動車椅子サッカーの歴史と発展) 09. 資料収集(電動車椅子サッカーのゲーム分析) 10. データ解析方法(電動車椅子サッカーのゲーム分析①勝敗について) 11. データ解析方法(電動車椅子サッカーのゲーム分析②パス) 12. データ解析方法(電動車椅子サッカーのゲーム分析③シュート) 13. データ解析方法(電動車椅子サッカーのゲーム分析④ドリブル) 14. データ解析方法(電動車椅子サッカーのゲーム分析⑤選手の動き) 15. データ解析方法(電動車椅子サッカーのゲーム分析⑥ボールの支配率) 16.外部講師			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡 天岡	
教科書 1	適宜指示する。							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示する。							
参考書 2								

授業科目名	演習VI				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-4-408	
配当学科	スポーツ社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>「コーチ論」をテーマとしてクリエイティブな選手を育てるためにコーチングの目的を学び、学生が、自発的にコーチングができる能力を身につけることができる。</p> <p>学生が、理想のコーチング像と勝つための戦略作り、アカデミー世代へのアプローチを理解し、世界のトレンド戦術を学び自ら考えコーチングできることを到達目標とする。</p>							
概要	<p>学生がコーチングの目的、コーチ、選手の心理学、コーチに求められる知識、チームビルディング、戦術、トレーニング方法や複雑な仕組みについて考察する。また具体的な事例を示しながら、コーチングが身につくようにグループ討論を主体とした方式による演習を行なう。</p>							
評価方法	<p>毎回のレポート評価(30%) プレゼンテーションの質と意欲を評価する(30%) レポート試験(40%) なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、レポート試験までに見直しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>必要に応じてプリントを配布するため、初回授業よりファイルを用意すること。</p>							
自己学習	<p>事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして参加型学習法で行う。支持に従ってノートを作成復習を行うこと。レポートやスピーチを行う為、予習を行うこと。</p>							
オフィスワ-	<p>吉備国際大学シャルム岡山高梁事務所(ボランティアセンター2階大広場ゼミ室)にて、木曜日34限目を実施。</p>							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者	
			<ol style="list-style-type: none"> 1. 名指導者を輩出する旧ユーゴ指導者たちの今 2. ヘルトヤン・フェルベークの挑戦 3. ルイス・フェリペ・スコラーリ セレソンを率いるということとは? 4. チェーザレ・ブランデッリア ズーリの改革 5. シュティマツとミハイロビッチのユーゴ崩壊と因縁 6. 男子日本代表監督の歴史 7. Jクラブ育成組織の監督とは? 8. 戦術論 ロベリアアタックとは? 9. ゲーゲンプレッシング 10. メッシ依存とバルサスタイル 11. 戦術イブラヒモビッチ 12. レアルマドリーの個を組み合わせた特別なカウンター 13. ユベントス流自ら動かない静的ディフェンス 14. 古典的から最新型カウンターへマンチェスターU 15. 3大要因「バイタル攻略」「カウンター」「セットプレー」 16. レポート試験 			<p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p>	<p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p> <p>太田</p>	
教科書 1	<p>担当者の作成する資料により進める。</p>							
教科書 2								
参考書 1	<p>適宜紹介する。</p>							
参考書 2								

授業科目名	演習VI			履修期	2021年度 秋学期		
担当者	倉知 典弘					NO.	SS-SM-4-408
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ:質的調査・量的調査を基にした文章作成を行い、改善提案を作成する 到達目標:本演習では、受講者が作成した資料を基にした討議を行うことで、以下のような目標を達成する 1:量的調査の分析手法を理解し、適切な方法で調査結果を分析することができる 2:質的調査の分析手法を理解し、適切な方法で調査結果を分析することができる 3:計画作成の手順を理解し、実現可能な改善計画を作成することができる 4:適切な方法でプレゼンテーションを行うことができる</p>						
概要	<p>本講義では、春学期の演習Vの成果を用いた調査結果の分析を基盤とした、スポーツ指導者に対する改善提案を作成する。まず最初に課題を明確にするために、量的調査及び質的調査の分析を検討する。それぞれの相関関係などを示す諸検定について学び、それを実際の調査結果の分析に用いて、課題を明確化していく。その後、明確になった課題に対する改善提案を具体的な計画として示すことを目指す。</p>						
評価方法	<p>各回提出する振り返りシート(30%)、合同ゼミにおけるプレゼンテーション(40%)、初回の講義で作成する学習契約及びその評価レポート(30%)で評価する。全て提出されない場合は、成績評価を行わない。出席回数については学内規定による。</p>						
履修条件・注意事項	<p>演習V及び卒業論文をあわせて履修すること。受講生の作成した資料を基にした討議を進めていくため、必ず各回で指定する資料を作成してから参加すること。</p>						
自己学習	<p>本演習では、講義の参加者による資料を基に検討を行う。そのため、受講者は各回それぞれにおいて課題を提出する必要がある。また、講義の後には振り返りのシートを作成してもらい、作成したシートをもとに評価を行う。</p>						
オフィスアワー	火曜日2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
			第1回 夏季休業期間中の研究内容の発表 第2回 量的調査のまとめ方 (1)一分析手法の妥当性を考える 第3回 量的調査のまとめかた (2)一分析結果の検討 第4回 質的調査まとめかた (1)一分析手法の妥当性を考える 第5回 質的調査のまとめ方 (2)一分析結果の検討 第6回 中間考察一調査結果のまとめを用いた討議 第7回 改善提案のために(1)一計画作成のための手続きについて 第8回 改善提案のために(2)一目標設定の方法と実践 第8回 改善提案のために(3)一行動計画作成の手法と実践 第9回 改善提案のために(4)一評価手法の検討 第10回 改善提案のために(5)一計画の完成 第11回 改善提案のために(6)一計画概要の作成 第12回 総括討議(1)一スポーツ経験はどのように成長に寄与したか 第14回 総括討議(2)一スポーツ指導はどのようにあるべきか 第15回 講義のまとめ一プレゼンテーションのやり方 第16回 合同ゼミにおけるプレゼンテーション				
教科書1	担当者が用意する講義資料に基づいて行う						
教科書2							
参考書1	適宜紹介する						
参考書2							

授業科目名	演習Ⅵ				履修期	2021年度 秋学期		
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-4-408	
配当学科	スポーツ社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30	授業形態	演習	
テーマと到達目標	本講義では、「こころとからだの健康」について基礎的な知識および健康についての考え方を深める。学生は健康について様々な視点から考究する能力を身につけることができる。							
概要	演習Ⅴで決定した各自のテーマについてさらに学びを深める。各自の研究テーマについての成果を発表し、ディスカッションを行う。							
評価方法	受講姿勢(20%)、提出物(30%)、発表・ディスカッションへの取り組み姿勢(50%)から総合的に評価する。評価のために実施した課題は、講義内でフィードバックするため、コメントに対して再度検討し、自身の考えをまとめておくこと。							
履修条件・注意事項	情報収集および資料作成は講義外の時間で必要となる。							
自己学習	本講義では、予習復習がそれぞれ2時間程度必要である。予習は、毎回の講義において質の高いディスカッションが可能になるよう、各自で必要な資料を探し、熟読しておくこと。復習は、ディスカッションで得られた課題について次週発表できるように準備すること。							
オフィスアワー	9号館2階の個人研究室(9402)において、毎週月曜日1限目をオフィスアワーとする。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画				授業方法	担当者
			1.オリエンテーション 2.抄読(スポーツ) 3.抄読(教育) 4.抄読(生活習慣と健康) 5.抄読(健康と運動) 6.抄読(健康と栄養) 7.発表準備(スポーツ) 8.発表準備(教育) 9.発表準備(生活習慣と健康) 10.発表準備(健康と運動) 11.発表準備(健康と栄養) 12.発表(スポーツ) 13.発表(教育) 14.発表(生活習慣と健康) 15.中間報告会				演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原 高原
教科書 1	プリントを配布する							
教科書 2								
参考書 1	適宜指示をする							
参考書 2								

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	孫 基然				NO.	SS-SM-4-409	
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	社会福祉、健康や運動、スポーツなどに関連する分野で、自分が選択したテーマについて、科学的な手順ののつとて、論文を作成する。この過程を通じて、論理的な考え方や、考察の仕方、実務能力などを学び、社会に出てからの諸々の業務に対応できるようになる。						
概要	各自の研究テーマを、先行研究の抄読を基に選択する。そして、論文作成のために適する研究方法の選択を行う。仮説を構築し、また問題の所在を明らかにして、データの収集や文献の収集を行う。データに基づく研究では、標本の抽出に留意し、文献資料に基づく研究では、論理性を重視した、論文の作成を行う。卒業論文の執筆指導を行う。テーマ設定、資料・データの収集・分析、構成、執筆まで総合的に指導する。教員との対話を通じて、学問的な基本概念や先行文献の調査法、論文の議論構成の仕方を理解するとともに、実際に自分自身でその理解に基づいて作業を行っていく。						
評価方法	テーマ「社会福祉、健康や運動、スポーツなどに関連した分野で、自分が選択したテーマについて、科学的な手順ののつとて、論文を作成する。この過程を通じて、論理的な考え方や、考察の仕方、実務能力などを学び、社会に出てからの諸々の業務に対応できるようになる」の到達度について研究に取り組む姿勢(30%)および卒業論文提出(70%)から授業姿勢30%を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。						
履修条件・注意事項	日頃から実験を行い、課題や結果等に対する考察を充実させること。個人指導を基本とするが、同様な研究テーマ、手法を扱う者と討論を行い連携を図ること。						
自己学習	1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。本授業において問題提起と討論が可能のように各自に必要なテキストを探し、熟読してくること。また、実験のディスカッションについては、しっかりと文面化して毎回の講義内容をまとめること。						
オフィスワ-	6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスワ-の時間とする。						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
01. 研究テーマ周辺知識の整理と検討	演習	孫基然	01. 研究結果の検討と論文作成(1) 目的・方法・仮説	演習	孫基然		
02. 文献・資料の検討(1) 考察に向けて	演習	孫基然	02. 研究結果の検討と論文作成(2) 結果・結論	演習	孫基然		
03. 文献・資料の検討(2) 論文形成の実践	演習	孫基然	03. 研究結果の検討と論文作成(3) 全体の流れ	演習	孫基然		
04. 研究内容についての議論(1) 基礎データの活用	演習	孫基然	04. 考察に関する質疑応答(1) 考察のための論述	演習	孫基然		
05. 研究内容についての議論(2) 先行文献の活用	演習	孫基然	05. 考察に関する質疑応答(2) 考察からのオリジナリティの検討	演習	孫基然		
06. 研究内容についての議論(3) 論文の批評を通して	演習	孫基然	06. 考察に関する質疑応答(3) 研究の限界と課題点	演習	孫基然		
07. 研究内容についての議論(4) 先行研究と仮説	演習	孫基然	07. 論文内容の修正と質疑応答(1) 論文内容の修正	演習	孫基然		
08. 実施(1) プレテスト及び、実施手順	演習	孫基然	08. 論文内容の修正と質疑応答(2) 引用、注記の修正	演習	孫基然		
09. 実施(2) 実施における留意点	演習	孫基然	09. 論文内容の修正と質疑応答(3) データ類の表記の修正	演習	孫基然		
10. 実施(3) 実施の課題点の検討	演習	孫基然	10. 報告・発表などの準備(1) 要旨作成	演習	孫基然		
11. 結果の分析(1) 分析の実施	演習	孫基然	11. 報告・発表などの準備(2) パワーポイントの作成	演習	孫基然		
12. 結果の分析(2) 結果の概要	演習	孫基然	12. 報告・発表などの準備(3) プレ発表	演習	孫基然		
13. 結果の分析(3) 仮説と結果から	演習	孫基然	13. 研究内容の確認・修正(1) 質疑応答内容の活用	演習	孫基然		
14. 結果の分析(4) 研究計画スケジュールの再検討	演習	孫基然	14. 研究内容の確認・修正(2) 誤字等文章全体の修正	演習	孫基然		
15. 今後に向けて課題の検討	演習	孫基然	15. 卒業論文発表会	演習	孫基然		
16. 定期試験	レポート試験	孫基然	16. 定期試験	レポート試験	孫基然		
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	プリントを配布する。						
参考書 2							

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期			
担当者	高藤 順					NO.	SS-SM-4-409		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	「スポーツコーチング」「スポーツマネジメント」「ゲーム分析」等をテーマに、演習Ⅲ・演習Ⅳを通して学習内容をベースに論文を完成し、その概要のプレゼンテーションができる。								
概要	「テーマ」「目的(仮説)」「方法」「結果」「考察」「結論」の構成に留意し、最終的に自分の主張を理論的にプレゼンテーションできるよう文章表現する。								
評価方法	論文(80%)発表(20%)								
履修条件・注意事項	「レポート」と「論文」の違いを理解し、論文としての内容を作成すること。								
自己学習	卒業論文用のノートを作成し、先行研究や様々な文献をまとめておくこと。								
オフィスワ-	個人研究室にて、水曜日4限に実施。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1. オリエンテーション(ガイダンス) 2. 論文とレポートの違い 3. 論文の書き方(書式設定等) 4. 論文のテーマ設定 5. 目的・仮説の立て方 6. 調査方法(アンケート調査) 7. 調査方法(インタビュー) 8. 調査方法(ゲーム分析) 9. 調査方法(文献・資料調査) 10. 個別指導(サッカー) 11. 個別指導(フットサル) 12. 個別指導(地域クラブ) 13. 個別指導(学校運動部) 14. 個別指導(プロクラブ) 15. 中間発表			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 発表	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤	1. サッカー・ゲーム分析 2. フットサル・ゲーム分析 3. Jリーグ・観戦者数調査 4. 高校生・アンケート調査 5. 卒業生・アンケート調査 6. スタッフ・インタビュー調査 7. 地域クラブマネジメント調査 8. プロクラブマネジメント調査 9. 体育・スポーツ組織 10. 調査結果の分析方法 11. KJ法 12. GTA法 13. 考察のまとめ方 14. 結論のまとめ方 15. 卒論発表会			演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 発表	高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤 高藤
教科書 1	アンケート調査の進め方 著者:酒井隆 出版社:日経文庫 ISBN:4-532-10833-0								
教科書 2	健康・スポーツ科学のための調査研究法 著者:出村慎一・山下秋二・佐藤進 出版社:杏林書院 ISBN:978-4-7644-1150-0								
参考書 1									
参考書 2									

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	山口 英峰					NO.	SS-SM-4-409
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	演習Iおよび演習IIを通してそれぞれが疑問に思う課題を明らかにすることが大きなテーマである。学生は自分が知りたい現象について数量化し、科学的に明らかにすることができる。						
概要	健康やスポーツの分野を中心に論文テーマを選定し、文献調査、実験、データの解析と結果の解釈、論議という一連の手順に沿って論文を作成する。						
評価方法	研究に取り組む姿勢(30%)および卒業論文提出(70%)から評価する。なお、卒業論文作成のために実施した課題は、講義内でフィードバックすることから、コメントに対して検討し、自分の考えをまとめて、卒業論文に反映させること。						
履修条件・注意事項	日頃から実験を行い、課題や結果等に対する考察を充実させること。個人指導を基本とするが、同様な研究テーマ、手法を扱う者と討論を行い連携を図ること。						
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習が各2時間程度必要である。本授業において問題提起と討論が可能なように各自に必要なテキストを探し、熟読してくること。また、実験のディスカッションについては、しっかりと文面化して毎回の講義内容をまとめること。						
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9410研究室)において、木曜日3限目をオフィスアワーの時間とする。						
春学期授業計画		授業方法	担当者	秋学期授業計画		授業方法	担当者
01. 研究テーマ周辺知識の整理と検討		演習	山口	01. 研究結果の検討と論文作成 (1)目的・方法・仮説		演習	山口
02. 文献・資料の検討(1)考察に向けて		演習	山口	02. 研究結果の検討と論文作成 (2)結果・結論		演習	山口
03. 文献・資料の検討(2)論文形成の実践		演習	山口	03. 研究結果の検討と論文作成 (3)全体の流れ		演習	山口
04. 研究内容についての議論(1)基礎データの活用		演習	山口	04. 考察に関する質疑応答(1)考察のための論述		演習	山口
05. 研究内容についての議論(2)先行文献の活用		演習	山口	05. 考察に関する質疑応答(2)考察からのオリジナリティの検討		演習	山口
06. 研究内容についての議論(3)論文の批評を通して		演習	山口	06. 考察に関する質疑応答(3)研究の限界と課題点		演習	山口
07. 研究内容についての議論(4)先行研究と仮説		演習	山口	07. 論文内容の修正と質疑応答 (1)論文内容の修正		演習	山口
08. 実施(1)プレテスト及び、実施手順		演習	山口	08. 論文内容の修正と質疑応答 (2)引用、注記の修正		演習	山口
09. 実施(2)実施における留意点		演習	山口	09. 論文内容の修正と質疑応答 (3)データ類の表記の修正		演習	山口
10. 実施(3)実施の課題点の検討		演習	山口	10. 報告・発表などの準備(1)要旨作成		演習	山口
11. 結果の分析(1)分析の実施		演習	山口	11. 報告・発表などの準備(2)パワーポイントの作成		演習	山口
12. 結果の分析(2)結果の概要		演習	山口	12. 報告・発表などの準備(3)プレ発表		演習	山口
13. 結果の分析(3)仮説と結果から		演習	山口	13. 研究内容の確認・修正(1)質疑応答内容の活用		演習	山口
14. 結果の分析(4)研究計画スケジュールの再検討		演習	山口	14. 研究内容の確認・修正(2)誤字等文章全体の修正		演習	山口
15. 今後に向けて課題の検討		演習	山口	15. 卒業論文発表会事前準備		演習	山口
16. 中間発表		演習	山口	16. 卒業論文発表会		演習	山口 外部講師
教科書 1	使用しない(プリントを配布する)						
教科書 2							
参考書 1	使用しない(プリントを配布する)						
参考書 2							

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	太田 真司					NO.	SS-SM-4-409	
配当学科	スポーツ社会				年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習	
テーマと到達目標	<p>「サッカーを科学的に理解する」をテーマとして、サッカーについて原理原則とデータ分析集計の両面から学び、複雑化するあらゆるサッカーの試合において客観的な視点で自ら学び、多角的に分析力を備えた能力を身につける。</p> <p>学生が、サッカーの歴史的変遷によるルール変更の経緯と背景を学び、及び攻撃、守備の、攻撃から守備への切り替え、守備から攻撃への切り替えの4つの局面から理解する。また、3サード、5レーンにピッチを分けて捉える視点について理解する。加えてサッカーの課題の解決策を自ら考察し、判断できるようになることを到達目標とする。</p>							
概要	<p>サッカーのゲーム分析の基礎である、サッカーの目的、サッカーゲームの基本的な構造、サッカーのプレーの原則について複雑な仕組みを考察する。また攻撃の個人戦術、グループ戦術、守備の個人戦術、グループ戦術、サッカーのテクニク(技術)の構成要素について、ゲーム中の「プレーする前、プレー中、プレーした後」から分析について、ワールドカップのゲームから問題点と解決策を導き出す能力が身に付くようグループ討論を主体とした方式による授業を行う。</p>							
評価方法	<p>根拠、エビデンス、考察の内容は勿論であるが、根気強いデータ収集を行ったものも重視し卒業論文(80%)で評価する。研究発表におけるプレゼンテーションは、内容、姿勢、話し方(20%)を重視し評価する。なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので卒業論文作成までに何度と見直しておくこと。</p>							
履修条件・注意事項	<p>パソコンの活用ができること。パワーポイントを使用できること。秋学期は個別対応するため、常に報告、連絡、相談、確認を徹底すること。</p>							
自己学習	<p>1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によって行うので、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習すること。必ず予習復習を行い、各2時間程度を要する。卒業論文作成の計画立案をし、データ収集(先行論文収集)をおこなうこと。</p>							
オフィスワ-	個人研究室にて、月曜日、2、3、4限に実施。							
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者			
1. 論文とは何か？ 2. 論文構成部分とその順序 3. 各部分で何を書くか？ 4. 題目テーマ・問題の設定を決める。 5. 本文の組み立て方。 6. 注、引用、文献表の付け方 7. サッカーゲームの分析の目的 8. サッカーの基本的な構造 9. プレーの原則 10. 攻撃の原則 11. 守備の原則 12. 攻撃の戦術・技術 13. 守備の戦術・技術 14. GKの分析 15. サッカーの仕組み	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田	1. 個別対応「先行研究」 2. 個別対応「資料と方法」 3. 個別対応「結果と分析」 4. 個別対応「考察うらづける」 5. 個別対応「結論まとめる」 6. 個別対応「論文の表現の仕方」 7. 個別対応「正確な言葉選択」 8. 個別対応「正確な表記」 9. 個別対応「論文専用の表現」 10. 個別対応「論文の文体」 11. 個別対応「明晰な文」 12. 個別対応「明晰な文章展開」 13. プレゼンテーションの仕方 14. 研究発表 15. 研究発表	個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 演習 演習 演習	太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田 太田			
教科書 1	担当者の作成資料により進める。							
教科書 2								
参考書 1	適宜紹介する							
参考書 2								

授業科目名	卒業論文			履修期	2021年度 春学期～秋学期		
担当者	倉知 典弘				NO.	SS-SM-4-409	
配当学科	スポーツ社会			年次	4		
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習
テーマと到達目標	<p>テーマ: 大学における学習の総まとめとして卒業論文を執筆することで、スポーツに対する意見を構築する</p> <p>到達目標</p> <p>1: 各自の持つ興味関心を社会的状況などと照らし合わせることで、興味関心のあるテーマが持つ社会的意義を説明できる</p> <p>2: 調査手法の検討を通じて、テーマを研究するために適切な調査手法を選択できる</p> <p>3: テーマを研究するために適切な調査指標を作成することができる</p> <p>4: 適切な調査計画を立て、実行することができる</p> <p>5: 調査結果を適切に分析することができる</p> <p>6: 調査結果を踏まえて、各自の意見を述べることができる</p> <p>7: 上記の諸点を文章で適切に表現することができる</p>						
概要	<p>本講義は以下のような段階を経由することで、最終的に卒業論文を完成させることを目的としている。まず最初に卒業論文のテーマ設定である(春: 第1回～第3回)。卒業論文の作成においては、個人の興味関心はもちろんのこと、社会的意義が重要になる。そのため、政策文書などを参考としながら、テーマの意義を明確にする。そのうえで、調査対象・調査項目・方法の設定を行う(春: 第4回～第8回)。政策文書、先行調査などをもとに、その決定を行う。そのうえで、調査指標の設定を行い、調査によって明らかにしていくことを確定していく(春: 第9回～第10回)。その後、利用可能な資源などを見つめなおしたうえで、詳細な調査計画を立てる(春: 第11回～第13回)。春学期の最後には、今までの段階のまとめを行う(春: 第14回～第15回)。夏期休暇期間は調査期間である。秋学期では、まず調査計画がどのように実行されたかを確認し(秋: 第1回)、その結果を春学期に設定した評価指標に基づいて評価し、各自の意見を明確にする(第2回～第5回)。以上の調査過程を経て蓄積された資料を基に実際の文章作成を行う(秋: 第6回～第14回)。そして、最後に卒業論文作成過程を振り返ることで、自分の意見を構築するために必要な過程を理解する(秋: 第15回)。</p>						
評価方法	提出された卒業論文(80%)及び卒業論文作成の振り返りのレポート(20%)で評価する。なお、それぞれの評価指標については初回の講義で提示する。						
履修条件・注意事項	演習V・VIと連動して実施するので、演習V・VIを必ず履修すること。また、PCによる文章作成を行うため、記憶媒体(USBメモリー等)を用意し、作成した資料を綴じ込むためのファイル(A4サイズのリングファイルが望ましい)を用意しておくこと。なお、本講義では作成するレポートなどについては講義中にフィードバックを行うので、「自己学習」については必ず実施してから参加すること。						
自己学習	本講義の最終目標は卒業論文の執筆である。講義の時間は、各自執筆した原稿などの検討を中心とするので、毎回2000字程度の文章作成を義務付ける(2時間程度)。また、講義中に指示する復習項目及び文章修正も必須である(2時間程度)						
オフィスワ-	火曜日2限						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
第1回 卒業論文の作成の手順	講義	倉知	第1回 調査経過の報告	プレゼン	倉知		
第2回 テーマ設定ー自分史から	GW	倉知	第2回 量的調査の分析	プレゼン	倉知		
第3回 テーマ設定ー社会から	GW	倉知	第3回 質的調査の分析	プレゼン	倉知		
第4回 先行研究の調べ方	講義	倉知	第4回 調査結果をまとめる	プレゼン	倉知		
第5回 先行研究の報告	プレゼン	倉知	第5回 調査結果の活かし方	プレゼン	倉知		
第6回 先行研究の討議	プレゼン	倉知	第6回 文章作成の技法	講義	倉知		
第7回 目標の文章化	プレゼン	倉知	第7回 文章作成の演習	演習	倉知		
第8回 調査方法の設定	プレゼン	倉知	第8回 研究目的・方法の検討	GW	倉知		
第9回 調査対象の設定	プレゼン	倉知	第9回 歴史分析の検討	GW	倉知		
第10回 調査尺度指標の設定	プレゼン	倉知	第10回 現状分析の検討	GW	倉知		
第11回 調査計画の作成	プレゼン	倉知	第11回 研究の到達点について	GW	倉知		
第12回 プレ調査の実施検討	プレゼン	倉知	第12回 文章校正の手法と実践	講義	倉知		
第13回 調査計画の見直し	プレゼン	倉知	第13回 卒業論文の読み合わせ	プレゼン	倉知		
第14回 調査手法の文章化	プレゼン	倉知	第14回 最終校正	演習	倉知		
第15回 総括討議	プレゼン	倉知	第15回 振り返りと自己評価	GW	倉知		
第16回 終講レポート			第16回 レポート				
教科書 1	各回内容に応じて担当者が用意する						
教科書 2							
参考書 1	適宜紹介する						
参考書 2							

授業科目名	卒業論文				履修期	2021年度 春学期～秋学期			
担当者	高原 皓全					NO.	SS-SM-4-409		
配当学科	スポーツ社会				年次	4			
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	60	授業形態	演習		
テーマと到達目標	演習Ⅴ、Ⅵを通して学生各自が疑問に思う課題について明らかにすること。学生は自身のテーマについて数量化し、科学的な手法で検証する。								
概要	健康やスポーツに関連する分野から研究テーマを選定し、文献検索、データ収集(実験・調査)、データ分析、ディスカッションの手順に沿って論文を作成する。								
評価方法	研究への取り組み姿勢(40%)、提出論文(60%)から総合的に評価する。論文作成のために実施した課題は、講義ないでフィードバックするため、コメントに対して自身の考えをまとめ、論文に反映させること。								
履修条件・注意事項	実験、調査など数回行い、正確なデータ収集、結果に対する考察の組み立てなどを充実させること。研究テーマは個人毎に設定するが、学生間でのディスカッションを行い、ブラッシュアップを行うこと。								
自己学習	本講義は講義内容理解のために予習復習がそれぞれ2時間必要である。問題提議やディスカッションができるよう各自で必要な資料を渉猟し、読み進めておくこと。ディスカッション内容について文面化し、毎回の講義内容をまとめておくこと。								
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室(9402)において、毎週月曜日の2限目をオフィスアワーの時間とする。								
春学期授業計画			授業方法	担当者	秋学期授業計画			授業方法	担当者
1.研究テーマに関する知識の整理と検討			演習	高原	1.論文作成(1)目的・方法・仮説			演習	高原
2.文献検討(1)論文の作成について			演習	高原	2.論文作成(2)結果・結論			演習	高原
3.文献検討(2)科学論文の書き方について			演習	高原	3.論文作成(3)全体の流れ			演習	高原
4.研究内容について(1)基礎データの活用			演習	高原	4.ディスカッション(1)考察			演習	高原
5.研究内容について(2)先行研究の活用			演習	高原	5.ディスカッション(2)研究の新規性			演習	高原
6.研究内容について(3)論文の批評的理解			演習	高原	6.ディスカッション(3)研究の課題点			演習	高原
7.研究内容について(4)研究仮説			演習	高原	7.論文内容の修正(1)論文内容の修正			演習	高原
8.実験(1)プレテスト			演習	高原	8.論文内容の修正(2)引用・注記の修正			演習	高原
9.実験(2)実施における留意点			演習	高原	9.論文内容の修正(3)データ表記の修正			演習	高原
10.実験(3)課題点の検討			演習	高原	10.発表準備(1)要旨作成			演習	高原
11.分析(1)分析方法			演習	高原	11.発表準備(2)スライド資料の作成			演習	高原
12.分析(2)結果の概要			演習	高原	12.発表準備(3)発表練習			演習	高原
13.分析(3)研究仮説と結果			演習	高原	13.研究内容の確認・修正(1)質疑応答			演習	高原
14.分析(4)研究計画の再検討			演習	高原	14.研究内容の確認・修正(2)ケアレスミスのチェック			演習	高原
15.今後の検討課題について			演習	高原	15.研究内容の確認・修正(3)文章全体の修正			演習	高原
教科書 1	適宜資料を指示する。								
教科書 2									
参考書 1	適宜資料を指示する。								
参考書 2									